HITACHI
Inspire the Next

JP1 Version 11

# JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option

3021-3-B26-20

# 前書き

## ■ 対象製品

### ●JP1/Automatic Job Management System 3 - View（適用 OS：Windows）

P-2A12-34BL JP1/Automatic Job Management System 3 - View 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC2A12-44BL JP1/Automatic Job Management System 3 - View 11-10（適用 OS：Windows Server 2016，Windows 10，Windows 8.1, Windows Server 2012, Windows 8, Windows 7, Windows Server 2008 R2）

P-CC2A12-3MBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option 11-50（適用 OS：Windows Server 2016，Windows 10，Windows 8.1, Windows Server 2012, Windows 8, Windows 7, Windows Server 2008 R2）

### ●JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager（適用 OS：Windows）

P-2A12-3KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC2A12-4KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50（適用 OS：Windows Server 2016，Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2）

P-CC2A12-3NBL JP1/Automatic Job Management System 3 -Print Option Manager 11-10（適用 OS：Windows Server 2016，Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2）

### ●JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager（適用 OS：HP-UX）

P-1J12-3KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC1J12-4KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50（適用 OS：HP-UX(IPF)）

P-CC1J12-3NBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager 11-10（適用 OS：HP-UX(IPF)）

### ●JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager（適用 OS：Solaris）

P-9D12-3KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC9D12-4KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50（適用 OS：Solaris）

P-CC9D12-3NBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager 11-10（適用 OS：Solaris）

●JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager（適用 OS：AIX）

P-1M12-3KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC1M12-4KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50（適用 OS：AIX）

P-CC1M12-3NBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager 11-10（適用 OS：AIX）

●JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager（適用 OS：Linux）

P-8112-3KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50

製品構成一覧および内訳形名

P-CC8112-4KBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager 11-50（適用 OS：Linux 7, Linux 6(x64), Oracle Linux 6(x64), Oracle Linux 7, CentOS 6(x64), CentOS 7, SUSE Linux 12）

P-CC8112-3NBL JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager 11-10（適用 OS：Linux 7, Linux 6(x64), Oracle Linux 6(x64), Oracle Linux 7, CentOS 6(x64), CentOS 7, SUSE Linux 12）

## ■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## ■ 商標類

HITACHI，JP1 は，株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

AMD は，Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

IBM，AIX は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Itanium は，アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux は，Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft .NET は，お客様，情報，システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。

Microsoft および Excel は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Office は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Office および Excel は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Red Hat は，米国およびその他の国で Red Hat, Inc.の登録商標もしくは商標です。

SUSE は，米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標または商標です。

UNIX は，The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

### ■ マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

マイクロソフトの許可を得て使用しています。

### ■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは，マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

| 表記 | | 製品名 |
|---|---|---|
| Microsoft .NET | | Microsoft(R) .NET |
| Microsoft Excel | | Microsoft(R) Excel |
| | | Microsoft(R) Office Excel |
| Microsoft Office | | Microsoft(R) Office |
| Windows 7 | Windows 7(x86) | Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise (32bit) |
| | | Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional (32bit) |
| | | Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate (32bit) |
| | Windows 7(x64) | Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise (64bit) |
| | | Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional (64bit) |
| | | Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate (64bit) |
| Windows 8 | Windows 8(x86) | Windows(R) 8 (32bit) |

| 表記 | | 製品名 |
|---|---|---|
| Windows 8 | Windows 8(x86) | Windows(R) 8 Enterprise (32bit) |
| | | Windows(R) 8 Pro (32bit) |
| | Windows 8(x64) | Windows(R) 8 (64bit) |
| | | Windows(R) 8 Enterprise (64bit) |
| | | Windows(R) 8 Pro (64bit) |
| Windows 8.1 | Windows 8.1(x86) | Windows(R) 8.1 (32bit) |
| | | Windows(R) 8.1 Enterprise (32bit) |
| | | Windows(R) 8.1 Pro (32bit) |
| | Windows 8.1(x64) | Windows(R) 8.1 (64bit) |
| | | Windows(R) 8.1 Enterprise (64bit) |
| | | Windows(R) 8.1 Pro (64bit) |
| Windows 10 | Windows 10(x86) | Windows(R) 10 Enterprise (32bit) |
| | | Windows(R) 10 Home (32bit) |
| | | Windows(R) 10 Pro (32bit) |
| | Windows 10(x64) | Windows(R) 10 Enterprise (64bit) |
| | | Windows(R) 10 Home (64bit) |
| | | Windows(R) 10 Pro (64bit) |
| Windows Server 2008 R2 | | Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter |
| | | Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise |
| | | Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard |
| Windows Server 2012 | Windows Server 2012 | Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter |
| | | Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard |
| | Windows Server 2012 R2 | Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter |
| | | Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard |

| 表記 | 製品名 |
|---|---|
| Windows Server 2016 | Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter |
| | Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard |

注

Windows Server 2016，Windows 10，Windows 8.1，Windows Server 2012，Windows 8，Windows 7，および Windows Server 2008 R2 を総称して Windows と表記することがあります。

## ■ 発行

2017 年 11 月 3021-3-B26-20

## ■ 著作権

Copyright (C) 2016, 2017, Hitachi, Ltd.
Copyright (C) 2016, 2017, Hitachi Solutions, Ltd.

# 変更内容

## 変更内容（3021-3-B26-20） JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option 11-50

| 追加・変更内容 | 変更個所 |
|---|---|
| OS の言語が日本語の環境の場合，日本語の書式定義ファイルを配置できるようにした。 | 表 3-5，付録 D.1 |
| ［ジョブネットフロー書式定義］画面の［項目候補］リストと［項目］リストに ajsprint コマンドの出力項目と ajsshow コマンドの出力項目を区別するアイコンを追加した。 | 6.9，7.18 |
| ジョブネットフロー出力された Excel の 1 ページ目に，ジョブネットフロー書式定義で指定した項目名をユニット種別ごとに凡例として出力できるようにした。 | 6.9，7.7，7.9，7.18，7.19.5 |
| ［書式定義］画面の「対象ユニット種別」の選択で，一括で全選択および全選択解除する機能を追加した。 | 7.15.2 |

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

# はじめに

このマニュアルは，JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option，および JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager の機能，および操作方法を説明したものです。

## ■ 対象読者

このマニュアルは，JP1/Automatic Job Management System 3 を使ったシステムの定義情報，実行予定・結果情報といったジョブ運用情報を印刷したい方を対象としています。

## ■ マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す章と付録から構成されています。なお，このマニュアルは各 OS（Operating System）に共通のマニュアルです。OS ごとに差異がある場合は，本文中でそのつど内容を書き分けています。

**第１章　JP1/AJS3 - Print Option の機能概要**

JP1/AJS3 - Print Option の機能の概要を説明しています。

**第２章　JP1/AJS3 - Print Option のシステム構成**

JP1/AJS3 - Print Option の動作環境とシステム構成について説明しています。

**第３章　インストールとセットアップ**

JP1/AJS3 - Print Option の各プログラム（JP1/AJS3 - Print Option，JP1/AJS3 - Print Option Manager）をインストールしセットアップする手順について説明しています。

**第４章　ジョブ運用情報の収集**

ジョブ運用情報の収集について説明しています。

**第５章　ジョブ運用情報の転送**

ジョブ運用情報の転送について説明しています。

**第６章　ジョブ運用情報のドキュメント出力**

ジョブ運用情報のドキュメント出力について説明しています。

**第７章　画面**

JP1/AJS3 - Print Option の表示項目，および定義項目について説明しています。

**第８章　コマンド**

JP1/AJS3 - Print Option で使用できるコマンドの文法を説明しています。

第９章　メッセージ

JP1/AJS3 - Print Option が出力するメッセージを説明しています。

第１０章　トラブルシューティング

JP1/AJS3 - Print Option の運用中にトラブルが発生した場合の対処方法などを説明しています。

付録Ａ　サポート帳票列項目一覧

［書式定義］画面の基本形式がリスト帳票のときに指定できる列項目，および［ジョブネットフロー書式定義］画面で指定できる項目の一覧を示しています。

付録Ｂ　月次／日次帳票の列項目一覧

［書式定義］画面の基本形式が月次，日次のときに指定できる列項目の一覧を示しています。

付録Ｃ　月次／日次帳票の表記記号一覧

書式の基本形式が月次，または日次のときの結果で列項目詳細を記号にした場合の表記記号の一覧を示しています。

付録Ｄ　製品ファイル情報

ファイルおよびディレクトリ一覧を示しています。

付録Ｅ　プロセス一覧

プロセス一覧を示しています。

付録Ｆ　各バージョンの変更内容

各バージョンの変更点について説明しています。

付録Ｇ　このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報（関連マニュアル，マニュアルでの表記など）について説明しています。

付録Ｈ　用語解説

JP1/AJS3 - Print Option に関する用語を説明しています。

# 目次

前書き　2
変更内容　7
はじめに　8

1　JP1/AJS3 - Print Option の機能概要　14
1.1　JP1/AJS3 - Print Option の機能　15
1.2　定義内容の帳票出力　16
1.3　実行予定・結果内容の帳票出力　17
1.4　帳票のカスタマイズ　18

2　JP1/AJS3 - Print Option のシステム構成　19
2.1　動作環境を確認する　20
2.1.1　前提 OS　20
2.1.2　前提プログラム　21
2.2　システム構成を検討する　23

3　インストールとセットアップ　24
3.1　インストール（Windows の場合）　25
3.2　インストール（UNIX の場合）　26
3.2.1　Hitachi PP Installer の使用方法　26
3.3　アンインストール　29
3.3.1　Windows の場合　29
3.3.2　UNIX の場合　29
3.4　セットアップ　31
3.4.1　設定するポート番号　31
3.4.2　JP1/AJS3 - View の設定　32
3.4.3　サービスの開始と停止　33
3.4.4　IP アドレスを変更する場合の注意事項　37
3.4.5　複数ユーザー運用の設定　38
3.5　バックアップ対象ファイル　42
3.6　ウイルス対策ソフト実行時の注意事項　45

4　ジョブ運用情報の収集　47
4.1　ジョブ運用情報の収集　48
4.2　［ジョブ運用情報の収集］画面でジョブ運用情報を収集　52

4.2.1 Windows の［スタート］メニューから表示する　52
4.2.2 ［JP1/AJS3 - View］画面から表示する　53
4.3 jprcollect コマンドでジョブ運用情報を収集　56

5 ジョブ運用情報の転送　57
5.1 ジョブ運用情報の転送　58

6 ジョブ運用情報のドキュメント出力　59
6.1 ジョブ運用情報のドキュメント出力　60
6.2 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面を起動する　61
6.3 帳票を出力する　64
6.4 書式を変更する　67
6.5 任意の書式を定義する　72
6.6 用紙を設定する　75
6.7 期間を変更する　77
6.8 定義内容をマップ形式で出力する　78
6.8.1 定義内容をマップ形式で Microsoft Excel に出力する手順　78
6.8.2 定義内容をマップ形式で PDF ファイルとして出力する手順　79
6.9 ジョブネットフロー書式定義　81
6.10 ジョブネットフロー形式で出力する　84
6.10.1 ジョブネットフロー形式で Microsoft Excel に出力する　84
6.10.2 ジョブネットフロー形式で PDF ファイルとして出力する　85
6.11 jprprint コマンドでジョブ運用情報を出力する　88

7 画面　89
7.1 画面遷移　90
7.2 ［ジョブ運用情報の収集］画面　91
7.3 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面　102
7.4 ［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面　108
7.5 ［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面　109
7.6 ［マップ出力］画面　110
7.7 ［ジョブネットフロー出力］画面　115
7.8 ［マップ PDF 出力］画面　120
7.9 ［ジョブネットフロー PDF 出力］画面　125
7.10 ［CSV ファイルの保存］画面　130
7.11 ［印刷プレビュー］画面　133
7.12 ［印刷］画面　134
7.13 ［閉じる］画面　136
7.14 ［終了］画面　137
7.15 ［書式定義］画面　138

7.15.1 共通項目 138
7.15.2 [ユニット]タブの表示項目 139
7.15.3 [列項目]タブの表示項目 140
7.15.4 [その他]タブの表示項目 148
7.15.5 [書式定義]画面の注意事項 150
7.16 [用紙設定]画面 153
7.17 [表示範囲の変更]画面 156
7.18 [ジョブネットフロー書式定義]画面 157
7.19 [環境設定]画面 160
7.19.1 共通項目 160
7.19.2 [既定値の設定]タブの表示項目 160
7.19.3 [表示]タブの表示項目 162
7.19.4 [マップ]タブの表示項目 163
7.19.5 [ジョブネットフロー]タブの表示項目 164
7.19.6 [環境設定]画面の注意事項 166
7.20 [バージョン情報]画面 168

8 コマンド 169
コマンドの記述形式 170
コマンド一覧 171
jprcollect（Windows，UNIX） 173
jprpomlstart（UNIX） 182
jprpomlstop（UNIX） 183
jprprint（Windows） 184

9 メッセージ 188
9.1 JP1/AJS3 - Print Option のメッセージ 189
9.1.1 メッセージの形式 189
9.1.2 メッセージ ID 189
9.1.3 メッセージの記載形式 189
9.2 メッセージの出力先一覧 191
9.3 メッセージ一覧 194

10 トラブルシューティング 234
10.1 対処の手順 235
10.2 ログ情報の種類 236
10.2.1 共通メッセージログ 236
10.2.2 プロセス別ログ 236
10.3 トラブル発生時に採取が必要な資料 237
10.3.1 オペレーティングシステム（OS）のログ情報 237
10.3.2 JP1/AJS3 - Print Option に関する情報 238

10.3.3 JP1/AJS3 - Print Option のプロセスの状態 240
10.3.4 オペレーション内容 241
10.3.5 画面上のエラー情報 241
10.4 資料採取ツールでの資料採取方法 242
10.4.1 資料採取ツールを使用するための準備 242
10.4.2 JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの実行 242
10.4.3 JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取手順（Windows の場合） 246
10.4.4 JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取手順（UNIX の場合） 250
10.5 ダンプファイルの出力設定と採取方法 254
10.5.1 ダンプファイルの出力設定 254
10.5.2 ダンプファイルの採取方法 254

## 付録 257

付録 A サポート帳票列項目一覧 258
付録 B 月次／日次帳票の列項目一覧 287
付録 C 月次／日次帳票の表記記号一覧 288
付録 D 製品ファイル情報 291
付録 D.1 JP1/AJS3 - Print Option の製品ファイル情報 291
付録 D.2 JP1/AJS3 - Print Option Manager の製品ファイル情報 299
付録 E プロセス一覧 304
付録 E.1 JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセス一覧 304
付録 E.2 JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスを JP1/Cm2/SSO で監視する場合の注意事項 304
付録 F 各バージョンの変更内容 306
付録 F.1 11-50 の変更内容 306
付録 F.2 11-10 の変更内容 306
付録 F.3 11-00 の変更内容 307
付録 F.4 10-50 の変更内容 310
付録 F.5 10-00 の変更内容 311
付録 F.6 09-50 の変更内容 314
付録 F.7 09-00 の変更内容 317
付録 G このマニュアルの参考情報 319
付録 G.1 関連マニュアル 319
付録 G.2 このマニュアルでの表記 319
付録 G.3 このマニュアルで使用する英略語 320
付録 G.4 KB（キロバイト）などの単位表記について 321
付録 H 用語解説 322

## 索引 327

# 1 JP1/AJS3 - Print Option の機能概要

ジョブネットの定義情報，実行予定・結果情報といったジョブ運用情報をプリントすることができます。日々の運用・保守のためのドキュメント化を強力に支援します。

この章では，JP1/AJS3 - Print Option の機能について説明します。

## 1.1　JP1/AJS3 - Print Option の機能

JP1/AJS3 - Print Option には，次に示す三つの機能があります。

- 定義内容の帳票出力
- 実行予定・結果内容の帳票出力
- 帳票のカスタマイズ

## 1.2　定義内容の帳票出力

ジョブネット要素の定義内容を，リスト形式，またはマップ形式の帳票として出力できます。

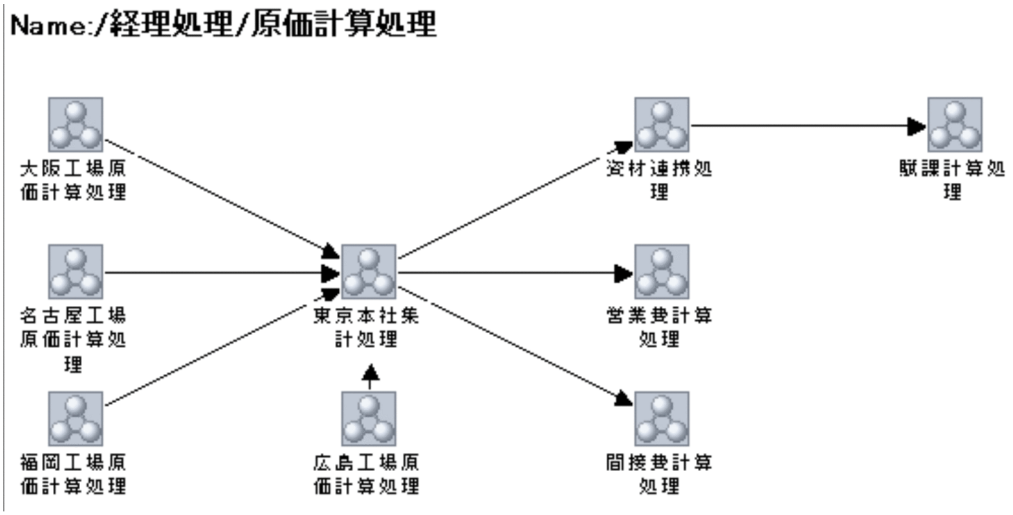
リスト形式の帳票は，定義項目を列に，ユニットを行にした定義内容の一覧です。定義内容の詳細を見るときに便利です。

図 1-1　リスト形式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | スクリプトファイル名 | 終了判定種別 | 警告終了のしきい値 | 異常終了のしきい値 | ジョブ実行保留 | ジョブ実行時のＪＰ１ユーザー | パラメータ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 原価計算処理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| ├(2) 営業費計算処理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| └(3) 営業費後処理 | ＰＣジョブ | c:¥mog¥E_EIGYOU.SPT | しきい値による判定 | 0 | 1 | 保留しない | 登録ユーザー | - |
| ├(2) 間接費計算処理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| ├(3) 間接費計算後処理 | ＰＣジョブ | c:¥mog¥K_KANSEA.SPT | しきい値による判定 | 1 | 2 | 保留しない | 登録ユーザー | - |
| └(3) 間接費計算前処理 | ＰＣジョブ | c:¥mog¥K_KANSEF.SPT | しきい値による判定 | 1 | 2 | 保留しない | 登録ユーザー | - |
| ├(2) 広島工場原価計算処理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| ├(3) 委託品管理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| └(4) 委託品棚卸処理 | ＰＣジョブ | c:¥mog¥H_ITAKUH.SPT | しきい値による判定 | 1 | 2 | 保留しない | 登録ユーザー | - |

マップ形式の帳票は，ユニットをアイコンで表したビジュアルな帳票です。ユニットの関連が一目で判別できます。

図 1-2　マップ形式の帳票出力例



# 1.3　実行予定・結果内容の帳票出力

実行登録済みのジョブネット，またはジョブの実行予定・結果内容を，日次形式，または月次形式の帳票として出力できます。

日次形式の帳票は，1 日ごとの実行予定・結果内容です。

## 図 1–3　日次形式の帳票出力例

| 【日次】結果<br>2003年5月7日（水）基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 広島工場原価計算処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:12)<br>●(12:36)<br>●(12:45)<br>×(12:52) | | | | | | | | | | | | |
| ├(2) 委託品管理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:11)<br>●(12:35)<br>●(12:44)<br>●(12:51) | | | | | | | | | | | | |
| └(3) 委託品棚卸処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:11)<br>●(12:35)<br>●(12:44)<br>●(12:51) | | | | | | | | | | | | |
| ├(2) 外注品管理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:12)<br>●(12:36)<br>●(12:45)<br>×(12:52) | | | | | | | | | | | | |
| ├(3) 仕入棚卸 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:12)<br>●(12:36)<br>●(12:45)<br>●(12:52) | | | | | | | | | | | | |
| └(3) 出荷棚卸 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:12)<br>●(12:36)<br>●(12:45)<br>×(12:52) | | | | | | | | | | | | |
| ├(2) 原材料原価計算 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:11)<br>●(12:35)<br>●(12:44)<br>●(12:51) | | | | | | | | | | | | |

月次形式の帳票は，1 か月ごとの実行予定・結果内容です。

## 図 1–4　月次形式の帳票出力例

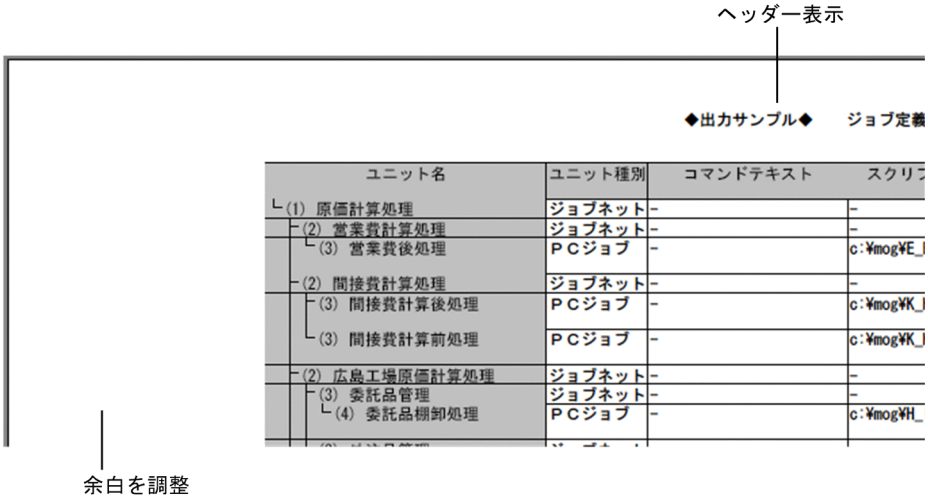
| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 | 10<br>土 | 11<br>日 | 12<br>月 | 13<br>火 | 14<br>水 | 15<br>木 | 16<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 広島工場原価計算処理 | | | | | | | (12:08) 繰り越し未実行<br>(12:12) 正常終了<br>(12:36) 正常終了<br>(12:45) 正常終了<br>(12:52) 異常検出終了 | (13:03) 正常終了-R<br>(13:08) 中断<br>(13:16) 正常終了 | | | | | | | | |
| ├(2) 委託品管理 | | | | | | | (12:08) 繰り越し未実行<br>(12:11) 正常終了<br>(12:35) 正常終了<br>(12:44) 正常終了<br>(12:51) 正常終了 | (13:00) 正常終了<br>(13:07) 正常終了<br>(13:14) 正常終了 | | | | | | | | |
| └(3) 委託品棚卸処理 | | | | | | | (12:08) 未実行終了<br>(12:11) 正常終了<br>(12:35) 正常終了<br>(12:44) 正常終了<br>(12:51) 正常終了 | (13:00) 正常終了<br>(13:07) 正常終了<br>(13:14) 正常終了 | | | | | | | | |
| ├(2) 外注品管理 | | | | | | | (12:08) 繰り越し未実行<br>(12:12) 正常終了<br>(12:36) 正常終了<br>(12:45) 正常終了<br>(12:52) 異常検出終了 | (13:03) 正常終了-R<br>(13:15) 正常終了 | | | | | | | | |
| ├(3) 仕入棚卸 | | | | | | | (12:08) 未実行終了<br>(12:12) 正常終了<br>(12:36) 正常終了<br>(12:45) 正常終了<br>(12:52) 正常終了 | (13:03) 正常終了-R<br>(13:15) 正常終了 | | | | | | | | |
| └(3) 出荷棚卸 | | | | | | | (12:08) 未実行終了<br>(12:12) 正常終了<br>(12:36) 正常終了<br>(12:45) 正常終了<br>(12:52) 異常検出終了 | (13:03) 正常終了-R<br>(13:15) 正常終了 | | | | | | | | |

## 1.4　帳票のカスタマイズ

帳票のレイアウトや出力内容などを自由に設定できます。

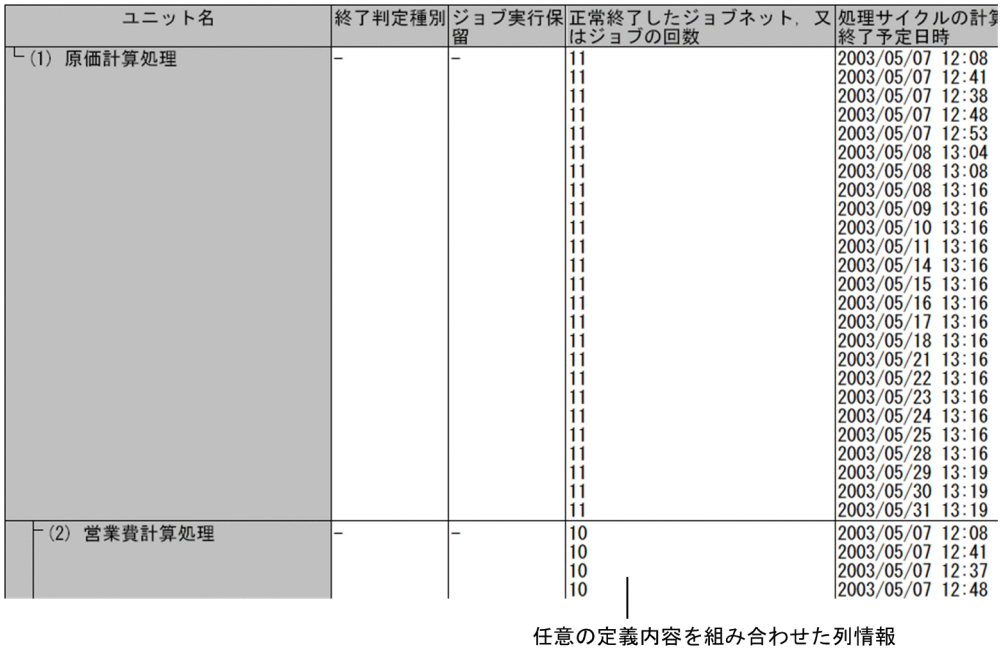
レイアウトは，用紙サイズ，印刷向き，余白，ヘッダーなどを自由に設定できます。

図 1-5　帳票のカスタマイズ例（その 1）




帳票の列項目は，任意の定義内容を組み合わせることができます。

図 1-6　帳票のカスタマイズ例（その 2）



# 2 JP1/AJS3 - Print Option のシステム構成

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option を導入する際に検討する事項として，JP1/AJS3 - Print Option の動作環境と，システム構成について説明します。

JP1/AJS3 - Print Option は，次の二つのプログラムで構成されています。

・JP1/AJS3 - Print Option Manager

　JP1/AJS からジョブ運用情報を収集するプログラムです。

・JP1/AJS3 - Print Option

　JP1/AJS3 - Print Option Manager で収集したジョブ運用情報をドキュメントとして出力するプログラムです。

## 2.1　動作環境を確認する

JP1/AJS3 - Print Option の各プログラムの動作環境を確認します。

### 2.1.1　前提 OS

JP1/AJS3 - Print Option を構成する各プログラムの前提 OS を次に示します。

| プログラム | 前提 OS |
|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option Manager | • Windows Server 2016<br>• Windows Server 2012<br>• Windows Server 2012 R2<br>• Windows Server 2008 R2<br>• HP-UX(IPF)<br>• Solaris<br>• AIX<br>• Linux |
| JP1/AJS3 - Print Option※ | • Windows Server 2016<br>• Windows 10(x86)<br>• Windows 10(x64)<br>• Windows 8.1(x86)<br>• Windows 8.1(x64)<br>• Windows Server 2012<br>• Windows Server 2012 R2<br>• Windows 8(x86)<br>• Windows 8(x64)<br>• Windows 7(x86)<br>• Windows 7(x64)<br>• Windows Server 2008 R2 |

注※

複数ユーザー運用を使用する場合，次に示す OS を前提とします。

- Windows Server 2016
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2008 R2

## 2.1.2 前提プログラム

JP1/AJS3 - Print Option を構成する各プログラムの前提プログラムを次に示します。

| プログラム | 前提プログラム |
|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option Manager | Windows または Solaris を使用する場合<br>JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降※1<br>HP-UX(IPF)，AIX，または Linux を使用する場合<br>JP1/AJS3 - Manager 11-10 以降 |
| JP1/AJS3 - Print Option | • JP1/Script 09-00 以降※2<br>• JP1/AJS3 - Manager 09-50 以降，JP1/AJS3 - Agent 09-50 以降，または，JP1/Script 09-00 以降※3<br>• Microsoft Office 2016 32 ビット版（Microsoft Excel 2016 32 ビット版），Microsoft Office 2016 64 ビット版（Microsoft Excel 2016 64 ビット版），Microsoft Office 2013 32 ビット版（Microsoft Excel 2013 32 ビット版），Microsoft Office 2013 64 ビット版（Microsoft Excel 2013 64 ビット版），Microsoft Office 2010 32 ビット版（Microsoft Excel 2010 32 ビット版），Microsoft Office 2010 64 ビット版（Microsoft Excel 2010 64 ビット版），Microsoft Office 2007（Microsoft Excel 2007）※4※5※7<br>• Microsoft .NET Framework 3.5，Microsoft .NET Framework 4.0，Microsoft .NET Framework 4.5，Microsoft .NET Framework 4.6，Microsoft .NET Framework 4.7※6 |

注※1

ご使用になる，JP1/AJS3 - Print Option Manager と JP1/AJS3 - Manager のバージョンが異なる場合，ご利用ソフトウェアのいずれかの古いバージョンの JP1/AJS3 - Print Option Manager でサポートされている範囲の情報だけ収集されます。ご使用になる JP1/AJS3 - Manager のバージョンと同期を取った JP1/AJS3 - Print Option Manager が存在しない場合は，ご使用になるバージョン以前の同期を取ったバージョンのサポート範囲が情報収集の範囲となります。

（例）

JP1/AJS3 - Manager 09-10 と JP1/AJS3 - Print Option Manager License 10-00 の組み合わせでご使用になる場合，JP1/AJS3 - Print Option Manager License 09-10 が存在しないため，それ以前に同期を取った JP1/AJS3 - Print Option Manager License 09-00 でのサポート範囲が情報収集の範囲となります。

注※2

JP1/AJS を使用してジョブ運用ドキュメントの出力（jprprint コマンド）を自動運用するとき，印刷実行時に利用するプリンタで画面やメッセージを表示して入力待ちになる場合に，JP1/AJS3 - Print Option と同じホストに必要です。

注※3

JP1/AJS を使用してジョブ運用ドキュメントの出力（jprprint コマンド）を自動運用するとき，CSV 出力を実行する，あるいは印刷実行時に利用するプリンタで入力待ちにならない場合に，JP1/AJS3 - Print Option と同じホストに必要です。

注※4

マップ形式およびフロー形式の帳票を出力する場合に必要です。

注※5

マップ形式およびフロー形式の帳票を PDF ファイルに出力する場合，Microsoft Office 2016 32 ビット版（Microsoft Excel 2016 32 ビット版），Microsoft Office 2016 64 ビット版（Microsoft Excel 2016 64 ビット版），Microsoft Office 2013

32 ビット版（Microsoft Excel 2013 32 ビット版），Microsoft Office 2013 64 ビット版（Microsoft Excel 2013 64 ビット版），Microsoft Office 2010 32 ビット版（Microsoft Excel 2010 32 ビット版），または Microsoft Office 2010 64 ビット版（Microsoft Excel 2010 64 ビット版）が必要です。

注※6

マップ形式およびフロー形式の帳票を出力する場合に必要です。

Windows Server 2016，および Windows 10 の場合は，Microsoft .NET Framework 3.5，Microsoft .NET Framework 4.6，または Microsoft .NET Framework 4.7 が必要です。

Windows 8.1，Windows Server 2012，および Windows 8 の場合は，Microsoft .NET Framework 3.5，Microsoft .NET Framework 4.5，Microsoft .NET Framework 4.6，または Microsoft .NET Framework 4.7 が必要です。

Windows 7，および Windows Server 2008 R2 の場合は，Microsoft .NET Framework 3.5，Microsoft .NET Framework 4.0，Microsoft .NET Framework 4.5，Microsoft .NET Framework 4.6，または Microsoft .NET Framework 4.7 が必要です。

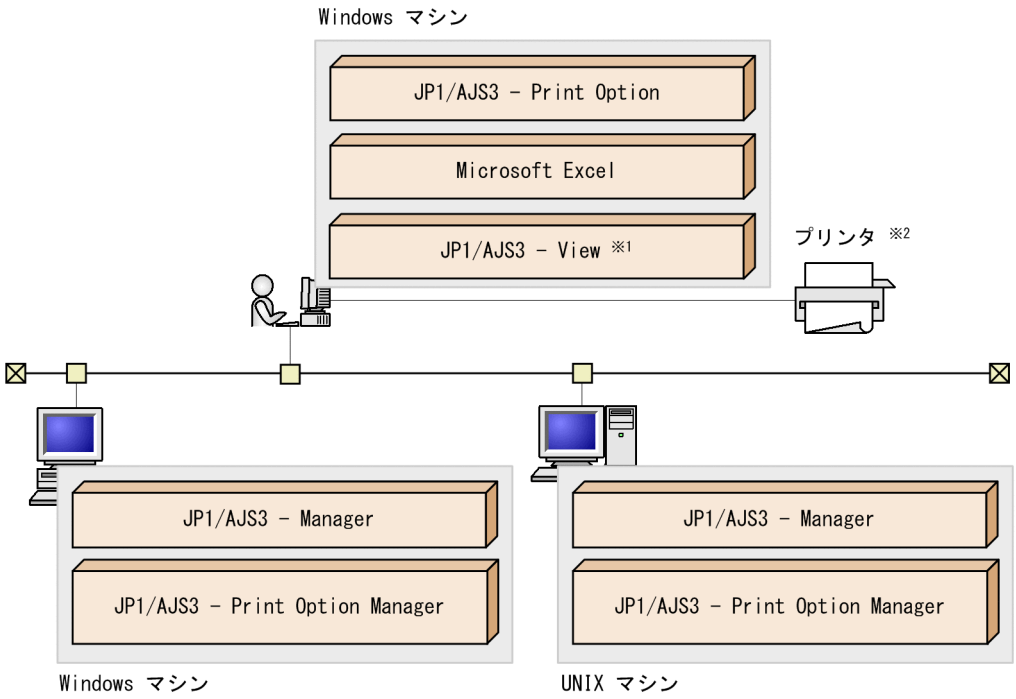
注※7

マップ出力でコメントを表示する場合は，Microsoft Office 2007（Microsoft Excel 2007） SP2 以降が必要です。

## 2.2　システム構成を検討する

JP1/AJS3 - Print Option の基本的な構成の例を次に示します。

図 2-1　システム構成例




注※1

［JP1/AJS3 - View］画面からジョブ運用情報の収集を行う場合に必要です。

注※2

jprprint コマンドを実行する場合にプリンタとして使用できるのは，「通常使うプリンタ」だけです。

JP1/AJS3 - Print Option Manager と JP1/AJS3 - Print Option は同一 LAN 内に配置する必要はありません。JP1/AJS3 - Print Option Manager と JP1/AJS3 - Print Option のデータ交換は，ファイルの受け渡しです。ファイルの受け渡しができるのであれば，WAN やオフライン構成にも対応できます。

# 3 インストールとセットアップ

JP1/AJS3 - Print Option の各プログラム（JP1/AJS3 - Print Option，JP1/AJS3 - Print Option Manager）をインストールしセットアップする手順について説明します。

インストールの作業には，Administrators 権限（Windows の場合），またはスーパーユーザー権限（UNIX の場合）が必要です。

## 3.1　インストール（Windows の場合）

インストールするホストの OS が Windows の場合に，JP1/AJS3 - Print Option の各プログラムをインストールする手順について説明します。

インストールの作業には，Administrators 権限が必要です。

1. すべてのプログラムを終了する。

   インストールする前に，すべてのプログラムを終了してください。

2. 提供媒体を CD-ROM ドライブに入れる。

   起動したインストーラの指示に従ってインストールを進めてください。

   インストール時には，次の項目を設定します。

   - ユーザー情報
   - インストール先のフォルダ

     他製品と同じフォルダにはインストールしないでください。

注意事項

- インストール先のフォルダのアクセス権に注意してください。当該プログラムを使用する OS のユーザーに対して，インストール先フォルダに書き込みの許可を与えていないと，当該プログラムは正常に動作しません。デフォルトのインストール先フォルダは，管理者権限のないユーザーに書き込みを許可していませんので，管理者権限のないユーザーで操作するときは，インストール先フォルダ下のすべてのフォルダに対して書き込み許可を与えてください。
- インストール先フォルダは自由に変更できますが，次の項目の合計が 258 バイトを超えないようにしてください。

  ・製品インストール先フォルダのパス名長

  ・製品側で作成するフォルダ，ファイル名のパス名長

  - JP1/AJS3 - Print Option ： 80 バイト
  - JP1/AJS3 - Print Option Manager ： 20 バイト

  ・製品インストール先に任意でフォルダを作成する場合，作成するフォルダ名長
- ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用している場合，インストール時に管理者へ昇格させてください。
- インストールによって作成されるフォルダ，ファイル，注意事項について「付録 D　製品ファイル情報」を参照ください。

## 3.2　インストール（UNIX の場合）

インストールするホストの OS が UNIX の場合に，JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールする手順について説明します。

1. プログラムを終了する。

   インストールする前に，すべてのプログラムを終了してください。

2. Hitachi PP Installer を実行する。

   Hitachi PP Installer の指示に従ってインストールしてください。

   Hitachi PP Installer の操作手順については，「3.2.1　Hitachi PP Installer の使用方法」を参照してください。

   ＜注意事項＞

   「Install failed」メッセージが表示されるなどインストールに失敗した場合は，/etc/.hitachi/.hitachi.log ファイルを確認してください。なお，このログファイルは，次に Hitachi PP Installer を起動したときに上書きされます。必要に応じてバックアップを取っておいてください。

### 3.2.1　Hitachi PP Installer の使用方法

Hitachi PP Installer は，JP1/AJS3 - Print Option Manager の提供媒体に格納されています。ここでは，次の操作について説明します。

- Hitachi PP Installer の起動方法
- Hitachi PP Installer を使って JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールする方法
- Hitachi PP Installer を使って JP1/AJS3 - Print Option Manager を削除する方法
- Hitachi PP Installer を使って現在インストールされている日立製品のバージョンを確認する方法

Hitachi PP Installer を使用するときの注意事項

Hitachi PP Installer を使用するときは，スーパーユーザー権限が必要です。スーパーユーザーでログインするか，または su コマンドでユーザーをスーパーユーザーに変更してください。

#### (1)　Hitachi PP Installer の起動

1. ドライブに JP1/AJS3 - Print Option Manager の提供媒体をセットする。

2. CD-ROM 装置をマウントする。

   次のコマンドを実行します。実行するコマンドはご使用の OS によって異なります。なお，Solaris では，この手順は必要ありません。Linux でも，ご使用の環境によっては自動マウントされる場合があります。

HP-UX の場合：

/usr/sbin/mount -F cdfs -r デバイススペシャルファイル名　/cdrom

AIX の場合：

/usr/sbin/mount -r -v cdrfs デバイススペシャルファイル名　/cdrom

Linux の場合：

/bin/mount -r -t iso9660 デバイススペシャルファイル名　/media/cdrecorder

注　/cdrom および/media/cdrecorder は CD-ROM デバイススペシャルファイルのマウントポイントです。マウントポイントディレクトリがない場合は，作成してください。なお，デバイススペシャルファイル名およびマウントポイントは，ご使用の環境によって異なります。

3. 次のコマンドを実行して，Hitachi PP Installer をインストール，および起動する。

Linux の場合：

/media/cdrecorder/XXXX/setup /media/cdrecorder

Linux 以外の場合：

/cdrom/XXXX/setup /cdrom

XXXX の部分は，ご使用の OS によって次のように変わります。

HP-UX(IPF)の場合：「IPFHPUX」

Solaris の場合：「SOLARIS」

AIX の場合：「AIX」

Linux の場合：「LINUX」

## (2)　JP1/AJS3 - Print Option Manager のインストール

Hitachi PP Installer を使って JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールする方法を説明します。

Hitachi PP Installer を起動すると，初期画面が表示されます。

初期画面で「I」を入力すると，インストールできるソフトウェアの一覧が表示されます。インストールしたいソフトウェアにカーソルを移動し，スペースバーで選択します。さらに「I」を入力すると，JP1/AJS3 - Print Option Manager がインストールされます。インストール完了後，「Q」を入力すると初期画面に戻ります。

## (3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の削除

次のコマンドを実行して，Hitachi PP Installer を起動します。

/etc/hitachi_setup

Hitachi PP Installer の初期画面が表示されます。

初期画面で「D」を入力すると，削除できるソフトウェアの一覧が表示されます。削除したいソフトウェアにカーソルを移動し，スペースバーで選択します。さらに「D」を入力すると，ソフトウェアが削除されます。削除完了後，「Q」を入力すると初期画面に戻ります。

## (4) バージョン情報の表示

次のコマンドを実行して，Hitachi PP Installer を起動します。

```
/etc/hitachi_setup
```

Hitachi PP Installer の初期画面が表示されます。

初期画面で「L」を入力すると，インストール済みの日立製品の一覧が表示されます。

## 3.3 アンインストール

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option の各プログラム（JP1/AJS3 - Print Option，JP1/AJS3 - Print Option Manager）をアンインストールする手順について説明します。

アンインストールの作業には，Administrators 権限（Windows の場合），またはスーパーユーザー権限（UNIX の場合）が必要です。

### 3.3.1 Windows の場合

アンインストールするホストの OS が Windows の場合に，JP1/AJS3 - Print Option の各プログラムをアンインストールする手順について説明します。

1. プログラムを終了する。

   アンインストールする前に，すべてのプログラムを終了してください。

2. Windows の［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］から，アンインストールする。

   ［アプリケーションの追加と削除］からアンインストールしたいプログラムを選択して，アンインストールしてください。

3. ユーザーファイルを削除する。

   JP1/AJS3 - Print Option の削除では，インストール後作成された定義ファイルやログファイルなど，ユーザーが作成したファイルは削除されません。

   これらのファイルを削除する場合は，JP1/AJS3 - Print Option をインストールしていたフォルダをエクスプローラで削除してください。

   書式定義ファイルのサンプル，ジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプル,環境設定情報ファイルおよび用紙設定ファイルは，ユーザーが更新している場合にも削除されます。必要に応じてバックアップを取ってください。

注意事項

ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用している場合，アンインストール時に管理者へ昇格させてください。

### 3.3.2 UNIX の場合

アンインストールするホストの OS が UNIX の場合に，JP1/AJS3 - Print Option Manager をアンインストールする手順について説明します。

1. プログラムを終了する。

   アンインストールする前に，すべてのプログラムを終了してください。

2. Hitachi PP Installer を実行する。

Hitachi PP Installer の指示に従ってアンインストールしてください。

Hitachi PP Installer の操作手順については，「3.2.1(3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の削除」を参照してください。

3. 削除ファイルを確認する。

JP1/AJS3 - Print Option Manager を削除した後，次に示すディレクトリが残っていないか確認し，残っている場合は削除してください。

```
/opt/jp1ajs2pom
```

## 3.4　セットアップ

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option の各プログラム（JP1/AJS3 - Print Option，JP1/AJS3 - Print Option Manager）をセットアップする方法について説明します。

### 3.4.1　設定するポート番号

設定するポート番号の一覧と，ファイアウォールを通過するための方向について記載します。

JP1/AJS3 - Print Option および JP1/AJS3 - Print Option Manager で使用するポート番号は，製品の提供時にデフォルトとして設定されています。ユーザー環境に合わせて任意の番号に変更することもできます。なお，使用するプロトコルは TCP/IP です。

［JP1/AJS3 - View］画面から JP1/AJS3 - Print Option を起動すると，JP1/AJS3 - Print Option Manager がインストールされているサーバへジョブ運用情報の収集要求を送信し，収集結果のジョブ運用情報ファイルを受信して画面に表示します。この通信でポート番号を使用します。

［JP1/AJS3 - View］画面から JP1/AJS3 - Print Option を起動する操作の詳細については，「3.4.2　JP1/AJS3 - View の設定」および「4.2.2　［JP1/AJS3 - View］画面から表示する」を参照してください。

Services ファイルに設定するポート番号一覧と，ファイアウォールを通過するための方向を次に示します。

#### (1)　使用するポート番号

##### (a)　JP1/AJS3 - Print Option のポート番号

JP1/AJS3 - Print Option で使用するポート番号を次の表に示します。

表 3-1　JP1/AJS3 - Print Option で使用するポート番号

| サービス名 | ポート番号 | 用途 |
|---|---|---|
| jp1ajs2poml | 24201 | ジョブ運用情報の収集用 |

##### (b)　JP1/AJS3 - Print Option Manager のポート番号

JP1/AJS3 - Print Option Manager で使用するポート番号を次の表に示します。

表 3-2　JP1/AJS3 - Print Option Manager で使用するポート番号

| サービス名 | ポート番号 | 用途 |
|---|---|---|
| jp1ajs2poml | 24201 | ジョブ運用情報の収集用 |

### (2)　ファイアウォールの通過方向

ファイアウォールを通過するための方向を次の表に示します。なお，JP1/AJS3 - Print Option は，パケットフィルタリング型，および NAT（スタティックモード）型のアドレス変換をサポートしています。

表 3-3　ファイアウォールの通過方向

| 設定が必要なプログラム名 | サービス名 | ポート番号 | ファイアウォールの通過方向 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option<br>JP1/AJS3 - Print Option Manager | jp1ajs2poml | 24201 | JP1/AJS3 - Print Option→JP1/AJS3 - Print Option Manager |

（凡例）

→：左項から右項の片方向を表します。

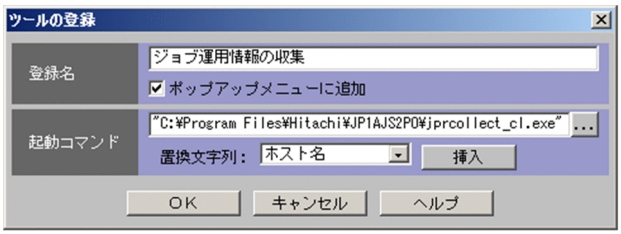
注

JP1/AJS3 - Print Option および JP1/AJS3 - Print Option Manager で使用するポート番号を変更する場合は，JP1/AJS3 - Print Option および JP1/AJS3 - Print Option Manager で使用するポート番号を一致するように service ファイルを編集し，JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスを再起動してください。

## 3.4.2　JP1/AJS3 - View の設定

JP1/AJS3 - View と連携するためには，［ツールの登録］ダイアログを次に示すとおりに設定します。

図 3-1　JP1/AJS3 - View の［ツールの登録］ダイアログ




［起動コマンド］には次に示すコマンドを設定します。

```
"C:¥Program Files¥Hitachi¥JP1AJS2PO※1¥jprcollect_cl.exe" -h (HOST_NAME)
 -s (SERVICE_NAME) -c (CHAR_CODE) -u (UNIT_NAME) -6※2
```

注※1

ご使用の環境に合わせて JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ名を指定してください。

注※2

-6 オプションは，次のどちらかに当てはまる場合，必ず設定してください。

- JP1/AJS3 - View と JP1/AJS3 - Print Option のインストールホストが，IPv6 アドレスを使用している場合
- ジョブ運用情報の収集ホスト（JP1/AJS3 - Print Option Manager のインストールホスト）が，IPv6 アドレスを使用している場合

ただし，IPv6 アドレスに対応している OS は，Windows Server 2016，Windows 10，Windows 8.1，Windows Server 2012，Windows 8，Windows 7，Windows Server 2008 R2，または Linux だけです。IPv6 アドレスを使用する場合は，jprpoml.ini ファイルに設定が必要です。設定方法については，「3.4.4　IP アドレスを変更する場合の注意事項」の手順 3 を参照してください。

(HOST_NAME)などの置換文字列は上記のとおりそのまま入力します。置換文字列については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 操作ガイド」を参照してください。

注意事項

- JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - Print Option Manager の間の通信は暗号化されません。次のどちらかの方法を実施してください。

  ・セキュリティ対策を設定したネットワーク環境で JP1/AJS3 - View 連携を使用

  ・セキュリティモードを設定した FTP などで，JP1/AJS3 - Print Option Manager で出力したジョブ運用情報ファイルを JP1/AJS3 - Print Option に転送して帳票を出力
- (HOST_NAME)や(SERVICE_NAME)などの置換文字列の代わりに実際のホスト名やサービスなどを直接指定しないでください。直接指定すると，正しくジョブ運用情報が収集できません。
- ［起動コマンド］に指定するコマンドを直接，手動で実行したり，スクリプトに定義して実行したりすることは保証しておりません。

## 3.4.3　サービスの開始と停止

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを開始したり停止したりする方法について説明します。

JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスは，JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集要求を受け付け，ジョブ運用情報を収集します。

### (1)　Windows の場合

JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールしたホストの OS が Windows の場合に，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを開始したり停止したりするには，Windows の［コントロールパネル］－［サービス］または［コントロールパネル］－［管理ツール］－［サービス］から操作します。

なお，「net start JP1_AJS2_POML」コマンドおよび「net stop JP1_AJS2_POML」コマンドを実行してもサービスを起動および停止できます。

JP1/AJS3 - Print Option Manager は，次に示すサービスを提供します。

表 3-4　JP1/AJS3 - Print Option Manager が提供するサービス

| サービス名 | サービス内容 | 開始方法 | アカウント |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS3　POM | JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集要求を受け付け，ジョブ運用情報を収集します。 | 自動 | システム |

注意事項

JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」にして，JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集する場合は，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを運用するアカウントに応じて，次のどちらかを実施してください。

1. JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスをローカルシステムアカウントで運用する場合（インストール後のデフォルトは，ローカルシステムアカウントに設定されています）

   「system」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

2. JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスをユーザーアカウントで運用する場合

   ユーザーアカウント名と同じ名前の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドを実行するために必要な JP1 権限レベルの詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

なお，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスをユーザーアカウントで運用する場合は，次の手順でサービスのログオンアカウントを設定してください。

サービスのログオンアカウントを設定するには Administrators 権限が必要です。

＜サービスのログオンアカウントの設定手順＞

1. Windows の［スタート］－［管理ツール］－［サービス］を選択し，［サービス］画面を表示する。
2. JP1/AJS3 POM を選択し，メニューバーの［操作］－［プロパティ］を選択し，［JP1/AJS3 POM のプロパティ］画面を表示する。
3. ［ログオン］タブの［アカウント］をチェックし，［参照］ボタンを有効にする。
4. ［アカウント］ボックスにサービスの実行アカウント名※を入力する。

   アカウント名は，［参照］ボタンを押して表示されるダイアログから入力できます。
5. ［パスワード］ボックスにパスワードを入力し，次にパスワードを確認して，［OK］ボタンをクリックする。

注※

サービスの実行アカウント名には，次の権限を持つアカウントを設定してください。

- Administrators 権限
- ローカルログオンを許可する
- サービスとしてログオン
- プロセスレベルトークンの置き換え

- プロセスのメモリークォータの増加

## (2) UNIX の場合

JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールしたホストの OS が UNIX の場合に，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを自動的に開始したり停止したりする手順について説明します。

注意事項

JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」にして，JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集する場合は，JP1/AJS3 - POM サービスの開始方法の運用に応じて，次のどちらかを実施してください。

1. JP1/AJS3 - POM サービス（デーモン）を自動的に開始する場合

   OS 起動時に，JP1/AJS3 - POM サービスを自動的に開始するように設定した場合，「root」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

2. jprpomlstart コマンドで JP1/AJS3 - POM サービスを開始する場合

   OS にログインしたあと，スーパーユーザー権限を持つユーザーで jprpomlstart コマンドを実行して JP1/AJS3 - POM サービスを開始した場合，「root」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドを実行するために必要な JP1 権限レベルの詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

### (a) JP1/AJS3 - POM サービスの自動開始を設定する

システムの起動時に，JP1/AJS3 - POM サービス（デーモン）を自動的に開始する手順について説明します。

1. JP1/AJS3 - POM サービスを停止する。

   次のコマンドを実行して，プロセスをすべて停止します。

   ```
   /opt/jp1ajs2pom/bin/jprpomlstop
   ```

2. 次のファイルを vi などのエディターで開く。

   ```
   /etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_start
   ```

3. ファイル（自動開始用シェルスクリプト）に記述されている，次の下線部分を削除する。

   ```
   :# /opt/jp1ajs2pom/bin/jprpomlstart >/dev/null 2>/dev/null
   ```

   削除する際は，内容を確認してください。

4. 必要に応じて，ファイル（自動開始用シェルスクリプト）に記述されている，次の LANG の設定部分を変更する。

```
LANG=XXXXXX
```

「XXXXXX」は，OS によって異なります。

LANG に JP1/AJS3 - Manager で使用している文字コードを指定してください。

AIX の場合は，続けて次の操作をしてください。

5. 自動起動の設定をする。

JP1/AJS3 - POM サービスの起動エントリを，mkitab コマンドで/etc/inittab ファイルに追加します。

```
mkitab -i jp1ajs2 ” jp1ajs2pom:2:wait:/etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_start”
```

lsitab コマンドで設定内容を確認します。

```
lsitab -a
```

次に示すように，プロセスを起動する順番に沿って，JP1/AJS3 - Manager の設定よりあとに，JP1/AJS3 - POM サービスの起動エントリが追加されているか，確認してください。

```
init:2:initdefault:
brc::sysinit:/sbin/rc.boot 3 >/dev/console 2>&1 # Phase 3 of system boot
     :
     :
hntr2mon:2:once:/opt/hitachi/HNTRLib2/etc/D002start
jp1base:2:wait:/etc/opt/jp1base/jbs_start
jp1ajs2:2:wait:/etc/opt/jp1ajs2/jajs_start
jp1ajs2pom:2:wait:/etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_start
```

6. 自動停止の設定をする。

/etc/rc.shutdown スクリプトをテキストエディターで開き，次の記述を追記します。

```
test -x /etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_stop && /etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_stop
```

自動停止時のエラーを回避するため，スクリプトの最終行に次の記述を追記します。

```
exit 0
```

注意事項

自動起動のスクリプトおよび自動停止のスクリプトの環境変数 LANG には，JP1/AJS3 - Manager で使用している文字コードを設定してください。使用できる文字コードについては，「8. コマンド　コマンド一覧」の「LANG 環境変数について」を参照してください。

補足事項

JP1/AJS3 - POM サービス（デーモン）を手動で開始するには，jprpomlstart コマンドを実行してください。jprpomlstart コマンドの詳細については，「8. コマンド　jprpomlstart（UNIX）」を参照してください。

## (b)　JP1/AJS3 - POM サービスの自動停止を設定する

システムの終了時に，JP1/AJS3 - POM サービス（デーモン）を自動的に停止する手順について説明します。

1. JP1/AJS3 - POM サービスを停止する。

   次のコマンドを実行して，プロセスをすべて停止します。

   ```
   /opt/jp1ajs2pom/bin/jprpomlstop
   ```

2. 次のファイルを vi などのエディターで開く。

   ```
   /etc/opt/jp1ajs2pom/jprpoml_stop
   ```

3. ファイル（自動停止用シェルスクリプト）に記述されている，次の下線部分を削除する。

   ```
   :# /opt/jp1ajs2pom/bin/jprpomlstop >/dev/null 2>/dev/null
   ```

   削除する際は，内容を確認してください。

補足事項

JP1/AJS3 - POM サービス（デーモン）を手動で停止するには，jprpomlstop コマンドを実行してください。jprpomlstop コマンドの詳細については，「8. コマンド　jprpomlstop（UNIX）」を参照してください。

## 3.4.4　IP アドレスを変更する場合の注意事項

JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - View を連携している場合は，JP1/Base，JP1/AJS3，JP1/AJS3 - View の IP アドレス変更の対応に加えて次の対応が必要です。

1. IP アドレスを変更する前に JP1/AJS3 - Print Option Manager の次のサービスを停止する。

   JP1/AJS3 POM サービス

2. サービスが停止したのを確認したあと，IP アドレスを変更する。

3. IPv4 アドレスから IPv6 アドレスに変更した場合は，jprpoml.ini ファイルを開き，次の定義を追加する。

   ```
   [common]
   IPv6connect = 1
   ```

   jprpoml.ini ファイルの格納先については，「付録 D.2　JP1/AJS3 - Print Option Manager の製品ファイル情報」を参照してください。

   **注意事項**

   - Windows Server 2016，Windows Server 2012 および Windows Server 2008 R2 で，ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用している場合，管理者へ昇格させてから jprpoml.ini ファイルを編集してください。
   - IPv6 アドレスに対応している OS は，Windows Server 2016，Windows 10，Windows 8.1，Windows Server 2012，Windows 8，Windows 7，Windows Server 2008 R2，または Linux だけです。
   - jprpoml.ini ファイルの`IPv6connect` のデフォルト設定を次に示します。

Windows Server 2016，Windows Server 2012，Windows Server 2008 R2，および Linux の場合

```
IPv6connect = 1
```

AIX，Solaris，および HP-UX(IPF)の場合

```
IPv6connect = 0
```

4. 1.で停止したサービスを再起動する。

5. IPv4 アドレスから IPv6 アドレスに変更した場合，JP1/AJS3 - View に設定する［起動コマンド］に-6 オプションを追加する。

   JP1/AJS3 - View に設定する［起動コマンド］については，「3.4.2　JP1/AJS3 - View の設定」を参照してください。

JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - View を連携しない場合，IP アドレス変更による対応は必要ありません。

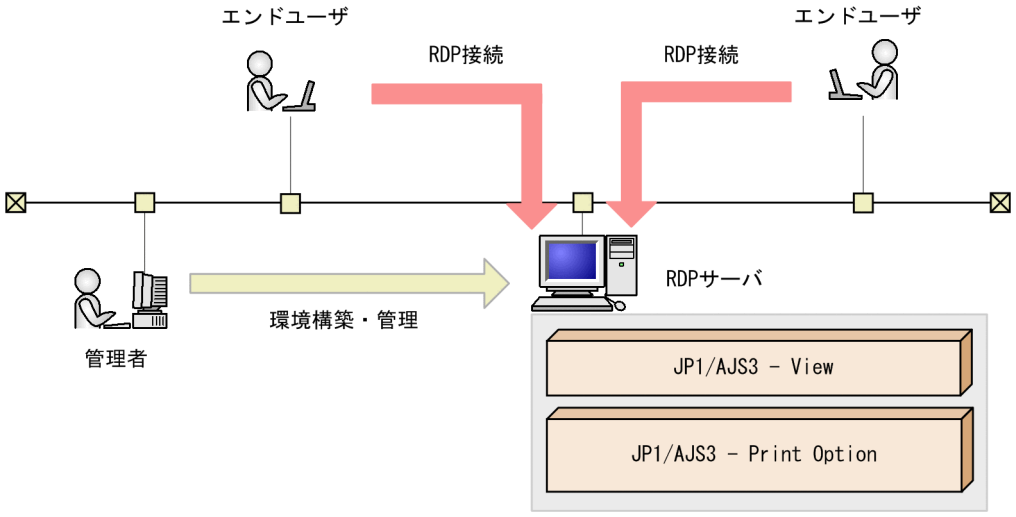
## 3.4.5　複数ユーザー運用の設定

複数ユーザー運用とは，リモートデスクトップ（以下，RDP）接続を使用して，JP1/AJS3 - Print Option を複数のユーザーが同時に利用するための機能です。

### (1)　システムの構成

JP1/AJS3 - Print Option で複数ユーザー運用を使用するためのシステムの構成を次に示します。

図 3-2　複数ユーザー運用を使用するシステム構成




- RDP サーバに JP1/AJS3 - Print Option がインストールされている。
- 管理者ユーザーは，RDP サーバの環境構築，管理を行う。

- エンドユーザーは，RDP で RDP サーバに接続し，RDP サーバ上で JP1/AJS3 - Print Option を使用する。

## (2) OS の設定

JP1/AJS3 - Print Option で複数ユーザー運用を使用するための OS の設定について説明します。

### (a) 前提条件

JP1/AJS3 - Print Option で複数ユーザー運用は，RDP サーバ環境の利用を前提とします。ここでは，次に示すプラットフォーム環境を，RDP サーバ環境と総称します。

- Windows Server 2016，Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2 に「リモートデスクトップサービス」の役割をインストールし，セッションベースの仮想デスクトップを使用する環境
- Windows Server 2008 R2 に「リモートデスクトップサービス」の役割をインストールした環境

### (b) 注意事項

- 管理者ユーザーの OS ユーザーは，Administrators 権限を持つようにしてください。
- エンドユーザーの OS ユーザーは，一般ユーザーとしてください。
- RDP 接続するすべての OS ユーザーについて，異なるドメインであっても，一意となるユーザー名を設定してください。
- RDP 接続するすべての OS ユーザーについて，Windows で OS ユーザー名として使用を禁止されている予約語，無効な文字，およびピリオド/空白で構成されている OS ユーザー名は使用しないでください。

  また，次に示す OS ユーザー名は使用しないでください。

  - 大文字小文字を問わず，「AJS」で始まる OS ユーザー名
  - 大文字小文字を問わず，「HLICLIB」で始まる OS ユーザー名
- OS ユーザーごとに，使用する JP1 ユーザーを分けてください。

  また，各 OS ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を利用できる RDP セッションは 1 つまでとしてください。

  RDP サーバで，［リモートデスクトップセッションホストサーバーの構成］の［設定の編集］領域の［全般］で，［1 ユーザーにつき 1 セッションに制限する］を［はい］にしてください。

## (3) JP1/AJS3 - Print Option の設定

管理者ユーザーを使用して，次に示す手順で JP1/AJS3 - Print Option を設定します。

1. 使用するメモリー所要量を見積もります。

   JP1/AJS3 - Print Option の 1 プロセスが使用するメモリー所要量を見積もり，JP1/AJS3 - Print Option を使用するユーザー数を掛けた値が必要です。

2. JP1/AJS3 - Print Option で複数ユーザー運用を使用できるように設定します。

(インストール先フォルダ)¥jprpo.ini ファイルをテキストエディターなどで開き，次のように記述します。

```
[common]
MULTI_USERS=Y
```

jprpo.ini ファイルがない場合は，jprpo.ini.model ファイルをコピーして，ファイル名を jprpo.ini に変更します。

注意事項

エンドユーザーが jprpo.ini ファイルの設定を変更できないように，jprpo.ini ファイルは一般ユーザーのアクセス権限を参照だけに設定することを推奨します。

3. 複数ユーザーで書式定義ファイルを使用できるように設定します。

デフォルトの書式定義フォルダ※1 下に.model の拡張子を持つファイル（以降，標準ファイルと略します）※2 が格納されていることを確認してください。

4. JP1/AJS3 - Print Option を再起動します。※3

注※1

%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Format

注※2

手順 4 を実行時に，デフォルトの書式定義フォルダ下に格納されている標準ファイルを元に複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルを作成します。

複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルの作成先は次のとおりです（以降，複数ユーザー書式定義フォルダと略します）。

%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Users¥(OS ユーザー名)¥Format

標準ファイルを手動で配置する場合：

日本語の書式定義ファイルのサンプルを利用したいときは，%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO フォルダの japanese_sample_set.exe（例 ジョブ.jof.model）に，英語の書式定義ファイルのサンプルを利用したいときは，english_sample_set.exe（例 job.jof.model）にそれぞれの言語の標準ファイルが存在しますので解凍してご利用ください。

注※3

デフォルトの書式定義フォルダに標準ファイルが存在しない状態で手順 4 を実行すると，複数ユーザー書式定義フォルダに書式定義ファイルが作成されないため，複数ユーザーが JP1/AJS3 - Print Option を起動したときに書式定義がないエラー（KAVR2000-E）になります。

この場合，作成された複数ユーザー書式定義フォルダに任意の書式定義ファイルを手動で配置して，JP1/AJS3 - Print Option を再起動してください。

書式定義ファイルの格納先，日本語または英語の書式定義ファイルの設定方法については，「付録 D. 1 JP1/AJS3 - Print Option の製品ファイル情報」を参照してください。

### メモ

jprpo.ini ファイルのパラメーター MULTI_USERS には次の値を設定できます。

MULTI_USERS=Y

複数ユーザー運用を使用します。

MULTI_USERS=N

複数ユーザー運用を使用しません（デフォルト）。

## 3.5　バックアップ対象ファイル

バージョンアップインストールやシステム環境を移行する場合，必要に応じて定義ファイルをバックアップしてから，製品をバージョンアップインストールまたは移行先の環境にインストールしてください。インストール後，バックアップした定義ファイルをリストアしてください。

### ＜ JP1/AJS3 - Print Option のバックアップ対象ファイル＞

JP1/AJS3 - Print Option のインストール後，バックアップした定義ファイルをリストアしてください。

移行元と移行先の OS が異なる場合，リストアするファイルの格納先が異なることがあります。表 3-5 を参照してファイルの格納先を確認してから，リストアを実行してください。

JP1/AJS3 - Print Option のバックアップ対象ファイルを次の表に示します。

#### 表 3-5　JP1/AJS3 - Print Option のバックアップ対象ファイル

| ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| (インストール先フォルダ)¥jprpo.ini | 管理用運用設定ファイル |
| (PATH)¥JOP000dft00.ini | 環境設定情報ファイル |
| (PATH)¥JOP000dft01.ini | 用紙設定ファイル |
| (PATH)¥Format¥job.jof※1<br>(PATH)¥Format¥jobnet.jof※1<br>(PATH)¥Format¥unit.jof※1<br>(PATH)¥Format¥full_path.jof※1<br>(PATH)¥Format¥monthly_result.jof※1<br>(PATH)¥Format¥monthly_schedule.jof※1<br>(PATH)¥Format¥exec_order.jof※1<br>(PATH)¥Format¥daily_result.jof※1<br>(PATH)¥Format¥daily_schedule.jof※1<br>(PATH)¥Format¥schedule_result.jof※1 | OS の言語が日本語以外の環境にインストールした場合に，標準提供する書式定義ファイル（11-50 以降） |
| (PATH)¥Format¥ジョブ.jof※2<br>(PATH)¥Format¥ネット.jof※2<br>(PATH)¥Format¥ユニット.jof※2<br>(PATH)¥Format¥完全パス.jof※2<br>(PATH)¥Format¥月次結果.jof※2<br>(PATH)¥Format¥月次予定.jof※2<br>(PATH)¥Format¥順序関係.jof※2<br>(PATH)¥Format¥日次結果.jof※2<br>(PATH)¥Format¥日次予定.jof※2<br>(PATH)¥Format¥予実比較.jof※2 | OS の言語が日本語の環境にインストールした場合に，標準提供する書式定義ファイル（11-50 以降） |
| (環境設定の書式定義に指定したフォルダ)¥ユーザーが作成したファイル名.jof | ユーザーが作成した書式定義ファイル |

| ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| (PATH)¥Map¥FlowFormat¥JobFlow.fof※3 | 標準提供するジョブネットフロー書式定義ファイル |
| (環境設定のジョブネットフロー書式定義ファイル名に指定したファイル名) | ユーザーが作成したジョブネットフロー書式定義ファイル |

注

- (インストール先フォルダ)は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥Program Files¥Hitachi¥JP1AJS2PO」です。

  64 ビット版の Windows の場合は，「Program Files」を「Program Files (x86)」と読み替えてください。
- (PATH)は「%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO」に置き換えてください。%allusersprofile%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥ProgramData」です。

注※1

11-50 以降で OS の言語が日本語以外の環境の場合，インストール時に，英語の書式定義ファイルが標準提供されます。標準提供している書式定義ファイルの内容を更新して使用している場合は，バックアップが必要です。

注※2

11-50 以降で OS の言語が日本語の環境の場合，インストール時に，日本語の書式定義ファイルが標準提供されます。標準提供している日本語の書式定義ファイルの内容を更新して使用している場合は，バックアップが必要です。

注※3

標準提供しているジョブネットフロー書式定義ファイルの内容を更新して使用している場合は，バックアップが必要です。

＜ JP1/AJS3 - Print Option Manager のバックアップ対象ファイル＞

JP1/AJS3 - Print Option Manager のインストール後，バックアップした定義ファイルをリストアしてください。

移行元と移行先の OS が異なる場合，リストアするファイルの格納先が異なることがあります。表 3-6 を参照してファイルの格納先を確認してから，リストアを実行してください。

JP1/AJS3 - Print Option Manager のバックアップ対象ファイルを次の表に示します。

表 3-6　JP1/AJS3 - Print Option Manager のバックアップ対象ファイル

| ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| (Windows の場合)<br>%allusersprofile%※1¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2POM¥jprpoml.ini<br>(UNIX の場合)<br>/opt/jp1ajs2pom/jprpoml.ini | 環境設定情報ファイル※2 |

注※1

%allusersprofile%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥ProgramData」です。

注※2

IPv6 アドレスを使用する場合に必要です。IPv6 アドレスを使用しない場合は設定不要です。

IPv6 アドレスに対応している OS は，Windows Server 2016，Windows Server 2012，Windows Server 2008 R2，または Linux だけです。

## 3.6　ウイルス対策ソフト実行時の注意事項

ウイルス対策ソフトの影響で，JP1/AJS3 - Print Option がアクセスするファイルおよびフォルダに排他制御によるロックが掛かることがあります。その結果，次のような現象が発生するおそれがあります。

- JP1/AJS3 - Print Option が起動できない。

  JP1/AJS3 - Print Option の起動時に参照する定義ファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，JP1/AJS3 - Print Option の起動に失敗することがあります。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスが起動できない。

  JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスの起動時に参照する定義ファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスの起動に失敗することがあります。
- 定義の変更ができない。

  JP1/AJS3 - Print Option の定義ファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，書式定義・環境設定情報の追加や変更などが失敗することがあります。
- ログが出力されない。

  JP1/AJS3 - Print Option のログファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，ログが出力できなくなり，トラブル発生時の調査ができなくなることがあります。
- JP1/AJS3 - Print Option のコマンドが異常終了する。

  JP1/AJS3 - Print Option のコマンドが使用するファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，コマンドが異常終了することがあります。
- CSV 出力，マップ出力，ジョブネットフロー出力ができない。

  JP1/AJS3 - Print Option が出力するファイルに排他制御によるロックが掛かることによって，CSV 出力，マップ出力，およびジョブネットフロー出力が失敗することがあります。

JP1/AJS3 - Print Option の稼働中にウイルスチェックをする場合は，次に示すファイルおよびフォルダをウイルスチェックの対象から外してください。また，JP1/AJS3 - Print Option の停止中にウイルスチェックをして JP1/AJS3 - Print Option を再起動する場合は，次に示すファイルおよびフォルダのウイルスチェックが完了したことを確認してから JP1/AJS3 - Print Option を再起動してください。

Windows の場合

- JP1/AJS3 - Print Option のログファイルおよびフォルダ

  JP1/AJS3 - Print Option のログファイルおよびフォルダについては，「10.3.2(1)　Windows の場合」を参照してください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager のログファイルおよびフォルダ

  JP1/AJS3 - Print Option Manager のログファイルおよびフォルダについては，「10.3.2(1) Windows の場合」を参照してください。
- 作成・更新した書式定義の保存先フォルダ
- 作成・更新したジョブネットフロー書式定義の保存先フォルダ

- jprprint コマンドで指定した CSV ファイルの出力先フォルダ，または［CSV ファイルの保存］画面で指定した出力先フォルダ
- jprcollect コマンドの引数で指定した出力先フォルダ，または［ジョブ運用情報の収集］画面で指定した出力先フォルダ
- JP1/AJS3 - View 連携で［ジョブ運用情報の収集］画面で指定した出力先フォルダ
- マップ出力ファイルの保存先フォルダ
- ジョブネットフロー出力ファイルの保存先フォルダ
- マップ PDF 出力ファイルの保存先フォルダ
- ジョブネットフローPDF 出力ファイルの保存先フォルダ

注意事項

複数ユーザー運用機能を使用する場合は，全ユーザーが使用する上記のファイルおよびフォルダをウイルスチェックの対象から外してください。

UNIX の場合

- JP1/AJS3 - Print Option Manager のログファイルおよびディレクトリ

  JP1/AJS3 - Print Option Manager のログファイルおよびディレクトリについては，「10.3.2(2) UNIX の場合」を参照してください。
- jprcollect コマンドの引数で指定した出力先ディレクトリ

また，ウイルスチェックの実施中に資料採取ツール（Windows の場合「PO_ras.bat」および「POM_ras.bat」，UNIX の場合「POM_ras.sh」）を実行する場合は，上記のファイルおよびフォルダのほかに，次に示すファイルおよびフォルダをウイルスチェックの対象から外してください。

- トラブル発生時に採取が必要なファイル

  Windows の場合

  ・JP1/AJS3 - Print Option のトラブル発生時に採取が必要な OS のログ情報

  ・JP1/AJS3 - Print Option Manager のトラブル発生時に採取が必要な OS のログ情報

  上記のファイルについては，「10.3.1(1)　Windows の場合」，「10.4.2(3)　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールで採取される資料」，および「10.4.3(3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（Windows の場合）」を参照してください。

  UNIX の場合

  ・JP1/AJS3 - Print Option Manager のトラブル発生時に採取が必要な OS のログ情報

  上記のファイルについては，「10.3.1(2)　UNIX の場合」および「10.4.4(3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（UNIX の場合）」を参照してください。
- 資料採取ツール実行結果の出力先フォルダ

# 4 ジョブ運用情報の収集

この章では，ジョブ運用情報の収集について説明します。

## 4.1　ジョブ運用情報の収集

ジョブ運用情報の収集は，JP1/AJS3 - Manager が管理しているジョブ情報を収集し，**ジョブ運用情報ファイル**に格納する作業です。ジョブ運用情報ファイルのファイル拡張子は「.aoi」です。ジョブ運用情報ファイルは，ジョブ運用情報のドキュメント出力での入力情報となります。

ジョブ運用情報を定期的に収集する場合は，jprcollect コマンドを使用して自動化できます。また，システム設計時など現在のジョブの状態を確認したい場合は，［ジョブ運用情報の収集］画面を起動し GUI インタフェースによってジョブ運用を収集できます。

収集するジョブ運用情報は，ジョブネットの定義内容と，実行登録済みのジョブネット，またはジョブの実行予定・結果情報です。これらの情報の収集は，JP1/AJS が提供する ajsprint コマンドと ajsshow コマンドを実行することで実現しています。

収集する情報の範囲を指定することで必要な情報だけを収集できます。収集する情報の範囲を指定するものに，期間とユニットがあります。

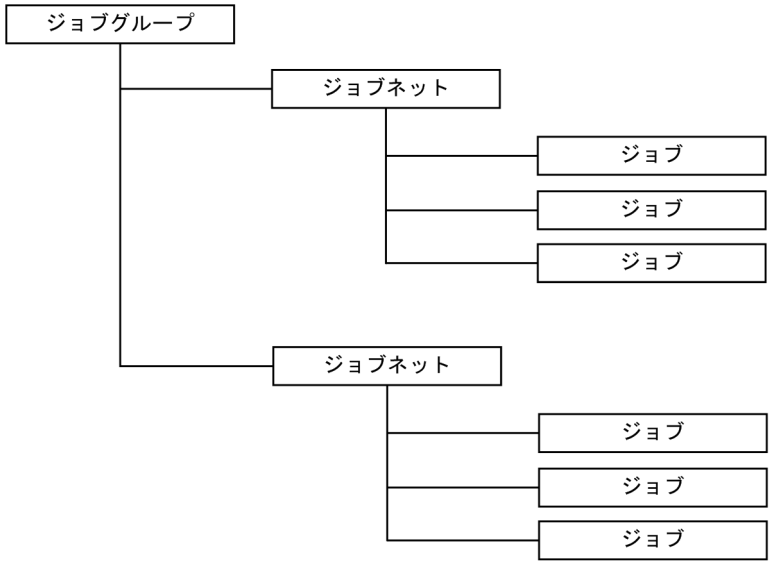
期間は，ジョブネットの実行予定・結果情報を収集する際に指定します。収集する期間を，開始日と終了日で指定します。期間を指定しない場合は，ジョブネットの定義内容だけを収集し，ジョブネットの実行予定・結果情報は収集しません。

ユニットは，情報を収集したいジョブ名，ジョブネット名，またはジョブグループ名を指定します。ユニットを理解してもらうために，ここでは JP1/AJS のジョブネット定義の概要を説明します。

JP1/AJS では，幾つかの処理を組み合わせ，関連づけて処理を定義します。これらの処理の一つ一つをジョブとして定義し，ジョブを幾つか組み合わせて実行順序を定義したものをジョブネットとして定義できます。また，複数のジョブネットを分類して，ジョブグループとして格納できます。

ジョブ，ジョブネット，およびジョブグループの関連について次の図に示します。

図 4-1　ジョブ，ジョブネット，およびジョブグループの関連



ジョブには，処理を定義したジョブ，イベント送受信，処理結果の判定などを定義したジョブがあります。また，ユーザーが定義した処理をジョブとして登録しておくこともできます。

ジョブネットには，ジョブのほかに，異常終了した場合の後処理や，別のジョブネットを定義できます。ジョブの組み合わせと関連づけによって，さまざまなジョブネットを定義できます。

ジョブネットやジョブグループなど，ジョブネット定義で使う単位をジョブネットワーク要素と呼びます。また，これらの要素を総称してユニットと呼びます。

ユニットの種類と内容を次の表に示します。

### 表 4-1　ユニットの種類と内容

| ユニット | | 内容 |
|---|---|---|
| 総称 | 個別名 | |
| ジョブグループ | ルートジョブグループ | 最上位のジョブグループで，JP1/AJS に必ず定義されています。スケジューラーサービス名がルートジョブグループ名になります。<br>デフォルトのジョブグループ名は「/」です。 |
| | ネストジョブグループ | ルートジョブグループの下にあるジョブグループです。 |
| | プランニンググループ | ジョブグループ直下にだけ作成できます。これによって，プランニンググループの下に作成されたルートジョブネット間で，運用の切り替えを行うことができます。 |
| ジョブネット | ルートジョブネット | ジョブグループの中で最上位にあるジョブネットです。 |
| | ネストジョブネット | ルートジョブネット中に定義されたジョブネットです。 |
| | リモートジョブネット | ジョブネット開始時に別のホストに実行登録されるジョブネットです。 |
| ジョブ | | コマンド，シェルスクリプト，Windows 実行ファイルなどの集まりです。 |
| マネージャーユニット | マネージャージョブグループ | 別のホストの JP1/AJS3 - Manager に定義されているジョブグループ，またはジョブネットをリンクするユニットです。 |
| | マネージャージョブネット | |

ジョブ運用情報の収集では，指定したユニットの種別によって収集できる情報は異なります。その違いを次の表に示します。指定したユニット以下のすべてのユニットが収集の対象となります。

### 表 4-2　ジョブ運用情報の収集内容

| 収集で指定するユニット | | 収集できる情報 |
|---|---|---|
| 総称 | 個別名 | |
| ジョブグループ | ルートジョブグループ | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1※2 |

| 収集で指定するユニット | | 収集できる情報 |
|---|---|---|
| 総称 | 個別名 | |
| ジョブグループ | ネストジョブグループ | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1※2 |
| | プランニンググループ | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1※2 |
| ジョブネット | ルートジョブネット※3 | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1 |
| | ルートジョブネット以外 | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1 |
| ジョブ | | • 定義情報<br>• 実行予定，結果情報※1 |
| マネージャーユニット | マネージャーグループ | 収集不可※4 |
| | マネージャージョブネット | 収集不可※4 |

注※1

JP1/AJS では，実行登録時に実行予定・結果情報が生成されます。そのため実行登録済みのユニットを指定した場合だけ，実行予定・結果情報を収集できます。JP1/AJS では，実行結果情報を「保存世代数」分残すことができます。実行結果情報を実行回数分出力するには，JP1/AJS で「保存世代数」の設定を変更する必要があります。デフォルトの設定は 1 世代です。

注※2

ジョブグループを指定し，そのジョブグループの中に実行登録済みと未登録のユニットが混在している場合は，実行登録済みのユニットだけ実行予定・結果情報を収集できます。

注※3

ジョブネットリリース機能を使用している場合，リリース ID ごとのジョブネット定義情報および結果情報を収集できます。

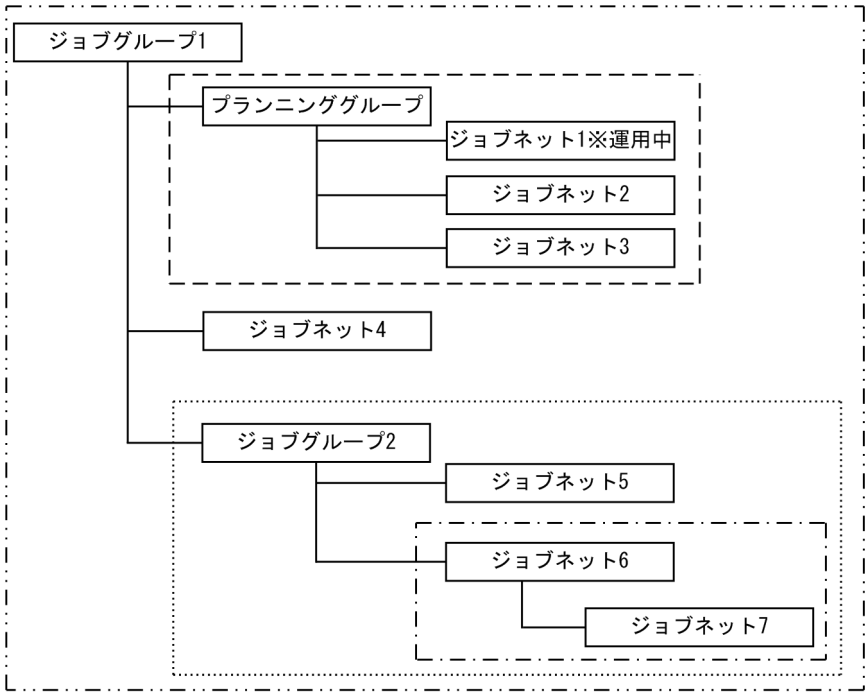
ジョブネットリリース機能については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。

注※4

マネージャージョブグループ，またはマネージャージョブネットの内容は収集できません。これらの情報の収集は，リンク先の JP1/AJS3 - Manager のホストで作業してください。

プランニンググループでは，現在運用中のユニットかどうかにかかわらず，すべてのユニットの情報を出力します。指定したユニットにより取得される情報の変化を次の図に示します。

図 4-2　情報取得範囲




（凡例）

ー･･ー　［ジョブグループ 1］を指定した場合に取得する情報の範囲です。全ユニットの情報を取得します。

ーーー　［プランニンググループ］を指定した場合に取得する情報の範囲です。

････････････　［ジョブグループ 2］を指定した場合に取得する情報の範囲です。

ー･ー　［ジョブネット 6］を指定した場合に取得する情報の範囲です。

プランニンググループ配下に定義されているユニットの情報は，運用中のジョブネット（図中では［ジョブネット 1］が運用中）以外の情報（図中では［ジョブネット 2］［ジョブネット 3］が相当する）も取得します。

ジョブ運用情報のドキュメント出力は，最大ユニット数を超えるユニットを一度に出力できません。ジョブ運用情報の収集時に，ユニット数が最大ユニット数を超えないように，収集してください。

最大ユニット数は，［環境設定］画面で設定します。32,000～150,000 の範囲で変更できます。設定方法については，「7.19　［環境設定］画面」を参照してください。

JP1/AJS3 - Manager がクラスタ構成の場合は，アクティブな系からジョブ運用情報を収集してください。その際，サービス名に論理ホスト用のスケジューラーサービス名を指定してください。

## 4.2 ［ジョブ運用情報の収集］画面でジョブ運用情報を収集

Windows の場合，［ジョブ運用情報の収集］画面で，ジョブ運用情報を収集できます。

### 4.2.1 Windows の［スタート］メニューから表示する

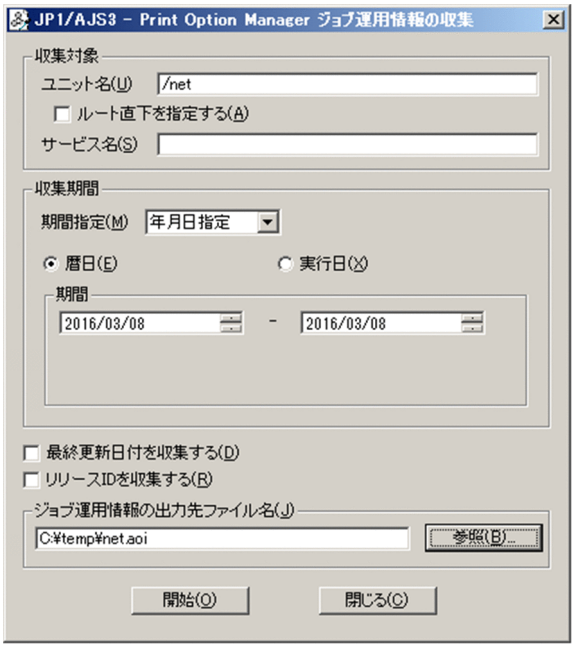
Windows の［スタート］メニューから［ジョブ運用情報の収集］画面を表示して，ジョブ運用情報を収集する手順について説明します。

1. Windows の［スタート］メニューから，［プログラム］－［JP1_Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager］－［ジョブ運用情報の収集］を選択する。

   ［ジョブ運用情報の収集］画面「図 4-3 ［ジョブ運用情報の収集］画面の指定例」が表示されます。各種条件の説明，設定については「7.2 ［ジョブ運用情報の収集］画面」を参照してください。

2. ［ジョブ運用情報の収集］画面で，収集したい情報の条件（収集対象，収集期間など）と，ジョブ運用情報の出力先ファイル名を指定する。

   図 4-3 ［ジョブ運用情報の収集］画面の指定例




3. ［開始］ボタンを押す。

   指定した出力先にジョブ運用情報ファイルが作成されます。［開始］ボタンは，［ユニット名］と［ジョブ運用情報の出力先ファイル名］を指定すると，押せるようになります。

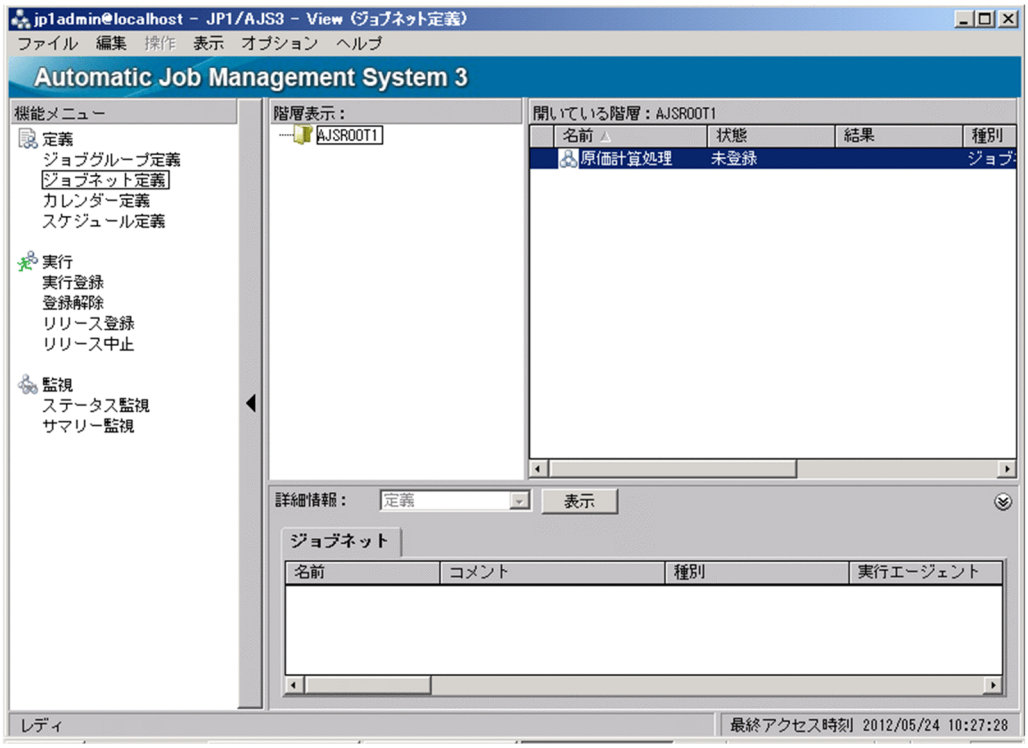
## 4.2.2 ［JP1/AJS3 - View］画面から表示する

［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示して，ジョブ運用情報を収集する手順について説明します。

1. JP1/AJS3 - View を起動する。

   ［JP1/AJS3 - View］画面でジョブ運用情報を収集するユニット（ジョブ／ジョブネット／ジョブグループ）を選択します。

   図 4-4　ユニットの選択




   次に手順 2 または手順 3 を実行します。

2. ［オプション］－［ツールの設定］メニューを選択する。

   ［ツールの設定］画面が表示されます。

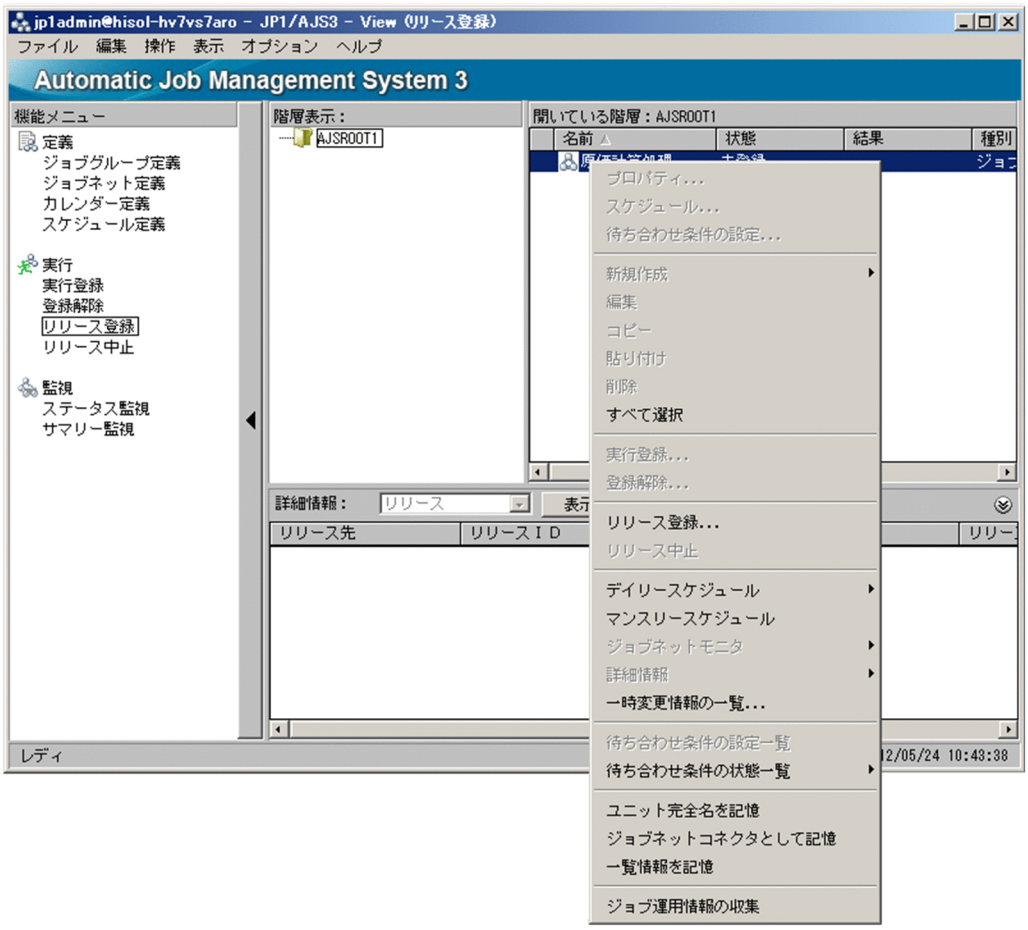
   図 4-5　［ツールの設定］画面

［ジョブ運用情報の収集］※を選択し［起動］ボタンを押すと，［ジョブ運用情報の収集］画面が表示されます。

3. ［JP1/AJS3 - View］画面でユニットを右クリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

図 4-6 ［ジョブ運用情報の収集］※の選択



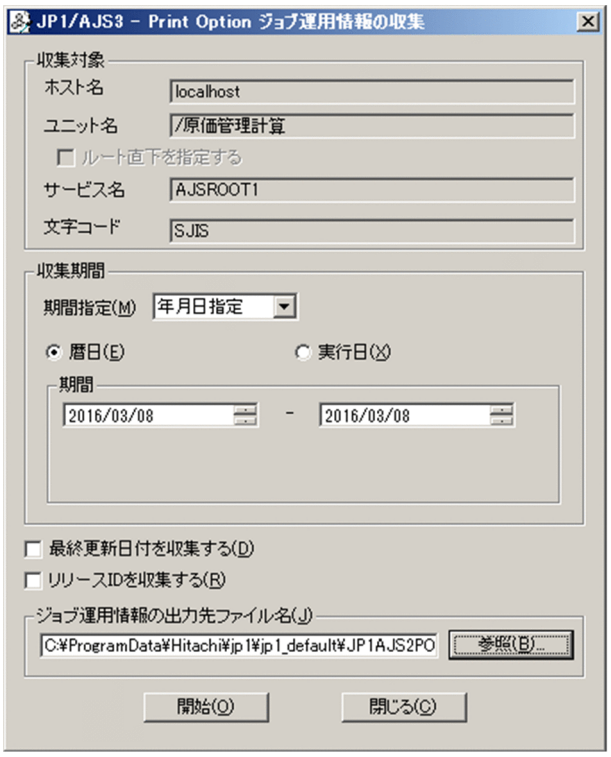

［ジョブ運用情報の収集］※を選択すると［ジョブ運用情報の収集］画面が表示されます。

注※

セットアップ時に，JP1/AJS3 - View の［ツールの登録］ダイアログに指定した登録名が表示されます。詳細については，「3.4.2　JP1/AJS3 - View の設定」を参照してください。

4. ［ジョブ運用情報の収集］画面で，収集したい情報の条件（収集期間など）と，ジョブ運用情報の出力先ファイル名を指定する。

図 4-7 ［ジョブ運用情報の収集］画面の指定例




5. [開始] ボタンを押す。

［開始］ボタンは，［ジョブ運用情報の出力先ファイル名］を指定すると，押せるようになります。［開始］ボタンを押すと，指定した出力先にジョブ運用情報ファイルが作成されます。また，出力したジョブ運用情報ファイルの内容で［ジョブ運用ドキュメント出力］画面が自動的に表示されます。

## 4.3　jprcollect コマンドでジョブ運用情報を収集

jprcollect コマンドで，ジョブ運用情報を収集する方法を次に示します。ジョブ運用情報収集時のオプションの説明，jprcollect コマンドの詳細な仕様は，「7.2　［ジョブ運用情報の収集］画面」，および「8.　コマンド」を参照してください。

＜ Windows の場合のコマンド実行例＞

```
jprcollect  -b 2003/03/21 -e 2003/04/20  /group1/net1  C:¥Temp¥file1
```

＜ UNIX の場合のコマンド実行例＞

```
jprcollect  -b 2003/03/21 -e 2003/04/20  /group1/net1  /tmp/file1
```

実行例のコマンドを実行すると，/group1/net1 のジョブネット運用情報を 2003 年 3 月 21 日から 2003 年 4 月 20 日までのスケジュール情報とともに収集します。収集した内容を file1.aoi ファイルに格納します。

# 5 ジョブ運用情報の転送

この章では，ジョブ運用情報の転送について説明します。

## 5.1　ジョブ運用情報の転送

JP1/AJS3 - Manager ホストで収集したジョブ運用情報（ジョブ運用情報ファイル）を，ジョブ運用情報をドキュメント出力するホスト（JP1/AJS3 - Print Option をインストールしたマシン）へ手動で転送する場合は，次の方法を参考にしてください。

＜ JP1/AJS3 - Manager ホストが Windows の場合＞

- Windows のエクスプローラでネットワークコンピュータ間でのコピー
- FD などの記憶媒体を使用して転送
- メールに添付して転送

＜ JP1/AJS3 - Manager ホストが UNIX の場合＞

- FTP コマンドで転送

ファイルの転送は，必ず ascii モードで転送してください。binary モードで転送すると，ジョブ運用ドキュメントの出力が正しく動作しません。

JP1/File Transmission Server/FTP を使用すると，ファイル転送の履歴管理や自動化が可能になります。

注意事項

業務情報の漏洩を防止するためには，セキュリティモードを設定した FTP などでファイル転送してください。

# 6 ジョブ運用情報のドキュメント出力

この章では，ジョブ運用情報のドキュメント出力について説明します。

## 6.1　ジョブ運用情報のドキュメント出力

JP1/AJS3 - Manager ホストで収集したジョブ運用情報（ジョブ運用情報ファイル）の転送が完了したら，ジョブ運用情報のドキュメント出力をするホスト（JP1/AJS3 - Print Option をインストールしたマシン）でドキュメントを出力します。

この章では，JP1/AJS3 - Print Option が提供するサンプルのジョブ運用情報ファイルを使用して操作方法を説明します。各画面の詳細な仕様は，「7.　画面」を参照してください。

注意

ジョブ運用情報のドキュメント出力を行う場合，JP1/AJS3 - Print Option を操作するユーザーが JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ下の全フォルダへ，書き込み可能な権限が必要です。

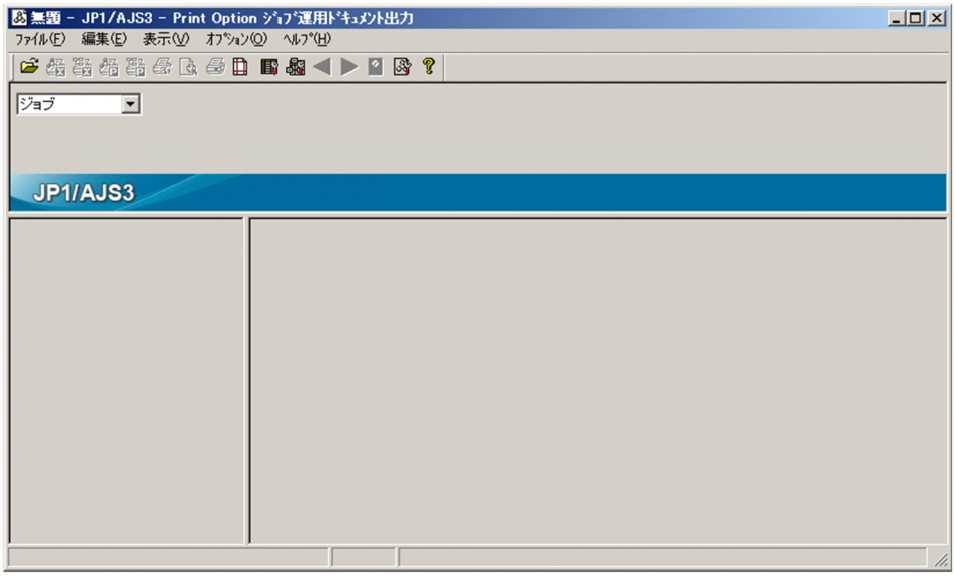
JP1/AJS3 - Print Option を操作する前に，インストール先フォルダ下のすべてのフォルダへ書き込み許可を与えてください。

## 6.2 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面を起動する

1. Windows の［スタート］メニューから，［プログラム］－［JP1_Automatic Job Management System 3 - Print Option］－［ジョブ運用ドキュメントの出力］メニューを選択する。

   ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面が表示されます。

   図 6-1　起動直後の［ジョブ運用ドキュメント出力］画面




2. ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で，［ファイル］－［開く］メニューを選択する。

   ［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面が表示されます。

   図 6-2　［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面

3. ［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面でジョブ運用情報ファイルを選択する。

   ここでは JP1/AJS3 - Print Option が提供するサンプルファイルを選択します。サンプルファイルは，「(JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ）¥Input¥SAMP.aoi」です。

4. ［開く］ボタンを押す。

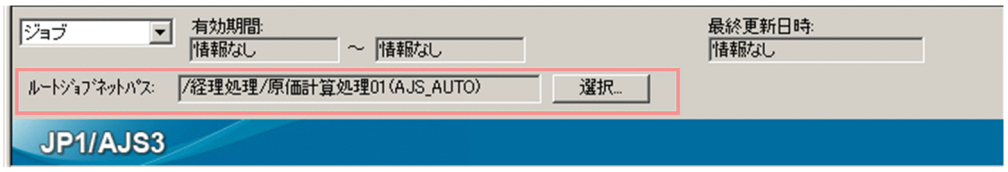
   ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に選択したジョブ運用情報ファイルの内容が表示されます。

図 6-3　ジョブ運用情報ファイルを開いたあとの［ジョブ運用ドキュメント出力］画面

注意

選択したジョブ運用情報ファイルにリリース ID の情報が含まれている場合，次の図のように，現在表示されているルートジョブネットのパスも帳票に関する情報として表示されます。

図 6-4　ルートジョブネットに関する情報




表示されているリリース ID 以外のルートジョブネットの内容を表示したいときは次の手順に従ってください。

1. ［選択］ボタンを押す。

   ［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面が表示されます。

   図 6-5　［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面

   画面内の［ジョブネット名］にリリース ID に対応したルートジョブネットパスの一覧が表示されます。

2. ［ジョブネット名］から内容を表示したいルートジョブネットを選択する。

3. [設定] ボタンを押す。

［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に選択したルートジョブネットの内容が表示されます。

リリース ID については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。

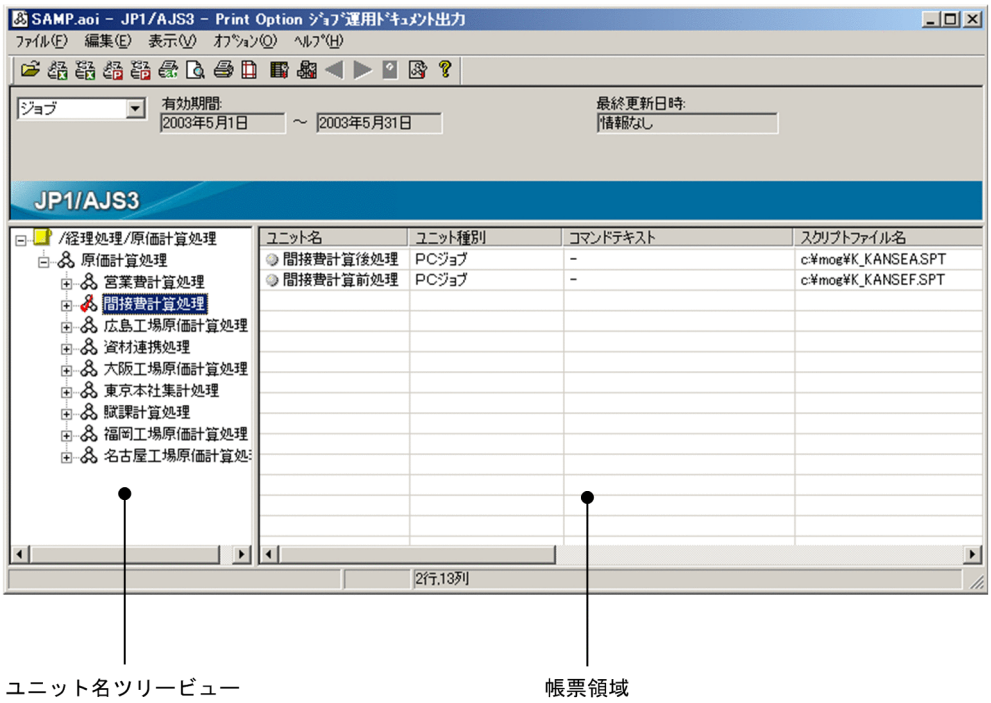
## 6.3　帳票を出力する

［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の左にある「ユニット名ツリービュー」に，選択したジョブ運用情報ファイルのユニット構成がツリー形式で表示されます。

ユニット名ツリービューで，ドキュメント出力したいユニットを選択します。選択したユニットの下位すべてが帳票の出力対象となります。

ここでは「間接費計算処理」を選択してください。「帳票領域」に帳票の出力イメージが表示されます。

図 6-6　帳票出力の対象を選択する




「帳票領域」に表示されている情報を，実際にプリンタに出力するときは，［ファイル］－［印刷］メニューを選択します。

出力できる帳票には次の制限値があります。

| | |
|---|---|
| 全体の行数 | 最大ユニット数分※1 |
| 全体の列項目数 | 最大 30 セル |
| セル内の総データ数 | 最大 32,000 バイト（改行記号などの自動生成される制御文字も含みます）※2 |
| セル内の行数 | 最大 2,000 行※2 |
| セル内の 1 データの文字数 | 最大 4,000 バイト（改行記号などの自動生成される制御文字も含みます）※3 |

注※1

最大ユニット数を超える場合，エラーメッセージを出力し帳票は表示されません。最大ユニット数は，［環境設定］画面で設定します。32,000～150,000 の範囲で変更できます。設定方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

注※2

セル内の総データ数が 32,000 バイトを超える場合，およびセル内のデータ行数（出力情報の世代数が複数の場合）が 2,000 行を超える場合，データの分割や収集方法を変更して運用してください。この制限を超える場合，帳票出力に多くのリソース（CPU やメモリ）を消費し処理に時間が掛かる場合があります。また，システムの資源量によってはすべての情報を出力できない場合もあります。（制限を超える可能性があるデータについては，「付録 A　サポート帳票列項目一覧」を参照ください）。

補足事項：

制限値を超過した場合は，ログファイル（(インストール先フォルダ名)¥Log¥ajs2po.log，または%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJSPO¥Log¥ajs2po.log）に制限を超過した要因と該当するユニット名，ユニット属性が出力されています。

注※3

セル内の 1 データの文字数（ 1 世代分の情報数）が 4,000 バイトを超える場合，そのデータは「×（文字が多すぎるため表示できません。)」と表示・印刷されます。

注意

メモリの使用状態によって，制限値が小さくなる場合があります。

帳票が用紙をはみ出す場合，セル単位で改ページします。

列幅を帳票領域より大きく設定すると，スクロールボックスがサイズいっぱいに設定される場合があります。ユニット名を表示する 1 列目は固定枠であるため，列幅が帳票領域よりも大きくなる場合には，スクロールバーが利用できなくなる場合があります。ただし，帳票のプレビューおよび印刷ドキュメントには影響ありません。

帳票を CSV 形式ファイルに保存することもできます。CSV 形式のファイルで保存するときは，［ファイル］－［CSV 保存］メニューを選択します。

ジョブ運用ドキュメントの出力で消費するメモリ量は，次の計算式によって求められます。

ただし，この計算式は余裕をもたせた目安として考えてください。

ユニット名の長さ，ユニットの階層の深さ，指定したユニットの位置，関連線の数，スケジュールルールの数など，ユーザー指定に依存する部分が多いため，実際のサイズとは誤差が生じる場合があります。

＜計算式＞

（ジョブ運用情報ファイルに存在する）定義ユニット数×５キロバイト

＋

（ジョブ運用情報ファイルに存在する）世代数×４キロバイト

＋

帳票領域に表示する行数×列数×１００バイト

＋

１２メガバイト

注意

- カーニングによる画面表示（印刷プレビュー）とのずれについて

  デバイスによってはカーニングが実行されるため文字列幅にずれが発生する場合があります。そのため印刷プレビューではカラム幅に文字列が収まっていても，印刷すると改行が発生することがあります。

- マシンスペックに余裕があっても，メモリ消費量が OS の 1 プロセスあたりに使用できるメモリ上限（2GB）に達した場合は，メモリ不足（KAVR0002-E）エラーとなります。

  その場合は，ジョブ運用情報ファイルを分割するために，次の(1)または(2)もしくは両方による運用をお願いします。

  (1) 収集するユニット数が小さくなるように，［ジョブ運用情報の収集］画面または jprcollect コマンドに指定するユニット名をより下位のものにする。

  (2) 収集するスケジュール量が小さくなるように，［ジョブ運用情報の収集］画面または jprcollect コマンドで指定する収集期間を短くする。

- 複数ユーザー運用を有効にしている場合，JP1/AJS3 - Print Option 1 プロセスが使用するメモリ所要量に使用するユーザー数を掛けた量が必要となります。

## 6.4　書式を変更する

帳票はさまざまな書式で出力できます。[ジョブ運用ドキュメント出力]画面の「書式コンボボックス」で書式を選択してください。

図 6-7　「書式コンボボックス」

書式コンボボックスの項目ごとに帳票の出力例と印刷例を次に示します。

図 6-8　【ユニット】書式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | 備考 |
|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | PCジョブ | - |
| 間接費計算前処理 | PCジョブ | - |

図 6-9　【ユニット】書式の帳票印刷例

| ユニット名 | ユニット種別 | 備考 |
|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | ジョブネット | - |
| ├(2) 間接費計算後処理 | ＰＣジョブ | - |
| └(2) 間接費計算前処理 | ＰＣジョブ | - |

図 6-10　【ジョブ】書式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | コマンドテキスト | スクリプトファイル名 |
|---|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | PCジョブ | - | c:¥mog¥K_KANSEA.SPT |
| 間接費計算前処理 | PCジョブ | - | c:¥mog¥K_KANSEF.SPT |

・・・

図 6-11　【ジョブ】書式の帳票印刷例

| ユニット名 | ユニット種別 | コマンドテキスト | スクリプトファイル名 | 実行打ち切り時間 | 実行ホスト名 | 実行ユーザー名 | 終了判定種別 | 警告終了のしきい値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | ジョブネット | - | - | - | - | - | - | - |
| ├(2) 間接費計算後処理 | ＰＣジョブ | - | c:¥mog¥K_KANSEA.SPT | - | - | - | しきい値による判定 | 1 |
| └(2) 間接費計算前処理 | ＰＣジョブ | - | c:¥mog¥K_KANSEF.SPT | - | - | - | しきい値による判定 | 1 |

・・・

図 6-12 【ネット】書式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | 実行開始日 | 実行開始時刻 | 開始遅延時刻 |
|---|---|---|---|---|
| 営業費計算処理 | ジョブネット | 1,実行登録日 | 1,<相対時刻>10:00 | - |
| 間接費計算処理 | ジョブネット | 1,月曜日 | 1-5,<相対時刻>10:00 | - |
| | | 2,火曜日 | | |
| | | 3,水曜日 | | |
| | | 4,木曜日 | | |
| | | 5,金曜日 | | |
| 広島工場原価計算処理 | ジョブネット | 1,月曜日 | 1-5,<相対時刻>10:00 | - |
| | | 2,火曜日 | | |
| | | 3,水曜日 | | |
| | | 4,木曜日 | | |
| | | 5,金曜日 | | |

…

⋮

図 6-13 【ネット】書式の帳票印刷例

| ユニット名 | ユニット種別 | 実行開始日 | 実行開始時刻 | 開始遅延時刻 |
|---|---|---|---|---|
| └(1) 原価計算処理 | ジョブネット | 1, 実行登録日 | 1, <相対時刻>13:14 | - |
| ├(2) 営業費計算処理 | ジョブネット | 1, 実行登録日 | 1, <相対時刻>10:00 | - |
| ├(2) 間接費計算処理 | ジョブネット | 1, 月曜日<br>2, 火曜日<br>3, 水曜日<br>4, 木曜日<br>5, 金曜日 | 1-5, <相対時刻>10:00 | - |
| ├(2) 広島工場原価計算処理 | ジョブネット | 1, 月曜日<br>2, 火曜日<br>3, 水曜日<br>4, 木曜日<br>5, 金曜日 | 1-5, <相対時刻>10:00 | - |

…

⋮

図 6-14 【順序関係】書式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | コメント | 実行順序関係 |
|---|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | PCジョブ | - | - |
| 間接費計算前処理 | PCジョブ | - | - |

図 6-15 【順序関係】書式の帳票印刷例

| ユニット名 | ユニット種別 | コメント | 実行順序関係 |
|---|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | ジョブネット | - | 先行ユニット＝間接費計算前処理，後続ユニット＝間接費計算後処理，<順接続> |
| ├(2) 間接費計算後処理 | ＰＣジョブ | - | - |
| └(2) 間接費計算前処理 | ＰＣジョブ | - | - |

図 6-16 【完全パス】書式の帳票出力例

| ユニット名 | 許可モード | JP1ユーザー名 | JP1資源グループ名 | ユニット種別 |
|---|---|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | - | jp1admin | - | PCジョブ |
| 間接費計算前処理 | - | jp1admin | - | PCジョブ |

図 6-17 【完全パス】書式の帳票印刷例

| ユニット名 | 許可モード | JP1ユーザー名 | JP1資源グループ名 | ユニット種別 | コメント |
|---|---|---|---|---|---|
| 間接費計算処理 | - | jp1admin | - | ジョブネット | - |
| 間接費計算処理/間接費計算後処理 | - | jp1admin | - | ＰＣジョブ | - |
| 間接費計算処理/間接費計算前処理 | - | jp1admin | - | ＰＣジョブ | - |

図 6-18 【月次予定】書式の帳票出力例

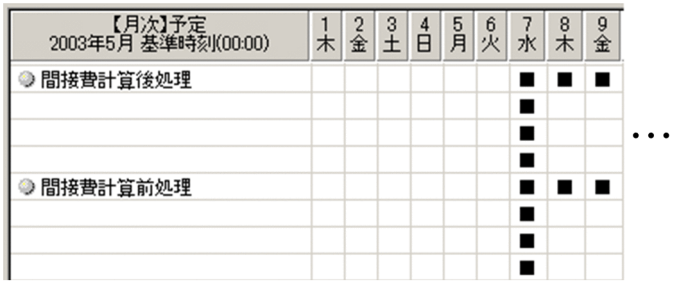



図 6-19 【月次予定】書式の帳票印刷例

図 6-20 【月次結果】書式の帳票出力例

図 6-21 【月次結果】書式の帳票印刷例

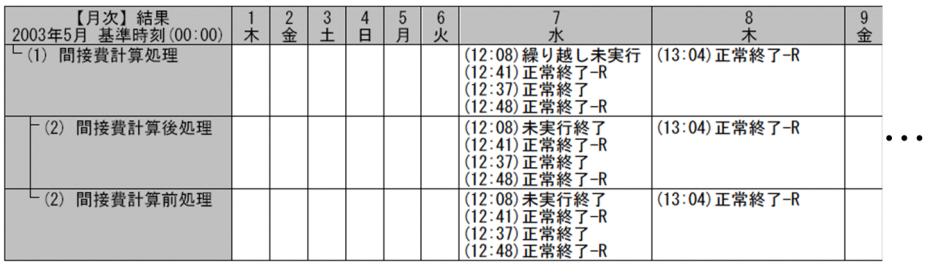



図 6-22 【日次予定】書式の帳票出力例

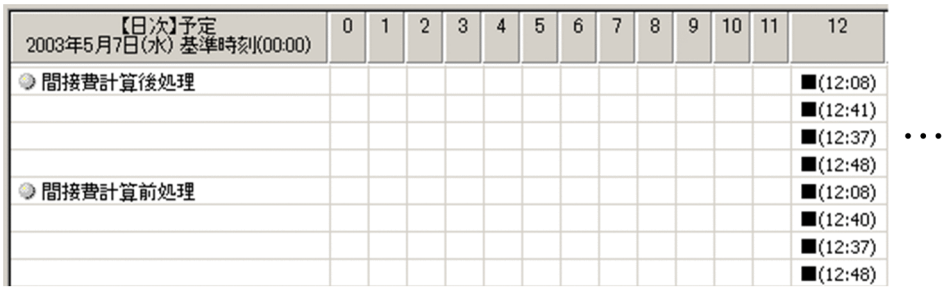


図 6-23 【日次予定】書式の帳票印刷例

| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08)<br>■(12:40)<br>■(12:37)<br>■(12:48) | |
| ├(2) 間接費計算後処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08)<br>■(12:41)<br>■(12:37)<br>■(12:48) | |
| └(2) 間接費計算前処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08)<br>■(12:40)<br>■(12:37)<br>■(12:48) | |

・・・

図 6-24 【日次結果】書式の帳票出力例

| 【日次】結果<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:41) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:37) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:48) |
| 間接費計算前処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:41) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:37) |
| | | | | | | | | | | | | | ●(12:48) |

・・・

図 6-25 【日次結果】書式の帳票印刷例

| 【日次】結果<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:41)<br>●(12:37)<br>●(12:48) | |
| ├(2) 間接費計算後処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:41)<br>●(12:37)<br>●(12:48) | |
| └(2) 間接費計算前処理 | | | | | | | | | | | | | ◇(12:08)<br>●(12:41)<br>●(12:37)<br>●(12:48) | |

・・・

図 6-26 【予実比較】書式の帳票出力例

| ユニット名 | ユニット種別 | 処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時 | 実行終了日時 |
|---|---|---|---|
| 間接費計算後処理 | PCジョブ | 2003/05/07 12:08 | 2003/05/07 12:08 |
| | | 2003/05/07 12:41 | 2003/05/07 12:41 |
| | | 2003/05/07 12:37 | 2003/05/07 12:37 |
| | | 2003/05/07 12:48 | 2003/05/07 12:48 |
| | | 2003/05/08 13:04 | 2003/05/08 13:04 |
| | | 2003/05/09 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/10 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/11 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/14 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/15 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/16 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/17 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/18 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/21 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/22 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/23 13:16 | ****/**/** **:** |

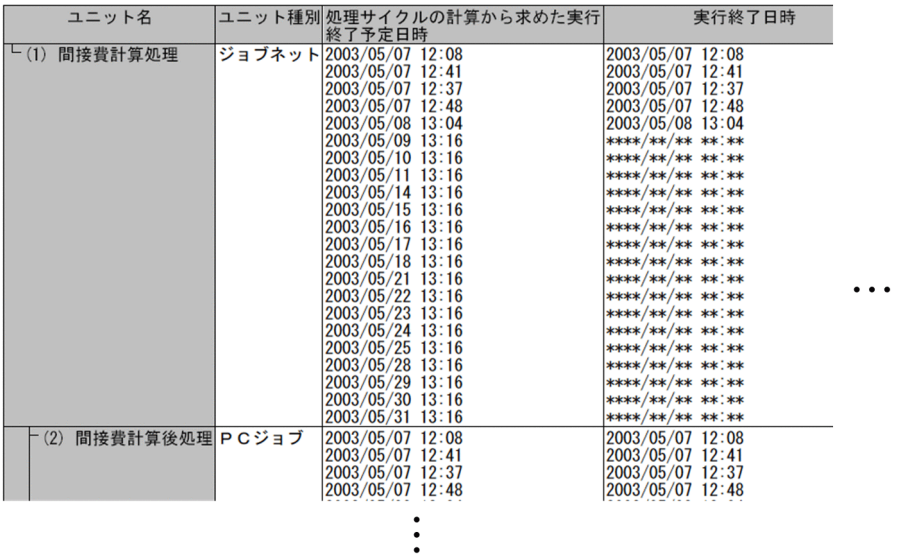
・・・

・・・

注※

実行済みジョブの場合，「処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時」列には，実際に実行を終了した日時が表示されます。

図 6-27 【予実比較】書式の帳票印刷例



| ユニット名 | ユニット種別 | 処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時 | 実行終了日時 |
|---|---|---|---|
| └(1) 間接費計算処理 | ジョブネット | 2003/05/07 12:08 | 2003/05/07 12:08 |
| | | 2003/05/07 12:41 | 2003/05/07 12:41 |
| | | 2003/05/07 12:37 | 2003/05/07 12:37 |
| | | 2003/05/07 12:48 | 2003/05/07 12:48 |
| | | 2003/05/08 13:04 | 2003/05/08 13:04 |
| | | 2003/05/09 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/10 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/11 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/14 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/15 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/16 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/17 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/18 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/21 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/22 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/23 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/24 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/25 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/28 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/29 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/30 13:16 | ****/**/** **:** |
| | | 2003/05/31 13:16 | ****/**/** **:** |
| ┣(2) 間接費計算後処理 | ＰＣジョブ | 2003/05/07 12:08 | 2003/05/07 12:08 |
| | | 2003/05/07 12:41 | 2003/05/07 12:41 |
| | | 2003/05/07 12:37 | 2003/05/07 12:37 |
| | | 2003/05/07 12:48 | 2003/05/07 12:48 |

帳票の各列の意味については，JP1/AJS3 関連のマニュアルを参照してください。

列の「備考」列は，当該製品が独自に付加した列です。月次と日次形式の帳票では，最終行に「備考」列が出力されます。リスト形式の帳票では，書式定義に従い「備考」列を任意の場所に出力できます。

## 6.5 任意の書式を定義する

任意の書式を定義できます。書式として次の項目を定義できます。

- 基本形式（月次／日次／リスト）

  月次

  　実行予定・結果情報を，1 セル内に 1 日当たりの情報を表記した 1 か月単位の帳票です。

  日次

  　実行予定・結果情報を，1 セル内に 1 時間当たりの情報を表記した 1 日単位の帳票です。

  リスト

  　定義，実行予定・結果情報の項目を，列単位に並べて表記した帳票です。
- 用紙設定
- ヘッダー，フッターのタイトル
- 帳票出力の対象とするユニット種別
- ユニット名の表示方法
- ユニット名列幅の最大値
- 列項目
- 列幅
- 基準時刻
- 帳票出力の対象とするユニットを指定したユニットの直下だけとするか
- 一つのセル内に複数行が存在するとき，重複行を統合表示するか
- 列ヘッダに文字すべてを使用するか
- ジョブ運用情報ファイルの収集日時を表示するか
- 日次帳票の時間軸の基点を基準時刻にするか
- 時刻を秒まで表示するか

定義した書式の内容は，書式定義ファイルに格納します。格納した書式定義ファイルを，書式コンボボックスに登録することで，その書式が使用できるようになります。

任意の書式の帳票を出力する操作方法を説明します。

1. **［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で，［編集］－［書式定義］メニューを選択する。**
   ［書式定義］画面が表示されます。

2. **［書式定義］画面で，書式の内容を定義する。**

3. **［登録］ボタンを押す。**
   定義した内容を書式定義ファイルにして任意の場所に格納できます。

図 6-28 ［書式定義］画面

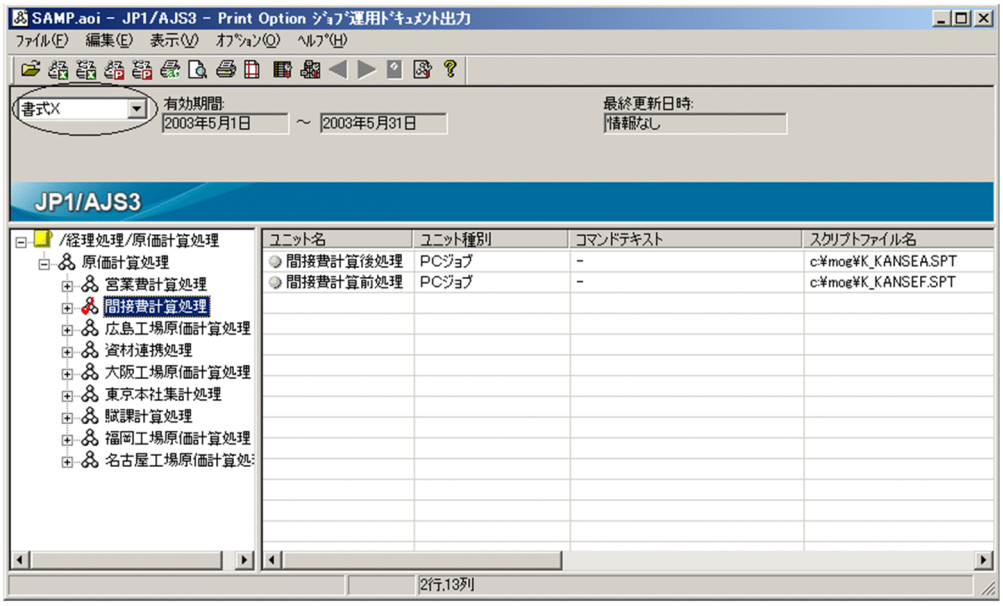
4. ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で，［オプション］－［環境設定］メニューを選択する。

   ［環境設定］画面が表示されます。

5. ［環境設定］画面で，［書式定義］欄の［参照］ボタンを押したあと表示したい書式定義ファイルが格納されているフォルダに変更する。

フォルダを変更後，［表示］－［最新の状態に更新］メニューを選択すると，書式コンボボックスの表示項目は，変更した書式定義フォルダに格納されている書式定義内容に変更されます。書式コンボボックスの各項目を選択すれば，作成した書式で帳票の出力イメージが表示されます。

図 6-29　作成した書式の適用



## 6.6　用紙を設定する

出力する帳票の用紙を設定できます。最大 5 個の用紙設定を定義しておくことができます。

用紙設定では，次の項目を設定できます。

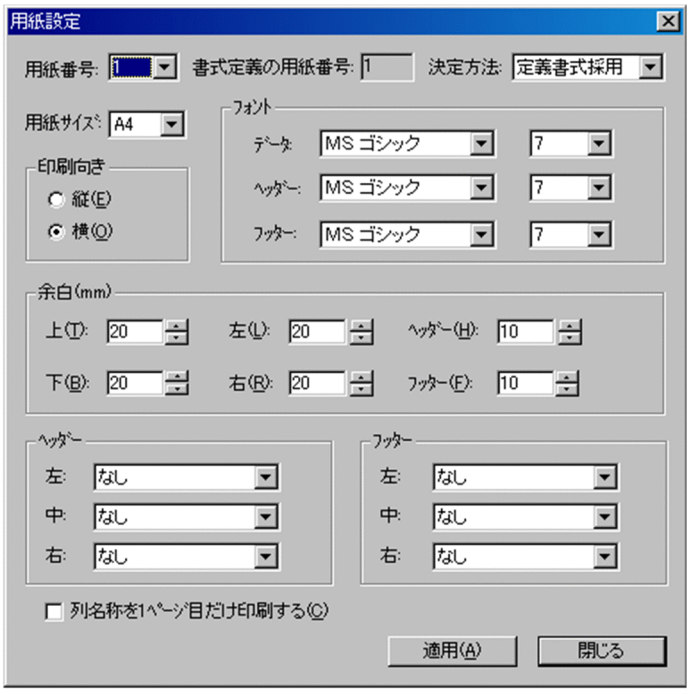
- 用紙サイズ
- 印刷向き
- データのフォント
- ヘッダーのフォント
- フッターのフォント
- 余白
- ヘッダーの位置と表示内容
- フッターの位置と表示内容
- 列名称を 1 ページ目だけ印刷するか

用紙設定は，プリンタによっては有効とならない項目がありますので，注意してください。

用紙設定の操作方法を説明します。

1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面で，[編集] － [用紙設定] メニューを選択する。
   [用紙設定] 画面が表示されます。

   図 6-30　[用紙設定] 画面




2. [用紙設定] 画面で，用紙番号を選択する。

ここで選択した用紙番号で，設定した内容が保持されます。用紙設定は最大 5 個の設定内容を保持しておくことができます。

3. 用紙の各種条件（用紙サイズ，印刷向きなど）を設定する。

4. [適用] ボタンを押す。

[決定方法] の指定は，すべての用紙番号に対して有効となります。用紙番号ごとに設定できる情報ではありません。[決定方法] で「定義書式採用」を選択した場合は，[書式定義] 画面の [用紙番号] の指定値が採用されます。[決定方法] で「常に 1」を選択した場合は，[書式定義] 画面の [用紙番号] の指定値は無視され，常に用紙番号 1 の設定が採用されます。

マップ形式およびフロー形式の帳票の用紙設定は，Microsoft Excel で設定してください。

## 6.7　期間を変更する

書式の基本形式が「月次」か「日次」である帳票は，期間を変更することで，その表示範囲を変更できます。

表示範囲変更の操作方法を説明します。

1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面で，書式の基本形式が「月次」か「日次」の書式コンボボックスを選択して，帳票を表示する。

2. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面で，[表示] － [表示範囲の変更] の各メニューを選択する。

＜翌月または翌日に表示範囲を変更したい場合＞

[翌月または翌日] を選択します。

選択すると，表示されている日付の翌月または翌日に変更されます。

1 か月後の日付が有効期限よりあとになる場合は，有効期限の終了日に変更されます。

＜前月または前日に表示範囲を変更したい場合＞

[前月または前日] を選択します。

選択すると，表示されている日付の前月または前日に変更されます。

1 か月前の日付が有効期限より前になる場合は，有効期限の開始日に変更されます。

＜指定した日付に表示範囲を変更したい場合＞

[指定日付] を選択します。

選択すると，[表示範囲の変更] 画面が表示されます。

図 6-31　[表示範囲の変更] 画面

カレンダーから表示する日を選択し，[OK] ボタンを押します。

帳票は，ここで変更した期間分の表示範囲で出力されます。

なお，印刷範囲の変更は [印刷] 画面で設定します。

## 6.8　定義内容をマップ形式で出力する

ジョブネットの定義内容をマップ形式で出力できます。

JP1/AJS3 - View のジョブネットエディタと同じ概観で，Microsoft Excel にジョブネットの定義内容を表示したり，PDF ファイルとして出力したりします。その表示内容は，Microsoft Excel または PDF ファイルの閲覧プログラムの印刷機能を使用して帳票に印刷できます。

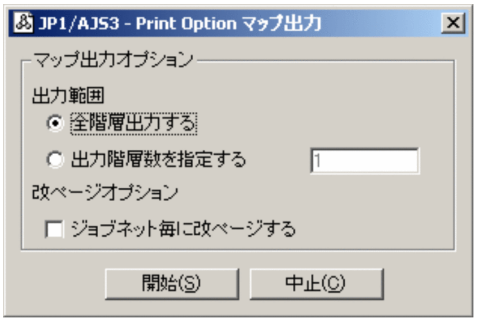
- ジョブネットの定義内容をグラフィカルな帳票にできます。
- Microsoft Excel の印刷機能を使用すると，柔軟な印刷設定が可能です。例えば，印刷の向き，余白設定，ヘッダー／フッターの設定などができます。
- ジョブネットの定義内容が Microsoft Excel に出力されるので，出力結果をユーザーが任意かつ容易に加工できます。

### 6.8.1　定義内容をマップ形式で Microsoft Excel に出力する手順

ジョブネットの定義内容をマップ形式で Microsoft Excel に出力する操作方法を説明します。

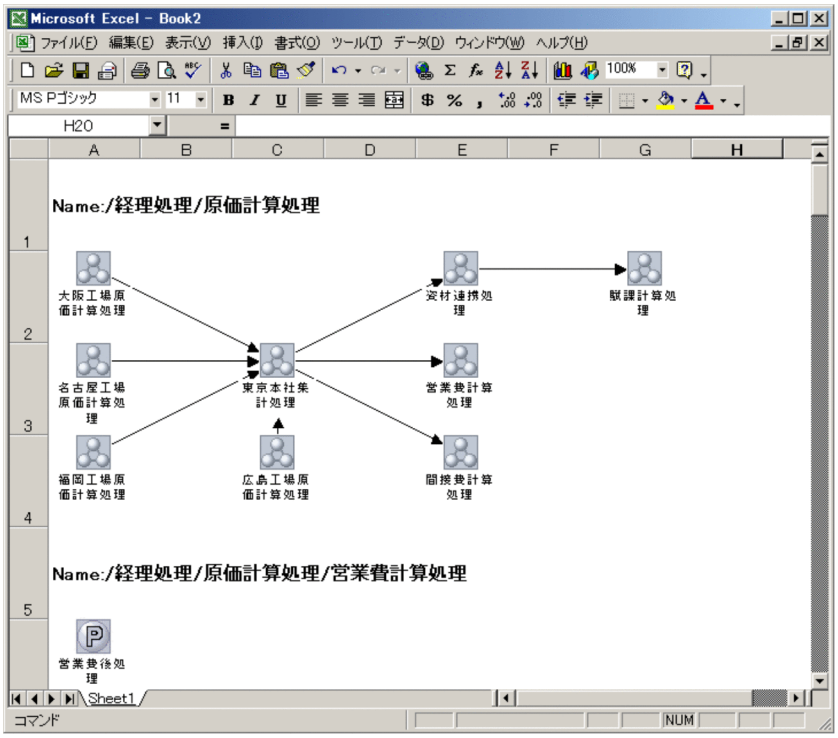
1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面のユニット名ツリービューで印刷したいジョブネットを選択する。
2. [ファイル] － [マップ出力] メニューを選択する。
   [マップ出力] 画面が表示されます。

   図 6-32　[マップ出力] 画面




3. [開始] ボタンを押す。
   Microsoft Excel にジョブネットの定義内容が表示されます。

図 6-33　Microsoft Excel の表示例




4. Microsoft Excel の印刷機能を使用してジョブネットの定義内容を印刷する。

## 6.8.2　定義内容をマップ形式で PDF ファイルとして出力する手順

ジョブネットの定義内容をマップ形式で PDF ファイルとして出力する操作方法を説明します。

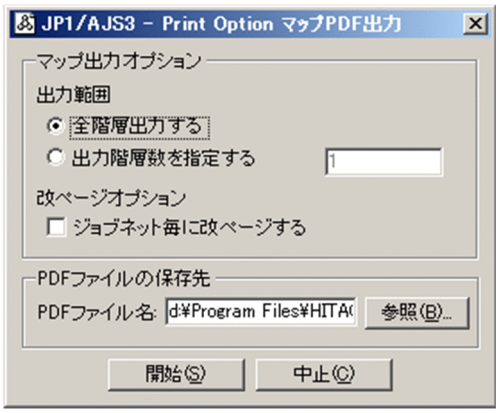
注意事項

- マップ PDF 出力は，Microsoft Excel 2010 以降をインストールしている場合に使用できます。
- PDF ファイルの保存先に，「C:¥Program Files」などのインストール先フォルダ以下のフォルダを指定すると，仮想フォルダにリダイレクトして出力されます。
- 出力するジョブ数が多い場合，PDF 変換に時間が掛かります。ジョブ数が多い場合は，分割して出力してください。

1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面のユニット名ツリービューで印刷したいジョブネットを選択する。

2. [ファイル] － [マップ PDF 出力] メニューを選択する。
   [マップ PDF 出力] 画面が表示されます。

図 6-34 ［マップ PDF 出力］画面

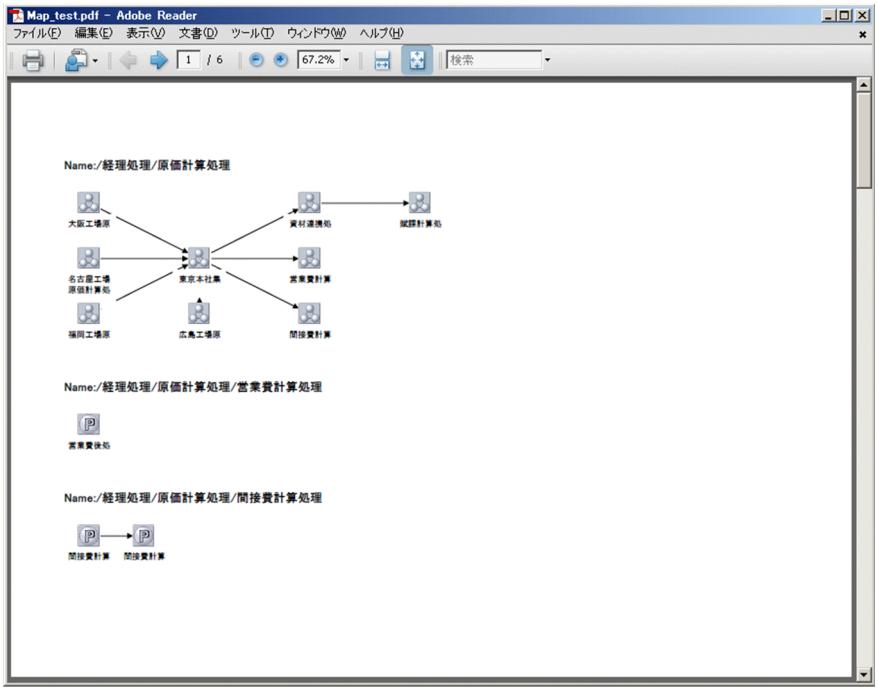



3. 必要に応じて「PDF ファイルの保存先」を変更する。

4. [開始] ボタンを押す。

「PDF ファイルの保存先」に指定した保存先に PDF ファイルが出力されます。

図 6-35 PDF ファイルの出力例




5. PDF ファイルの閲覧プログラムの印刷機能を使用して，ジョブネットの定義内容を印刷する。

## 6.9 ジョブネットフロー書式定義

ジョブネットの定義内容をフロー形式で出力する時に使用する書式をユニット種別単位に定義できます。ジョブネットフロー出力では，ユニット名＋書式で指定した項目を表の形式で出力します。表の形式は，1 列と 2 列のどちらかを選択できます。デフォルトは 1 列です。

表の形式が 1 列の場合の出力形式の例を次に示します。

図 6-36　ジョブネットフロー出力例 1

ジョブネットフロー出力では，ユニット種別ごとに出力項目を定義できます。項目数は最大 20 個まで選択できます。

出力結果の形式は，ユニット種別ごとに定義してある項目数の最大値で固定されます。

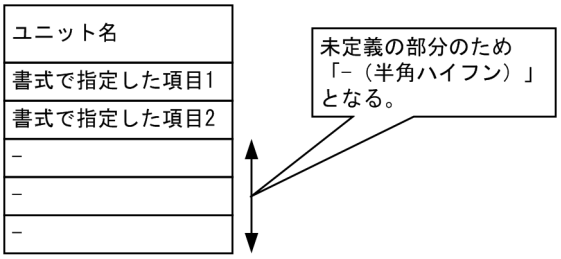
出力項目が未定義の部分（次に示す例では下 3 段が相当します）は，「-（半角ハイフン）」となります。

例

1. ユニット種別ジョブネットに項目を五つ設定してある。
2. ユニット種別 UNIX/PC ジョブで三つの項目を設定してある。
3. ジョブネットフローを出力する。

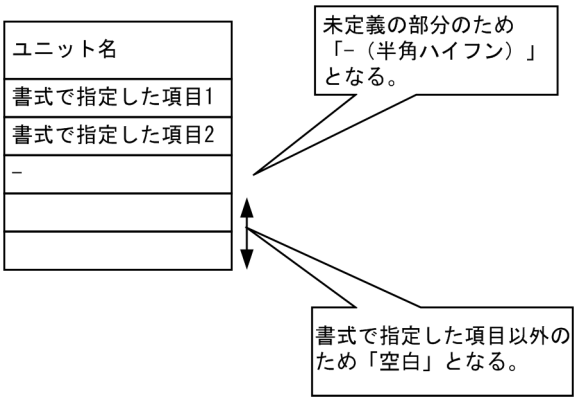
この例の場合，項目数の最大値は 5 となります。ジョブネットの出力形式を次に示します。

図 6-37　ジョブネットフロー出力例 2（ジョブネットの場合）



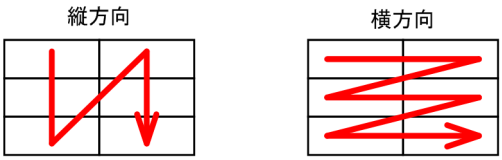

UNIX/PC ジョブの場合，設定した項目は三つですが，項目数の最大値に合わせてセルの数が五つになります。UNIX/PC ジョブの出力形式を次に示します。

図 6-38　ジョブネットフロー出力例 3（UNIX/PC ジョブの場合）




出力項目が未定義の部分（前に示した例では下から 3 段目が相当します）は，「-（半角ハイフン)」となります。書式で指定した項目以外の二つのセル（前に示した例では下 2 段が相当します）は「空白」となります。

表の形式が 2 列の場合は，出力方向を選択できます。出力方向は，縦方向と横方向のどちらかを選択できます。デフォルトは縦方向です。




表の形式が 2 列の場合の出力形式の例を次に示します。

- 項目数が 5，表の形式が 2 列，出力方向が横方向の場合

  図 6-39　ジョブネットフロー出力例 4

| | |
|---|---|
| ユニット名 | 書式で指定した項目1 |
| 書式で指定した項目2 | 書式で指定した項目3 |
| 書式で指定した項目4 | 書式で指定した項目5 |

- 項目数が 6，表の形式が 2 列，出力方向が縦方向の場合

  図 6-40　ジョブネットフロー出力例 5

| | |
|---|---|
| ユニット名 | 書式で指定した項目4 |
| 書式で指定した項目1 | 書式で指定した項目5 |
| 書式で指定した項目2 | 書式で指定した項目6 |
| 書式で指定した項目3 | |

  項目数が偶数の場合，最後のセルは「空白」となります。

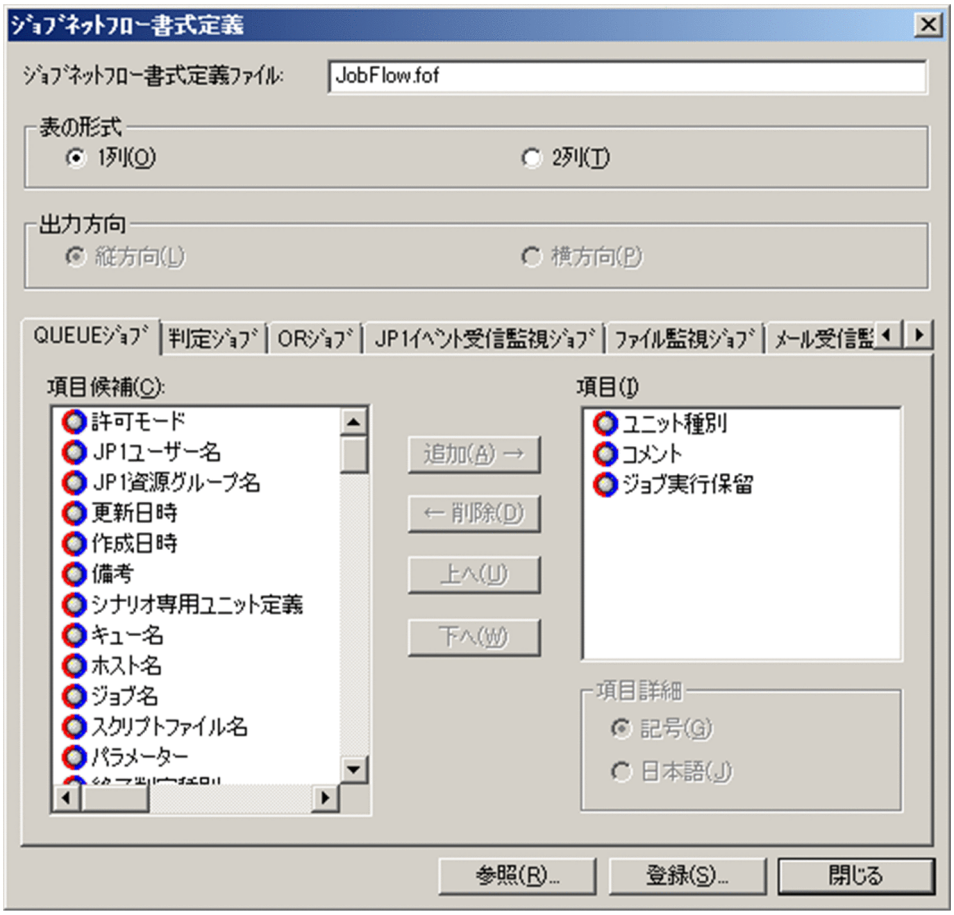
  ［環境設定］画面でジョブネットフロー出力の凡例表示をする設定をしている場合，ユニット種別ごとにユニット名＋ジョブネットフロー書式定義で指定した項目名を 1 ページ目の先頭に出力します。セルの数は定義してある項目数の最大値で，出力形式や出力方向は書式定義に従います。

ジョブネットフロー書式定義でユニット種別を指定しておくと，凡例のユニット種別とデータのユニット種別を関連づけることができます。

ジョブネットフローの書式を定義する操作方法を説明します。

1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面で，[編集] − [ジョブネットフロー書式定義] メニューを選択する。
   [ジョブネットフロー書式定義] 画面が表示されます。
2. [ジョブネットフロー書式定義] 画面で，ジョブネットフロー書式の内容を定義する。
3. 定義が完了したら，[登録] ボタンを押す。
4. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面で，[オプション] − [環境設定] メニューを選択する。
   [環境設定] 画面が表示されます。
5. [環境設定] 画面の [ジョブネットフロー書式定義] 欄で [参照] ボタンを押し，設定したいジョブネットフロー書式定義ファイルを変更する。
   作成したジョブネットフロー書式定義ファイルを，ジョブネットフロー出力時の定義内容として設定します。

図 6-41 [ジョブネットフロー書式定義] 画面




設定可能な項目については，「付録 A　サポート帳票列項目一覧」を参照してください。

## 6.10　ジョブネットフロー形式で出力する

ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー形式で出力できます。

ジョブネットフロー書式定義で定義した内容に従って，Microsoft Excel にジョブネットの定義内容を表示したり，PDF ファイルとして出力したりします。その表示内容は，Microsoft Excel または PDF ファイルの閲覧プログラムの印刷機能を使用して帳票に印刷できます。

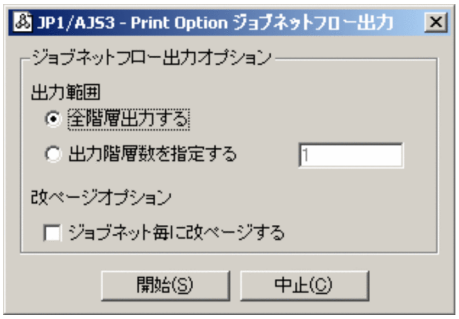
### 6.10.1　ジョブネットフロー形式で Microsoft Excel に出力する

ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー形式で Microsoft Excel に出力する操作方法を説明します。

1. [ジョブ運用ドキュメント出力] 画面のユニット名ツリービューで印刷したいジョブネットを選択する。

2. [ファイル] － [ジョブネットフロー出力] メニューを選択する。
   [ジョブネットフロー出力] 画面が表示されます。

   図 6-42　[ジョブネットフロー出力] 画面




3. [開始] ボタンを押す。
   Microsoft Excel にジョブネットの定義内容が表示されます。

   図 6-43　Microsoft Excel の表示例（表の形式が 1 列の場合）

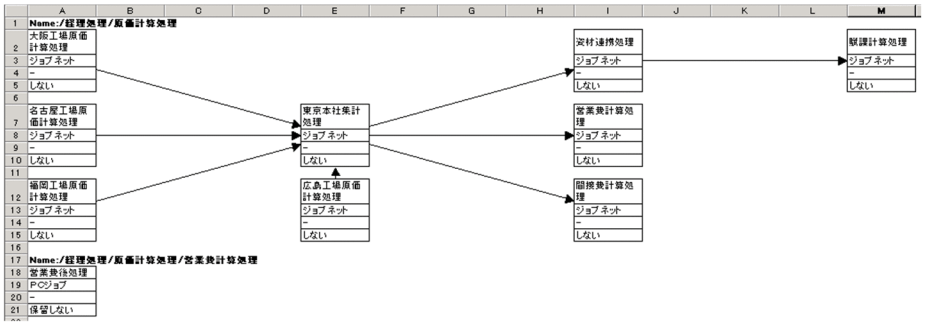
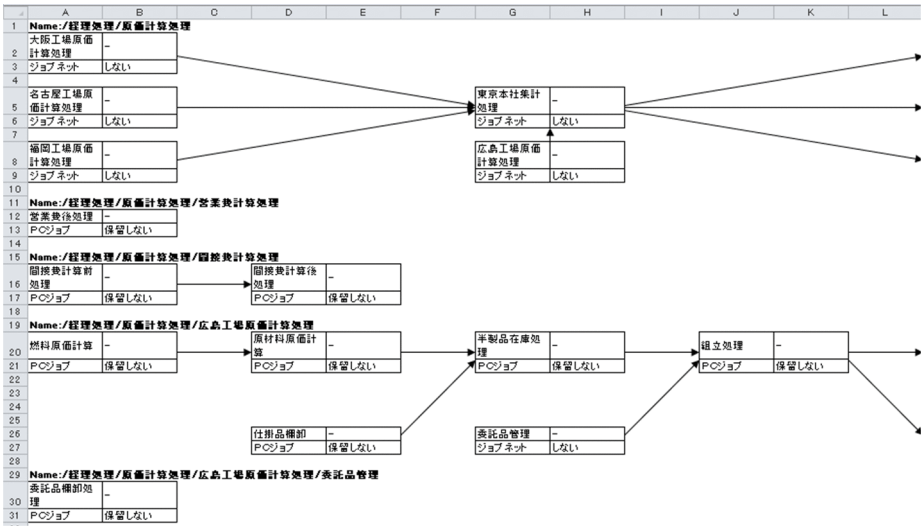


図 6-44　Microsoft Excel の表示例（表の形式が 2 列の場合）




Microsoft Excel の印刷機能を使用してジョブネットの定義内容を印刷してください。

## 6.10.2　ジョブネットフロー形式で PDF ファイルとして出力する

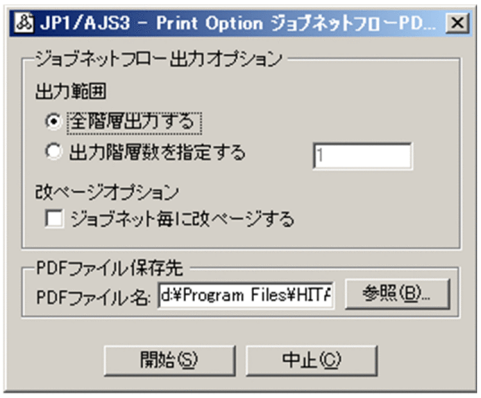
ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー形式で PDF ファイルとして出力する操作方法を説明します。

注意事項

- ジョブネットフロー PDF 出力は，Microsoft Excel 2010 以降をインストールしている場合に使用できます。
- PDF ファイルの保存先に，「C:¥Program Files」などのインストール先フォルダ以下のフォルダを指定すると，仮想フォルダにリダイレクトして出力されます。
- 出力するジョブ数が多い場合，PDF 変換に時間が掛かります。ジョブ数が多い場合は，分割して出力してください。

1. ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のユニット名ツリービューで印刷したいジョブネットを選択する。
2. ［ファイル］－［ジョブネットフロー PDF 出力］メニューを選択する。
   ［ジョブネットフロー PDF 出力］画面が表示されます。

図 6-45　［ジョブネットフロー PDF 出力］画面




3. 必要に応じて「PDF ファイル保存先」を変更する。

4. ［開始］ボタンを押す。

「PDF ファイル保存先」に指定した保存先に PDF ファイルが出力されます。

図 6-46　PDF ファイルの出力例（表の形式が 1 列の場合）

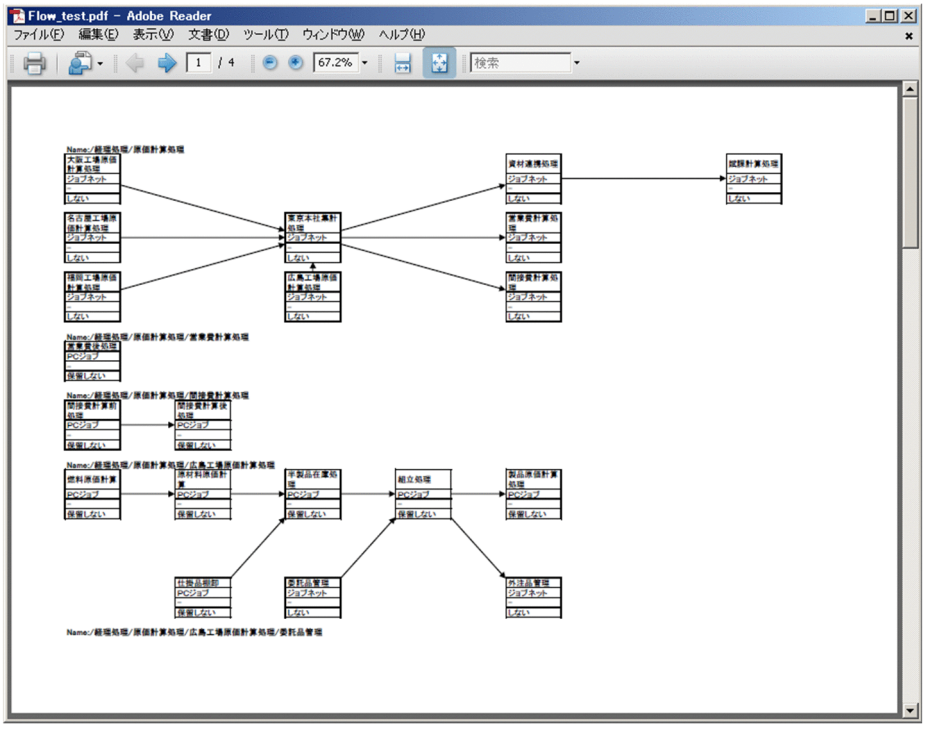
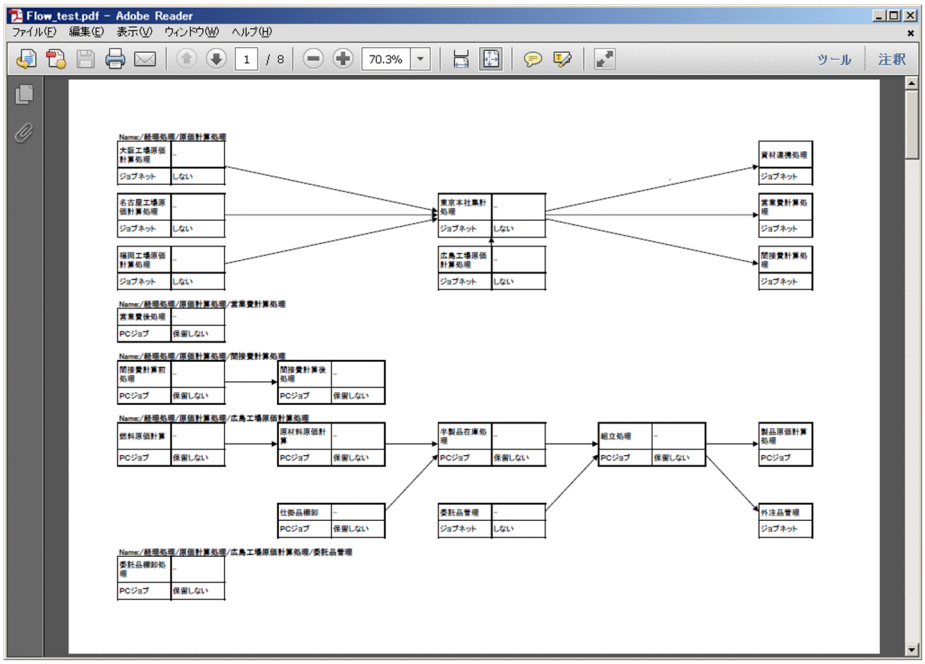


図 6-47　PDF ファイルの出力例（表の形式が 2 列の場合）




5. PDF ファイルの閲覧プログラムの印刷機能を使用して，ジョブネットの定義内容を印刷する。

## 6.11　jprprint コマンドでジョブ運用情報を出力する

jprprint コマンドで，ジョブ運用情報を出力できます。

jprprint コマンドの詳細な仕様は，「8.　コマンド」を参照してください。

＜コマンド実行例＞

```
jprprint  C:¥JP1AJS2PO¥Input¥SAMP.aoi C:¥JP1AJS2PO¥Format¥ユニット.jof
```

上記のコマンドを実行すると，ジョブ運用ファイル：C:¥JP1AJS2PO¥Input¥SAMP.aoi の情報を書式定義ファイル：C:¥JP1AJS2PO¥Format¥ユニット.jof の定義内容に従って通常使うプリンタに出力します。

# 7 画面

この章では，JP1/AJS3 - Print Option の表示項目，および定義項目について説明します。

# 7.1 画面遷移

JP1/AJS3 - Print Option の画面遷移を次に示します。

## 図 7-1 JP1/AJS3 - Print Option Manager（Windows 版）の画面遷移

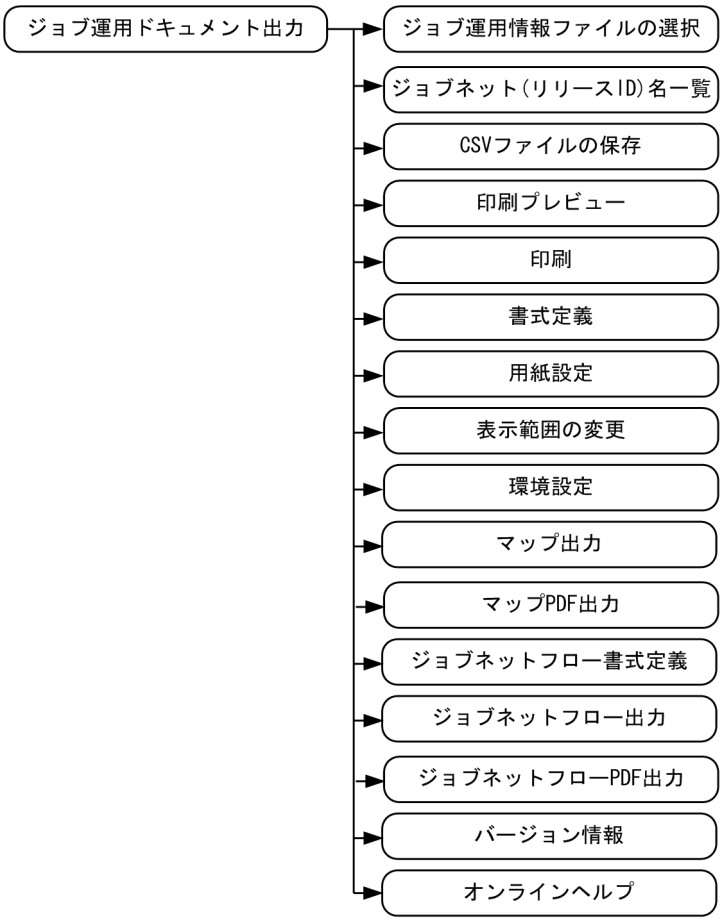
●Windowsの［スタート］メニューから表示する場合

ジョブ運用情報の収集

● ［JP1/AJS3 - View］画面から表示する場合

JP1/AJS3 - View ― ジョブ運用情報の収集

## 図 7-2 JP1/AJS3 - Print Option（Windows 版）の画面遷移



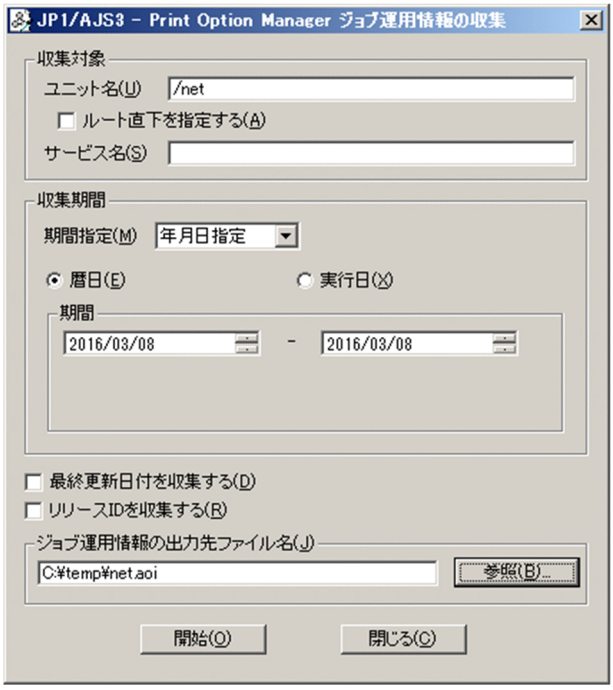
## 7.2 ［ジョブ運用情報の収集］画面

画面および設定は Windows 版（GUI）の説明となっていますが，各種機能や動作，利用方法については jprcollect コマンドと同様となります。ご使用に当たり，「8. コマンド」の jprcollect コマンドについてもご参照ください。

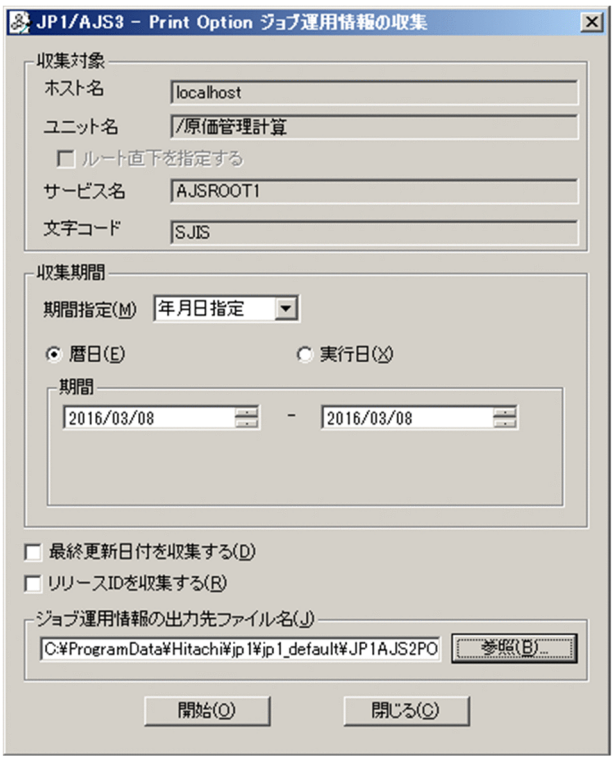
JP1/AJS からジョブ運用情報を収集して，ジョブ運用情報ファイルを生成します。

## 図 7-3 ［ジョブ運用情報の収集］画面

●Windowsの［スタート］メニューから表示する場合




●［JP1/AJS3 - View］画面から表示する場合




［ジョブ運用情報の収集］画面の表示項目を次に示します。

ホスト名

接続先ホスト名が表示されます。

［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合にだけ非活性で表示されます。

ユニット名

収集するジョブ運用情報のユニット名を指定します。ここで指定したユニット以下のすべてのユニット情報が収集対象となります。この指定は省略できません。

総称名（「*」や「?」）は指定できません。

ユニット名に複数個の名称を指定しないでください。ジョブ運用ドキュメントの出力でエラーとなります。［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合は非活性になります。

ユニット名に次の記号を含むユニットを選択して，［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面は表示できません。

" & ' * < > ? [ ¥ ] ^ ` { ¦ } ~ $

ルート直下を指定する

ここをチェックした場合，［ユニット名］にルートジョブグループ名を指定できます。

チェックをしない場合，［ユニット名］にルートジョブグループ名は指定できません。

［ルート直下を指定する］をチェックして［ユニット名］にルートジョブグループ名を指定するとルート直下からすべてのユニット情報を収集できます。

［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合は非活性になります。

サービス名

JP1/AJS のスケジューラーサービス名を指定します。この指定は省略できます。省略時は，JP1/AJS で設定されたスケジューラーサービス名が設定されます。

［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合は非活性になります。

文字コード

ユニットが属するスケジューラーサービスに設定されている文字コードが表示されます。

［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合にだけ非活性で表示されます。

収集期間

実行予定・結果情報の収集期間の指定方法とその期間の値を指定します。収集期間の範囲は，収集開始日の基準時刻から，収集終了日の基準時刻に 23 時間 59 分 59 秒を加えた時刻までです。

期間指定

期間の指定方法を，年月日指定，月次指定，相対月指定または，指定しないの四つの項目から一つ選択します。初期状態では年月日指定が選択されます。

また，期間の基準を暦日または実行日から選択します。初期状態では暦日が選択されます。

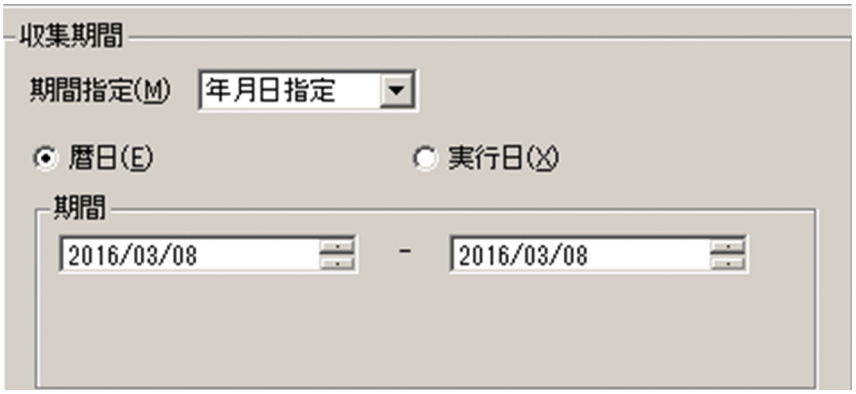
ただし，実行日を指定して収集できるのは，JP1/AJS3 - Print Option Manager 11-10 以降の場合だけです。

年月日指定

期間に実行予定・結果情報の収集期間を開始日と終了日で指定する場合に選択します。

この項目を指定すると［期間］グループを次のように表示します。

初期状態では開始日と終了日が［ジョブ運用情報の収集］画面を表示した日になります。




期間

実行予定・結果情報の収集期間を開始日と終了日で指定します。

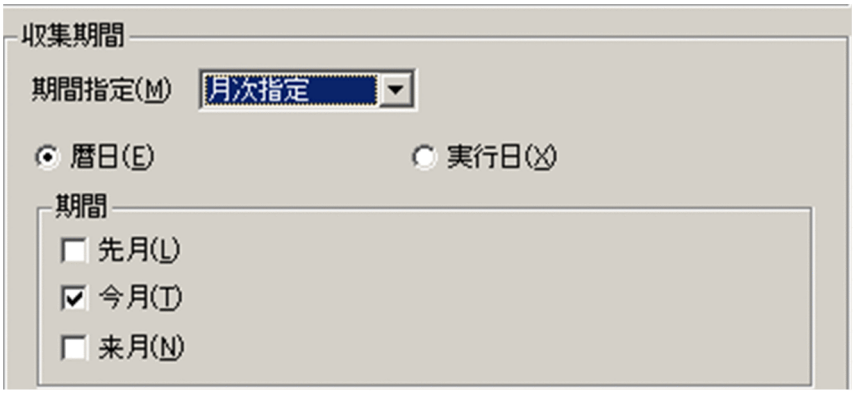
収集できる期間の下限は 1994 年 1 月 1 日，上限は 2036 年 12 月 31 日です。

月次指定

実行予定・結果情報の収集期間を月次で指定する場合に選択します。

この項目を指定すると［期間］グループを次のように表示します。

初期状態では［今月］にチェックが入ります。




期間

実行予定・結果情報を収集する期間を［先月］［今月］［来月］をチェックして指定します。

各月の一日から末日までが，実行予定・結果情報を収集する期間となります。

［先月］と［来月］だけにチェックをした場合，［開始］ボタンは押せません。

- 先月

  チェックした場合，先月分の実行予定・結果情報を収集します。

- 今月

  チェックした場合，今月分の実行予定・結果情報を収集します。

- 来月

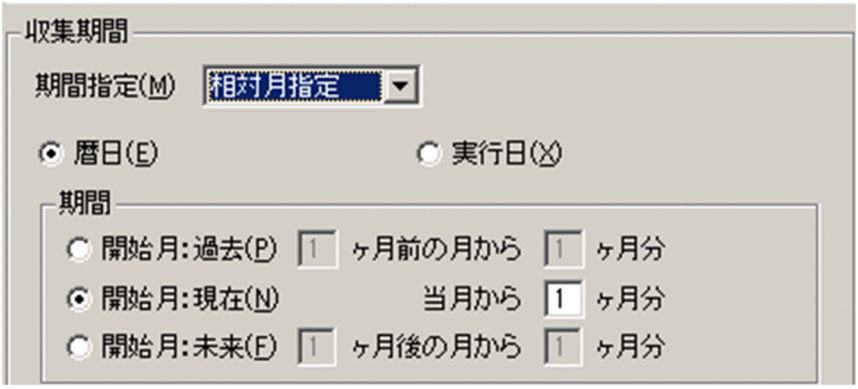
  チェックした場合，来月分の実行予定・結果情報を収集します。

相対月指定

実行予定・結果情報の収集期間を相対月で指定する場合に選択します。

この項目を指定すると［期間］グループを次のように表示します。

初期状態では「開始月：現在」が選択されます。




期間

実行予定・結果情報を収集する期間を開始月と月数で指定します。

開始月とは，実行予定・結果情報を収集する期間の始点となる月になります。開始月は［過去］［現在］［未来］から選択します。

開始月の月の一日から指定した月数分の実行予定・結果情報を収集します。

- 開始月：過去

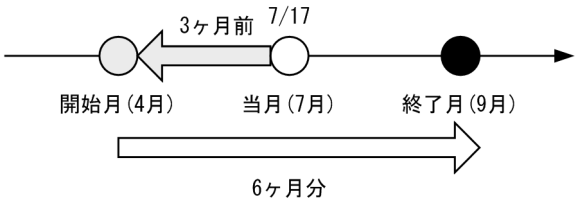
  当月以前の月を開始月とします。当月より何か月前の月から何か月分の実行予定・結果情報を収集するのかを数値で指定します。

  開始月および月数に指定できる値は，それぞれ 1～6 です。

  これらの指定は省略できません。

  例

  7 月 17 日に［過去 3 ヶ月前の月から 6 ヶ月分］を指定した場合




  4 月 1 日から 9 月 30 日までの実行予定・結果情報を収集します。

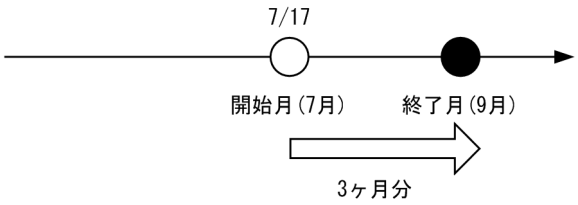
- 開始月：現在

  当月を開始月とします。当月から何か月分の実行予定・結果情報を収集するのかを数値で指定します。

  月数に指定できる値は，1～6 です。この指定は省略できません。

  例

  7 月 17 日に［現在 当月から 3 ヶ月分］を指定した場合




7 月 1 日から 9 月 30 日までの実行予定・結果情報を収集します。

- 開始月：未来

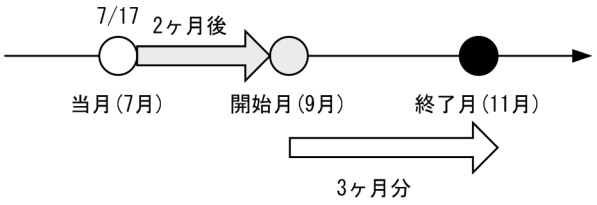
  当月以後の月を開始月とします。当月より何か月後の月から何か月分の実行予定・結果情報を収集するのかを数値で指定します。

  開始月および月数に指定できる値は，それぞれ 1～6 です。

  これらの指定は省略できません。

  例

  7 月 17 日に［未来 2 ヶ月後の月から 3 ヶ月分］を指定した場合




  9 月 1 日から 11 月 30 日までの実行予定・結果情報を収集します。

指定しない

実行予定・結果情報を収集しない場合に選択します。

最終更新日時を収集する

ここをチェックした場合，指定したユニットの下位を含めた最終更新日時を収集できます。ただし，最終更新日時を収集できるのは，JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降の場合だけです。

チェックをしない場合，最終更新日時は収集しません。

リリース ID を収集する

ここをチェックした場合，指定したユニットにジョブネットリリース機能を使用した登録情報が含まれていると，リリース ID ごとにジョブネットの情報を収集します。複数リリース登録されている場合は，登録されているすべてのリリース ID の情報が出力されます。ただし，リリース ID ごとの情報を収集できるのは，JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 09-00-04 以降の場合だけです。

ジョブネットリリース機能については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。

ジョブ運用情報の出力先ファイル名

収集したジョブ運用情報を格納する，ジョブ運用情報ファイル名を指定します。この指定は省略できません。

［JP1/AJS3 - View］画面からこの画面を表示した場合は，デフォルトファイル名（**［環境設定］画面の［View 連携時のジョブ運用情報ファイルの出力先］に指定したフォルダパス¥この画面を表示した日時**（YYYYMMDDhhmmss※の形式）.aoi）が表示されます。

注※

YYYY：西暦年，MM：月（01～12），DD：日（01～31），hh：時（00～23），mm：分（00～59），ss：秒（00～59）

ファイル名にはファイル拡張子「.aoi」を指定してください。なお，ファイル名として機種依存文字および次の記号は使用しないでください。

¥ / : * ? " < > ¦ $ ` -

フォルダ名を指定しないでファイル名だけを指定した場合は，インストール先のフォルダにファイルが作成されます。[JP1/AJS3 - View］画面から表示した場合は，JP1/AJS3 - View のインストール先フォルダにファイルが作成されます。

また，ファイル名は 63 バイト以下，パス全体で 255 バイト以下としてください。

[JP1/AJS3 - View］画面からこの画面を表示したときは，フォルダパス名長を 194 バイト以下としてください。

参照

ジョブ運用情報の出力先ファイル名を，［ファイルを開く］ダイアログから選択します。

開始

ジョブ運用情報の収集を開始します。

閉じる

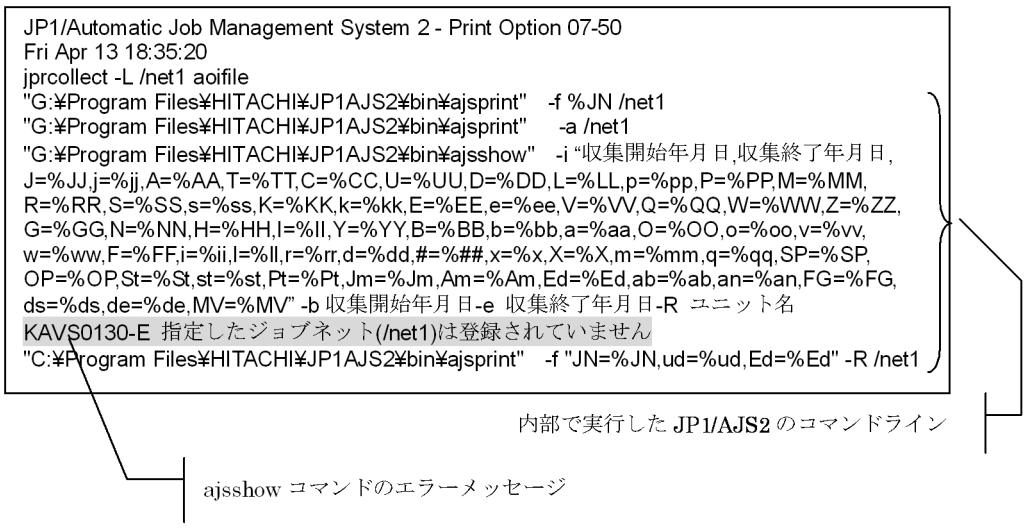
当該画面を終了します。

【補足】ジョブ運用情報収集に関する実行履歴について

ジョブ運用情報の収集ごとに，ジョブ運用情報の収集に関する実行履歴情報を格納したファイルを作成します。ファイルの名称は，［ジョブ運用情報の出力先ファイル名］に指定したファイル名のファイル拡張子を「.log」に置き換えたものです。

ジョブ運用情報の収集は，内部で JP1/AJS が提供する ajsprint と ajsshow コマンドを実行することで実現しています。実行履歴情報には，このコマンドの実行結果情報を格納します。ジョブ運用情報の収集に失敗した際の詳細な原因を知りたいときは，このファイルを参照してください。

実行履歴ファイルの内容を次に示します。



【補足】実行履歴情報ファイルの作成先について

- Windows の［スタート］メニューから［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合
  実行履歴情報ファイルは，ジョブ運用情報の出力ファイルに指定したフォルダに作成されます。
- ［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示する場合
  ジョブ運用情報が正常に出力された場合，実行履歴情報ファイルは作成されません。エラーが発生した場合，次のフォルダまたはディレクトリに作成されます。

Windows 版

```
（JP1/AJS3 - Print Option Managerのインストール先フォルダ）¥Tmp
```

UNIX 版

```
/opt/jp1ajs2pom/tmp
```

【補足】暦日および実行日での収集の違い

暦日および実行日での収集の違いを次に示します。

（例 1）ジョブ運用情報の収集画面で「暦日」を選択し，2016 年 5 月 25 日のスケジュールを収集した場合

（48 時間表示の月次予定）日またがりになる PC ジョブ F の 5 月 26 日 00:30 の予定は収集されません。

（例 2）ジョブ運用情報の収集画面で「実行日」を選択し，2016 年 5 月 25 日のスケジュールを収集した場合

（48 時間表示の月次予定）日またがりになる PC ジョブ F の 5 月 26 日 00:30 の予定は，ジョブネットの実行予定日が 5 月 25 日のため，収集されます。

（例 3）ジョブ運用情報の収集画面で「暦日」を選択し，2016 年 6 月 14 日のスケジュールを収集した場合

（48 時間表示の月次予定）前日の 6 月 13 日の実行予定で日またがりになる PC ジョブ F の 6 月 14 日 00:30 の予定が収集されてしまいます。

（例 4）ジョブ運用情報の収集画面で「実行日」を選択し，2016 年 6 月 14 日のスケジュールを収集した場合

（48 時間表示の月次予定）日またがりになる PC ジョブ F の 6 月 14 日 00:30 の予定は，ジョブネットの実行予定日が 6 月 13 日のため，収集されません。

| 【月次】予定 2016年6月 基準時刻(00:00) | 1 水 | 2 木 | 3 金 | 4 土 | 5 日 | 6 月 | 7 火 | 8 水 | 9 木 | 10 金 | 11 土 | 12 日 | 13 月 | 14 火 | 15 水 | 16 木 | 17 金 | 18 土 | 19 日 | 20 月 | 21 火 | 22 水 | 23 木 | 24 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブC | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | | | | | | | | | |
| PCジョブD | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | | | | | | | | | |
| PCジョブF | | | | | | | | | | | | | | ■(00:30) | | | | | | | | | | |

＜注意事項＞

- 指定した収集期間の範囲内に実行予定および実行結果のあるジョブが出力対象となります。収集期間の範囲内に実行を開始し，範囲を超えて終了したジョブは，ジョブ実行が終了した後にジョブ運用情報を収集した場合，収集期間の範囲内にある実行結果を取得できます。収集期間の範囲を超えた実行結果は取得できません。
- JP1/AJS3 - Manager がクラスタ構成の場合は，アクティブな系からジョブ運用情報を収集してください。その際，サービス名に論理ホスト用のスケジューラーサービス名を指定してください。
- 月次指定または相対月指定を選択した場合，物理ホストのシステム時刻を基に収集期間を決定します。スケジューラーサービスのローカル日時には対応していません。スケジューラーサービスのローカル日時を変更している場合は，年月日指定を選択して，ローカル日時を基にした期間を指定してください。
- [JP1/AJS3 -View］画面から起動した場合，ジョブ運用情報の出力先ファイル名に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。
- Windows Server 2016，Windows Server 2012 および Windows Server 2008 R2 で，ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用して，Windows の［スタート］メニューから起動する場合，ジョブ運用情報の出力先ファイル名に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定するとエラーになります。このときは，管理者（Administrator）で［ジョブ運用情報の収集］画面を起動してから実行してください。
- 収集期間に含まれるジョブの予定日時には，JP1/AJS が提供する ajsshow コマンドで取得する次の情報が使用されます。
  - 「処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時」
  - 「処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時」

  実行済みジョブの場合は，次の例のように，実際に実行を開始または終了した日時がそれぞれ出力されます。

図 7-4　2/16 12:00 に 2/1～2/28 の運用情報を取得後，月次予定情報（時刻付き）を出力した場合の出力例

| 【月次】予定 | … | 14<br>土 | 15<br>日 | 16<br>月 | 17<br>火 | 18<br>水 | … |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●日々集計処理 | … | ■(17:01)<br>※ | ■(17:02)<br>※ | ■(17:00) | ■(17:00) | ■(17:00) | … |

注※
実行済みジョブの実績情報です。

予定情報に実績を含めない帳票を作成する場合は，期間指定の開始日に現在の日時以降を指定して取得してください。

- Windows の［スタート］メニューから［ジョブ運用情報の収集］画面を表示して，JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」にしてジョブ運用情報を収集すると，KAVR1000-E または KAVR5010-E のエラーになる場合があります。この場合，OS にログオンして，Windows スタートメニューから［ジョブ運用情報の収集］画面を表示するユーザーアカウント名と同じ名前の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

  ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドを実行するために必要な JP1 権限レベルの詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

- ［JP1/AJS3 - View］画面から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示して，JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」にしてジョブ運用情報を収集すると，KAVR1000-E または KAVR5010-E のエラーになる場合があります。この場合，次のどちらかを実施してください。

  JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスをローカルシステムアカウントで運用する場合（インストール後のデフォルトは，ローカルシステムアカウントに設定されています）

  「system」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

  JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスをユーザーアカウントで運用する場合

  ユーザーアカウント名と同じ名前の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

- JP1/AJS3 の環境設定パラメーター AJSPRINTSORTUNITINF が「yes」の場合，関連線情報は先行ユニットおよび後続ユニットの文字コード昇順にジョブ運用情報ファイルに出力されます。環境設定パラメーター AJSPRINTSORTUNITINF が「no」，または値を設定していない場合，関連線情報は先行ユニットおよび後続ユニットの作成順に出力されます。詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

- JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - Print Option Manager の間の通信は暗号化されません。次のどちらかの方法を実施してください。
  - セキュリティ対策を設定したネットワーク環境で JP1/AJS3 - View 連携を使用
  - セキュリティモードを設定した FTP などで，JP1/AJS3 - Print Option Manager で出力したジョブ運用情報ファイルを JP1/AJS3 - Print Option に転送して帳票を出力

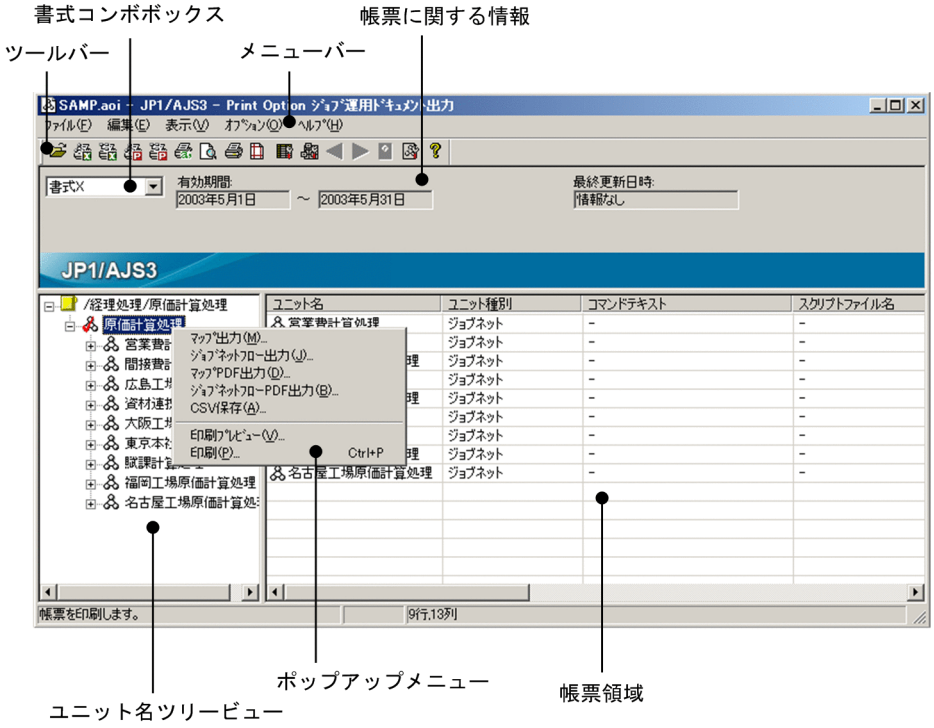
- 実行日を指定して収集できるのは，JP1/AJS3 - Print Option Manager 11-10 以降の場合だけです。JP1/AJS3 - View から［ジョブ運用情報の収集］画面を表示したとき，接続先の JP1/AJS3 - Print Option Manager が 11-00 以前の場合は，暦日による収集となるか，あるいは，KAVR5024-E のエラーとなります。

# 7.3 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面

JP1/AJS3 - Print Option の画面です。

指定したジョブ運用情報ファイルの内容を画面に表示します。

## 図 7-5 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面




メニューバーを説明します。

## 表 7-1 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のメニュー項目

| メニューバー | メニューコマンド | 機能 |
|---|---|---|
| ファイル | 開く | ジョブ運用情報ファイルを開いて帳票を作成します。 |
| | マップ出力※1 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を Microsoft Excel に出力します。 |
| | ジョブネットフロー出力※1 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を Microsoft Excel に出力します。 |
| | マップ PDF 出力※2 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を PDF ファイルに出力します。 |
| | ジョブネットフロー PDF 出力※2 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を PDF ファイルに出力します。 |
| | CSV 保存 | 表示中の帳票を CSV 形式のファイルに保存します。ファイルを選択すると，表示中の帳票を CSV 形式で保存します。 |
| | 印刷プレビュー | 表示中の帳票を印刷プレビューします。 |

| メニューバー | メニューコマンド | | 機能 |
|---|---|---|---|
| ファイル | 印刷 | | 表示中の帳票を印刷します。 |
| | 閉じる | | 表示中の帳票を閉じます。 |
| | 終了 | | 表示中の画面を終了します。 |
| 編集 | 書式定義 | | 書式を定義します。 |
| | 用紙設定 | | 印刷する用紙を設定します。 |
| | ジョブネットフロー書式定義 | | ジョブネットフロー図の書式を定義します。 |
| 表示 | ツールバー | | ツールバーの表示／非表示を切り替えます。 |
| | ステータスバー | | ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。 |
| | 直下のみ表示 | | チェックした場合，ツリービューで選択したユニットの直下にあるユニットの情報を表示します。 |
| | すべて表示 | | チェックした場合，ツリービューで選択したユニットと配下のすべてのユニットについて情報を表示します。 |
| | 表示範囲の変更※3 | 翌月または翌日※4 | 表示されている日付を翌月または翌日に変更します。 |
| | | 前月または前日※5 | 表示されている日付を前月または前日に変更します。 |
| | | 指定日付 | [表示範囲の変更] 画面を表示します。帳票が表示する範囲を変更します。 |
| | 最新の状態に更新 | | 表示中の帳票を最新の状態に更新します。 |
| オプション | 環境設定 | | [環境設定] 画面を表示します。入力ファイルおよび出力ファイルのデフォルトフォルダを設定します。 |
| ヘルプ | JP1/AJS3 - Print Option ヘルプ | | ヘルプを表示します。 |
| | バージョン情報 | | バージョン情報を表示します。 |

注※1

Microsoft Excel がインストールされていない場合，非活性となります。

注※2

Microsoft Excel 2010 以降がインストールされていない場合，非活性となります。

注※3

月次形式または日次形式の書式が選択されていないときは非活性となります。

注※4

表示されている月または日が有効期限の終了月または終了日のときは非活性となります。

なお，1 か月後の日が有効期限よりあとの日付になる場合は，有効期限の終了日に変更します。

注※5

表示されている月または日が有効期限の開始月または開始日のときは非活性となります。

なお，1 か月前の日が有効期限より前の日付になる場合は，有効期限の開始日に変更します。

ツールバーを説明します。

## 表 7-2 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のツールバー項目

| ツールバーボタン | | 機能 |
|---|---|---|
| | 開く | ジョブ運用情報ファイルを開いて帳票を作成します。 |
| ※1 | マップ出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を Microsoft Excel に出力します。 |
| ※1 | ジョブネットフロー出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を Microsoft Excel に出力します。 |
| ※2 | マップ PDF 出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を PDF ファイルに出力します。 |
| ※2 | ジョブネットフロー PDF 出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を PDF ファイルに出力します。 |
| | CSV 保存 | 表示中の帳票を CSV 形式のファイルに保存します。ファイルを選択すると，表示中の帳票を CSV 形式で保存します。 |
| | 印刷プレビュー | 表示中の帳票を印刷プレビューします。 |
| | 印刷 | 表示中の帳票を印刷します。 |
| | 用紙設定 | 印刷する用紙を設定します。 |
| | 書式定義 | 書式を定義します。 |
| | ジョブネットフロー書式定義 | ジョブネットフロー図の書式を定義します。 |
| | 前月または前日※3※4 | 帳票の表示する範囲を変更します。月次形式が選択されているときは前月に，日次形式が選択されているときは前日に変更します。 |
| | 翌月または翌日※3※5 | 帳票の表示する範囲を変更します。月次形式が選択されているときは翌月に，日次形式が選択されているときは翌日に変更します。 |
| | 表示範囲の変更※3 | ［表示範囲の変更］画面を表示します。帳票の表示する範囲を変更します。 |
| | 環境設定 | ［環境設定］画面を表示します。入力ファイルおよび出力ファイルのデフォルトフォルダを設定します。 |
| | JP1/AJS3 - Print Option ヘルプ | ヘルプを表示します。 |

注※1

Microsoft Excel がインストールされていない場合，非活性となります。

注※2

Microsoft Excel 2010 以降がインストールされていない場合，非活性となります。

注※3

月次形式または日次形式の書式が選択されていないときは非活性となります。

注※4

表示されている月または日が有効期限の開始月または開始日のときは非活性となります。

なお，1 か月前の日が有効期限より前の日付になる場合は，有効期限の開始日に変更します。

注※5

表示されている月または日が有効期限の終了月または終了日のときは非活性となります。

なお，1 か月後の日が有効期限よりあとの日付になる場合は，有効期限の終了日に変更します。

ユニット名ツリービューを右クリックすることによって出現するポップアップメニューを説明します。

### 表 7-3 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のポップアップメニュー項目

| ポップアップメニュー | 機能 |
|---|---|
| マップ出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を Microsoft Excel に出力します。 |
| ジョブネットフロー出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を Microsoft Excel に出力します。 |
| マップ PDF 出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのマップ図を PDF ファイルに出力します。 |
| ジョブネットフロー PDF 出力 | ユニット名ツリービューで選択しているジョブネットのジョブネットフロー図を PDF ファイルに出力します。 |
| CSV 保存 | 表示中の帳票を CSV 形式のファイルに保存します。ファイルを選択すると，表示中の帳票を CSV 形式で保存します。 |
| 印刷プレビュー | 表示中の帳票を印刷プレビューします。 |
| 印刷 | 表示中の帳票を印刷します。 |

書式コンボボックスには，［環境設定］画面で定義した書式定義フォルダにある書式定義ファイルが表示されます。書式コンボボックスのプルダウンメニューから帳票に採用する書式を選択します。そのうち 1 個だけが有効状態になり，帳票書式として採用されます。

帳票に関する情報に表示される項目を説明します。

### 図 7-6 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の帳票に関する情報

表 7-4 ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の帳票に関する情報の項目

| 情報の項目 | 詳細 |
|---|---|
| 有効期間 | 入力ファイル内でデータのある期間を表します。 |
| 表示 | 月次または日次形式の帳票の表示している期間を表します。 |
| 最終更新日時 | ジョブ運用情報ファイル内に定義されている全ユニットの最終更新日時を表します。 |
| ルートジョブネットパス | 選択したジョブ運用情報ファイルにリリース ID の情報が含まれる場合，現在［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に内容が表示されているルートジョブネットのパスおよびリリース ID が表示されます。<br>［選択］ボタンを押すと，［ジョブネット（リリース ID）名一覧ダイアログボックス］画面が表示され，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に表示するジョブネットを変更できます。リリース ID については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。 |

ユニット名ツリービューは，ユニット一覧が表示される領域です。ジョブ運用情報ファイル内に定義されている全ユニットが表示されます。選択したユニットを含む下位の階層のユニットすべてが印刷対象です。ただし，マネージャージョブグループ，またはマネージャージョブネットの内容は印刷対象に含まれません。

帳票領域は，印刷帳票が表示される領域です。該当データがない場合，基本形式によって次のようになります。

| | |
|---|---|
| 月次 | 空白 |
| 日次 | 空白 |
| リスト | "-"（半角） |

＜注意事項＞

- 一つのカラムに表示されるデータの文字数が 259 文字を超える場合，帳票領域には 260 文字目以降が表示されません。データの内容を確認するには，印刷，印刷プレビュー，および CSV 出力でデータを出力してください。
- 列項目のカラム幅の合計が 32,768 ピクセルを超える場合，帳票領域には 32,768 ピクセル以降のカラム名が表示されません。データの内容を確認するには，印刷，印刷プレビュー，および CSV 出力でデータを出力してください。

  列項目のカラム幅の合計は，次の計算式によって求められます。

  **列幅の合計＝ユニット名の列幅＋列項目 1 の列幅**

  **＋列項目 2 の列幅＋・・・＋列項目 n の列幅**

  - 書式定義で，ユニット名および列項目の列幅で「自動」を選択している場合

    **ユニット名の列幅＝現在のフォント幅**（単位：ピクセル）

    **×ユニット名カラムに表示される最長文字列の文字数**

    **列項目 n の列幅＝現在のフォント幅**（単位：ピクセル）

×列項目 n カラムに表示される最長文字列の文字数

- 書式定義で，ユニット名および列項目の列幅で「固定」を選択している場合

  ユニット名の列幅＝現在のフォント幅（単位：ピクセル）

  ×［書式定義］画面の［ユニット］タブで指定した列幅

  列項目 n の列幅＝現在のフォント幅（単位：ピクセル）

  ×［書式定義］画面の［列項目］タブで指定した列項目 n の列幅

- JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降に対してジョブ運用情報を収集時に，最終更新日時を収集する指定をした場合だけ，最終更新日時が表示されます。
- リリース情報を持つジョブネットかどうかは，アイコンで識別できません。リリース情報を持たないジョブネットと同じアイコンが表示されます。

# 7.4 ［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面

ドキュメントとして出力したい，ジョブ運用情報ファイルを選択します。

図 7-7 ［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面

［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面の表示項目を次に示します。

開く

ドキュメント出力するジョブ運用情報ファイルを選択します。指定するジョブ運用情報ファイル名はパス全体で 258 バイト以下，フォルダパス名長は 194 バイト以下，ファイル名は 63 バイト以下としてください。

キャンセル

処理をしないで終了します。

# 7.5 ［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面

ジョブ運用情報ファイルにリリース ID の情報が含まれる場合，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に内容を表示したいジョブネットを選択します。

［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で［選択］ボタンを押して，［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面を表示します。

図 7-8 ［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面

［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面の表示項目を次に示します。

ジョブネット名

リリース ID に対応したルートジョブネットパスの一覧が表示されます。「ルートジョブネットパス（リリース ID)」の形式で表示されます。ジョブネットパスが 259 バイトを超える場合，「...」で省略されて表示されます。

設定

［ジョブネット名］で選択したルートジョブネットの内容を［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に表示します。

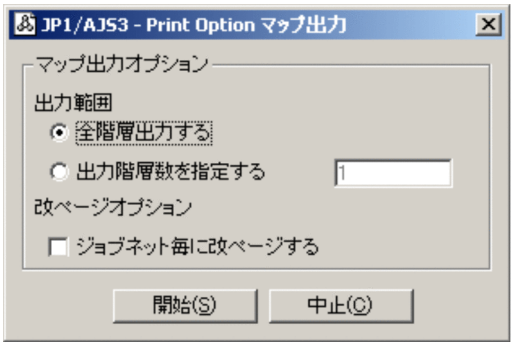
閉じる

処理をしないで終了します。

# 7.6 ［マップ出力］画面

ジョブネットの定義内容をマップ形式で Microsoft Excel に出力します。この画面は，Microsoft Excel を使用します。

図 7-9 ［マップ出力］画面




［マップ出力］画面の表示項目を次に示します。

全階層出力する

選択すると，指定ユニット以下すべてを出力対象とします。

出力階層数を指定する

選択すると，指定した階層数より深い階層のユニットは出力対象としません。

出力階層数

出力階層数を 1～2,147,483,647 の半角数字で指定します。デフォルトは 1 です。

1 を指定すると，指定したユニットの直下だけが出力対象となります。

ジョブネット毎に改ページする

チェックすると，ジョブネット単位に改ページを挿入します。

開始

処理を開始します。

中止

処理をしないで終了します。

［マップ出力］画面で［開始］ボタンを押すと，Microsoft Excel を起動し，Microsoft Excel 上に定義内容をマップ形式で再現します。

図 7-10　マップ出力の出力結果例(1)（JP1/AJS3 - View が標準提供するアイコン）

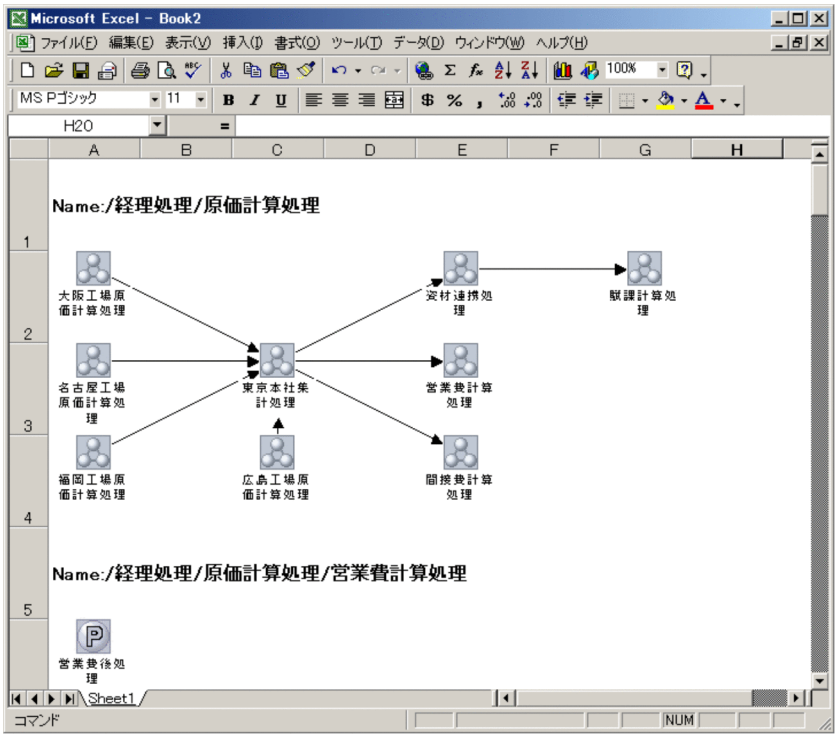



図 7-11　マップ出力の出力結果例(2)（最終更新日時情報がある場合）

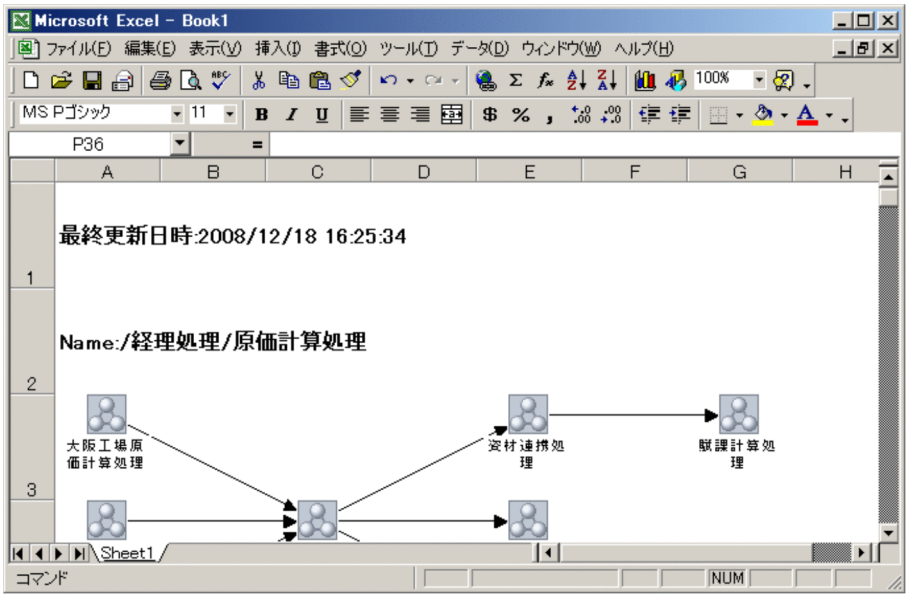
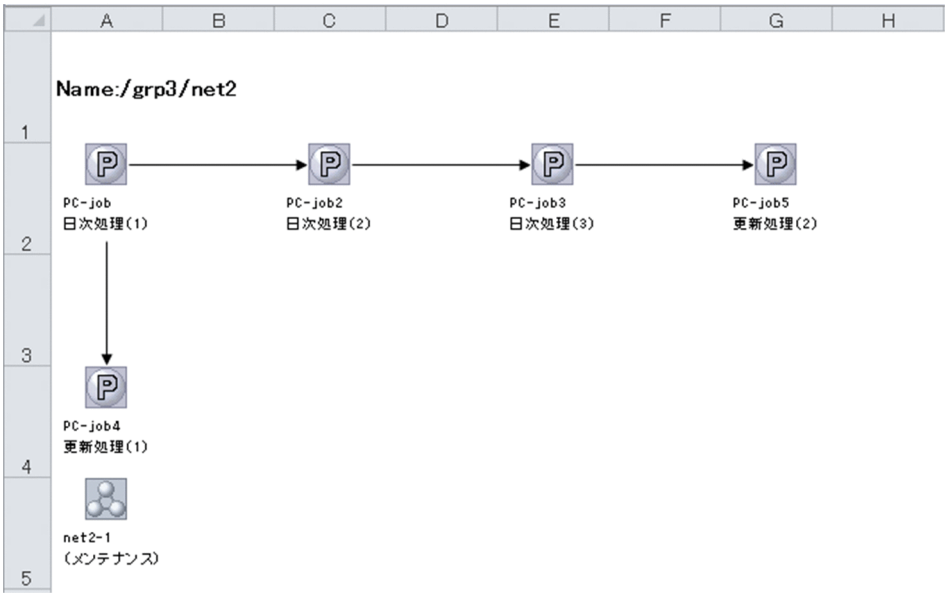


図 7-12　マップ出力の出力結果例(3)（コメントを表示する設定の場合）




マップ出力機能では，新規の Microsoft Excel ブックにマップを出力します。

マップ出力は，Microsoft Excel の 1 シートにすべての情報を展開します。出力するジョブネットが複数ある場合，下方向にマップが連なります。

各ジョブネットの先頭には「Name:」，およびジョブネットの完全名を表示します。

ジョブネット完全名の次にマップが出力されます。

ジョブネット一つ当たりの最大ジョブ数は 100×100 です。

JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降に対してジョブ運用情報を収集時に，最終更新日時を収集する指定をした場合だけ，先頭に最終更新日時が表示されます。

［環境設定］画面でコメントを表示する設定にしている場合，ユニット名に続けてコメントが表示されます。設定の詳細は「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

**＜注意事項＞**

- 次の場合は，ジョブネットの完全名だけ出力します。
  - ジョブネット内に表示するユニットが存在しない場合
  - ルートジョブネットまたはマネージャージョブネットの場合

  定義項目については，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の表示または CSV ファイルへの出力で確認してください。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のユニット名ツリービューの選択がジョブグループの場合，「出力階層数」に 1 を指定しないでください。指定した場合，何も出力されません。ジョブネットが定義されている階層が含まれるように階層数を指定してください。

- 当該製品は，JP1/AJS3 - View 09-00 が標準提供するアイコンを装備しています。標準で装備していないユニットは次に示すアイコンで表示します。

- マップ出力機能で出力できる情報量は，Microsoft Excel の最大行および，最大列数に依存します。これらの最大値を超える情報を出力した場合，Microsoft Excel が異常終了します。

  Microsoft Excel の最大行，および最大列数はご使用になる Microsoft Excel のヘルプなどで確認してください。

- マップ出力機能を実行中に Microsoft Excel を操作しないでください。操作した場合，出力中のマップ情報が不正になるだけでなく，新たに操作した Microsoft Excel のファイルにも影響を与える場合があります。

- マップ出力機能の複数同時実行，およびジョブネットフロー出力機能との同時実行はできません。同時に実行した場合，実行を行った順序で順次処理されます。

- 「通常使うプリンタ」が使用できない場合は，マップ出力されません。

  マップ出力では，Microsoft Excel に出力する際に，印刷の向き（用紙設定）を横に設定します。このとき，PC に設定されている「通常使うプリンタ」が使用できない状態であった場合，Microsoft Excel が印刷設定についてエラーを返すためにマップ出力されません。

  この場合，次のどれかの方法で回避できます。

  - 「通常使うプリンタ」を使用できる状態にする
  - ダミーのローカルプリンタを「通常使うプリンタ」に設定する
  - プリンタをすべて削除する

  なお，「通常使うプリンタ」にネットワーク接続プリンタを設定した場合，接続先サーバの状態に影響を受けますので注意してください。

- テキストボックスによってアイコンや矢印，ユニットパス名の文字列が隠れて表示されない場合があります。必要に応じて，Microsoft Excel 上でセルの高さやテキストボックスの高さを編集してください。

- リリース情報を持つジョブネットかどうかは，アイコンで識別できません。リリース情報を持たないジョブネットと同じアイコンが表示されます。

- マップ出力の処理時間は Microsoft Excel の描画性能に依存するため，ユニット数や関係線の数に応じて処理時間が掛かります。

  ユニット数や関係線の数が多い場合は，出力対象をユニットごとに分割するか，または出力対象の階層数を指定して出力してください。

- 印刷および印刷プレビューでユニット名が欠けて表示される場合，ユニット名の表示領域のサイズを拡張することによって，切れたユニット名を表示させることができます。ユニット名の表示領域のサイズを拡張する方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

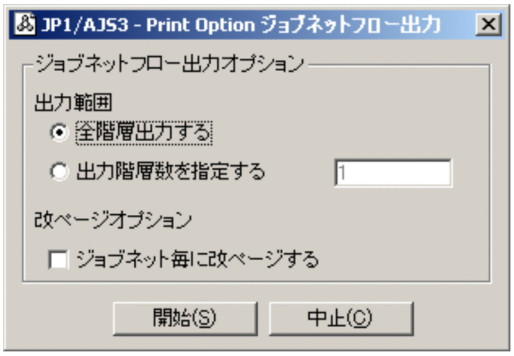
- ユニット名の背景で矢印が隠れて表示されない場合，ユニット名の背景を透明にすることによって，隠れた矢印を表示させることができます。ユニット名の背景を透明にする方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

- マップ出力でコメントを表示する場合は，Microsoft Excel 2007 SP2 以降が必要です。Microsoft Excel 2007 SP1 以前を使用した場合，コメントが正しく表示されません。
- コメントを表示する設定で，コメントが長いためにアイコンの下に隠れてしまう場合，ユニット名の表示領域のサイズを拡張するか，Microsoft Excel 上でセルの横幅を編集してください。
- コメントを表示しない場合，ユニット名は中央ぞろえで出力します。コメントを表示する場合，ユニット名とコメントは左ぞろえで出力します。

# 7.7 ［ジョブネットフロー出力］画面

ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー形式で Microsoft Excel に出力します。この画面は，Microsoft Excel を使用します。

図 7-13 ［ジョブネットフロー出力］画面




［ジョブネットフロー出力］画面の表示項目を次に示します。

全階層出力する

選択すると，指定ユニット以下すべてを出力対象とします。

出力階層数を指定する

選択すると，指定した階層数より深い階層のユニットは出力対象としません。

出力階層数

出力階層数を 1～2,147,483,647 の半角数字で指定します。デフォルトは 1 です。

1 を指定すると，指定したユニットの直下だけが出力対象となります。

ジョブネット毎に改ページする

チェックすると，ジョブネット単位に改ページを挿入します。

開始

処理を開始します。

中止

処理をしないで終了します。

［ジョブネットフロー出力］画面で［開始］ボタンを押すと，Microsoft Excel を起動し，Microsoft Excel 上に定義内容をフロー形式で再現します。

図 7-14　ジョブネットフロー出力の出力結果例（表の形式が 1 列で最終更新日時がない場合）

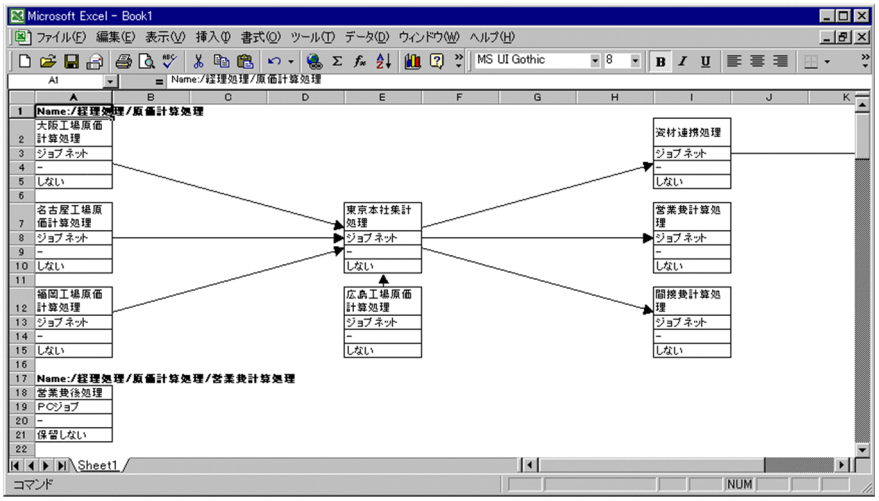



図 7-15　ジョブネットフロー出力の出力結果例（表の形式が 1 列で最終更新日時がある場合）

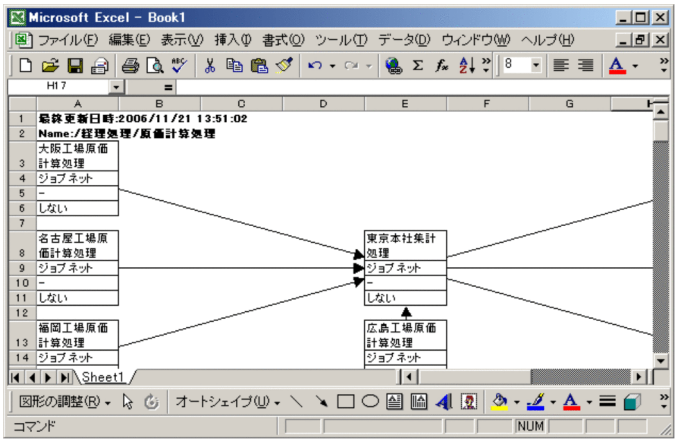



図 7-16　ジョブネットフローの出力結果例（表の形式が 2 列で最終更新日時がない場合）

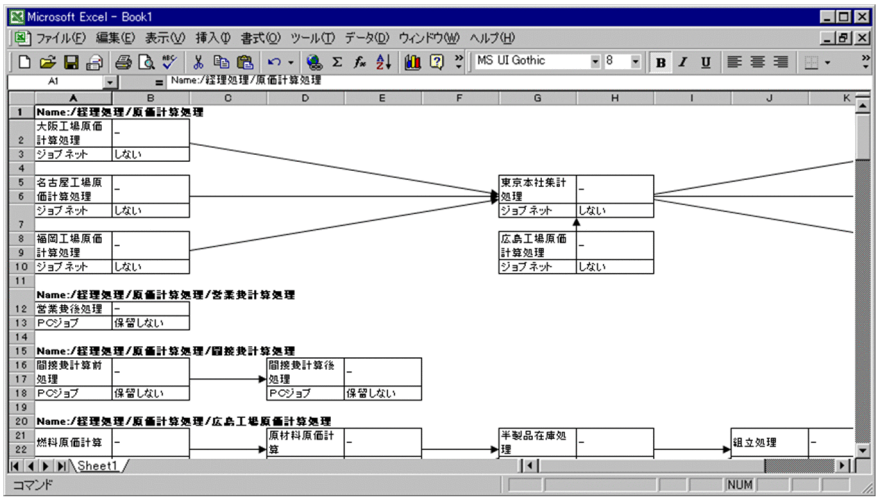
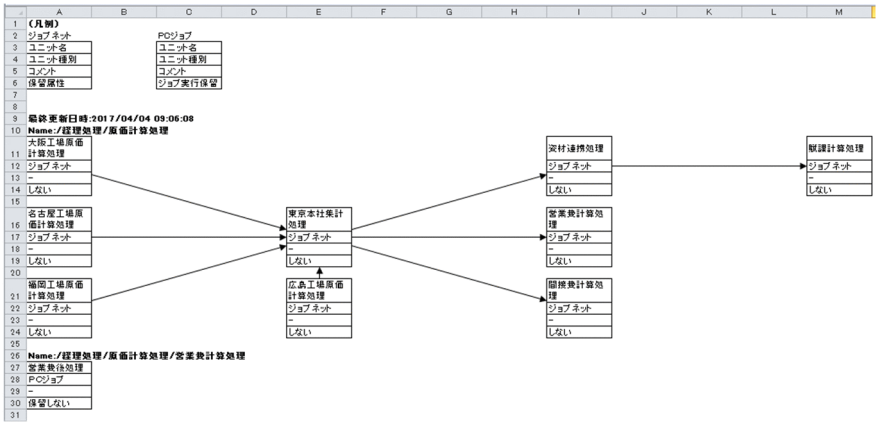


図 7-17　ジョブネットフローの出力結果例（最終更新日時と凡例がある場合）




ジョブネットフロー出力機能では，新規の Microsoft Excel ブックにジョブネットフロー図を出力します。

ジョブネットフロー出力は，Microsoft Excel の 1 シートにすべての情報を展開します。出力するジョブネットが複数ある場合，下方向にジョブネットフロー図が連なります。

各ジョブネットの先頭には「Name:」以降にジョブネットの完全名を表示します。

ジョブネット完全名以降にジョブネットフロー図を出力します。

ジョブネット一つ当たりの最大ジョブ数は 100×100 です。

JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降に対してジョブ運用情報を収集時に，凡例を表示する設定をしている場合，凡例の下に最終更新日時が表示されます。凡例を表示しない設定の場合，先頭に最終更新日時が表示されます。

＜注意事項＞

- 次の場合は，ジョブネットの完全名だけ出力します。
  - ジョブネット内に表示するユニットが存在しない場合
  - ルートジョブネットまたはマネージャージョブネットの場合

  定義項目については，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の表示または CSV ファイルへの出力で確認してください。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のユニット名ツリービューの選択がジョブグループの場合，「出力階層数」に 1 を指定しないでください。指定した場合，何も出力されません。ジョブネットが定義されている階層が含まれるように階層数を指定してください。
- ジョブネットフロー出力機能で出力できる情報量は，Microsoft Excel の最大行および，最大列数に依存します。これらの最大値を超える情報を出力した場合，Microsoft Excel が異常終了します。

  Microsoft Excel の最大行および，最大列数はご使用になる Microsoft Excel のヘルプなどで確認してください。

- ジョブネットフロー出力機能を実行中に Microsoft Excel を操作しないでください。操作した場合，出力中のジョブネットフロー図が不正になるだけでなく，新たに操作した Microsoft Excel のファイルにも影響を与える場合があります。
- ジョブネットフロー出力では，Microsoft Excel の一つのセルに出力される文字数が 255 文字を超える場合，Microsoft Excel 上でのセル内のデータが「#####」と表示されることがあります。
- ジョブネットフロー出力で，Microsoft Excel に出力する 1 データ（ 1 世代）が 4,000 バイトを超える場合は，該当データは「×（文字が多すぎるため表示できません）。」と出力されます。また，Microsoft Excel に出力するデータは 1 セル内で 32,000 バイト，255 行が最大で，これを超えるデータ部は出力されません（制限値を超過した場合には，ログファイル（(インストール先フォルダ名)¥Log¥ajs2po.log，または%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Log¥ajs2po.log）に要因と該当するユニット名，ユニット属性が出力されていますので，データを分割するなどの対策をしてください）。
- ジョブネットフロー出力機能の複数同時実行，およびマップ出力機能との同時実行はできません。同時に実行した場合，実行を行った順序で順次処理されます。
- 「通常使うプリンタ」が使用できない場合は，ジョブネットフロー出力されません。

  ジョブネットフロー出力では，Microsoft Excel に出力する際に，印刷の向き（用紙設定）を横に設定します。

  このとき，PC に設定されている「通常使うプリンタ」が使用できない状態であった場合，Microsoft Excel が印刷設定についてエラーを返すためにジョブネットフロー出力されません。

  この場合，次の方法のどれかで回避できます。

  - 「通常使うプリンタ」を使用できる状態にする
  - ダミーのローカルプリンタを「通常使うプリンタ」に設定する
  - プリンタをすべて削除する

  なお，「通常使うプリンタ」にネットワーク接続プリンタを設定した場合，接続先サーバの状態に影響を受けますので注意してください。
- ［環境設定］画面で指定したジョブネットフロー定義ファイルが存在しない場合，ジョブネットフロー出力できません。［環境設定］画面で，存在するジョブネットフロー定義ファイルを指定してください。
- ジョブネットフロー出力の処理時間は Microsoft Excel の描画性能に依存するため，ユニット数や関係線の数に応じて処理時間が掛かります。

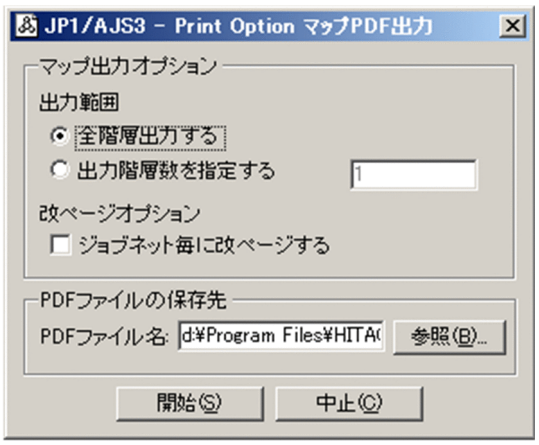
  ユニット数や関係線の数が多い場合は，出力対象をユニットごとに分割するか，または出力対象の階層数を指定して出力してください。
- セルの文字列が隠れて表示されない場合があります。必要に応じて，Microsoft Excel 上でセルの高さを編集してください。
- 印刷および印刷プレビューでデータが欠けて表示される場合，データの表示領域のサイズを拡張することによって，欠けたデータを表示させることができます。データの表示領域のサイズを拡張する方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

- 凡例を表示するかどうかは［環境設定］画面で設定します。設定方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

# 7.8 ［マップ PDF 出力］画面

ジョブネットの定義内容をマップ形式で PDF ファイルに出力します。

図 7-18 ［マップ PDF 出力］画面




［マップ PDF 出力］画面の表示項目を次に示します。

全階層出力する

選択すると，指定ユニット以下すべてを出力対象とします。

出力階層数を指定する

選択すると，指定した階層数より深い階層のユニットは出力対象としません。

出力階層数

出力階層数を 1～2,147,483,647 の半角数字で指定します。デフォルトは 1 です。

1 を指定すると，指定したユニットの直下だけが出力対象となります。

ジョブネット毎に改ページする

チェックすると，ジョブネット単位に改ページを挿入します。

PDF ファイル名

PDF ファイルの出力先を指定します。次の点に注意してください。

- ファイル名は 63 バイト以下で，パス全体が 258 バイト以下になるように指定してください。
- ファイル拡張子には「.pdf」を指定してください。
- ファイル名に，機種依存文字および次の記号は使用しないでください。

  ¥ / : * ? " < > ¦ $ ` -

デフォルトは次のとおりです。

（［環境設定］画面の［マップ・ジョブネットフローのPDFファイルの出力先］に指定したフォルダパス）¥この画面を表示した日時（YYYYMMDDhhmmss※の形式）.pdf

注※

YYYY：西暦年，MM：月（01～12），DD：日（01～31），hh：時（00～23），mm：分（00～59），ss：秒（00～59）

開始

処理を開始します。

中止

処理をしないで終了します。

図 7–19　マップ PDF 出力の出力結果例(1)（JP1/AJS3 - View が標準提供するアイコン）

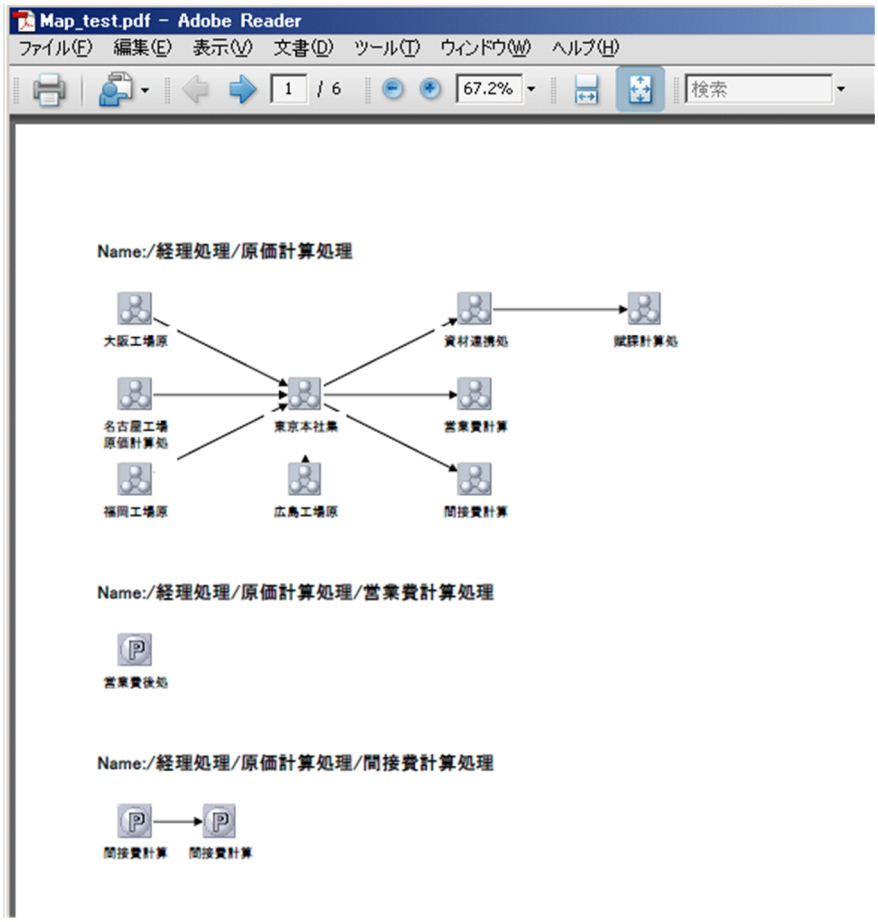
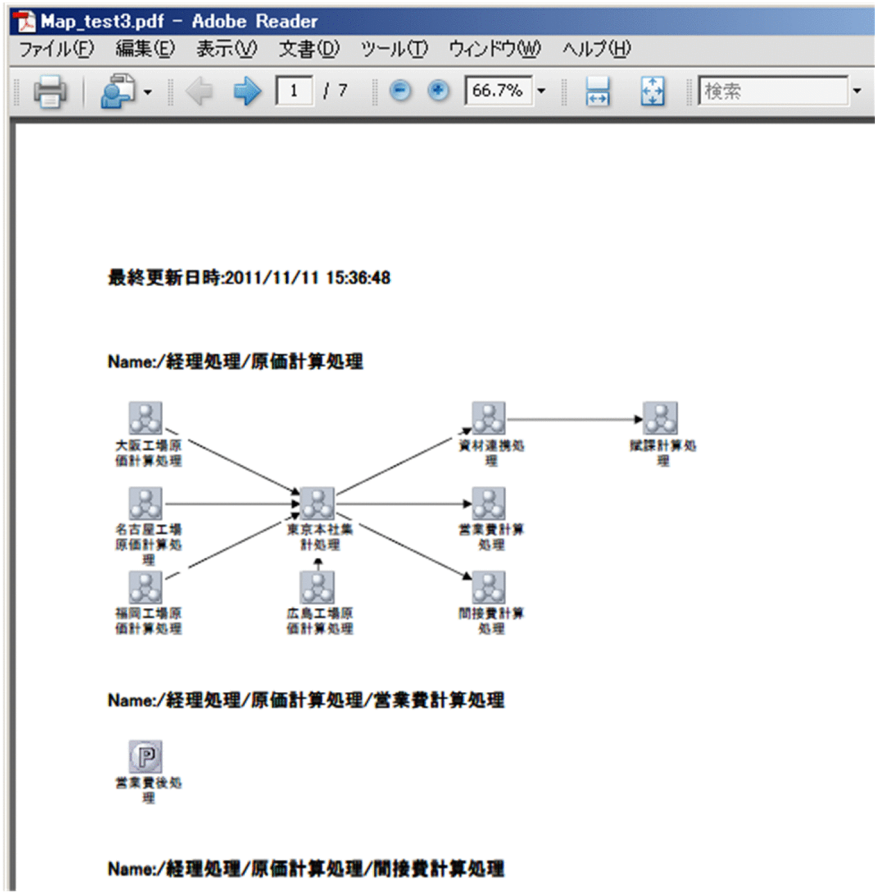


図 7-20　マップ PDF 出力の出力結果例(2)（最終更新日時情報がある場合）




マップ PDF 出力するジョブネットが複数ある場合，下方向にマップが連なります。

各ジョブネットの先頭には「Name:」，およびジョブネットの完全名を表示します。

ジョブネット完全名の次にマップが出力されます。

ジョブネット一つ当たりの最大ジョブ数は 100×100 です。

JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降に対してジョブ運用情報を収集時に，最終更新日時を収集する指定をした場合だけ，先頭に最終更新日時が表示されます。

＜注意事項＞

- マップ PDF 出力は，Microsoft Excel 2010 以降をインストールしている場合に使用できます。
- ［環境設定］画面でコメントを表示する設定にしている場合でも，マップ PDF 出力ではコメントが表示されません。コメントを表示したい場合は，［環境設定］画面でコメントを表示する設定にしてマップを出力したあと，出力した Excel ファイルを PDF ファイルに変換してください。
- PDF ファイルの保存先に，「C:¥Program Files」などのインストール先フォルダ以下のフォルダを指定すると，仮想フォルダにリダイレクトして出力されます。
- 出力するジョブ数が多い場合，PDF 変換に時間が掛かります。ジョブ数が多い場合は，分割して出力してください。

- 次の場合は，ジョブネットの完全名だけ出力します。
  - ジョブネット内に表示するユニットが存在しない場合
  - ルートジョブネットまたはマネージャージョブネットの場合

  定義項目については，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の表示または CSV ファイルへの出力で確認してください。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のユニット名ツリービューの選択がジョブグループの場合，「出力階層数」に 1 を指定しないでください。指定した場合，何も出力されません。ジョブネットが定義されている階層が含まれるように階層数を指定してください。
- 当該製品は，JP1/AJS3 - View 09-00 が標準提供するアイコンを装備しています。標準で装備していないユニットは次に示すアイコンで表示します。

- マップ PDF 出力の処理では，Microsoft Excel に出力したものを PDF 出力しています。そのため，出力される情報量は，Microsoft Excel の最大行および，最大列数に依存します。これらの最大値を超える情報を出力した場合，Microsoft Excel が異常終了します。

  Microsoft Excel の最大行，および最大列数はご使用になる Microsoft Excel のヘルプなどで確認してください。
- マップ PDF 出力機能を実行中に Microsoft Excel を操作しないでください。操作した場合，出力中のマップ情報が不正になるだけでなく，新たに操作した Microsoft Excel のファイルにも影響を与える場合があります。
- マップ PDF 出力機能の複数同時実行，およびジョブネットフロー出力・ジョブネットフロー PDF 出力機能との同時実行はできません。同時に実行した場合，実行を行った順序で順次処理されます。
- 「通常使うプリンタ」が使用できない場合は，マップ PDF 出力されません。

  マップ PDF 出力の処理では，Microsoft Excel に出力したものを PDF 出力しています。Microsoft Excel に出力する際，印刷の向き（用紙設定）を横に設定します。このとき，PC に設定されている「通常使うプリンタ」が使用できない状態であった場合，Microsoft Excel が印刷設定についてエラーを返すためにマップ PDF 出力されません。

  この場合，次のどれかの方法で回避できます。
  - 「通常使うプリンタ」を使用できる状態にする
  - ダミーのローカルプリンタを「通常使うプリンタ」に設定する
  - プリンタをすべて削除する

  なお，「通常使うプリンタ」にネットワーク接続プリンタを設定した場合，接続先サーバの状態に影響を受けますので注意してください。
- ユニット名に Shift-JIS コードの範囲外の文字が含まれている場合，テキストボックスによってアイコンや矢印，ユニットパス名の文字列が隠れて表示されない場合があります。
- リリース情報を持つジョブネットかどうかは，アイコンで識別できません。リリース情報を持たないジョブネットと同じアイコンが表示されます。

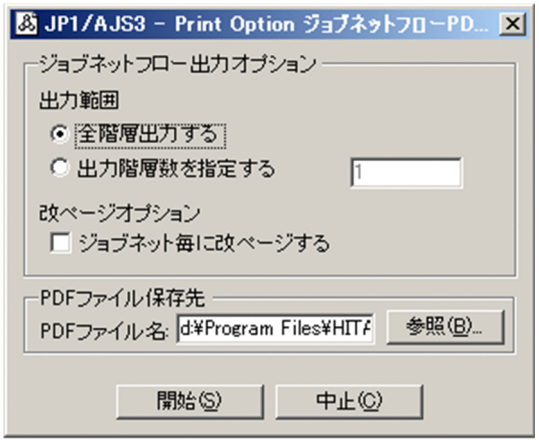
- マップ PDF 出力した結果，文字列が欠けてユニット名がすべて表示されない場合があります。文字列が欠けて表示される場合は，Microsoft Excel に出力した帳票を使用してください。
- マップ PDF 出力の処理時間は Microsoft Excel の描画性能に依存するため，ユニット数や関係線の数に応じて処理時間が掛かります。

  ユニット数や関係線の数が多い場合は，出力対象をユニットごとに分割するか，または出力対象の階層数を指定して出力してください。
- 印刷および印刷プレビューでユニット名が欠けて表示される場合，ユニット名の表示領域のサイズを拡張することによって，切れたユニット名を表示させることができます。ユニット名の表示領域のサイズを拡張する方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。
- ユニット名の背景で矢印が隠れて表示されない場合，ユニット名の背景を透明にすることによって，隠れた矢印を表示させることができます。ユニット名の背景を透明にする方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。

# 7.9 ［ジョブネットフロー PDF 出力］画面

ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー形式で PDF ファイルに出力します。

## 図 7-21 ［ジョブネットフロー PDF 出力］画面




［ジョブネットフロー PDF 出力］画面の表示項目を次に示します。

全階層出力する

選択すると，指定ユニット以下すべてを出力対象とします。

出力階層数を指定する

選択すると，指定した階層数より深い階層のユニットは出力対象としません。

出力階層数

出力階層数を 1～2,147,483,647 の半角数字で指定します。デフォルトは 1 です。

1 を指定すると，指定したユニットの直下だけが出力対象となります。

ジョブネット毎に改ページする

チェックすると，ジョブネット単位に改ページを挿入します。

PDF ファイル名

PDF ファイルの出力先を指定します。次の点に注意してください。

- ファイル名は 63 バイト以下で，パス全体が 258 バイト以下になるように指定してください。
- ファイル拡張子には「.pdf」を指定してください。
- ファイル名に，機種依存文字および次の記号は使用しないでください。

  ¥ / : * ? " < > ¦ $ ` -

デフォルトは次のとおりです。

（［環境設定］画面の［マップ・ジョブネットフローのPDFファイルの出力先］に指定したフォルダパス）¥この画面を表示した日時（YYYYMMDDhhmmss※の形式）.pdf

注※

YYYY：西暦年，MM：月（01～12），DD：日（01～31），hh：時（00～23），mm：分（00～59），ss：秒（00～59）

開始

処理を開始します。

中止

処理をしないで終了します。

図 7-22　ジョブネットフロー PDF 出力の出力結果例（表の形式が 1 列で最終更新日時がない場合）

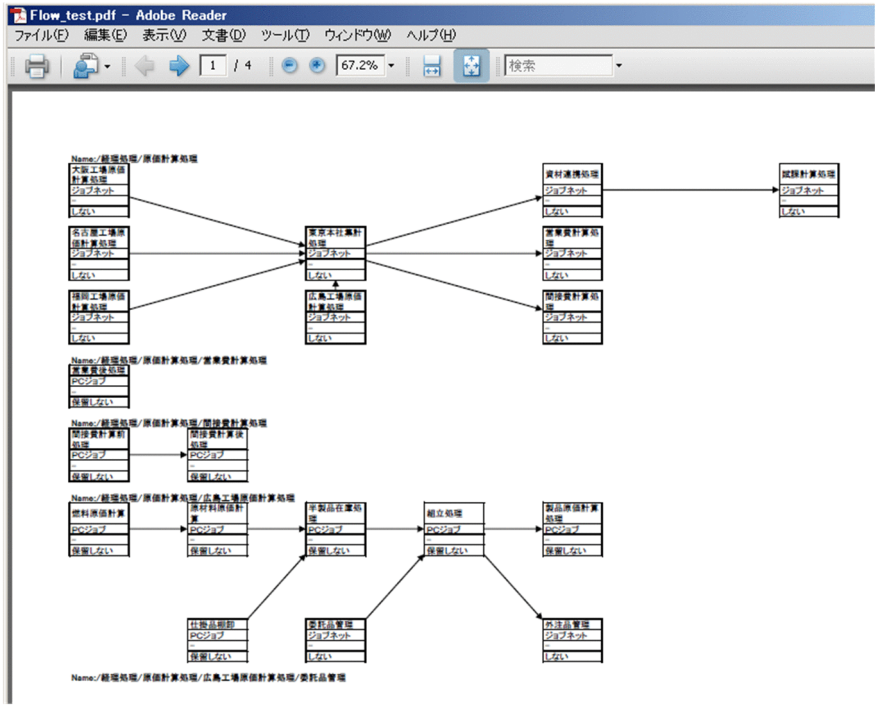


図 7-23　ジョブネットフロー PDF 出力の出力結果例（表の形式が 1 列で最終更新日時がある場合）

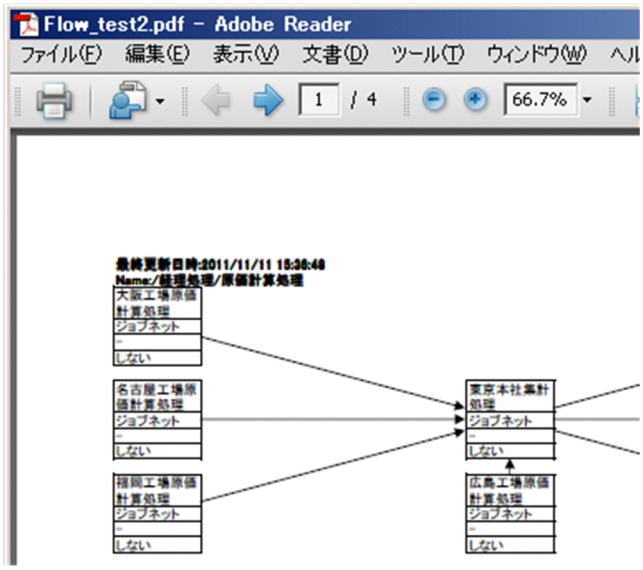
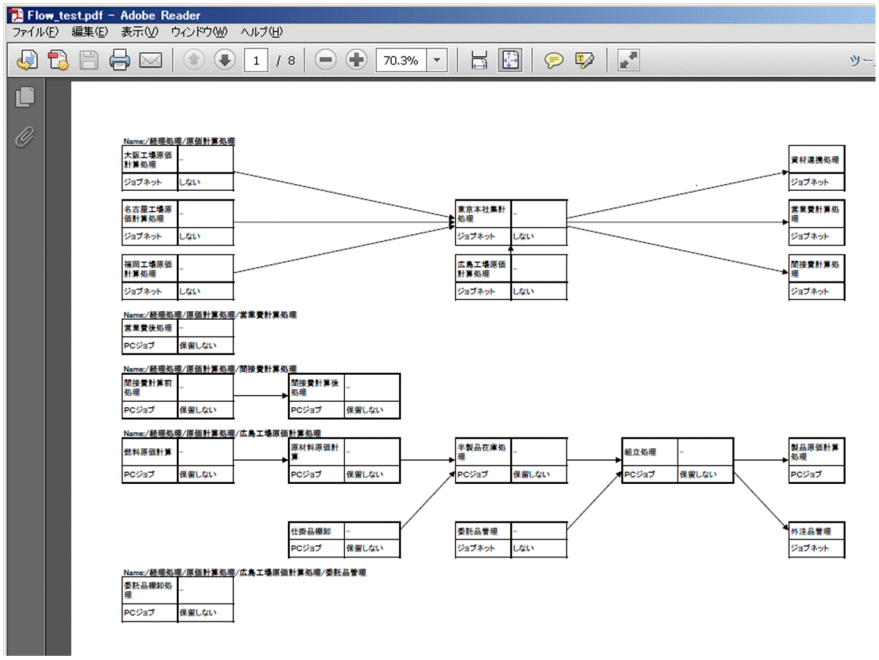



図 7-24　ジョブネットフロー PDF 出力の出力結果例（表の形式が 2 列で最終更新日時がない場合）




出力するジョブネットが複数ある場合，下方向にジョブネットフロー図が連なります。

各ジョブネットの先頭には「Name:」以降にジョブネットの完全名を表示します。

ジョブネット完全名以降にジョブネットフロー図を出力します。

ジョブネット一つ当たりの最大ジョブ数は 100×100 です。

JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降に対してジョブ運用情報を収集時に，最終更新日時を収集する指定をした場合だけ，先頭に最終更新日時が表示されます。

＜注意事項＞

- ジョブネットフロー PDF 出力は，Microsoft Excel 2010 以降をインストールしている場合に使用できます。
- PDF ファイルの保存先に，「C:¥Program Files」などのインストール先フォルダ以下のフォルダを指定すると，仮想フォルダにリダイレクトして出力されます。
- 出力するジョブ数が多い場合，PDF 変換に時間が掛かります。ジョブ数が多い場合は，分割して出力してください。
- 次の場合は，ジョブネットの完全名だけ出力します。
  - ジョブネット内に表示するユニットが存在しない場合
  - ルートジョブネットまたはマネージャージョブネットの場合

  定義項目については，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の表示または CSV ファイルへの出力で確認してください。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のユニット名ツリービューの選択がジョブグループの場合，「出力階層数」に 1 を指定しないでください。指定した場合，何も出力されません。ジョブネットが定義されている階層が含まれるように階層数を指定してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力の処理では，Microsoft Excel に出力したものを PDF 出力しています。そのため，出力される情報量は，Microsoft Excel の最大行および，最大列数に依存します。これらの最大値を超える情報を出力した場合，Microsoft Excel が異常終了します。

  Microsoft Excel の最大行，および最大列数はご使用になる Microsoft Excel のヘルプなどで確認してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力機能を実行中に Microsoft Excel を操作しないでください。操作した場合，出力中のジョブネットフロー図が不正になるだけでなく，新たに操作した Microsoft Excel のファイルにも影響を与える場合があります。
- 一つのセルに出力される文字数が 255 文字を超える場合，セル内のデータが「#####」と表示されることがあります。
- ジョブネットフロー PDF 出力の処理では，Microsoft Excel に出力したものを PDF 出力しています。ジョブネットフロー PDF 出力で，Microsoft Excel に出力する 1 データ（ 1 世代）が 4,000 バイトを超える場合は，該当データは「×（文字が多すぎるため表示できません）。」と出力されます。また，Microsoft Excel に出力するデータは 1 セル内で 32,000 バイト，255 行が最大で，これを超えるデータ部は出力されません（制限値を超過した場合には，ログファイル（(インストール先フォルダ名)¥Log¥ajs2po.log，または%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Log¥ajs2po.log）に要因と該当するユニット名，ユニット属性が出力されていますので，データを分割するなどの対策をしてください）。
- ジョブネットフロー PDF 出力機能の複数同時実行，およびマップ出力・マップ PDF 出力機能との同時実行はできません。同時に実行した場合，実行を行った順序で順次処理されます。
- 「通常使うプリンタ」が使用できない場合は，ジョブネットフロー PDF 出力されません。

ジョブネットフロー PDF 出力の処理では，Microsoft Excel に出力したものを PDF 出力しています。Microsoft Excel に出力する際，印刷の向き（用紙設定）を横に設定します。

このとき，PC に設定されている「通常使うプリンタ」が使用できない状態であった場合，Microsoft Excel が印刷設定についてエラーを返すためにジョブネットフロー PDF 出力されません。

この場合，次の方法のどれかで回避できます。

- 「通常使うプリンタ」を使用できる状態にする
- ダミーのローカルプリンタを「通常使うプリンタ」に設定する
- プリンタをすべて削除する

なお，「通常使うプリンタ」にネットワーク接続プリンタを設定した場合，接続先サーバの状態に影響を受けますので注意してください。

- ［環境設定］画面で指定したジョブネットフロー定義ファイルが存在しない場合，ジョブネットフロー PDF 出力できません。［環境設定］画面で，存在するジョブネットフロー定義ファイルを指定してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力した結果，文字列が欠けてユニット名がすべて表示されない場合があります。文字列が欠けて表示される場合は，Microsoft Excel に出力した帳票を使用してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力の処理時間は Microsoft Excel の描画性能に依存するため，ユニット数や関係線の数に応じて処理時間が掛かります。

  ユニット数や関係線の数が多い場合は，出力対象をユニットごとに分割するか，または出力対象の階層数を指定して出力してください。
- 印刷および印刷プレビューでデータが欠けて表示される場合，データの表示領域のサイズを拡張することによって，欠けたデータを表示させることができます。データの表示領域のサイズを拡張する方法については，「7.19 ［環境設定］画面」を参照してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力では，凡例を表示できません。凡例を表示したい場合は，［環境設定］画面で凡例表示の設定をしてジョブネットフロー出力したあと，出力した Excel ファイルを PDF ファイルに変換してください。

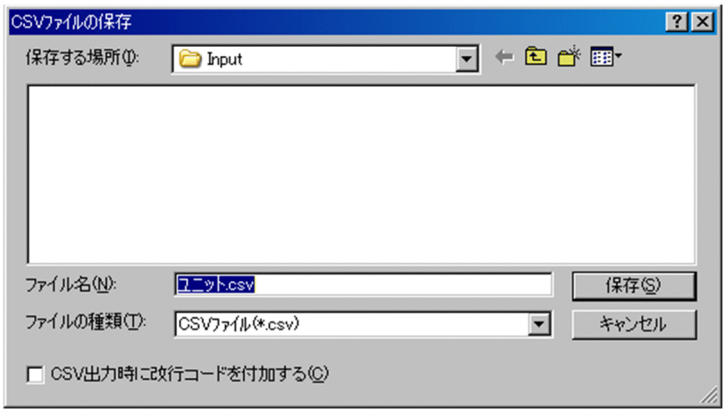
# 7.10 ［CSV ファイルの保存］画面

表示中の帳票を CSV 形式のファイルに保存します。各セルの区切りは，「,」（コンマ）です。各セルの値を「"」（二重引用符）で囲んで CSV ファイルに出力します。セルの値に「"」が含まれる場合は「""」に置き換えます。

月次・日次形式の帳票は，表示月日だけが保存の対象となり，開始期間・終了期間の効果はありません。

［CSV 出力時に改行コードを付加する］項目のチェックの有無によって，出力する CSV ファイルの内容が変化します。

図 7-25 ［CSV ファイルの保存］画面




［CSV ファイルの保存］画面の表示項目を次に示します。

ファイル名

保存する CSV ファイルを一覧から選択するか直接入力します。なお，ファイル名として次の記号は使用しないでください。

¥ / : * ? " < > ¦

また，ファイル名はパス全体で 258 バイト以下としてください。258 バイトを超える場合，名称自動変換規則に従って変換されたファイル名称で保存されます。

ファイルの種類

保存する CSV ファイルの種類を選択します。

CSV 出力時に改行コードを付加する

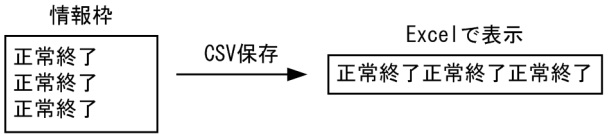
セル内に複数データがある場合に，改行コードを付加するかどうかを指定します。初期状態では［環境設定］画面で設定した値が表示されます。

チェックの有無によって出力する CSV ファイルの内容は異なります。

- チェックなしの場合

  一つの情報枠に複数行の情報が存在する場合，改行コードを含まない CSV ファイルを生成します。この CSV ファイルを Microsoft Excel で開くと一つの情報枠に複数行ある情報は，改行を行わないのでセル内に羅列して情報を表示します。

（例）




- チェックありの場合

  一つの情報枠に複数行情報が存在する場合，改行コードを付加した CSV ファイルを生成します。この CSV ファイルを Microsoft Excel で開くと一つの情報枠に複数行ある情報は，セル内で改行して情報を表示します。

（例）

保存

CSV 保存を実行します。

キャンセル

CSV 保存を終了します。

【補足】名称自動変換規則について

ファイルパス名全体が 258 バイトを超えるファイルは，名称自動変換規則に従った名称で保存されます。このとき，ファイル名の拡張子(.csv)以外の部分は(253－フォルダパス名長)バイト以内の長さに変換されます。

名称自動変換規則を次に示します。

- 拡張子を除いた部分が(253－フォルダパス名長)バイトを超える場合，(253－フォルダパス名長)バイト目が全角文字の 1 バイト目になっていれば，先頭から(252－フォルダパス名長)バイトを適用します。
- 拡張子以外の部分が(252－フォルダパス名長)バイト以下の場合はそのまま適用します。
- 変換したファイル名と拡張子を合わせた名称がすでにあるファイルパス名と一致する場合，変換後のファイル名の後ろに 3 バイトの通番が 16 進文字列(000～FFF：英字は大文字)で付加されます。ただし，先頭から(250－フォルダパス名長)バイト目が全角文字の 1 バイト目になっている場合，先頭から(249－フォルダパス名長)バイトに 3 バイトの通番が付加されます。
- 拡張子は「.csv」固定です。
- ファイル名は Shift-JIS コードに変換して生成されます。このとき，変換できなかった文字は「-」として生成されます。

**＜注意事項＞**

- 帳票に関する情報は Shift-JIS コードに変換して CSV ファイルに出力されます。このとき，変換できなかった文字は「?」として出力されます。

- CSV ファイルの出力先に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。

# 7.11 ［印刷プレビュー］画面

表示中の帳票を印刷プレビューします。

月次・日次形式の帳票は，表示月日だけが対象となり，開始期間・終了期間の効果はありません。

図 7-26 ［印刷プレビュー］画面

［印刷プレビュー］画面の表示項目を次に示します。

印刷

　印刷ダイアログを表示して，プレビューしている帳票を印刷します。

次ページ

　次のページを見ます。

前ページ

　前のページを見ます。

2 ページ

　2 ページ表示にします。

拡大

　拡大します。

縮小

　縮小します。

閉じる

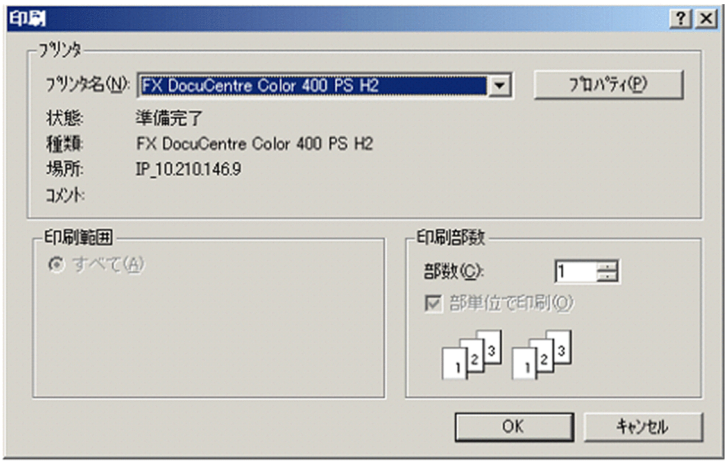
　印刷プレビューを終了します。

# 7.12 ［印刷］画面

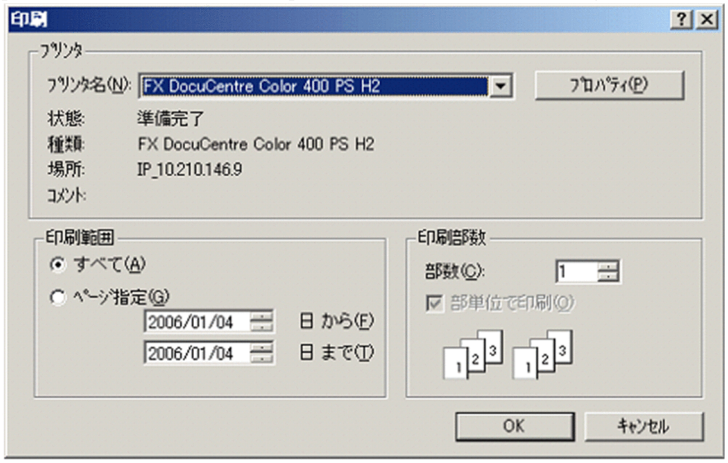
表示中の帳票を印刷します。

## 図 7-27 ［印刷］画面

●［ジョブ運用ドキュメント出力］画面がリスト形式の場合




●［ジョブ運用ドキュメント出力］画面が日次または月次形式の場合




［印刷］画面の表示項目を次に示します。

プリンタ名

　出力するプリンタが表示されます。必要に応じて変更してください。

プロパティ

　ドキュメントのプロパティを表示します。

すべて

　チェックすると，帳票のすべてが印刷されます。

ページ指定

　チェックすると，指定した期間の帳票が印刷されます。有効期間内で指定してください。

部数

　印刷する部数を指定します。

部単位で印刷

チェックすると，1 部ずつ印刷されます。

OK

印刷を開始します。

キャンセル

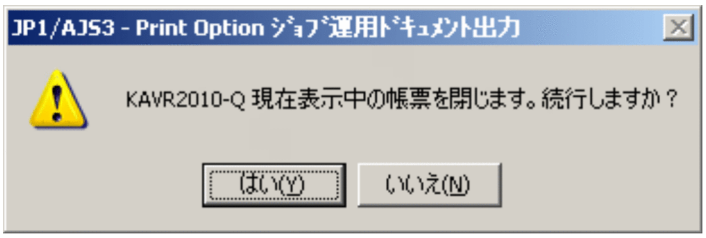
印刷しないで終了します。

## 7.13 ［閉じる］画面

表示中の帳票を閉じます。

帳票を開いている場合は，次のメッセージボックスが表示されます。

図 7-28 ［閉じる］画面




［閉じる］画面の表示項目を次に示します。

はい

　帳票を閉じます。

いいえ

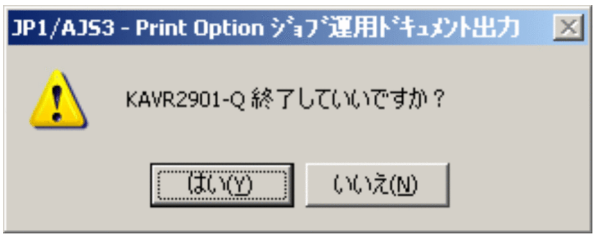
　キャンセルして元に戻ります。

## 7.14 ［終了］画面

JP1/AJS3 - Print Option を終了します。

次のメッセージボックスが表示されます。

図 7-29 ［終了］画面




［終了］画面の表示項目を次に示します。

はい
　終了します。

いいえ
　終了しないで復帰します。

## 7.15 ［書式定義］画面

帳票の書式定義をします。

［書式定義］画面には，［ユニット］，［列項目］および［その他］のタブがあります。タブごとに説明します。

### 7.15.1 共通項目

［書式定義］画面の各タブ共通の表示項目を次に示します。

書式名

書式定義名を 59 バイト以下で入力します。［参照］ボタンで既存の書式定義ファイルを選択した場合は，選択したファイル名のうちファイル拡張子（.jof）を除いた文字列が表示されます。

タイトル

タイトルを 64 バイト以下で入力します。タイトルは，用紙設定のヘッダー，フッターに使用できます。

新規

編集中の書式情報を初期化して表示します。

参照

［書式定義ファイルの選択］画面が表示されます。書式定義ファイルを選択すると，書式情報が表示されます。

登録

［書式定義ファイルの保存］画面が表示されます。指定した書式定義ファイルに書式情報が保存されます。

ファイル名として次の記号は使用しないでください。

¥ / : * ? " < > ¦

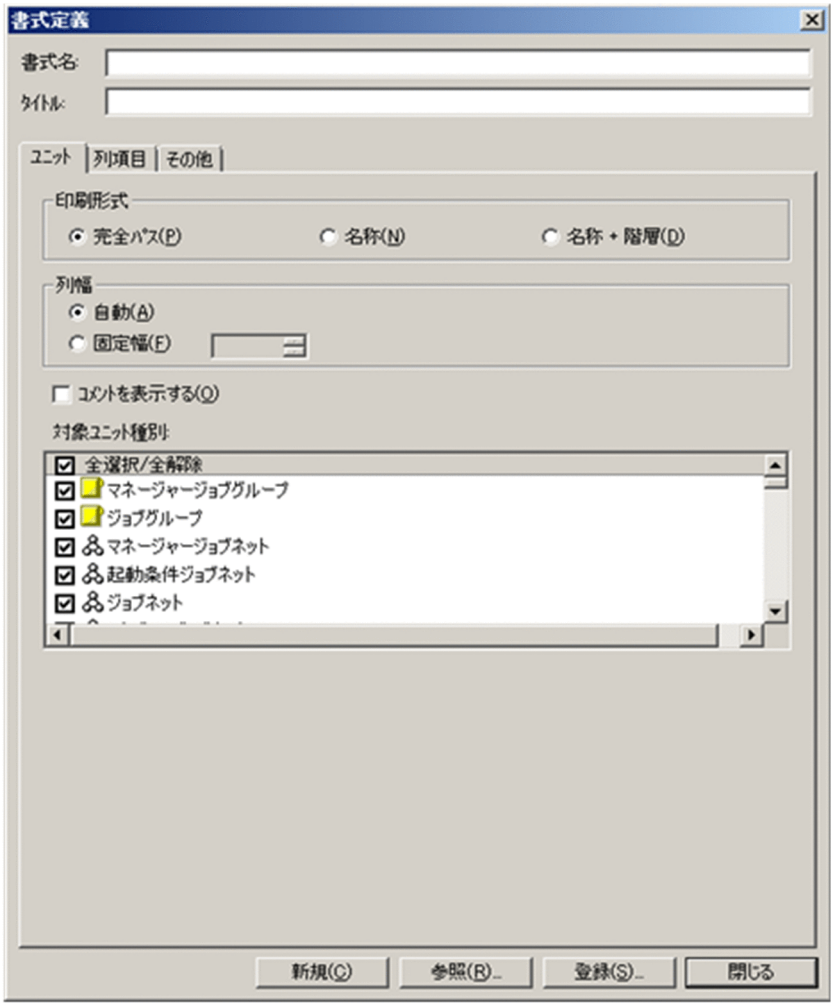
書式定義ファイルとして保存可能なファイル名は 63 バイト（拡張子含む）です。また，ファイル名はパス全体で 258 バイト以下，フォルダパス名長は 194 バイト以下としてください。

閉じる

書式定義を終了します。

## 7.15.2 ［ユニット］タブの表示項目

図 7-30 ［書式定義］画面［ユニット］タブ




［ユニット］タブの表示項目を次に示します。

印刷形式

印刷時のユニット名の表示方法を選択します。

| | |
|---|---|
| 完全パス | 完全パスで表記します（例：/AAA/BBB/CCC） |
| 名称 | 名称だけ階層段組で表記します。（例：┣ AAA） |
| 名称+階層 | 名称と階層番号を階層段組で表記します。（例：┣ (1)AAA） |

列幅

ユニット名列幅の最大値（文字数単位）を指定します。「自動」を選択するとすべての文字が入る大きさになります。「固定幅」を選択すると 10～80 の列幅を指定できます。

この設定を自動にして，ユニット名を完全パスにすると巨大列幅になることがあるので数値指定をお勧めします。

コメントを表示する

ユニット名にコメントを表示するかどうかを指定します。

チェックすると，ユニットにコメントを設定している場合，ユニット名［コメント］の形式でユニット名が表示されます。

例：├ AAAA［受注処理］

ユニットにコメントを設定していない場合，［－］が表示されます。

例：├ AAAA［－］

対象ユニット種別

帳票の対象とするかどうかを指定します。

チェックを外すとそのユニット種別は対象外になります。初期状態ではすべてのユニット種別にチェックが付いて表示されます。

全選択/全解除チェックボックスをチェックすると，すべてのユニット種別がチェックされます。チェックを外すとすべてのユニット種別のチェックが外れます。また，すべてのユニット種別がチェックされている状態からユニット種別のチェックを 1 つでも外すと，全選択/全解除チェックボックスのチェックが外れます。

## 7.15.3 ［列項目］タブの表示項目

図 7-31 ［書式定義］画面［列項目］タブ（リスト選択時）

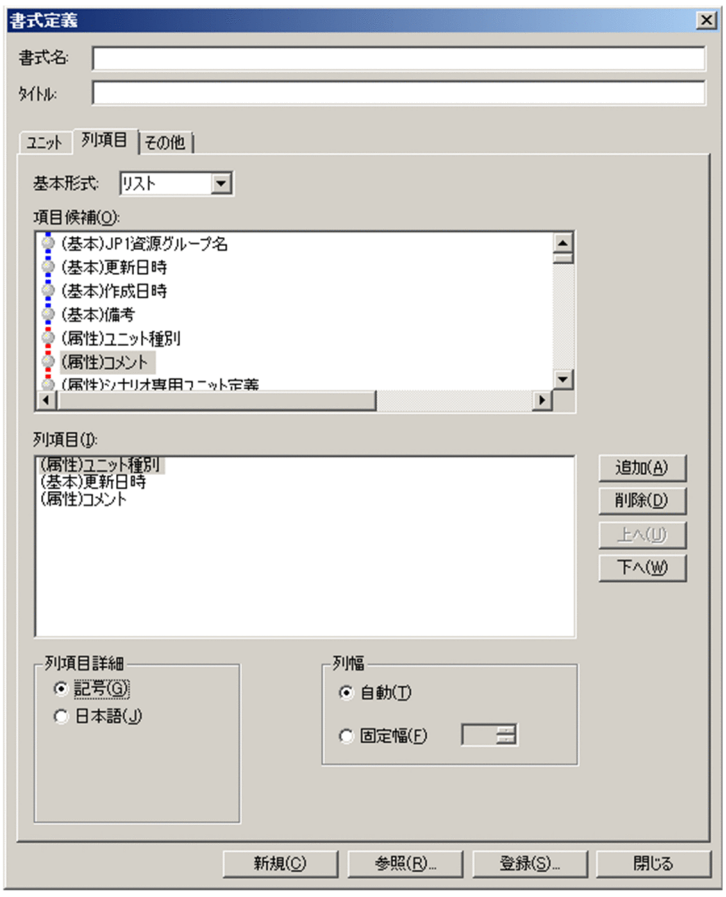


図 7-32 ［書式定義］画面［列項目］タブ（月次予定選択時）

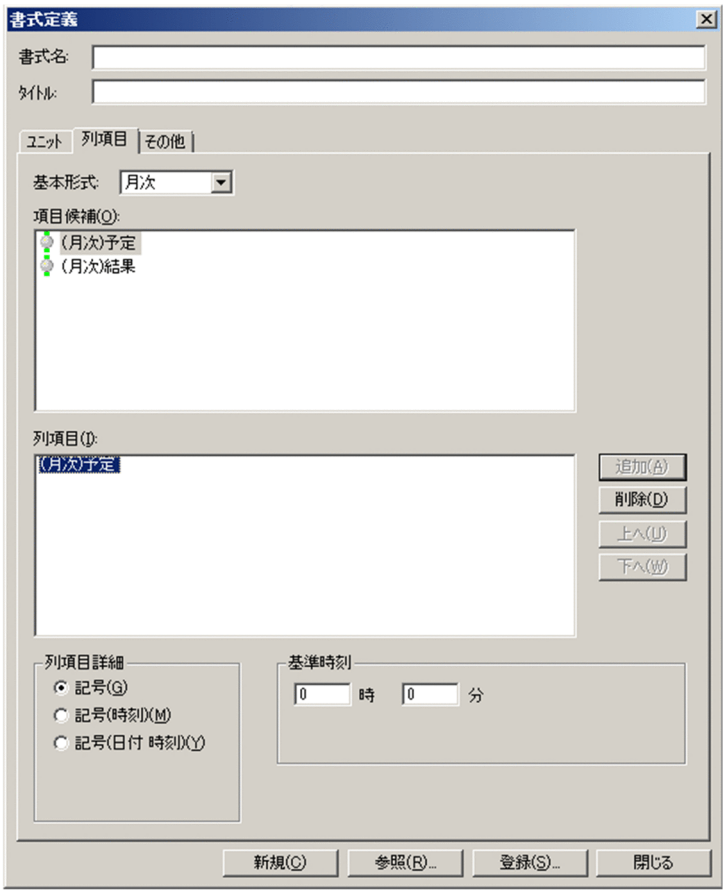


図 7-33 ［書式定義］画面［列項目］タブ（月次結果選択時）

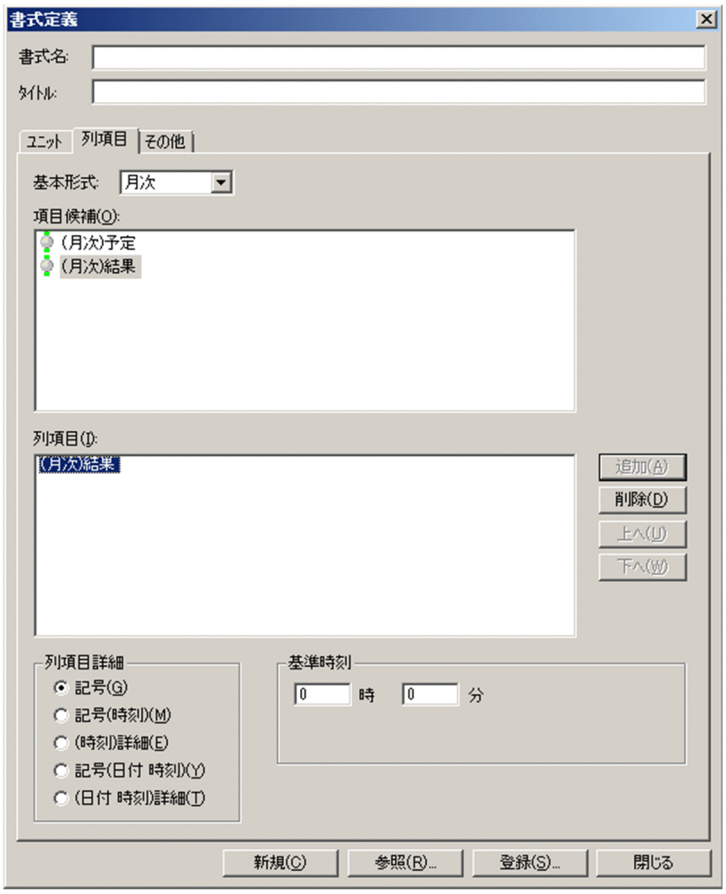
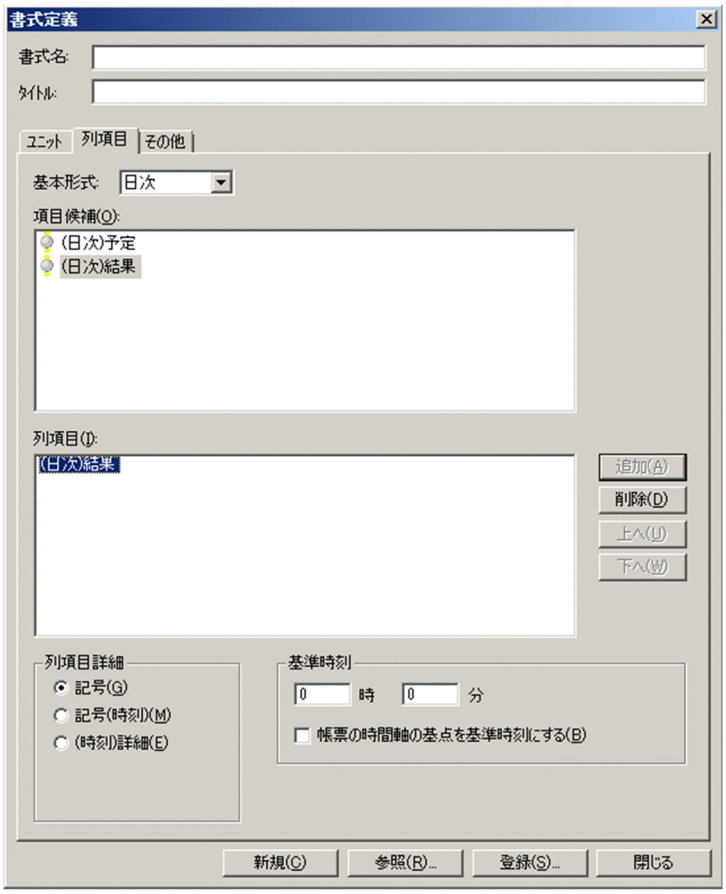


図 7-34 ［書式定義］画面［列項目］タブ（日次選択時）




［列項目］タブの表示項目を次に示します。

基本形式

月次・日次・リストのどれかを選択します。編集途中で変更するとそれまでの定義は無効になります。初期状態ではリストが表示されます。

項目候補

選択されている基本形式に応じた列項目の候補が表示されます。

列項目

帳票に表示する列項目と順序を指定します。［追加］ボタンおよび［削除］ボタンで項目を編集します。［上へ］ボタンおよび［下へ］ボタンで順序を編集します。

追加

項目候補で選択した列項目を追加します。追加位置は現在の列項目の末尾です。月次・日次で追加できる列項目の数は 1 個です。リストで追加できる列項目の数は最大 30 個です。

削除

選択した列項目を削除します。

上へ

選択した列項目を一段上に移動します。

下へ

選択した列項目を一段下に移動します。

列項目詳細

列項目のデータの表示形式を選択します。

- リスト形式の項目の場合
  「記号」または「日本語」を選択できます。
- 月次予定の項目の場合
  「記号」,「記号（時刻)」または「記号（日付 時刻)」を選択できます。
- 月次結果の項目の場合
  「記号」,「記号（時刻)」,「(時刻）詳細」,「記号（日付 時刻)」または「(日付 時刻）詳細」を選択できます。
- 日次予定の項目の場合
  「記号」または「記号（時刻)」を選択できます。
- 日次結果の項目の場合
  「記号」,「記号（時刻)」または「(時刻）詳細」を選択できます。

列幅

リストの帳票表示について列項目の列幅の最大値（文字数単位）を指定します。「自動」を選択するとすべての文字が入る大きさになります。「固定幅」を選択すると 10～80 の列幅を指定できます。

この設定を自動にして，ユニット名を完全パスにすると巨大列幅になることがあるので数値指定をお勧めします。

基準時刻

月次・日次の帳票表示で使用する基準時刻（通常は JP1/AJS の基準時刻と合わせて利用します）を指定します。

「時」には 0～23,「分」には 0～59 を指定できます。

月次では，列の境界は基準時刻を基準として区切られます。

例：基準時刻が 8：45 の場合，日付列ヘッダーが「1」の列は 1 日 8：45～2 日 8：44：59 を表します。

日次では，列の境界は 0 分を基準として区切られます。ただし，基準時刻を含む列だけは，一方が基準時刻を基準とした区切りになります。

例：24 時間制表示※で基準時刻が 8：45 の場合，時間列ヘッダーが「0」の列は 0：00：00～0：59：59 を表します。時間列ヘッダーが「8」の列は表示日の 8：45：00～8：59：59 および翌日の 8：00：00～8：44：59 を表します。

また，48 時間制表示※で基準時刻が 8:45 の場合，時間列ヘッダーが「0」の列は 2 つとも 0:00:00～0:59:59 を表します。時間列ヘッダーが「8」の列の 1 つ目は表示日の 8:45:00～8:59:59 および翌々日の 8:00:00～8:44:59 を表し，2 つ目は翌日の 8:00:00～8:59:59 を表します。

注※

24 時間制表示と 48 時間制表示は［環境設定］画面で設定します。設定の詳細は，「7.19.3 ［表示］タブの表示項目」を参照してください。

帳票の時間軸の基点を基準時刻にする

日次の帳票について時間軸の基点を基準時刻にするかどうかを指定します。

24 時間制表示※の場合

チェックすると，基準時刻で設定した時刻から始まる 24 時間分のデータが表示されます（列名は当日の指定時刻～翌日の指定時刻）。

チェックを外すと，0 時から始まる 24 時間分のデータが表示されます（列名は 0～23 固定）。

48 時間制表示※の場合

チェックすると，基準時刻で設定した時刻から始まる 48 時間分のデータが表示されます（列名は日付と当日の指定時刻～翌々日の指定時刻）。

チェックを外すと，0 時から始まる 48 時間分のデータが表示されます（列名は日付と 0～23 固定）。

注※

24 時間制表示と 48 時間制表示は［環境設定］画面で設定します。設定の詳細は，「7.19.3 ［表示］タブの表示項目」を参照してください。

## (1) 「列項目詳細」による表示の違い

［列項目］タブの「列項目詳細」での選択の違いによる，列項目の表示の違いを次に示します。

図 7-35 月次予定で「記号」を選択した場合

| 【月次】予定<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 | 10<br>土 | 11<br>日 | 12<br>月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | |
| | | | | | | | ■ | ■ | | | | |
| | | | | | | | ■ | ■ | | | | |

図 7-36 月次予定で「記号（時刻）」を選択した場合

| 【月次】予定<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ■(12:08) | ■(12:59) | ■(13:14) |
| | | | | | | | ■(12:09) | ■(13:07) | |
| | | | | | | | ■(12:35) | ■(13:14) | |

図 7-37 月次結果で「記号」を選択した場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 | 10<br>土 | 11<br>日 | 12<br>月 | 13<br>火 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ◇ | ● | | | | | |
| | | | | | | | ● | × | | | | | |
| | | | | | | | ● | ● | | | | | |

図 7-38　月次結果で「記号（時刻）」を選択した場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 | 10<br>土 | 11<br>日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ◇(12:08) | ●(13:01) | | | |
| | | | | | | | ●(12:12) | ×(13:07) | | | |
| | | | | | | | ●(12:36) | ●(13:16) | | | |

図 7-39　月次結果で「(時刻）詳細」を選択した場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | (12:08)繰り越し未実行 | (13:01)正常終了 | |
| | | | | | | | (12:12)正常終了 | (13:07)中断 | |
| | | | | | | | (12:36)正常終了 | (13:16)正常終了 | |

図 7-40　月次予定で「記号(日付 時刻)」を選択した場合

| 【月次】予定<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ■(07 12:08) | ■(08 12:59) | ■(09 13:14) |
| | | | | | | | ■(07 12:09) | ■(08 13:07) | |
| | | | | | | | ■(07 12:35) | ■(08 13:14) | |

図 7-41　月次結果で「記号(日付 時刻)」を選択した場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 | 10<br>土 | 11<br>日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | ◇(07 12:08) | ●(08 13:01) | | | |
| | | | | | | | ●(07 12:12) | ×(08 13:07) | | | |
| | | | | | | | ●(07 12:36) | ●(08 13:16) | | | |

図 7-42　月次結果で「(日付 時刻)詳細」を選択した場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 | 9<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | (07 12:08)繰り越し未実行 | (08 13:01)正常終了 | |
| | | | | | | | (07 12:12)正常終了 | (08 13:07)中断 | |
| | | | | | | | (07 12:36)正常終了 | (08 13:16)正常終了 | |

## (2)　「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」による表示の違い

［列項目］タブの「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」でのチェックの有無による，列項目の表示の違いを次に示します。

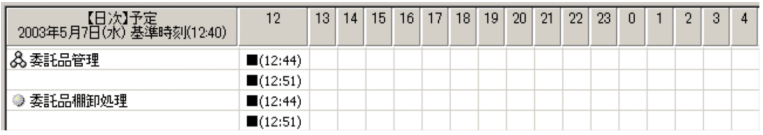
図 7-43　日次予定かつチェックなしで基準時刻を 0 時 0 分にした場合（24 時間制表示）

| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託品管理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:10) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:35) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:44) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:51) | | | | |
| 委託品棚卸処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08) | | | | |

図 7-44　日次予定かつチェックなしで基準時刻を 12 時 40 分にした場合（24 時間制表示）

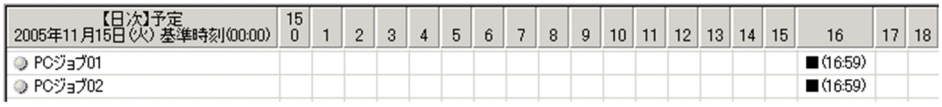
| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(12:40) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託品管理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:44) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:51) | | | | |
| 委託品棚卸処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:44) | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:51) | | | | |

図 7-45　日次予定かつチェックありで基準時刻を 12 時 40 分にした場合（24 時間制表示）



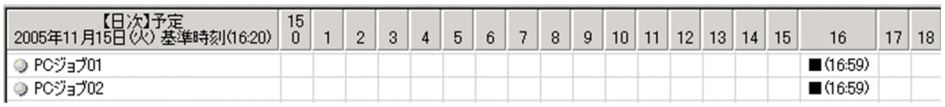
| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(12:40) | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 委託品管理 | ■(12:44) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■(12:51) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託品棚卸処理 | ■(12:44) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■(12:51) | | | | | | | | | | | | | | | | |

図 7-46　日次予定かつチェックなしで基準時刻を 0 時 0 分にした場合（48 時間制表示）



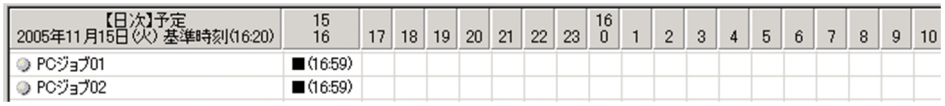
| 【日次】予定<br>2005年11月15日(火) 基準時刻(00:00) | 15<br>0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブ01 | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(16:59) | | |
| PCジョブ02 | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(16:59) | | |

図 7-47　日次予定かつチェックなしで基準時刻を 16 時 20 分にした場合（48 時間制表示）



| 【日次】予定<br>2005年11月15日(火) 基準時刻(16:20) | 15<br>0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブ01 | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(16:59) | | |
| PCジョブ02 | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(16:59) | | |

図 7-48　日次予定かつチェックありで基準時刻を 16 時 20 分にした場合（48 時間制表示）



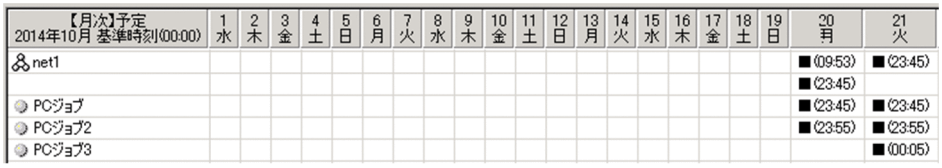
| 【日次】予定<br>2005年11月15日(火) 基準時刻(16:20) | 15<br>16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 16<br>0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブ01 | ■(16:59) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PCジョブ02 | ■(16:59) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## (3)　24 時間制表示と 48 時間制表示による表示の違い

［環境設定］画面の［表示］タブで，月次帳票と日時帳票の時間の表示形式を 24 時間制または 48 時間制に切り替えられます。設定の詳細は，「7.19.3　［表示］タブの表示項目」を参照してください。

24 時間制表示と 48 時間制表示による，表示の違いを次に示します。

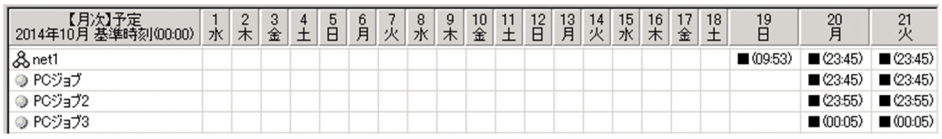
図 7-49　月次予定で日またがりのスケジュールを表示した場合（24 時間制表示）



| 【月次】予定<br>2014年10月 基準時刻(00:00) | 1<br>水 | 2<br>木 | 3<br>金 | 4<br>土 | 5<br>日 | 6<br>月 | 7<br>火 | 8<br>水 | 9<br>木 | 10<br>金 | 11<br>土 | 12<br>日 | 13<br>月 | 14<br>火 | 15<br>水 | 16<br>木 | 17<br>金 | 18<br>土 | 19<br>日 | 20<br>月 | 21<br>火 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| net1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(09:53)<br>■(23:45) | ■(23:45) |
| PCジョブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:45) | ■(23:45) |
| PCジョブ2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | ■(23:55) |
| PCジョブ3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(00:05) |

「PCジョブ3」の10月21日00:05の予定は，10月21日に表示されます。

図 7-50　月次予定で日またがりのスケジュールを表示した場合（48 時間制表示）



| 【月次】予定<br>2014年10月 基準時刻(00:00) | 1<br>水 | 2<br>木 | 3<br>金 | 4<br>土 | 5<br>日 | 6<br>月 | 7<br>火 | 8<br>水 | 9<br>木 | 10<br>金 | 11<br>土 | 12<br>日 | 13<br>月 | 14<br>火 | 15<br>水 | 16<br>木 | 17<br>金 | 18<br>土 | 19<br>日 | 20<br>月 | 21<br>火 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| net1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(09:53) | ■(23:45) | ■(23:45) |
| PCジョブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:45) | ■(23:45) |
| PCジョブ2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | ■(23:55) |
| PCジョブ3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(00:05) | ■(00:05) |

「net1」の実行予定日が10月20日の場合，「PCジョブ3」の10月21日00:05の予定は，
10月20日に表示されます。

図 7-51　日次予定で表示した場合（24 時間制表示）

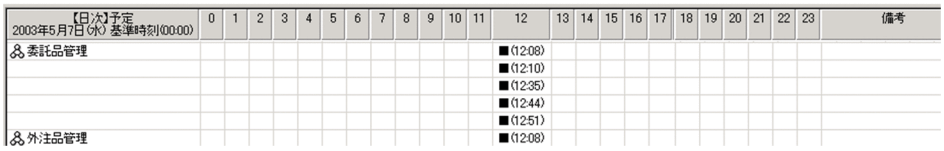
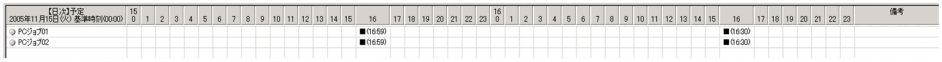
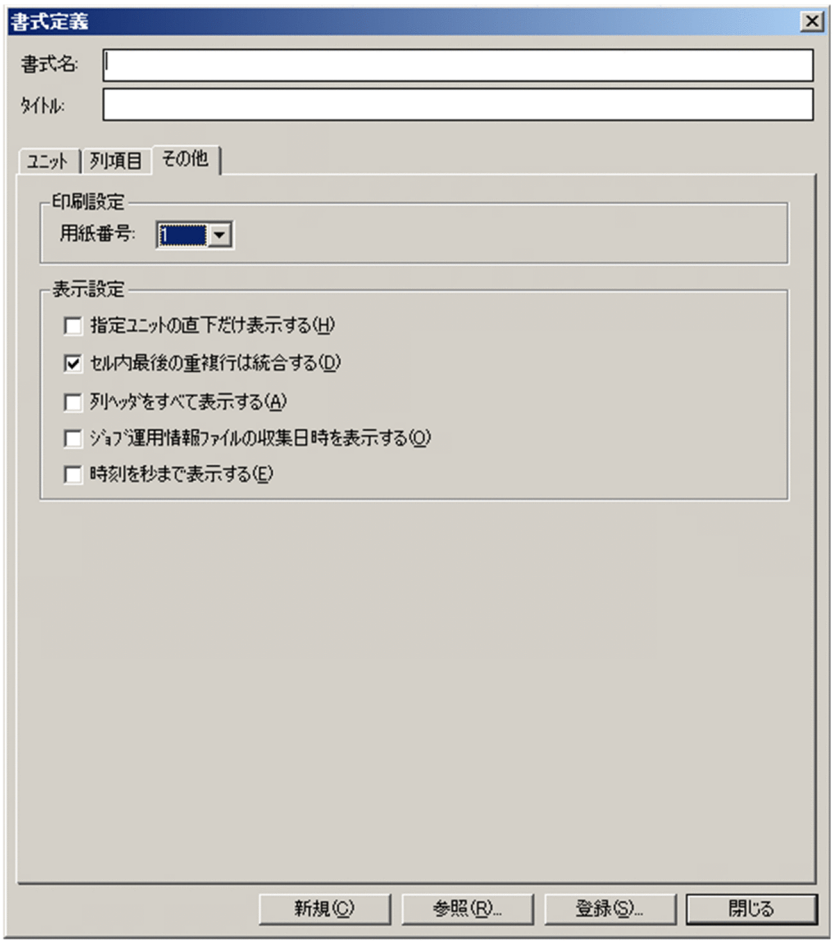



図 7-52　日次予定で表示した場合（48 時間制表示）



## 7.15.4　［その他］タブの表示項目

図 7-53　［書式定義］画面［その他］タブ




［その他］タブの表示項目を次に示します。

用紙番号

書式の用紙設定番号を指定します。用紙設定で「定義書式採用」にしたとき採用されます。

指定ユニットの直下だけに限定する

指定ユニットの直下だけを対象とするかどうかを指定します。チェックすると，階層の深いユニットは除外されます。また，［表示］－［直下のみ表示］メニューおよび［表示］－［すべて表示］メニューは非活性になり，常に直下のユニットだけが表示されます。

セル内最後の重複行は統合する

チェックすると，一つのセル内に複数行あるとき，重複行を統合表示します。対象となるのは，データの始めが数字でその直後が，（コンマ）であるデータだけです。

例 1：チェックしない場合のデータ表示

1，相対時刻 00:00
2，相対時刻 00:00
3，相対時刻 00:00
4，相対時刻 00:00

例 2：チェックする場合のデータ表示

1-4，相対時刻 00:00

列ヘッダをすべて表示する

列ヘッダに列項目名をすべて表示するかどうかを指定します。

チェックを外すと，先頭の（…）部分を省略して表示されます。

ジョブ運用情報ファイルの収集日時を表示する

列ヘッダのユニット名にジョブ運用ファイルの収集日時を表示するかどうかを指定します。チェックすると，次に示す形式で表示されます。

```
収集日時(YYYY/MM/DD HH:MM)
        ユニット名
```

時刻を秒まで表示する

月次および日次の列項目詳細で時刻の表示（「記号（時刻)」，「(時刻）詳細」，「記号（日付 時刻)」，または「(日付 時刻）詳細」）を選択している場合に，その時刻を秒まで表示するか，分まで表示するかを選択します。

## (1) 「ジョブ運用情報ファイルの収集日時を表示する」による表示の違い

［その他］タブの「ジョブ運用情報ファイルの収集日時を表示する」でのチェックの有無による，列項目の表示の違いを次に示します。

図 7-54　ユニットでチェックなしにした場合

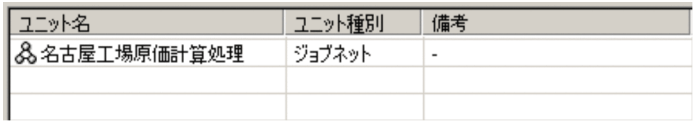


図 7-55　ユニットでチェックありにした場合

| 収集日時(2003/05/24 14:04)<br>ユニット名 | ユニット種別 | 備考 |
|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | ジョブネット | - |

図 7-56　月次結果でチェックなしにした場合

| 【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 | 8<br>木 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | (12:08)繰り越し未実行 | (13:01)正常終了 |
| | | | | | | | (12:12)正常終了 | (13:07)中断 |
| | | | | | | | (12:36)正常終了 | (13:16)正常終了 |

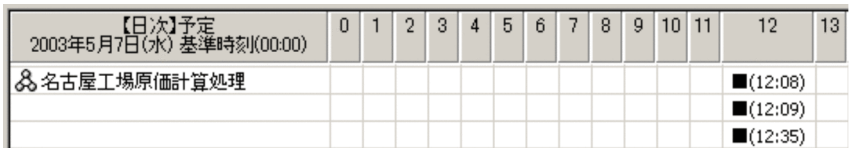
図 7-57　月次結果でチェックありにした場合

| 収集日時(2003/05/24 14:04)【月次】結果<br>2003年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>木 | 2<br>金 | 3<br>土 | 4<br>日 | 5<br>月 | 6<br>火 | 7<br>水 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | (12:08)繰り越し未実行 |
| | | | | | | | (12:12)正常終了 |
| | | | | | | | (12:36)正常終了 |

## (2)　「時刻を秒まで表示する」による表示の違い

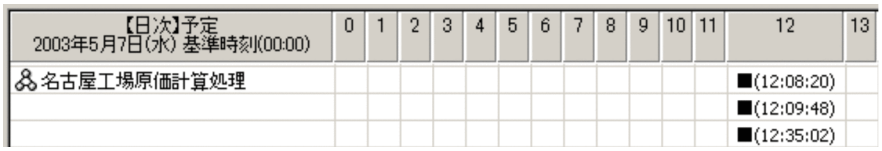
［その他］タブの「時刻を秒まで表示する」でのチェックの有無による，列項目の表示の違いを次に示します。

図 7-58　日次予定でチェックなしにした場合



| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08) | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:09) | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:35) | |

図 7-59　日次予定でチェックありにした場合



| 【日次】予定<br>2003年5月7日(水) 基準時刻(00:00) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋工場原価計算処理 | | | | | | | | | | | | | ■(12:08:20) | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:09:48) | |
| | | | | | | | | | | | | | ■(12:35:02) | |

## 7.15.5　［書式定義］画面の注意事項

［書式定義］画面の注意事項を次に示します。

- 月次または日次形式の書式で設定できる基準時刻の数は一つです。JP1/AJS で複数の基準時刻を設定している場合は，基準時刻の設定単位ごとにジョブ運用情報を収集するなどして，帳票表示対象とするユニットに対して複数の基準時刻が混在しないようにしてください。
- 月次帳票では，JP1/AJS3 - Manager でルートジョブネットを 48 時間制スケジュールに設定している場合，［環境設定］画面の［表示］タブでの表示形式の設定にあわせて表示されます。

ジョブネットの実行予定日が 3 月 31 日の場合の例を次に示します。

24 時間制表示の場合

3 月 31 日 25:00 に実行したジョブの表示位置は 4 月 1 日となります。

48 時間制表示の場合

3 月 31 日 25:00 に実行したジョブの表示位置は 3 月 31 日となります。

- 月次帳票では，帳票の列の境界は，基準時刻を基準として区切られます。例えば，基準時刻が 8:45 のとき，日付列ヘッダが「1」の列は 1 日 8:45:00～2 日 8:44:59 を表します。
- 日次帳票では，帳票の列の境界は，0 分を基準として区切られます。ただし，基準時刻を含む列に限り，一方が基準時刻を基準とした区切りとなります。

  基準時刻が 8:45 の場合の例を次に示します。

  24 時間制表示の場合

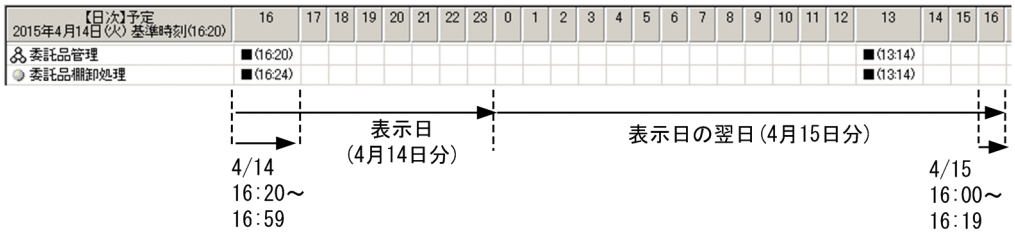
  時間列ヘッダが「0」の列は 0:00:00～0:59:59 を表しますが，時間列ヘッダが「8」の列は，表示日の 8:45:00～8:59:59 および翌日の 8:00:00～8:44:59 を表します。

  48 時間制表示の場合

  時間列ヘッダが「0」の列は 2 つとも 0:00:00～0:59:59 を表します。

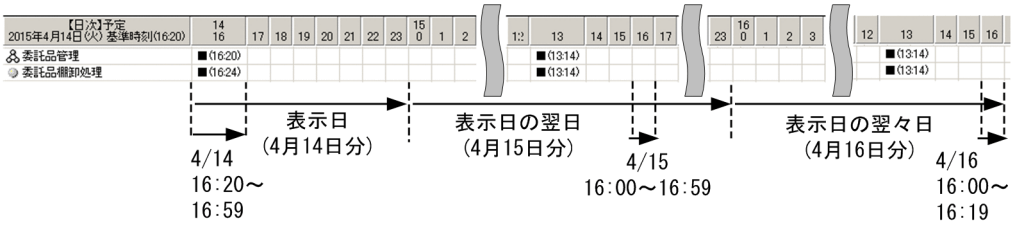
  時間列ヘッダが「8」の列の 1 つ目は表示日の 8:45:00～8:59:59 および翌々日の 8:00:00～8:44:59 を表し，2 つ目は翌日の 8:00:00～8:59:59 を表します。
- 日次帳票で基準時刻を設定し，「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」をチェックしている場合，帳票内の時間軸は時系列に並びますが，チェックしていない場合，帳票内の時間軸は基準時刻を境に折り返した表示となるため時系列に並びません。出力例を次に示します。

  （例 1）24 時間制表示で基準時刻を 16 時 20 分にして，「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」をチェックしている場合

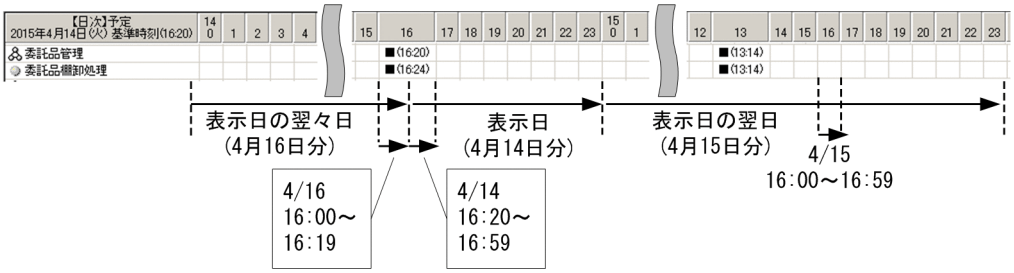



  （例 2）24 時間制表示で基準時刻を 16 時 20 分にして，「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」をチェックしていない場合

（例 3）48 時間制表示で基準時刻を 16 時 20 分にして，「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」をチェックしている場合




（例 4）48 時間制表示で基準時刻を 16 時 20 分にして，「帳票の時間軸の基点を基準時刻にする」をチェックしていない場合

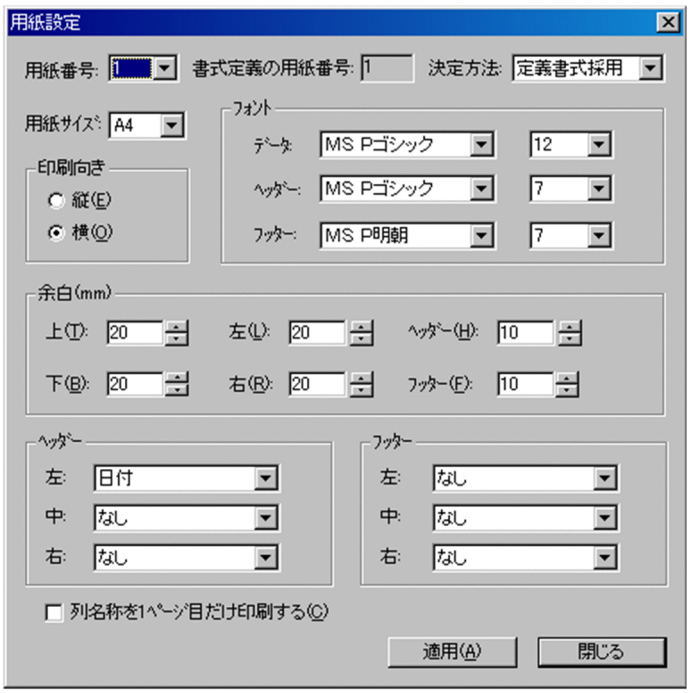



- 参照した書式定義ファイルに，現在のバージョンでサポートされていない列項目候補が存在している場合，画面に表示される列項目内の項目名が赤色となります。この項目は，そのまま利用した場合には，情報無しを示す「－」（ハイフン記号）がデータとして出力されます。また，この項目は，いったん［削除］ボタンで削除した場合，再度追加することはできません。
- 書式情報は Shift-JIS コードに変換して書式定義ファイルに出力されます。このとき，変換できなかった文字は「?」として出力されます。
- 書式定義ファイルの出力先に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。
- 該当データがない場合，または列項目の出力対象になっていないユニット種別の場合は，空白，「-」（ハイフン），「***」（アスタリスク）などが表示されます。列項目の出力対象のユニット種別については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの説明を参照してください。

# 7.16 ［用紙設定］画面

印刷する用紙の設定をします。

図 7-60 ［用紙設定］画面




［用紙設定］画面の表示項目を次に示します。

用紙番号

編集する用紙番号を選択します。

書式定義の用紙番号

現在使用している書式の用紙番号が表示されます。

決定方法

用紙番号を採用する方法を選択します。

「定義書式採用」または 1～5 を選択できます。「定義書式採用」を選択すると，［書式定義］画面に指定した用紙番号を印刷時に採用します。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。選択肢は，A4・A3 です。

印刷向き

印刷向きを選択します。選択肢は，横・縦です。

フォント（データ・ヘッダー・フッター）

フォントの字体とサイズを選択します。字体の選択肢を次に示します。

- 日本語の場合：MS ゴシック・MS 明朝・MS P ゴシック・MS P 明朝

- 中国語の場合：Arial・Times New Roman・Microsoft YaHei・SimSun
- その他の言語の場合：Arial・Times New Roman・Verdana・Palatino Linotype

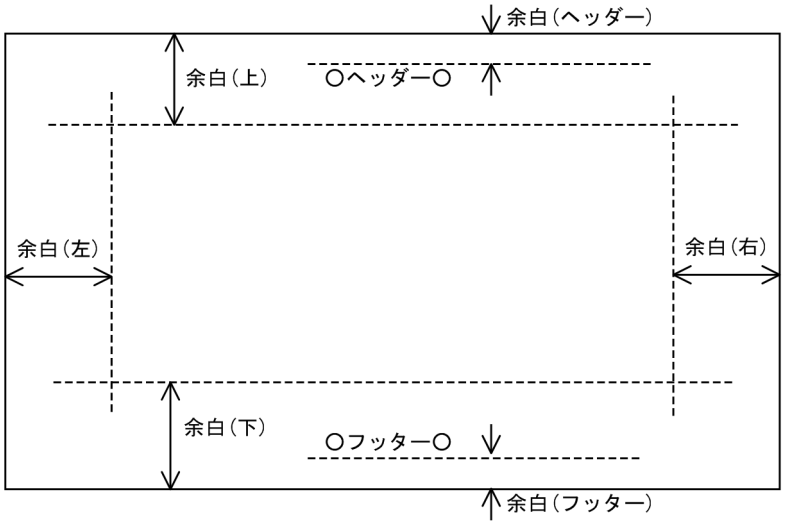
サイズの選択肢は，6～12 ポイントです。

余白(mm)（上・下・左・右・ヘッダー・フッター）

余白をミリ単位で入力します。入力できる範囲は 0～99mm です。

各余白の位置は次のとおりです。

図 7-61　余白の位置




ヘッダー（左・中・右）

ヘッダーを印刷する方法を選択します。次の選択肢があります。

| | |
|---|---|
| なし | 表示しない |
| 日付 | 印刷時の日付 |
| ページ | ページ数 |
| ページ数/総ページ数 | ページ数/総ページ数 |
| 日付+時間 | 印刷時の日付と時間 |
| ページ-サブページ | ページ-サブページ |
| タイトル | 書式で定義したタイトル |
| 最終更新日時 | 下位のユニットを含む最終更新日時 |

注 1　サブページとは，列方向にはみ出したときのページです。

注 2　月次・日次のページは，月ごと，または日ごととなり印刷したページ数とは異なります。

注 3　ジョブ運用情報ファイルに最終更新日時の情報がない場合は，出力されません。

フッター（左・中・右）

フッターを印刷する方法を選択します。選択肢はヘッダーと同じです。

列名称を 1 ページ目だけ印刷する

チェックすると，列名称を 1 ページ目だけに印刷します。チェックしないと，すべてのページに列名称を印刷します。

適用

編集した設定を適用し，保管します。

閉じる

用紙設定を終了します。

# 7.17 ［表示範囲の変更］画面

月次，または日次形式の帳票の表示範囲を変更します。

図 7-62 ［表示範囲の変更］画面

［表示範囲の変更］画面の表示項目を次に示します。

有効期間

処理中入力ファイルのデータ範囲が表示されます。

表示

表示する日をカレンダーから選択します。

OK

編集した設定情報を保存して画面を閉じます。

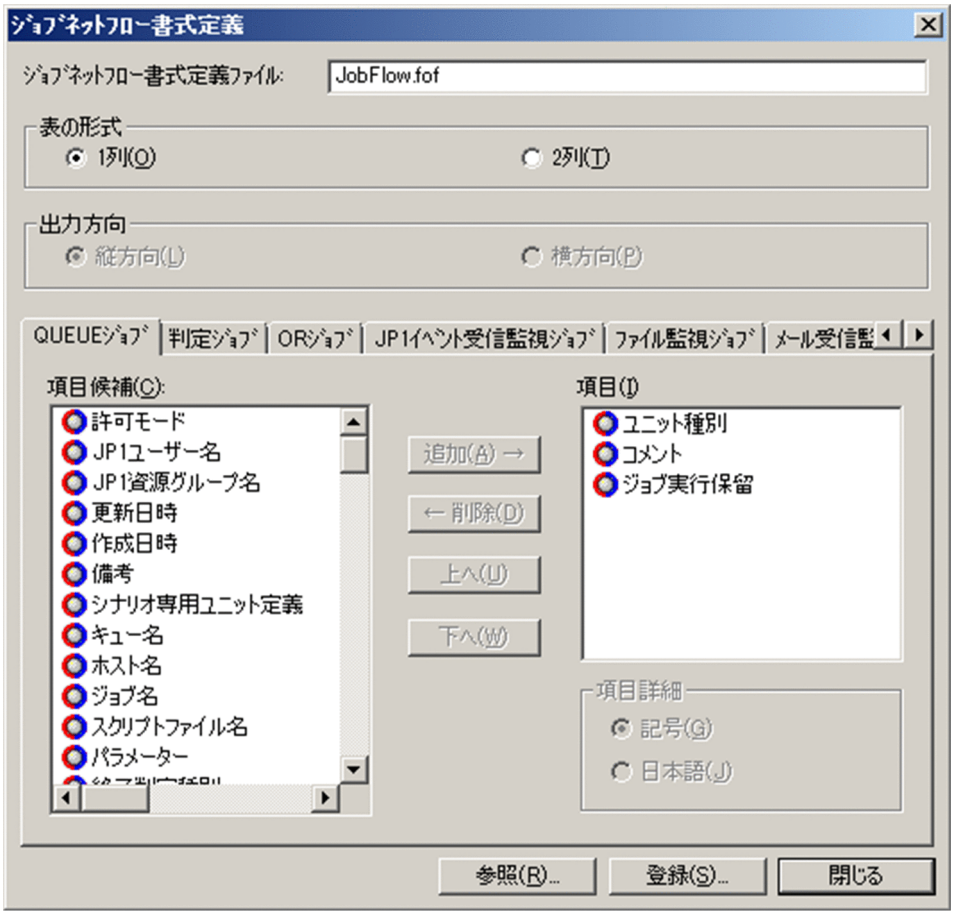
キャンセル

設定内容を保存しないで終了します。

# 7.18 ［ジョブネットフロー書式定義］画面

ジョブネットフロー出力の書式定義をします。

図 7-63 ［ジョブネットフロー書式定義］画面




［ジョブネットフロー書式定義］画面の表示項目を以下に示します。

ジョブネットフロー書式定義ファイル

現在参照しているジョブネットフロー書式定義ファイル名を表示します。ジョブネットフロー書式定義ファイル名を入力する場合は，63 バイト以下（拡張子含む）で指定してください。

表の形式

表の出力形式を指定します。「1 列」または「2 列」のどちらかを選択できます。デフォルトは「1 列」です。

出力方向

表の形式で「2 列」を選択した場合，表の出力方向を指定します。「縦方向」または「横方向」のどちらかを選択できます。デフォルトは「縦方向」です。

ユニット種別タブ

ユニット種別ごとにタブがあります。書式定義を変更したいユニット種別のタブを押すと，選択したユニット種別に対応した設定項目を表示します。

項目候補

ジョブネットフローに表示しない項目を表示します。

項目

ジョブネットフローに表示する項目を表示します。ここに表示している順番でジョブネットフローに出力します。最大 20 個まで登録できます。

追加

項目候補で選択しているアイテムを項目に追加します。

削除

項目で選択しているアイテムを削除します。

上へ

項目で選択しているアイテムを一段上に移動します。

下へ

項目で選択しているアイテムを一段下に移動します。

項目詳細

項目で選択しているアイテムに指定可能な詳細情報がある場合に活性化します。

記号を選択した場合，定義内容を JP1/AJS のユニット定義ファイルに定義する，ユニット定義パラメーターの記述記号で情報を表示します。

日本語を選択した場合，定義内容を日本語で表示します。

参照

ジョブネットフロー書式定義ファイルから，ジョブネットフロー書式定義を読み込みます。

登録

設定したジョブネットフロー書式を任意のジョブネットフロー書式定義ファイルに保管します。なお，ファイル名として次の記号は使用しないでください。

¥ / : * ? " < > ¦

ジョブネットフロー書式定義ファイルとして保存可能なファイル名は 63 バイト（拡張子含む）です。また，ファイル名はパス全体で 258 バイト以下，フォルダパス名長は 194 バイト以下としてください。

閉じる

設定内容を有効にしないで，［ジョブネットフロー書式定義］画面を終了します。

**＜注意事項＞**

- 参照したジョブネットフロー書式定義ファイルに，現在のバージョンでサポートされていない帳票項目候補が存在している場合，画面に表示される項目内の帳票項目名が赤色となります。この項目は，そのまま利用した場合には，情報無しを示す「－」（ハイフン記号）がデータとして出力されます。また，この項目は，いったん「削除(D)」の操作をした場合，再度追加することはできません。

- 07-10 以前の製品で定義したジョブネットフロー書式定義ファイルを利用する場合は，「付録 D.1　JP1/AJS3 - Print Option の製品ファイル情報」の表 D-1 の注※2 を参照の上，「7.19　［環境設定］画面」で正しく設定を行ってください。
- ジョブネットフロー書式定義ファイルの出力先に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。
- 該当データがない場合，または列項目の出力対象になっていないユニット種別の場合は，空白，「-」（ハイフン），「***」（アスタリスク）などが表示されます。列項目の出力対象のユニット種別については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの説明を参照してください。
- 項目候補および項目のリストでは，ajsprint コマンドの出力項目の場合は を，ajsshow コマンドの出力項目の場合は を先頭に表示します。
- 凡例を表示する設定をしている場合，ジョブネットフロー書式定義でユニット種別を指定しておくと，凡例のユニット種別とデータのユニット種別を関連づけることができます。

## 7.19 ［環境設定］画面

環境設定をします。

［環境設定］画面には，［既定値の設定］，［表示］および［マップ／ジョブネットフロー］のタブがあります。タブごとに説明します。

### 7.19.1 共通項目

［環境設定］画面の各タブ共通の表示項目を次に示します。

OK

設定内容を有効にして，環境設定を終了します。

キャンセル

設定内容を有効にしないで，環境設定を終了します。

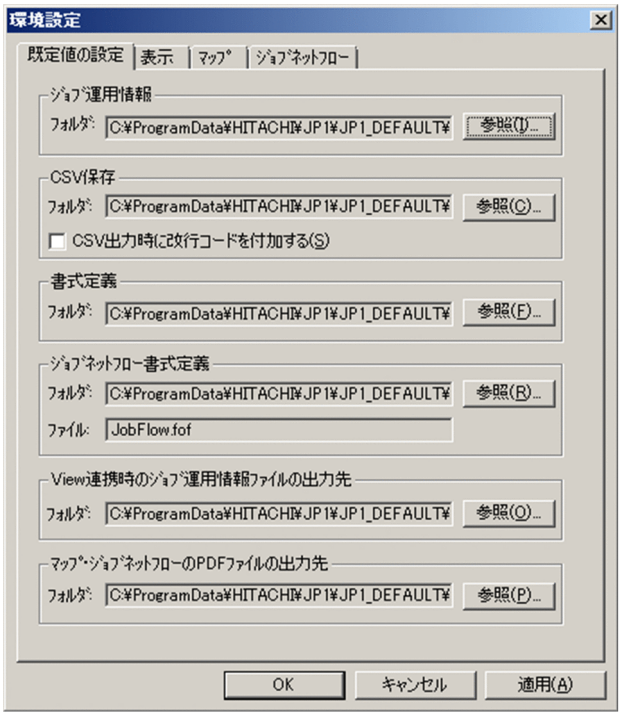
適用

設定内容を有効にして，環境設定は終了しません。

### 7.19.2 ［既定値の設定］タブの表示項目

既定フォルダとファイルのデフォルト値を設定します。

図 7-64 ［環境設定］画面［既定値の設定］タブ



ジョブ運用情報（フォルダ・参照）

ジョブ運用情報ファイルがあるフォルダのデフォルト値を指定します。右側にある参照ボタンで値を変更してください。

CSV 保存（フォルダ・参照・CSV 出力時に改行コードを付加する）

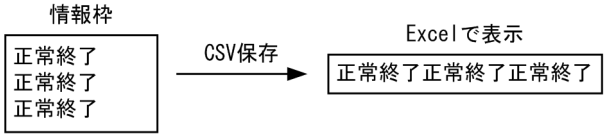
CSV ファイルを保存するフォルダのデフォルト値を指定します。右側にある参照ボタンで値を変更してください。

［CSV 出力時に改行コードを付加する］チェックボックスによって出力する CSV ファイルの内容が変化します。

- チェックなしの場合

  一つの情報枠に複数行の情報が存在する場合，改行コードを含まない CSV ファイルを生成します。この CSV ファイルを Microsoft Excel で開くと一つの情報枠に複数行ある情報は，改行を行わないのでセル内に羅列して情報を表示します。

（例）




- チェックありの場合

  一つの情報枠に複数行情報が存在する場合，改行コードを付加した CSV ファイルを生成します。この CSV ファイルを Microsoft Excel で開くと一つの情報枠に複数行ある情報は，セル内で改行して情報を表示します。

（例）

書式定義（フォルダ・参照）

書式定義ファイルがあるフォルダのデフォルト値を指定します。

右側にある参照ボタンで値を変更してください。帳票表示中は変更できません。

書式定義ファイルは，必ずここに指定したフォルダに格納してください。

ジョブネットフロー書式定義（フォルダ・参照・ファイル）

［ジョブネットフロー書式定義］画面の［ジョブネットフロー書式定義ファイル］のデフォルト値を指定します。右側にある参照ボタンでフォルダおよびファイルを選択してください。

指定した値は，ジョブネットフロー出力およびジョブネットフロー PDF 出力で，使用します。

View 連携時のジョブ運用情報ファイルの出力先（フォルダ・参照）

JP1/AJS3 - View 連携時のジョブ運用情報ファイルを格納するフォルダのデフォルト値を指定します。右側にある参照ボタンでフォルダを選択してください。

指定した値は，［ジョブ運用情報の収集］画面を［JP1/AJS3 - View］画面から表示させた場合の［ジョブ運用情報の出力先ファイル名］のフォルダパスとして表示されます。

マップ・ジョブネットフローの PDF ファイルの出力先（フォルダ・参照）

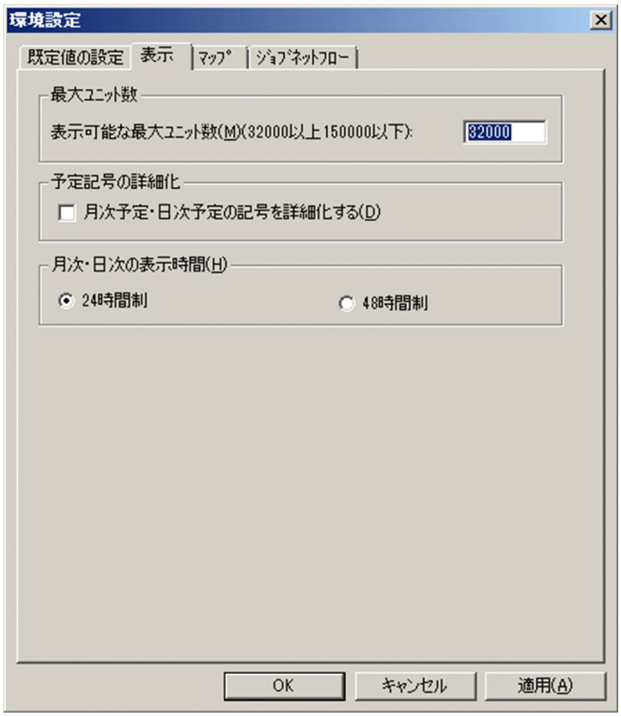
マップ形式またはジョブネットフロー形式の定義内容を PDF ファイルに出力する際のフォルダのデフォルト値を指定します。右側にある参照ボタンでフォルダを選択してください。

指定した値は，［マップ PDF 出力］画面および［ジョブネットフロー PDF 出力］画面の［PDF ファイルの保存先］のフォルダパスとして表示されます。

## 7.19.3 ［表示］タブの表示項目

ジョブ運用ドキュメント出力情報の表示の設定をします。

図 7-65 ［環境設定］画面［表示］タブ




最大ユニット数

帳票出力で表示できる最大ユニット数を指定します。最大ユニット数は 32,000～150,000 の範囲の半角数字で指定してください。デフォルトは 32,000 です。

予定記号の詳細化

月次予定・日次予定で表示される記号を変更します。

- チェックなしの場合

  月次予定・日次予定で表示される記号はすべて■（予定）となります。

- チェックありの場合

  月次予定・日次予定で表示される記号が状態に合わせた記号となります。

表示される記号については，「付録 C 月次／日次帳票の表記記号一覧」を参照してください。

月次・日次の表示時間

月次帳票・日次帳票を 24 時間制で表示するか，48 時間制で表示するかを選択します。「24 時間制」または「48 時間制」のどちらかを選択できます。デフォルトは「24 時間制」です。

- 「24 時間制」を選択した場合

  月次帳票では，ジョブの日またがりのスケジュールを日付どおりに表示します。日次帳票では，表示日から 24 時間のスケジュールを表示します。

- 「48 時間制」を選択した場合

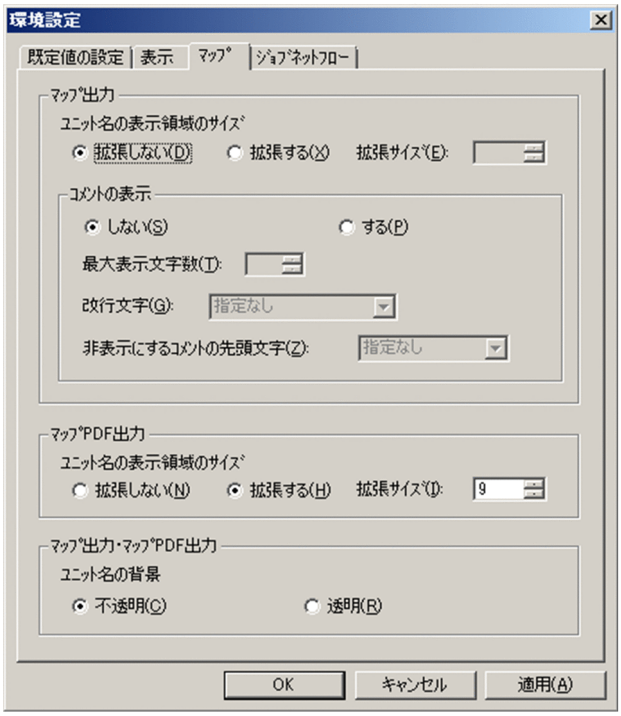
  月次帳票では，ジョブの日またがりのスケジュールを実行予定日の位置に表示します。日次帳票では，表示日から 48 時間分のスケジュールを表示します。

24 時間制表示と 48 時間制表示の詳細については，「7.15.3 ［列項目］タブの表示項目」を参照してください。

## 7.19.4 ［マップ］タブの表示項目

マップ出力の表示の設定をします。

図 7-66 ［環境設定］画面［マップ］タブ




マップ出力

ユニット名の表示領域のサイズを拡張するかどうかを選択します。印刷および印刷プレビューでユニット名が欠けて表示される場合は「拡張する」を選択します。「拡張する」を選択した場合，「拡張サイ

ズ」に指定したサイズ分だけ，ユニット名の表示領域の高さを拡張します。デフォルトは「拡張しない」です。

「拡張する」を選択した場合は，「拡張サイズ」（単位：ポイント）を 9～30 の小数点第 1 位までの数値で指定します。小数点第 2 位以下を指定した場合は，小数点第 2 位以下は切り捨てられます。

コメントの表示

ユニット名の下にコメントを表示するかどうかを選択します。コメントを表示する場合は「する」を選択します。デフォルトは「しない」です。

「する」を選択した場合，次の項目を設定します。

- 最大表示文字数

  コメントを表示する文字数を，コメントの先頭から 1～80 文字の範囲の数値で指定します。デフォルトは 30 です。

- 改行文字

  コメントを表示するときに，指定した改行文字の直後で改行します。「指定なし」，「" "（スペース）」，「,（コンマ）」，「.（ピリオド）」，「-（ハイフン）」，「:（コロン）」，および「;（セミコロン）」から選択します。

  「指定なし」を選択すると，コメントを改行しません。「" "（スペース）」を選択すると，全角スペースまたは半角スペースの直後で改行します。その他の記号を選択すると，選択した半角記号の直後で改行します。デフォルトは「指定なし」です。

- 非表示文字にするコメントの先頭文字

  指定した先頭文字でコメントが始まる場合，そのユニットのコメントは表示しません。「指定なし」，「#」，「@」，「%（パーセント）」，「&」，および「*」から選択します。

  「指定なし」を選択すると，コメントをすべて表示します。デフォルトは「指定なし」です。

マップ PDF 出力

ユニット名の表示領域のサイズを拡張するかどうかを選択します。印刷および印刷プレビューでユニット名が欠けて表示される場合は「拡張する」を選択します。「拡張する」を選択した場合，「拡張サイズ」に指定したサイズ分だけ，ユニット名の表示領域の高さを拡張します。デフォルトは「拡張する」です。

「拡張する」を選択した場合は，「拡張サイズ」（単位：ポイント）を 9～30 の小数点第 1 位までの数値で指定します。小数点第 2 位以下を指定した場合は，小数点第 2 位以下は切り捨てられます。デフォルトは 9 です。

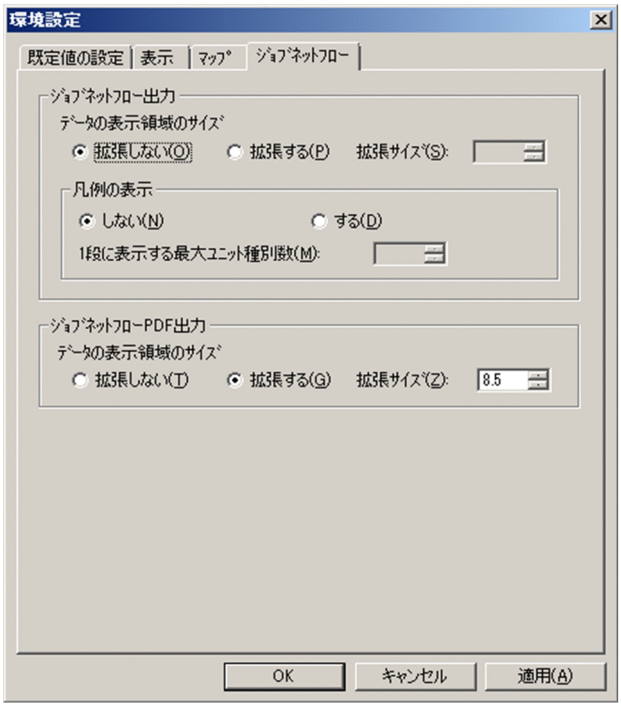
マップ出力・マップ PDF 出力

ユニット名の背景を透明にするかどうかを選択します。ユニット名の背景で矢印が隠れて表示されない場合は「透明」を選択します。デフォルトは「不透明」です。

## 7.19.5 ［ジョブネットフロー］タブの表示項目

ジョブネットフロー出力の表示の設定をします。

図 7-67 ［環境設定］画面［ジョブネットフロー］タブ




ジョブネットフロー出力

データの表示領域のサイズを拡張するかどうかを選択します。印刷および印刷プレビューでデータが欠けて表示される場合は「拡張する」を選択します。「拡張する」を選択した場合，「拡張サイズ」に指定したサイズ分だけ，データの表示領域のセルの高さを拡張します。デフォルトは「拡張しない」です。

「拡張する」を選択した場合は，「拡張サイズ」（単位：ポイント）を 8.5～400 の小数点第 1 位までの数値で指定します。小数点第 2 位以下を指定した場合は，小数点第 2 位以下は切り捨てられます。

凡例の表示

ジョブネットフロー出力時に，先頭に凡例としてユニット種別ごとの項目名を表示するかどうかを選択します。「しない」を選択した場合，凡例が表示されます。「する」を選択した場合，先頭にユニット種別ごとにジョブネットフロー書式定義で指定した項目名が表示されます。デフォルトは「しない」です。

ユニット種別の並び順は，［書式定義］画面の［ユニット］タブの対象ユニット種別で指定しているユニット種別の順序です。

「1 段に表示する最大ユニット種別数」は，1 段に出力するユニット種別の最大数を 1～100 の数値で指定します。デフォルトは 5 です。

たとえば，出力するユニット種別が 6 個ある場合，「1 段に表示する最大ユニット種別数」を 4 にすると，1 段目に 4 個，2 段目に 2 個表示されます。

ジョブネットフロー PDF 出力

データの表示領域のサイズを拡張するかどうかを選択します。印刷および印刷プレビューでデータが欠けて表示される場合は「拡張する」を選択します。「拡張する」を選択した場合，「拡張サイズ」に指定したサイズ分だけ，データの表示領域のセルの高さを拡張します。デフォルトは「拡張する」です。

「拡張する」を選択した場合は，「拡張サイズ」（単位：ポイント）を 8.5～400 の小数点第 1 位までの数値で指定します。小数点第 2 位以下を指定した場合は，小数点第 2 位以下は切り捨てられます。デフォルトは 8.5 です。

## 7.19.6 ［環境設定］画面の注意事項

［環境設定］画面の注意事項を次に示します。

- フォルダパス名およびファイルパス名の情報は Shift-JIS コードに変換して保存されます。このとき，変換できなかった文字は「?」として保存されるため，次のような現象が発生します。
  - ［参照］ボタンを押したときに表示するフォルダ選択ダイアログおよびファイルダイアログは，指定されたパスではなく，上位の存在するディレクトリまでのパス，またはカレントディレクトリを表示します。
  - ジョブ運用情報フォルダ情報に「?」が含まれていると，ファイルを開くときに表示するファイルダイアログは，指定のディレクトリではなく，カレントディレクトリを表示します。
  - CSV 保存フォルダ情報に「?」が含まれていると，CSV 保存時に表示するファイルダイアログは，指定のディレクトリではなく，カレントディレクトリを表示します。
  - 書式定義フォルダ情報に「?」が含まれていると，書式定義ファイルの読み込みでエラーになり，帳票情報が表示できません。また，［書式定義］画面の［参照］ボタンおよび［登録］ボタンを押したときに表示するファイルダイアログは，指定のディレクトリではなく，カレントディレクトリを表示します。
  - ジョブネットフロー書式定義ファイル情報に「?」が含まれていると，ジョブネットフロー書式定義ファイルの読み込みでエラーになり，ジョブネットフロー出力できません。また，［ジョブネットフロー書式定義］画面の［参照］ボタンおよび［登録］ボタンを押したときに表示するファイルダイアログは，指定のディレクトリではなく，カレントディレクトリを表示します。

  これらの現象が発生した場合，［環境設定］画面でフォルダパス名およびファイルパス名を変更してください。
- 隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない設定にしていると，デフォルトフォルダやデフォルトファイルは［参照］ボタンを押しても表示されません。このとき，すべてのファイルを表示する設定に変更すれば表示されるようになります。すべてのファイルを表示する設定については，OS のヘルプを参照してください。または，表示できるフォルダパス名およびファイルパス名に変更してください。
- フォルダパス名に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。
- 予定記号の詳細化は，［OK］ボタンや［適用］ボタンを押して設定を変更したとき，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で月次予定・日次予定を表示している場合は，記号が変更されません。［表示］－［最新の状態に更新］メニューを選択すると表示される記号が変更されます。

- ［月次・日次の表示時間］は，［OK］ボタンや［適用］ボタンを押して設定を変更したとき，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で月次予定・日次予定を表示している場合は，表示時間の形式が変更されません。［表示］－［最新の状態に更新］メニューを選択すると表示時間の形式が変更されます。
- マップ出力およびマップ PDF 出力でユニット名の背景を透明にすると，ユニット名の文字列と矢印が重なって表示されて見えにくくなる場合があります。ユニットの構成に合わせて，［ユニット名の背景］の設定を変更するか，または Microsoft Excel 上でテキストボックスを透明にするかのどちらかの方法で対処してください。
- JP1/AJS2 - Print Option Manager License 07-10 以前のバージョンで収集したジョブ運用情報ファイルや，ジョブネットが含まれていないジョブ運用情報ファイルは，48 時間制で表示できません。［月次・日次の表示時間］で「48 時間制」を設定している状態でこのようなジョブ運用情報ファイルを帳票出力すると，警告メッセージを表示したあとに，24 時間制で表示されます。
- 帳票を表示後に［環境設定］画面で［月次・日次の表示時間］の設定を変更した場合は，表示を最新の状態に更新してください。24 時間制から 48 時間制に変更して表示を最新の状態に更新しない場合，メッセージ KAVR2016-W を表示したあと，24 時間制でデータを表示します。
- マップ PDF 出力ではコメントを表示できません。コメントを表示したい場合は，［環境設定］画面でコメントを表示する設定にしてマップを出力したあと，出力した Excel ファイルを PDF ファイルに変換してください。
- マップ出力でコメントを表示するには，Microsoft Excel 2007 SP2 以降が必要です。Microsoft Excel 2007 SP1 以前を使用した場合，コメントが正しく表示されません。
- 複数ユーザー運用を使用している場合，定義ファイルの保存先やジョブ運用情報ファイルなどの出力先として複数のユーザーが同じ場所を指定すると，更新した内容が失われたり，ファイルの入出力エラーが発生したりすることがあります。ユーザーごとに異なる場所を指定してください。

# 7.20 ［バージョン情報］画面

バージョン情報を表示します。

# 8 コマンド

この章では，JP1/AJS3 - Print Option で使用できるコマンドの文法を説明します。

# コマンドの記述形式

コマンドの説明で使用する記号を，次のように定義します。

| 記号 | 意味 |
|---|---|
| ¦<br>（ストローク） | 複数の項目に対し，項目間の区切りを示し，「または」の意味を示す。<br>例：　A ¦ B ¦ C　は，「A，B，または C」を示す。 |
| { } | この記号で囲まれている複数の項目の中から，必ず 1 組の項目を選択する。項目の区切りは ¦ で示す。<br>例：{A ¦ B ¦ C} は，「A，B，または C のどれかを指定する」ことを示す。 |
| [ ] | この記号で囲まれている項目は任意に指定できる（省略してもよい）。複数の項目が記述されている場合には，すべてを省略するか，どれか一つを選択する。<br>例<br>[A]は「何も指定しない」か「A を指定する」ことを示す。<br>[B ¦ C]は「何も指定しない」か「B，または C を指定する」ことを示す。 |
| … | この記号の直前に示された項目を繰り返して複数個，指定できる。<br>例<br>「A，B，…」は「A の後に B を必要個数指定する」ことを示す。 |
| _<br>(下線) | 括弧内のすべてを省略したときに，システムがとる標準値を示す。標準値がない場合は，指定した項目だけが有効である。<br>例<br>[A¦B]はこの項目を指定しなかった場合に，A を選択したとみなすことを示す。 |

# コマンド一覧

JP1/AJS3 - Print Option で使用できるコマンドの一覧を次に示します。

JP1/AJS3 - Print Option Manager のコマンド

| 機能概要 | コマンド名 | Windows | UNIX | 必要な実行権限 |
|---|---|---|---|---|
| ジョブ運用情報の収集 | jprcollect | ○ | ○ | ※1 |
| JP1/AJS3 - POM サービス開始 | jprpomlstart | × | ○ | ※2 |
| JP1/AJS3 - POM サービス停止 | jprpomlstop | × | ○ | ※2 |

JP1/AJS3 - Print Option のコマンド

| 機能概要 | コマンド名 | Windows | UNIX | 必要な実行権限 |
|---|---|---|---|---|
| ジョブ運用ドキュメントの出力 | jprprint | ○ | × | なし |

注※1

このコマンドの中で，JP1/AJS が提供する ajsprint コマンド，および ajsshow コマンドを実行します。そのため，これらのコマンドを実行できる権限が必要です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」を参照してください。

注※2

スーパーユーザー権限が必要です。

LANG 環境変数について

UNIX でコマンドを実行する場合，コマンド実行環境の LANG 環境変数に次の値を設定してください。

| OS | 使用する言語種別と文字コード | | |
|---|---|---|---|
| | 言語種別 | 文字コード | 環境変数 LANG の値 |
| HP-UX | 日本語 | シフト JIS コード | ja_JP.SJIS |
| | | EUC コード | ja_JP.eucJP |
| | | UTF-8 コード | ja_JP.utf8 |
| | 英語 | ASCII コード | C |
| | 中国語 | GB18030 コード | zh_CN.gb18030 |
| Solaris | 日本語 | シフト JIS コード | ja_JP.PCK |
| | | EUC コード | ja<br>ja_JP.eucJP※1 |
| | | UTF-8 コード | ja_JP.UTF-8※1 |
| | 英語 | ASCII コード | C |
| | 中国語 | GB18030 コード | zh_CN.GB18030 |

| OS | 使用する言語種別と文字コード | | |
|---|---|---|---|
| | 言語種別 | 文字コード | 環境変数 LANG の値 |
| AIX | 日本語 | シフト JIS コード | Ja_JP |
| | | EUC コード | ja_JP |
| | | UTF-8 コード | JA_JP<br>JA_JP.UTF-8 |
| | 英語 | ASCII コード | C |
| | 中国語 | GB18030 コード | Zh_CN.GB18030 |
| Linux | 日本語 | シフト JIS コード | ja_JP.SJIS※2<br>ja_JP.sjis※2 |
| | | EUC コード | 使用できません。 |
| | | UTF-8 コード | ja_JP.UTF-8 |
| | 英語 | ASCII コード | C |
| | 中国語 | GB18030 コード | zh_CN.gb18030 |

注※1

Solaris 11 以降で使用できます。

注※2

SUSE Linux でだけ使用できます。

# jprcollect（Windows，UNIX）

## 形式

```
jprcollect
      ユニット名
      出力ファイル名
      [  -b  年/月/日  -e  年/月/日
      |  [-L]  [-N]  [-T]
      |  {-l  月 | -n  月 | -t}  [-p  月]  ] [-w]
      [-F  JP1/AJSのスケジューラーサービス名]
      [-A]  [-U]  [-y]
```

## 説明

JP1/AJS からジョブ運用情報を収集します。収集する情報は，ジョブネットワーク要素の定義情報と実行予定・結果情報です。収集した情報は，ジョブ運用情報ファイルに格納します。ジョブ運用情報ファイルは，ジョブ運用ドキュメント出力の入力情報となります。

ジョブ運用情報の収集は，JP1/AJS が提供する次のコマンドを内部で実行することで実現しています。

| コマンド名 | 用途 |
|---|---|
| ajsprint | 定義情報の収集 |
| ajsshow | 実行予定・結果情報の収集 |

当該コマンドを実行するには，上記のコマンドを実行できる環境（環境変数など）の設定が必要です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」を参照してください。

ジョブ運用情報の収集対象をユニット名で指定します。ユニット名は，JP1/AJS のジョブ名，ジョブネット名，またはジョブグループ名を完全名で指定します。完全名は先頭が「/」で，ルートジョブグループからそのジョブネットワークまでの名称を「/」で区切って指定したものです。

ルートジョブグループ以下をまとめて収集する場合は，-A 引数を指定してください。-A 引数を指定することで，ユニット名に「/」（ルートジョブグループ）を指定できます。

収集したジョブ運用情報は出力ファイル名で指定したファイル（ジョブ運用情報ファイル）に格納されます。出力ファイル名は，ファイル拡張子を除いた名称で指定します。当該コマンドでファイル拡張子（.aoi）を付加したファイルを作成します。

実行予定・結果情報を収集するには，収集期間を指定してください。期間は，実行予定・結果情報の収集開始日と終了日の指定で指定します。指定方法は，年月日指定，月次指定，相対月指定の三つから選ぶことができます。

収集期間内に実行を開始する予定のユニット，または収集期間内に実行していたユニットの情報が収集されます。実行中のユニットの情報は収集されません。

開始日または終了日が 2037/1/1 以降となる場合は，実行予定・結果情報を収集できません。

月次指定および，相対月指定は，月単位で収集期間を指定します。月の範囲は，1 日の基準時刻～末日の基準時刻に 23 時間 59 分 59 秒を加えた時刻までです。

＜指定例＞

- 収集期間を暦日の年月日で指定する場合

  ジョブ運用情報を収集する対象が「Group1」ジョブグループ下の「Net1」ジョブネットで，実行予定・結果情報の収集期間が暦日の「2016 年 1 月 1 日」から「2016 年 1 月 31 日」で，収集した結果を「/tmp/file1.aoi」ファイルに格納するには，次のコマンドを実行します。

```
jprcollect  /Group1/Net1  /tmp/file1  -b 2016/01/01  -e 2016/01/31
```

- 収集期間を実行日の年月日で指定する場合

  ジョブ運用情報を収集する対象が「Group1」ジョブグループ下の「Net1」ジョブネットで，実行予定・結果情報の収集期間が実行日の「2016 年 1 月 1 日」から「2016 年 1 月 31 日」で，収集した結果を「/tmp/file1.aoi」ファイルに格納するには，次のコマンドを実行します。

```
jprcollect  /Group1/Net1  /tmp/file1  -b 2016/01/01  -e 2016/01/31 -w
```

- 収集期間を月次で指定する場合

  ジョブ運用情報を収集する対象が「Group1」ジョブグループ下の「Net1」ジョブネットで，実行予定・結果情報の収集期間を「先月」にして，収集した結果を「/tmp/file1.aoi」ファイルに格納するには，次のコマンドを実行します。

```
jprcollect  /Group1/Net1  /tmp/file1  -L
```

  このコマンドを「2016 年 4 月」に実行した場合，収集期間は「2016 年 3 月 1 日」から「2016 年 3 月 31 日」になります。

- 収集期間を暦日の相対月で指定する場合

  ジョブ運用情報を収集する対象が「Group1」ジョブグループ下の「Net1」ジョブネットで，実行予定・結果情報の収集期間が「当月より 3 ヶ月前」から「2 ヶ月分」で，暦日で収集し，収集した結果を「/tmp/file1.aoi」ファイルに格納するには，次のコマンドを実行します。

```
jprcollect  /Group1/Net1  /tmp/file1  -l 3  -p 2
```

  このコマンドを「2016 年 4 月」に実行した場合，収集期間は「2016 年 1 月 1 日」から「2016 年 2 月 28 日」になります。

- 収集期間を実行日の相対月で指定する場合

  ジョブ運用情報を収集する対象が「Group1」ジョブグループ下の「Net1」ジョブネットで，実行予定・結果情報の収集期間が「当月より 5 ヶ月後」から「1 ヶ月分」で，実行日で収集し，収集した結果を「/tmp/file1.aoi」ファイルに格納するには，次のコマンドを実行します。

```
jprcollect  /Group1/Net1  /tmp/file1  -n 5  -p 1 -w
```

このコマンドを「2016 年 1 月」に実行した場合，収集期間は「2016 年 6 月 1 日」から「2016 年 6 月 30 日」になります。

## 格納先ディレクトリ

Windows の場合

```
(Install Path)
```

UNIX の場合

```
/opt/jp1ajs2pom/bin
```

## 引数

### ユニット名

収集するジョブ運用情報のユニット名を指定します。ここで指定したユニット以下のすべてのユニット情報が収集対象となります。

ユニット名に総称名（「*」，または「?」）は指定できません。

ユニット名に複数個の名称を指定しないでください。ジョブ運用ドキュメントの出力でエラーとなります。

ユニット名は，大文字・小文字が区別されます。

### 出力ファイル名

収集したジョブ運用情報を格納するジョブ運用情報ファイルの名称を指定します。ファイル拡張子（.aoi）は指定しないでください。

ファイル名は，絶対パス名または相対パス名で指定できます。

UNIX の場合，実行ユーザーに出力先のディレクトリの書き込み権限が与えられているか確認してください。

### -b 年/月/日

実行予定・結果情報を収集する期間の開始日を指定します。なお，開始時刻は基準時刻です。

- 年

  指定できる値は，1994～2036（単位：西暦年）です。

- 月

  指定できる値は，1（または 01）～12（単位：月）です。

- 日

  指定できる値は，1（または 01）～31（単位：日）です。

この引数は-e 引数と同時に指定してください。この引数を指定しないと，実行予定・結果情報を収集しません。

-e 年/月/日

実行予定・結果情報を収集する期間の終了日を指定します。終了日には開始日と同じ日，または開始日以降の日を指定します。なお，終了時刻は基準時刻に 23 時間 59 分 59 秒を加えた時刻です。

- 年
  指定できる値は，1994～2036（単位：西暦年）です。
- 月
  指定できる値は，1（または 01）～12（単位：月）です。
- 日
  指定できる値は，1（または 01）～31（単位：日）です。

この引数は，-b 引数と同時に指定してください。

-L

先月分の実行予定・結果情報を収集したい場合に指定します。

-T 引数を指定せずに-N 引数と同時に指定することはできません。

-N

来月分の実行予定・結果情報を収集したい場合に指定します。

-T 引数を指定せずに-L 引数と同時に指定することはできません。

-T

今月分の実行予定・結果情報を収集したい場合に指定します。

-l 月

当月以前を月単位で実行予定・結果情報を収集したい場合に，当月から何か月前の月を開始月とするのかを相対月で指定します。

指定値は次の範囲になります。

月：1～6

-n 月

当月以後を月単位で実行予定・結果情報を収集したい場合に，当月から何か月後の月を開始月とするのかを相対月で指定します。

指定値は次の範囲になります。

月：1～6

-t

当月を開始月として，月単位で実行予定・結果情報を収集したい場合に指定します。

-p 月

月単位で実行予定・結果情報を収集したい場合に，開始月より何か月分収集したいのかを開始月からの相対月で指定します。

指定値は次の範囲になります。

月：1～6

この引数は-l 引数，-n 引数，または-t 引数と同時に指定してください。

-p 引数を省略した場合は-p 1 を仮定し，1 か月分だけ収集します。

-w

実行予定・結果情報を収集する期間の開始日および終了日を実行日で指定します。

この引数を省略した場合は，実行予定・結果情報を収集する期間の開始日および終了日を暦日で指定します。

-F　JP1/AJS のスケジューラーサービス名

処理対象とする，JP1/AJS のスケジューラーサービスのサービス名を指定します。

-A

ユニット名に「/」（ルートジョブグループ）を指定できるようにします。

-U

指定したユニットの下位を含めた最終更新日時を収集したい場合に指定します。ただし，JP1/AJS3 - Manager 09-00 以降の場合だけ収集できます。

-y

指定したユニットにジョブネットリリース機能を使用した登録情報が含まれている場合で，リリース ID ごとにジョブネットの情報を収集したいときに指定します。ただし，JP1/AJS3 - Manager のバージョンが 09-00-04 以降の場合だけ収集できます。

ジョブネットリリース機能については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。

戻り値

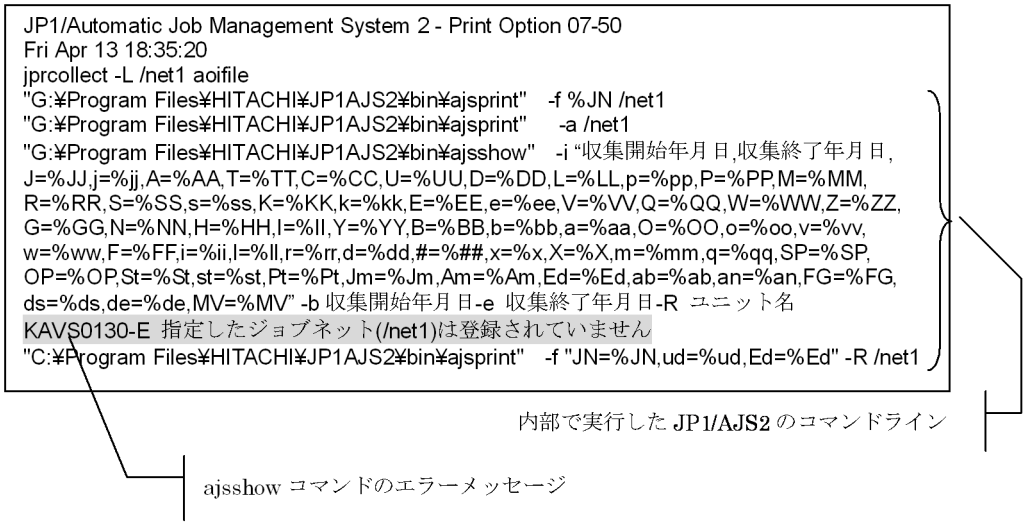
| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 4 | 警告終了（定義情報は収集できたが，実行予定・結果情報は収集できなかった） |
| 上記以外 | 異常終了 |

補足

コマンド実行ごとに，ジョブ運用情報の収集に関する実行履歴情報を格納したファイルをジョブ運用情報ファイルと同じディレクトリまたはフォルダに作成します。ファイルの名称は，出力ファイル名に指定したファイル名に，ファイル拡張子（.log）を付加したものです。

このコマンドでは，特に引数の妥当性をチェックしません。このコマンドが異常終了した場合は，実行履歴情報を参照して，要因を取り除いてください。

実行履歴情報の出力例を示します。




<<実行履歴情報ファイルの構成および内容について>>

1 行目： 製品ヘッダ部

2 行目： 情報収集の実行日時

3 行目： 情報収集の実行コマンドの引数情報

4 行目以降： JP1/AJS のコマンド(ajsshow, ajsprint)実行履歴および各コマンドの結果

注意事項

- 収集期間を指定しても，指定したユニットを実行登録していない場合は，定義情報は収集できますが，実行予定・結果情報は収集できません。また，指定した収集期間内に実行登録がないときも，実行予定・結果情報は収集できません。これらの場合，コマンドは警告終了しますが，ジョブ運用情報ファイルのドキュメント出力は可能です。ただし，実行予定・結果情報が収集できていないので，実行予定・結果情報に関する帳票の出力はできません。

  ユニットにジョブグループを指定し，そのジョブグループに実行登録のあるジョブネットと実行登録のないジョブネットが混在している場合は，実行登録のあるジョブネットだけ実行予定・結果情報を収集できます。

- UNIX の場合，コマンド投入元の文字コードと JP1/AJS のマネージャー環境設定の文字コードを合わせて実行してください。

  コマンド投入元の文字コードとは，コマンド投入時の LANG 環境変数などの OS 上の設定のことです。

  コマンド投入元の文字コードが EUC の場合は，ジョブ運用情報ファイルの出力内容を Shift-JIS コードに変換します。ただし，ユニット名や項目値に機種依存文字が含まれている場合は，変換エラーとなります。

  コマンド投入元の文字コードが Shift-JIS や UTF-8 の場合は，ジョブ運用情報ファイルの出力内容をコマンド投入元の文字コードで出力します。

- -A オプションを指定してルート直下からジョブ運用情報を収集した場合，ユニット定義数やスケジュール情報量が多くなるため，ジョブ運用情報ファイル（aoi ファイル）のサイズが非常に大きくなります。サイズの大きいジョブ運用情報ファイルを［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で表

示・印刷などしたり，jprprint コマンドで印刷・CSV ファイルに出力したりすると多大なリソースを消費し，非常に多くの処理時間が必要となりますのでご注意してください。

- 指定した収集期間の範囲内に実行予定および実行結果のあるジョブが出力対象となります。収集期間の範囲内に実行を開始し，範囲を超えて終了したジョブは，ジョブ実行が終了した後にジョブ運用情報を収集した場合，収集期間の範囲内にある実行結果を取得できます。収集期間の範囲を超えた実行結果は取得できません。
- jprcollect コマンドでは内部的に次のようなシステムの標準提供コマンドを利用していますので，下記コマンドが利用可能である必要があります。

  UNIX の場合： sh, iconv, cp, rm, echo, hostname

  Windows の場合： echo
- JP1/AJS3 - Manager がクラスタ構成の場合は，アクティブな系からジョブ運用情報を収集してください。その際，論理ホスト用のスケジューラーサービス名を指定してください。
- -L オプション，-N オプション，-T オプション，-l オプション，-n オプション，-t オプション，および-p オプションを指定した場合，物理ホストのシステム時刻を基に収集期間を決定します。スケジューラーサービスのローカル日時には対応していません。スケジューラーサービスのローカル日時を変更している場合は，-b オプションと-e オプションに，ローカル日時を基にした期間を指定してください。
- Windows Server 2016，Windows Server 2012 および Windows Server 2008 R2 で，ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用している場合，出力ファイル名に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定するとエラーになります。このときは，管理者（Administrator）でコマンドプロンプトを起動してからコマンドを実行してください。
- -y オプションを指定しない場合は，適用中のジョブネットの定義情報，実行予定，および結果情報を収集します。登録されているリリース情報は収集できません。
- JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」にしてジョブ運用情報を収集すると，KAVR1000-E のエラーになる場合があります。この場合，次のどちらかを実施してください。

（Windows の場合）

OS にログオンして，jprcollect コマンドを実行するユーザーアカウント名と同じ名前の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドを実行するために必要な JP1 権限レベルの詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

（UNIX の場合）

OS にログインして，jprcollect コマンドを実行するユーザーアカウント名と同じ名前の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドを実行するために必要な JP1 権限レベルの詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

- JP1/AJS3 の環境設定パラメーター AJSPRINTSORTUNITINF が「yes」の場合，関連線情報は先行ユニットおよび後続ユニットの文字コード昇順にジョブ運用情報ファイルに出力されます。環境設定パラメーター AJSPRINTSORTUNITINF が「no」，または値を設定していない場合，関連線情報は先行ユニットおよび後続ユニットの作成順に出力されます。詳細については，JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。
- 収集期間に含まれるジョブの予定日時には，JP1/AJS が提供する ajsshow コマンドで取得する次の情報が使用されます。

  ・「処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時」

  ・「処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時」

  実行済みジョブの場合は，次の例のように，実際に実行を開始または終了した日時がそれぞれ出力されます。

  図 8–1　2/16 12:00 に 2/1～2/28 の運用情報を取得後，月次予定情報（時刻付き）を出力した場合の出力例

| 【月次】予定 | … | 14<br>土 | 15<br>日 | 16<br>月 | 17<br>火 | 18<br>水 | … |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●日々集計処理 | … | ■(17:01)<br>※ | ■(17:02)<br>※ | ■(17:00) | ■(17:00) | ■(17:00) | … |

  注※
  実行済みジョブの実績情報です。

  予定情報に実績を含めない帳票を作成する場合は，-b オプションの収集する期間の開始日に現在の日時以降を指定して取得してください。
- JP1/AJS3 - View 連携から jprcollect コマンドが実行されたとき，接続先の JP1/AJS3 - Print Option Manager が 11-00 以前の場合は，暦日による収集となるか，あるいは，KAVR5024-E のエラーとなります。

ジョブ運用情報ファイルのサイズ

出力するジョブ運用情報ファイル（aoi ファイル）のサイズは，次の計算式によって求めることができます。

ただし，この計算式は余裕をもたせた目安として考えてください。

ユニット名の長さ，ユニットの階層の深さ，指定したユニットの位置，関連線の数，スケジュールルールの数など，ユーザー指定に依存する部分が多いため，実際のサイズとは異なる場合があります。

計算式

（指定したユニット以下の）定義ユニット数×４．５キロバイト

＋

（指定した期間に存在する）世代数×３．５キロバイト

暦日および実行日での収集の違い

暦日および実行日での収集の違いを次に示します。

（例 1）ジョブ運用情報の収集画面で「暦日」を選択し，2016 年 5 月 25 日のスケジュールを収集した場合

```
jprcollect /grp1/net1 /tmp/file1 -b 2016/05/25 -e 2016/05/25
```

このコマンドを実行すると，日またがりで 5 月 26 日 00:30 の実行予定となるジョブは収集されません。

| 【月次】予定<br>2016年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>日 | 2<br>月 | 3<br>火 | 4<br>水 | 5<br>木 | 6<br>金 | 7<br>土 | 8<br>日 | 9<br>月 | 10<br>火 | 11<br>水 | 12<br>木 | 13<br>金 | 14<br>土 | 15<br>日 | 16<br>月 | 17<br>火 | 18<br>水 | 19<br>木 | 20<br>金 | 21<br>土 | 22<br>日 | 23<br>月 | 24<br>火 | 25<br>水 | 26<br>木 | 27<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブC | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | |
| PCジョブD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | |
| PCジョブF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

（例 2）ジョブ運用情報の収集画面で「実行日」を選択し，2016 年 5 月 25 日のスケジュールを収集した場合

```
jprcollect /grp1/net1 /tmp/file1 -b 2016/05/25 -e 2016/05/25 -w
```

このコマンドを実行すると，日またがりで 5 月 26 日 00:30 の実行予定となるジョブは，上位のジョブネットの実行予定日が 5 月 25 日であるため，収集されます。

| 【月次】予定<br>2016年5月 基準時刻(00:00) | 1<br>日 | 2<br>月 | 3<br>火 | 4<br>水 | 5<br>木 | 6<br>金 | 7<br>土 | 8<br>日 | 9<br>月 | 10<br>火 | 11<br>水 | 12<br>木 | 13<br>金 | 14<br>土 | 15<br>日 | 16<br>月 | 17<br>火 | 18<br>水 | 19<br>木 | 20<br>金 | 21<br>土 | 22<br>日 | 23<br>月 | 24<br>火 | 25<br>水 | 26<br>木 | 27<br>金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PCジョブC | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | |
| PCジョブD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(23:55) | | |
| PCジョブF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ■(00:30) | | |

# jprpomlstart（UNIX）

## 形式

```
jprpomlstart
```

## 説明

JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを開始します。

## 格納先ディレクトリ

```
/opt/jp1ajs2pom/bin
```

## 引数

ありません。

戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 3 | 警告終了（すでに JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスは開始している） |
| 上記以外 | 異常終了 |

注意事項

- スーパーユーザー権限のユーザーで実行してください。
- jprpomlstart コマンドを実行する場合，コマンド実行環境の LANG 環境変数に，JP1/AJS3 - Manager で使用している文字コードを設定してください。使用できる文字コードについては，「コマンド一覧」の「LANG 環境変数について」を参照してください。
- jprpomlstop コマンドで JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを停止した後，jprpomlstart コマンドで再起動すると，KAVR5022-E のエラーが出力される場合があります。この場合は，1 分から数分程度の待ち時間※をおいてから，再度，jprpomlstart コマンドを実行してください。

注※

待ち時間には，少なくとも，OS で設定されている Time Wait の値で示される時間が必要です。この設定値を確認したり変更したりする方法については，OS のマニュアルを参照してください。

# jprpomlstop（UNIX）

## 形式

```
jprpomlstop
```

## 説明

JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスを停止します。

## 格納先ディレクトリ

```
/opt/jp1ajs2pom/bin
```

## 引数

ありません。

戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 4 | 警告終了（すでに JP1/AJS3 - Print Option Manager のサービスは停止している） |
| 上記以外 | 異常終了 |

注意事項

スーパーユーザー権限のユーザーで実行してください。

# jprprint（Windows）

## 形式

```
jprprint
      ジョブ運用情報ファイル名
      書式定義ファイル名
      [-p|-c 保管CSVファイル名 [-u]]
      [-r リリースID]
```

## 説明

ジョブ運用情報ファイルの内容を書式定義ファイルで定義されている形式でプリンタに出力します。出力先プリンタは，通常使うプリンタになります。

印刷実行時に利用するプリンタで印刷ダイアログが表示されるような場合，Windows にログオンした状態でなければ，このコマンドは使用できません。

ジョブ運用情報ファイル名（.aoi）と書式定義ファイル名（.jof）を完全パスで指定してください。相対パスを指定することはできません。

保管 CSV ファイル名（.csv）を指定すると，指定したファイルに CSV 形式で情報を出力します。この場合，プリンタに帳票は出力されません。また，保管 CSV ファイル名は完全パスで指定してください。

JP1/AJS を使用して自動運用する場合

自動運用で画面やメッセージを表示して入力待ち※にならない場合

JP1/AJS2 - Manager または JP1/AJS3 - Manager のジョブに実行ファイルやスクリプトファイル等を定義して実行できます。

ジョブを自動化するシステムの環境構築については，JP1/AJS2 または JP1/AJS3 のマニュアルを参照してください。

自動運用で画面やメッセージを表示して入力待ち※になる場合

JP1/Script を使用して Windows にログオンした環境で運用してください。

JP1/Script では，ログオン空間でジョブを実行する機能を提供しています。スクリプトファイル（.spt）を作成し，作成したスクリプトファイルを JP1/AJS の実行ファイルに指定してください。スクリプトファイルの作成方法については，マニュアル「JP1/Script（Windows(R)用）」を参照してください。

注※

画面やメッセージを表示して入力待ちになる例としては，次があります。

・印刷実行時に利用するプリンタで印刷ダイアログが表示されて応答待ちになる

＜指定例＞

ジョブ運用情報ファイル「C:¥Input¥SAMP.aoi」を書式定義ファイル「C:¥Format¥ユニット.jof」の定義によって印刷するには，次のコマンドを実行します。

```
jprprint  c:¥Input¥SAMP.aoi c:¥Format¥ユニット.jof
```

これを JP1/Script のスクリプトファイルで実行する場合の例を次に示します。

```
NetExec("SERVER","C:¥Program Files¥HITACHI¥JP1AJS2PO¥jprprint.exe", _
        True,"",False,Empty,_
        "c:¥Input¥SAMP.aoi ","c:¥Format¥ユニット.jof ")
Exit(_EXEC_RTN_)
```

スクリプトファイルの作成方法については，マニュアル「JP1/Script（Windows(R)用）」を参照してください。

## 格納先ディレクトリ

```
(Install Path)
```

## 引数

### ジョブ運用情報ファイル名

出力するジョブ運用情報のファイル名を指定します。

ファイル名は完全パス（ファイル拡張子.aoi を含む）を指定してください。

指定できるファイル名長はパス全体で 258 バイト以下です。フォルダパス名長は 194 バイト以内です。ファイル名長は 63 バイト以内です。

### 書式定義ファイル名

出力するジョブ運用情報の書式を定義してある書式定義ファイル名を指定します。

ファイル名は完全パス（ファイル拡張子.jof を含む）を指定してください。

指定できるファイル名長はパス全体で 258 バイト以下です。フォルダパス名長は 194 バイト以内です。ファイル名長は 63 バイト以内です。

書式定義ファイルは，［環境設定］画面の［書式定義］に指定されているフォルダに格納されています。

書式定義ファイルは，［書式定義］画面で作成することができます。

### -p

ジョブ運用情報を通常使うプリンタに出力する場合に指定します。

### -c　保管 CSV ファイル名

ジョブ運用情報を CSV ファイルに出力する場合に出力先ファイル名を指定します。

ファイル名は完全パス（ファイル拡張子.CSV を含む）を指定してください。

指定できるファイル名長はパス全体で 258 バイト以下です。258 バイトを超える場合，名称自動変換規則によって 258 バイト以下に変更されたファイル名称で保存されます。指定できるフォルダパス名長は 194 バイト以下です。名称自動変換規則については，「7.10 ［CSV ファイルの保存］画面」を参照してください。

次に示す文字を含むファイル名は指定できません。

¥ / : * ? " < > ¦

このオペランドを指定した場合，プリンタに帳票は出力されません。

［環境設定］画面の［CSV 出力時に改行コードを付加する］のチェックの有無によって，出力する CSV ファイルの内容が変化します。

-u

-c 保管 CSV ファイル名を指定した場合に指定することができます。

保管 CSV ファイル名に指定したファイルがすでに存在するファイルだった場合の動作を指定します。

本オペランドを指定するとファイルがすでに存在する場合，ファイルを上書きします。本オペランドを省略するとファイルがすでに存在する場合，コマンドが異常終了します。

-r

指定したジョブ運用情報ファイルにリリース ID の情報が含まれている場合，内容を出力したいジョブネットのリリース ID を指定します。

指定がないときは，該当するリリース ID のうち，いずれかのリリース ID についてジョブネットの内容が出力されます。リリース ID については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」のジョブネットリリース機能の説明を参照してください。

注意事項

- jprprint コマンドで印刷実行時に，利用するプリンタで印刷ダイアログが表示されて入力待ちになる場合があります。この場合は，Windows にログオンした状態で実行してください。
- CSV ファイルの出力先に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定すると，指定どおりのパスに出力されないことがあります。

戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 4 | 警告終了（出力する情報が存在しない，未サポートのユニット種別が含まれている） |
| 上記以外 | 異常終了 |

jprprint コマンドで消費するメモリ量

jprprint コマンドで消費するメモリ量は，次の計算式によって求めることができます。

ただし，この計算式は余裕を持たせた目安として考えてください。

ユニット名の長さ，ユニットの階層の深さ，ユニット属性のデータ量，スケジュールルールの数などは，ユーザーの指定に依存するため，実際のサイズとは異なる場合があります。

計算式

４メガバイト＋＜ジョブ運用情報ファイルの展開メモリ＞×３．５バイト

- ＜ジョブ運用情報ファイルの展開メモリ＞
  ＝＜全ユニット＞＋＜書式＞
- ＜全ユニット＞
  ＝２０バイト＋４バイト×全ユニット数＋＜１ユニット＞×全ユニット数
- ＜１ユニット＞

＝２８バイト＋（４８バイト＋ユニット属性の平均データ量×日次データ収集日数）×ajsshow による収集属性の数＋（４８バイト＋ユニット属性の平均データ量）×ajsprint による収集属性数＋（ajsshow による収集属性の数＋ ajsprint による収集属性数）×８バイト

- ＜書式＞

  ＝６１バイト×４バイト＋１２バイト×選択列数

注意

- マシンスペックに余裕があっても，メモリ消費量が OS の 1 プロセスあたりに使用できるメモリ上限（2GB）に達した場合は，メモリ不足（KAVR0002-E）エラーとなります。

  その場合は，ジョブ運用情報ファイルを分割するために，次の(1)または(2)もしくは両方による運用をお願いします。

  (1) 収集するユニット数が小さくなるように，jprcollect コマンドに指定するユニット名をより下位のものにする。

  (2) 収集するスケジュール量が小さくなるように，jprcollect コマンドで指定する収集期間を短くする。

- 複数ユーザー運用を有効にしている場合，JP1/AJS3 - Print Option 1 プロセスが使用するメモリ所要量に使用するユーザー数を掛けた量が必要となります。

# 9 メッセージ

この章では，JP1/AJS3 - Print Option が出力するメッセージを説明します。

# 9.1 JP1/AJS3 - Print Option のメッセージ

JP1/AJS3 - Print Option が出力するメッセージ ID の付いたメッセージを示します。

## 9.1.1 メッセージの形式

メッセージはメッセージ ID と，それに続くメッセージテキストで構成されています。出力されるメッセージの形式を次に示します。

```
KAVRnnnn-Z メッセージテキスト
```

## 9.1.2 メッセージ ID

メッセージ ID は次の内容で構成されています。

K
　システム識別子を示します。

AVR
　JP1/AJS3 - Print Option のメッセージであることを示します。

nnnn
　メッセージの通し番号です。

Z
　メッセージの種類を表します。

| | |
|---|---|
| E | エラーメッセージを示します。処理は中断されます。 |
| I | 通知メッセージを示します。ユーザーに情報を知らせます。 |
| Q | 応答要求メッセージを示します。ユーザーに応答を促します。 |
| W | 警告メッセージを示します。メッセージ出力後，処理は続行されます。 |

## 9.1.3 メッセージの記載形式

このドキュメントでのメッセージの記載形式を次に示します。太字になっている部分は，メッセージが表示されるたびに表示内容が変わることを示しています。

ただし，詳細エラーコードやファイル名などの保守情報がついているメッセージについては，場合によっては保守情報が表示されないことがあります。

メッセージ ID

英語メッセージテキスト（※）
日本語メッセージテキスト

メッセージの説明文

(S)

システムの処置を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに，オペレーターのとる処置を示します。

注※

UNIX 環境で正しく LANG 環境変数が設定されていない場合に出力されます。

## 9.2　メッセージの出力先一覧

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option が出力する各メッセージの出力先を一覧で示します。

表中では，出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

**syslog**：syslog
**イベントログ**：Windows イベントログ
**stdout**：標準出力
**stderr**：標準エラー出力
**内部ログ**：内部トレースログ（トレースログ）
**JP1 イベント**：JP1 イベント
**メッセージボックス**：メッセージボックス
○：出力する
－：出力しない

### 表 9-1　メッセージの出力先一覧

| メッセージ ID | 出力先 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | syslog | イベントログ | stdout | stderr | 内部ログ | JP1 イベント | メッセージボックス |
| KAVR0001～KAVR0004 | － | － | － | ○ | ○ | － | ○ |
| KAVR0100～KAVR0104 | － | － | － | ○ | － | － | － |
| KAVR0150 | － | － | － | ○ | － | － | ○ |
| KAVR1000～KAVR1001 | － | － | － | ○ | － | － | ○ |
| KAVR1010 | － | － | － | ○ | － | － | ○ |
| KAVR1011 | － | － | － | ○ | － | － | － |
| KAVR1012～KAVR1013 | － | － | － | ○ | － | － | ○ |
| KAVR1014 | － | － | － | ○ | － | － | － |
| KAVR1015～KAVR1016 | － | － | － | － | － | － | ○ |
| KAVR1020 | － | － | － | ○ | － | － | ○ |
| KAVR2000～KAVR2007 | － | － | － | － | － | － | ○ |

| メッセージ ID | 出力先 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | syslog | イベントログ | stdout | stderr | 内部ログ | JP1 イベント | メッセージボックス |
| KAVR2010 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2011 | − | − | − | ○ | − | − | ○ |
| KAVR2012～KAVR2016 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2020 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2030 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2050 | − | − | − | ○ | − | − | ○ |
| KAVR2101～KAVR2103 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2105～KAVR2112 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2201 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2251～KAVR2255 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2259～KAVR2260 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2261～KAVR2265 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2269～KAVR2270 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2301～KAVR2303 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR2901 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR3000～KAVR3006 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR3010～KAVR3030 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR3050 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR4000～KAVR4011 | − | − | − | ○ | − | − | − |
| KAVR4501～KAVR4502 | − | − | − | ○ | − | − | − |
| KAVR5000～KAVR5004 | − | − | − | − | ○ | − | ○ |

| メッセージ ID | 出力先 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | syslog | イベントログ | stdout | stderr | 内部ログ | JP1 イベント | メッセージボックス |
| KAVR5005 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR5006 | − | − | − | − | ○ | − | ○ |
| KAVR5007～KAVR5008 | − | − | − | − | − | − | ○ |
| KAVR5009～KAVR5010 | − | − | − | − | ○ | − | ○ |
| KAVR5011～KAVR5012 | − | − | − | − | ○ | − | − |
| KAVR5013 | − | − | − | − | ○ | − | ○ |
| KAVR5014 | − | − | − | ○ | ○ | − | − |
| KAVR5015～KAVR5019 | − | − | − | ○ | − | − | − |
| KAVR5020 | − | − | − | ○ | ○ | − | − |
| KAVR5021 | − | − | − | − | ○ | − | − |
| KAVR5022 | − | − | − | ○ | − | − | − |
| KAVR5024 | − | − | − | ○ | − | − | − |
| KAVR5027 | − | − | − | − | ○ | − | ○ |

## 9.3 メッセージ一覧

JP1/AJS3 - Print Option が出力するメッセージ ID の付いたメッセージの一覧を次に示します。

### KAVR0001-E

The unexpected error occurred. Detailed information:(detailed information)
システムエラーが発生しました。 詳細情報：(詳細情報)

処理中に予期できない障害を検出しました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

資料を採取し，システム管理者に連絡してください。

### KAVR0002-E

Memory is insufficient.
メモリ不足が発生しました。

メモリ不足が発生したため，処理を中断しました。

- マシンスペックに余裕があっても，メモリ消費量が OS の 1 プロセスあたりに使用できるメモリ上限（2GB）に達した場合は，メモリ不足エラーとなります。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- 実行中のほかのアプリケーションプログラムを終了して，再実行してください。
- 不要なファイルを削除して十分なディスク容量を確保してください。
- 次の(1)または(2)もしくは両方により，ジョブ運用情報ファイルを分割して運用してください。
  (1) 収集するユニット数が小さくなるように，［ジョブ運用情報の収集］画面または jprcollect コマンドに指定するユニット名をより下位のものにする。
  (2) 収集するスケジュール量が小さくなるように，［ジョブ運用情報の収集］画面または jprcollect コマンドで指定する収集期間を短くする。

### KAVR0003-E

An attempt to create a folder has failed.
Folder name (Err: error code)
フォルダ作成に失敗しました。

フォルダ名 (Err: エラーコード)

フォルダの作成に失敗しました。次に示す原因が考えられます。

- フォルダ名に使用できない文字を指定している
- フォルダ作成のアクセス権限がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次に示す内容を確認したあと，再実行してください。

エラーコードが 123（ERROR_INVALID_NAME）または 267（ERROR_DIRECTORY）の場合

- フォルダ名に以下の使用できない文字を指定していないか。
  ¥ / ; * ? " < > | : ,
- 「.」（ピリオド）で始まる，または終わる名称を指定していないか。
- 大文字，小文字を問わず，次の予約語および予約語で始まり，直後に「.」（ピリオド）が続く名称を指定していないか。
  CON，PRN，AUX，CLOCK$，NUL，COM0，COM1，COM2，COM3，COM4，COM5，COM6，COM7，COM8，COM9，LPT0，LPT1，LPT2，LPT3，LPT4，LPT5，LPT6，LPT7，LPT8，LPT9
- 大文字，小文字を問わず，「AJS」で始まる名称を指定していないか。
- 大文字，小文字を問わず，「HLICLIB」で始まる名称を指定していないか。

エラーコードが 5（ERROR_ACCESS_DENIED）の場合

フォルダ作成のアクセス権限があるか。

## KAVR0004-E

An attempt to write a file has failed.
File name (Err: error code)
ファイルの書き込みに失敗しました。
ファイル名 (Err: エラーコード)

ファイルの書き込みに失敗しました。次に示す原因が考えられます。

- ファイル名に使用できない文字を指定している
- ファイル書き込みのアクセス権限がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次に示す内容を確認したあと，再実行してください。

エラーコードが 123（ERROR_INVALID_NAME）または 2（ERROR_FILE_NOT_FOUND）の場合

- ファイル名に以下の使用できない文字を指定していないか。
  ¥ / ; * ? " < > | : ,
- 「.」（ピリオド）で始まる，または終わる名称を指定していないか。
- 大文字，小文字を問わず，次の予約語および予約語で始まり，直後に「.」（ピリオド）が続く名称を指定していないか。
  CON，PRN，AUX，CLOCK$，NUL，COM0，COM1，COM2，COM3，COM4，COM5，COM6，COM7，COM8，COM9，LPT0，LPT1，LPT2，LPT3，LPT4，LPT5，LPT6，LPT7，LPT8，LPT9
- 大文字，小文字を問わず，「AJS」で始まる名称を指定していないか。
- 大文字，小文字を問わず，「HLICLIB」で始まる名称を指定していないか。

エラーコードが 5（ERROR_ACCESS_DENIED）の場合

ファイル作成のアクセス権限があるか。

## KAVR0100-E

Specified value of the argument is invalid.　argument:**argument**
引数の指定値が不正です。 引数名：**引数名**

コマンドの引数の指定値に誤りがあります。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

指定値を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR0101-E

Specification of the argument is duplicated.　argument:**argument**
引数の指定に重複しているものがあります。 引数名：**引数名**

コマンドの引数の中に同一の引数を複数指定しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR0102-E

Specification of the argument is insufficient.　argument:**argument**
引数の指定が不足しています。 引数名：**引数名**

コマンドの省略できない引数を指定していません。

(S)
　処理を打ち切ります。
(O)
　引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR0103-E

Invalid argument is specified.　argument:**argument**
不要な引数の指定があります。 引数名：**引数名**

コマンドの引数で不要な引数の指定があります。

(S)
　処理を打ち切ります。
(O)
　引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR0104-E

Cannot specify these options together.
同時に指定できないオプションが指定されています。

コマンドの引数で同時に指定できないオプションを指定しています。

(S)
　処理を打ち切ります。
(O)
　引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR0150-I

Job operation information was collected.
ジョブ運用情報を収集しました。

ジョブ運用情報の収集が正常に終了しました。

## KAVR1000-E

Job operation information could not be collected.
ジョブ運用情報を収集できませんでした。

ジョブ運用情報の収集に失敗しました。原因の例を次に示します。

- 存在しないユニット名を指定している
- JP1/AJS のスケジューラーサービスが起動していない
- 出力ファイルが作成できない状態にある
- JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」に設定している

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- 存在するユニットを指定してください。
- JP1/AJS のスケジューラーサービスを起動してください。
- 指定した出力先の書き込み権限を確認してください。
- OS にログインして，jprcollect コマンドを実行する，またはスタートメニューからジョブ運用情報の収集を実行するユーザーアカウントと同じ名称の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

実行履歴情報を参照して，詳細な原因を調査し，障害原因を取り除いた後に，再度実行してください。実行履歴情報は，「出力ファイル名.log」ファイルに格納されています。

## KAVR1001-W

Only definition information was collected. Execution schedule/result information could not be collected.
定義情報のみ収集しました。実行予定・結果情報は収集できませんでした。

定義情報は収集できましたが，実行予定・結果情報の収集に失敗しました。失敗の要因例を次に示します。

- 実行登録していないユニットを指定した
- 指定した収集期間に実行予定・結果情報が存在しない
- ジョブグループを指定し，そのジョブグループの中に一つ以上の実行登録していないユニットがある
  この場合は，実行登録してあるユニット分の実行予定・結果情報は収集できています。

(S)

処理を続行します。

(O)

定義情報に関するドキュメント出力は可能です。

実行予定・結果情報が必要な場合は，実行履歴情報を参照して，詳細な原因を調査し，障害原因を取り除いた後に，再度実行してください。実行履歴情報は，「出力ファイル名.log」ファイルに格納されています。

## KAVR1010-E

Cannot to specify the generic name for unit name.
ユニット名に総称名を指定することはできません。

ユニット名には総称名（「*」，または「?」）は指定できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1011-E

Unit name cannot be omitted.
ユニット名の指定がありません。

ユニット名の指定は省略できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1012-E

Output file name cannot be omitted.
出力ファイル名の指定がありません。

出力ファイル名の指定は省略できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1013-E

The specified output file name is invalid.
出力ファイル名の指定が不正です。

出力ファイル名の指定が不正です。原因の例を次に示します。

- 存在しないディレクトリ名を指定している
- ディレクトリ名，ファイル名に使用できない文字を指定している
- 指定したファイルは作成できない状態にある

(S)
処理を打ち切ります。

(O)
引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1014-E

Specify -b argument and -e argument with the pair.
-b 引数と-e 引数はペアで指定してください。

-b 引数と-e 引数がペアで指定されていません。

(S)
処理を打ち切ります。

(O)
引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1015-E

The specified start month is invalid.
開始月の指定が不正です。

開始月の指定が不正です。原因を以下に示します。

- 開始月に 1～6 以外の値を指定している

(S)
処理を打ち切ります。

(O)
値を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1016-E

The specified number of months is invalid.
月数の指定が不正です。

月数の指定が不正です。原因を以下に示します。

- 月数に 1～6 以外の値を指定している

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

値を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR1020-E

Prerequisite program is not installed.
前提プログラムが組み込まれていません。

前提プログラム（JP1/AJS）が組み込まれていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

前提プログラムを組み込んでください。

## KAVR2000-E

読み込み中にエラーが発生しました。
**ファイル名** (Err: **エラーコード**)

ファイルが読み込めなくなりました。次に示す原因が考えられます。

- 該当するパスが存在しない
- 該当するファイルが存在しない
- ファイルのアクセス権限がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

次に示す内容を確認したあと，再実行してください。

- 該当するパスが存在するか

- 該当するファイルが存在するか
- 該当するファイルにアクセス権限があるか

上記の対策で問題が解決しない場合は，該当するファイルが上記以外の不正な状態になっていないか，確認してください。

## KAVR2001-E

このファイルは，内容が壊れています。

指定したジョブ運用情報ファイル，書式定義ファイル，ジョブネットフロー書式定義ファイルの内容が壊れています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ジョブ運用情報ファイルを作成し直した後，再実行してください。

## KAVR2002-I

中止しました。

ジョブ運用情報ファイルの入力処理をオペレーター指示により中止しました。

(S)

処理を続行します。

## KAVR2003-E

書き込み中にエラーが発生しました。
**ファイル名** (Err: **エラーコード**)

ファイルの書き込みができなくなりました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルが通常に使用できるか確認した後，再実行してください。

## KAVR2004-E

ファイル名として利用できない文字（¥ / : * ? " < > ¦）が指定されています。

ファイル名として利用できない文字（¥ / : * ? " < > ¦）が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しいファイル名を指定して，再実行してください。

## KAVR2005-E

ファイル名が長すぎます。63 バイト以下のファイル名を指定して下さい。

名称長が 63 バイトを超えるファイル名が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

63 バイト以下のファイル名を指定して，再実行してください。

## KAVR2006-W

未サポートのユニット種別が含まれています。

ジョブ運用情報ファイルに，現在のバージョンではサポートしていないユニット種別があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

サポートしていないユニット種別を確認してください。

サポートしていないユニット種別は，書式定義で列項目の表示形式に日本語を選択していても，記号が表示されます。

## KAVR2007-E

表示しているファイルが変更されています。

表示しているファイルが上書き修正されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルを再表示してください。

## KAVR2010-Q

現在表示中の帳票を閉じます。続行しますか？

現在表示中の帳票を閉じるかどうかの確認を行います。

(S)

応答を待ちます。

(O)

閉じるときは，「はい」を指定してください。

閉じないときは，「いいえ」を指定してください。

## KAVR2011-E

ユニット数制限（**最大ユニット数**ユニット）を超えています。

扱える帳票の最大ユニット数の制限を超えようとしました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

最大ユニット数の制限内に収まるようなジョブ運用情報ファイルを作成し直したあと，再実行してください。最大ユニット数を拡張する場合は，［環境設定］画面で設定してください。

## KAVR2012-I

予定・結果情報がないため，月次および日次の書式は使用できません。

予定・結果情報がないため，月次および日次の書式は使用できません。

原因を以下に示します。

- ジョブ運用情報ファイル（.aoi ファイル）中にジョブネットを実行するためのスケジュール情報（JP1/AJS で設定）が存在しない

  またはスケジュールが存在していても実行登録がされていない
- ジョブ運用収集コマンドのパラメーターでスケジュール情報を取得するための収集期間が設定されていない

  または設定した収集期間内にスケジュール情報が存在しない

(S)

帳票領域をグレー表示にして処理を続行します。

(O)

リスト形式の帳票だけ作成してください。

## KAVR2013-E

ファイルパス名が長すぎます。258 バイト以下のファイルパス名を指定して下さい。

指定されたファイルパス名が 258 バイトを超えているため，使用できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルパス名を 258 バイト以下で指定して，再度実行してください。

## KAVR2014-E

フォルダパス名が長すぎます。194 バイト以下のフォルダパス名を指定して下さい。

指定されたフォルダパス名が 194 バイトを超えているため，使用できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

フォルダパス名を 194 バイト以下で指定して，再度実行してください。

## KAVR2015-E

XXX が長すぎます。YYY バイト以下の XXX を指定して下さい。

指定された XXX が YYY バイトを超えているため，使用できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

XXX は前から YYY バイト以内に短くして表示されます。このとき，Shift-JIS コードに変換できなかった文字は「?」として表示されます。XXX を YYY バイト以下になるように指定して，再度実行してください。

## KAVR2016-W

ジョブネットの実行予定情報がないため，月次・日次帳票は 48 時間表示できません。

ジョブネットの実行予定情報がないため，月次・日次帳票は 24 時間表示で出力しました。次に示す原因が考えられます。

- 07-10 以前の JP1/AJS2 - Print Option Manager License で収集したジョブ運用情報ファイルを使用している。
- 出力対象ジョブの上位ジョブネットの定義・実行予定情報がジョブ運用情報ファイルに含まれていない。
- ［環境設定］画面で［月次・日次の表示時間］の設定を 24 時間制から 48 時間制に変更後，表示を最新の状態に更新していない。

(S)

処理を続行します。

(O)

48 時間制で月次・日次帳票を出力する場合は，次に示すジョブ運用情報ファイルを使用して，再度実行してください。

- 07-50 以降の JP1/AJS2 - Print Option Manager License または JP1/AJS3 Print Option Manager で収集したジョブ運用情報ファイルを使用してください。
- 出力対象ジョブの上位ジョブネットを含むように，ジョブ運用情報を収集してください。

また，［環境設定］画面で［月次・日次の表示時間］の設定を変更した場合は，表示を最新の状態に更新してください。

本メッセージの表示を抑止するには，環境設定画面の［表示］タブで，「月次・日次の表示時間」を「24時間制」に設定してください。

## KAVR2020-I

以下のファイルを作成しました。
ファイル名

CSV ファイルが正常に作成できました。

(S)

処理を続行します。

## KAVR2030-W

通常使うプリンタが設定されていません。

通常使うプリンタが設定されていません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

通常使うプリンタを設定した後，再実行してください。

## KAVR2050-W

出力した帳票データに制限を超えた項目があります。
*・1 セル内の総データ数が 32,000 バイトを超えた項目があります。*
*・1 セル内の 1 データの文字数が 4,095 バイトを超えた項目があります。*
*・1 セル内の行数が 2,000 行を超えた項目があります。*

出力した帳票データに次のような制限を超えた項目があります。斜体のメッセージは条件に該当した際にだけメッセージダイアログに出力されます。

- 1 セル内の総データ数が 32,000 バイトを超えた項目がある
- 1 セル内の 1 データの文字数が 4,095 バイトを超えた項目がある
- 1 セル内の行数が 2,000 行を超えた項目がある

(S)

処理を続行します。

(O)

ログファイル（JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ）¥Log¥ajs2po.log を参照し，上限を超えたセルの値を確認してください。

## KAVR2101-Q

基本形式を変更すると初期化されます。続行しますか？

定義していた基本形式を変更するかどうかの確認を行います。

(S)

応答を待ちます。

(O)

基本形式を変更するときは，「はい」を指定してください。

基本形式を変更しないときは，「いいえ」を指定してください。

## KAVR2102-Q

現在の状態が初期化されます。続行しますか？

定義していた状態を初期化するかどうかの確認を行います。

(S)

応答を待ちます。

(O)

初期化するときは，「はい」を指定してください。

初期化しないときは，「いいえ」を指定してください。

## KAVR2103-E

列項目を追加してください。

列項目を 1 列も定義しないで，書式定義ファイルに登録しようとしています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

列項目を少なくとも一つ以上定義した後，再実行してください。

## KAVR2105-Q

書式定義を終了しますか？

書式定義を終了するかどうかの確認を行います。

(S)

応答を待ちます。

(O)

終了するときは，「はい」を指定してください。

終了しないときは，「いいえ」を指定してください。

## KAVR2106-E

基準時刻の時には 0-23 の値を入力してください。

基準時刻の「時」部分に誤った値を入力しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

基準時刻の「時」に 0-23 の値を再度入力してください。

## KAVR2107-E

基準時刻の分には 0-59 の値を入力してください。

基準時刻の「分」部分に誤った値を入力しています。

(S)

処理を中断します。

(O)

基準時刻の「分」に 0-59 の値を再度入力してください。

## KAVR2108-W

現在のバージョンでは，サポートしていない列項目があります。

参照した書式定義ファイルに，現在のバージョンではサポートしていない列項目があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

サポートしていない列項目を確認してください。

書式定義ファイルをそのまま使用することは可能ですが，必要の無い列項目である場合は，削除してください。

サポートしていない列項目部分には，情報なしを表す「－」が表示されます。

## KAVR2109-E

列幅には 10-80 の値を入力してください。

列幅に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

列幅に 10-80 の値を再度入力してください。

## KAVR2110-E

余白には 0-99 の値を入力してください。

余白に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

余白に 0-99 の値を再度入力してください。

## KAVR2111-E

最大ユニット数には 32000-150000 の値を入力してください。

最大ユニット数に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

最大ユニット数に 32,000～150,000 の値を再度入力してください。

## KAVR2112-E

XXX には YYY-ZZZ の値を入力してください。

XXX に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

XXX に YYY-ZZZ の値を再度入力してください。

## KAVR2201-E

ページ範囲の指定に誤りがあります。

ページ範囲に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ページ範囲に正しい値を再度入力してください。

## KAVR2251-E

マップ出力ができませんでした。(中間ファイル作成失敗)

中間ファイルを作成する処理に失敗したためマップ出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

インストールフォルダのアクセス権を確認してください。

## KAVR2252-E

マップ出力ができませんでした。(excel 起動失敗)

Microsoft Excel 起動に失敗したためマップ出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

Microsoft Excel が起動できる環境にあるか確認してください。

## KAVR2253-E

マップ PDF 出力ができませんでした。(中間ファイル作成失敗)

中間ファイルを作成する処理に失敗したためマップ PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

インストールフォルダのアクセス権を確認してください。

## KAVR2254-E

マップ PDF 出力ができませんでした。(Excel 起動失敗)

Microsoft Excel 起動に失敗したためマップ PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

マップ PDF 出力の前提バージョンの Microsoft Excel が起動できる環境にあるか確認してください。

## KAVR2255-E

マップ PDF 出力ができませんでした。(PDF 変換失敗)

データの PDF 変換に失敗したためマップ PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

マップ PDF 出力の前提バージョンの Microsoft Excel がインストールされている環境にあるか確認してください。

## KAVR2259-E

マップ出力ができませんでした。

マップ出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVR2260-E

マップ PDF 出力ができませんでした。

マップ PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVR2261-E

ジョブネットフロー出力ができませんでした。(中間ファイル作成失敗)

中間ファイルを作成する処理に失敗したためジョブネットフロー出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

インストールフォルダのアクセス権を確認してください。

## KAVR2262-E

ジョブネットフロー出力ができませんでした。(Excel 起動失敗)

Excel 起動に失敗したためジョブネットフロー出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

Microsoft Excel が起動できる環境にあるか確認してください。

## KAVR2263-E

ジョブネットフロー PDF 出力ができませんでした。(中間ファイル作成失敗)

中間ファイルを作成する処理に失敗したためジョブネットフロー PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

インストールフォルダのアクセス権を確認してください。

## KAVR2264-E

ジョブネットフロー PDF 出力ができませんでした。(Excel 起動失敗)

Microsoft Excel 起動に失敗したためジョブネットフロー PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ジョブネットフロー PDF 出力の前提バージョンの Microsoft Excel が起動できる環境にあるか確認してください。

## KAVR2265-E

ジョブネットフロー PDF 出力ができませんでした。(PDF 変換失敗)

データの PDF 変換に失敗したためジョブネットフロー PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ジョブネットフロー PDF 出力の前提バージョンの Microsoft Excel がインストールされている環境にあるか確認してください。

## KAVR2269-E

ジョブネットフロー出力ができませんでした。

ジョブネットフロー出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVR2270-E

ジョブネットフロー PDF 出力ができませんでした。

ジョブネットフロー PDF 出力できませんでした。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システム管理者に連絡してください。

## KAVR2301-E

印刷範囲の指定に誤りがあります。

印刷対象の終了日が，開始日より前の日を指定しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

印刷範囲を正しく指定し直してから，再実行してください。

## KAVR2302-E

印刷開始日の指定に誤りがあります。

印刷開始日に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

印刷開始日を正しく指定し直してから，再実行してください。

## KAVR2303-E

印刷終了日の指定に誤りがあります。

印刷終了日に誤った値を入力しています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

印刷終了日を正しく指定し直してから，再実行してください。

## KAVR2901-Q

終了していいですか？

プログラムを終了するかどうかの確認を行います。

(S)

応答を待ちます。

(O)

終了するときは,「はい」を指定してください。

終了しないときは,「いいえ」を指定してください。

### KAVR3000-I

マップ出力が正常に終了しました。

マップ出力が正常に終了した旨を伝えます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

### KAVR3001-E

マップ出力が正常に終了しませんでした。出力されたマップを確認して下さい。

異常終了した旨を伝え，出力されたマップの確認を促します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

### KAVR3002-I

処理が中断されました。

キャンセルにより処理が中断された旨を伝えます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

### KAVR3003-I

ジョブネットフロー出力が正常に終了しました。

ジョブネットフロー出力が正常に終了した旨を伝えます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

## KAVR3004-E

ジョブネットフロー出力が正常に終了しませんでした。出力されたジョブネットフローを確認して下さい。

異常終了した旨を伝え，出力されたジョブネットフローの確認を促します。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

## KAVR3005-E

出力階層数の指定に誤りがあります。

出力階層数の指定に誤りがあります。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

出力階層数に正しい値を入力して，再度実行してください。

## KAVR3006-E

ジョブネットフロー出力が列の最大値の 256 を超えました。

ジョブネットフロー出力が Microsoft Excel の最大列数の 256 を超えて異常終了した旨を伝えます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

次のどれかの対策を行ってください。

- ジョブネットフロー書式定義で指定している表の形式を「2 列」から「1 列」に変更してください。
- ジョブネットフロー出力で最後に出力した Microsoft Excel の出力結果を確認し，出力に失敗しているジョブネットのマップを JP1/AJS3 - View のジョブネットエディタで開いたあと，すべてのユ

ニットアイコンのマップエリア内での横の位置がマップサイズの 85 以下になるように調整してください。

- Microsoft Excel 2007 以降を使用している場合は，［Excel のオプション］－［保存］－［ファイルの保存形式］の設定を，新規ブックを開くときに［互換モード］にならない形式に変更してください。

## KAVR3010-E

読み込み中にエラーが発生しました。
**ファイル名** (Err: **エラーコード**)

ファイルが読み込めなくなりました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルが通常に使用できるか確認したあと，再実行してください。

## KAVR3011-E

このファイルは，内容が壊れています。

指定したジョブ運用情報ファイルの内容が壊れています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ジョブ運用情報ファイルを作成し直したあと，再実行してください。

## KAVR3012-E

書き込み中にエラーが発生しました。
**ファイル名** (Err: **エラーコード**)

ファイルの書き込みができなくなりました。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルが通常に使用できるか確認したあと，再実行してください。

## KAVR3013-E

出力ファイル名の指定が不正です。

出力ファイル名の指定が不正です。原因の例を次に示します。

- 存在しないディレクトリ名を指定している
- ディレクトリ名，ファイル名に使用できない文字を指定している
- 指定したファイルは作成できない状態にある

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

正しいファイル名を指定して，再実行してください。

## KAVR3014-E

ファイル名が長すぎます。63 バイト以下のファイル名を指定して下さい。

名称長が 63 バイトを超えるファイル名が指定されています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

63 バイト以下のファイル名を指定して，再実行してください。

## KAVR3015-E

ファイルパス名が長すぎます。258 バイト以下のファイルパス名を指定して下さい。

指定されたファイルパス名が 258 バイトを超えているため，使用できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルパス名を 258 バイト以下で指定して，再度実行してください。

## KAVR3016-E

フォルダパス名が長すぎます。194 バイト以下のフォルダパス名を指定して下さい。

指定されたフォルダパス名が 194 バイトを超えているため，使用できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

フォルダパス名を 194 バイト以下で指定して，再度実行してください。

## KAVR3020-I

以下のファイルを作成しました。
ファイル名

PDF ファイルが正常に作成できました。

(S)

処理を続行します。

## KAVR3021-E

マップ PDF 出力が正常に終了しませんでした。

マップ PDF 出力できませんでした。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

## KAVR3022-E

ジョブネットフロー PDF 出力が正常に終了しませんでした。

ジョブネットフロー PDF 出力が正常に終了しませんでした。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

## KAVR3023-E

ジョブネットフロー PDF 出力が列の最大値の 256 を超えました。

ジョブネットフロー PDF 出力が Microsoft Excel の最大列数の 256 を超えて異常終了した旨を伝えます。

(S)

応答を待ちます。

(O)

「OK」を指定して処理を終了します。

次のどれかの対策を行ってください。

- ジョブネットフロー定義で指定している表の形式を「2 列」から「1 列」に変更してください。
- ジョブネットフロー PDF 出力で出力したジョブネットのマップを JP1/AJS3 - View のジョブネットエディタで開いたあと，すべてのユニットアイコンのマップエリア内での横の位置がマップサイズの 85 以下になるように調整してください。
- Microsoft Excel 2007 以降を使用している場合は，［Excel のオプション］－［保存］－［ファイルの保存形式］の設定を，新規ブックを開くときに［互換モード］にならない形式に変更してください。

## KAVR3030-E

通常使うプリンタが使用できない状態になっています。

通常使うプリンタが使用できない状態になっています。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

通常使うプリンタの設定を見直したあと，再実行してください。通常使うプリンタにネットワーク接続プリンタを設定した場合は，接続先サーバの状態を確認してください。

印刷しない場合は，次のどちらかの操作を行ったあと，再実行してください。

- ダミーのローカルプリンタを通常使うプリンタに設定する
- プリンタをすべて削除する

## KAVR3050-W

ジョブネットフロー出力した帳票データに制限を超えた項目があります。

*・1 セル内の総データ数が 32,000 バイトを超えた項目があります。*

*・1 セル内の 1 データの文字数が 4,095 バイトを超えた項目があります。*

*・1 セル内の行数が 2,000 行を超えた項目があります。*

ジョブネットフロー出力のデータに，次のような制限を超えた項目があります。斜体のメッセージは条件に該当した際にだけ出力されます。

- 1 セル内の総データ数が 32,000 バイトを超えた項目がある
- 1 セル内の 1 データの文字数が 4,095 バイトを超えた項目がある

- 1 セル内の行数が 2,000 行を超えた項目がある

(S)

処理を続行します。

(O)

ログファイル（JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ）¥Log¥ajs2po.log を参照し，上限を超えたセルの値を確認してください。

## KAVR4000-E

Job operation information file name must be specified.
ジョブ運用情報ファイル名の指定がありません。

ジョブ運用情報ファイル名の指定は省略できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4001-E

Format definition file name must be specified.
書式定義ファイル名の指定がありません。

書式定義ファイル名の指定は省略できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4002-E

The specified job operation information file name is invalid.
ジョブ運用情報ファイルの指定が不正です。

- ファイル拡張子が aoi でないファイル名を指定した
- ファイル拡張子の指定がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4003-E

The specified format definition file name is invalid.
書式定義ファイルの指定が不正です。

- ファイル拡張子が jof でないファイル名を指定した
- ファイル拡張子の指定がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4004-E

The specified CSV file name is invalid.
CSV ファイルの指定が不正です。

- ファイル拡張子が CSV でないファイル名を指定した
- ファイル拡張子の指定がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4005-E

CSV file name must be specified.
CSV ファイル名の指定がありません。

- -c オプションが指定されているが，CSV ファイル名の指定がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4006-E

The job operation information file cannot be read.
ジョブ運用情報ファイルを読み込めません。

- 指定したジョブ運用情報ファイルが存在しない
- 指定したジョブ運用情報ファイルの内容が不正
- 指定したジョブ運用情報ファイルに対するアクセス権限がないまたは，指定したジョブ運用情報ファイルが使用中

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4007-E

The format definition file cannot be read.
書式定義ファイルを読み込めません。

- 指定した書式定義ファイルが存在しない
- 指定した書式定義ファイルの内容が不正
- 指定した書式定義ファイルに対するアクセス権限がないまたは，指定した書式定義ファイルが使用中

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4008-E

The CSV file cannot be written.
CSV ファイルを書き込めません。

- 書き込み先に対するアクセス権限がない，または書き込み先ファイルが使用中
- 書き込み先に誤ったファイル名を指定している
- 書き込み先に指定したファイルがすでに存在する（-u オプションを指定しない場合）
- 書き込み先ディスクの空き容量がない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

引数を正しく入力して，再度実行してください。

## KAVR4009-E

You can not use the default printer.
通常使うプリンタが設定されていません。

- 通常使うプリンタが設定されていない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

通常使うプリンタを設定した後，再実行してください。

## KAVR4010-E

You can use neither daily nor monthly format definition when execution schedule/result information is not contained in the job operation information file.
予定・結果情報がないため，月次および日次の書式は使用できません。

- 月次または日次の書式定義ファイルを指定したが，ジョブ運用情報ファイルに予定・結果情報が存在しない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

予定・結果情報が存在するジョブ運用情報ファイルを指定して再実行してください。

## KAVR4011-W

The monthly or daily document is not output in 48 hours, because the execution date information for the jobnet does not exist.
ジョブネットの実行予定情報がないため，月次・日次帳票は 48 時間表示できません。

ジョブネットの実行予定情報がないため，月次・日次帳票は 24 時間表示で出力しました。次に示す原因が考えられます。

- 07-10 以前の JP1/AJS2 - Print Option Manager License で収集したジョブ運用情報ファイルを使用している。
- 出力対象ジョブの上位ジョブネットの定義・実行予定情報がジョブ運用情報ファイルに含まれていない。

(S)

処理を続行します。

(O)

48 時間制で月次・日次帳票を出力する場合は，次に示すジョブ運用情報ファイルを使用して，再度実行してください。

- 07-50 以降の JP1/AJS2 - Print Option Manager License または JP1/AJS3 - Print Option Manager で収集したジョブ運用情報ファイルを使用してください。
- 出力対象ジョブの上位ジョブネットを含むように，ジョブ運用情報を収集してください。

本メッセージの表示を抑止するには，環境設定画面の［表示］タブで，「月次・日次の表示時間」を「24時間制」に設定してください。

## KAVR4501-W

Because output information does not exist, processing is ended.
出力する情報が存在しないため，処理を終了します。

- 書式定義ファイルに指定されているユニット種別に関する情報が，ジョブ運用情報ファイルに存在しない

(S)

処理を打ち切ります。

## KAVR4502-W

An unsupported unit type is contained in the job operation information file.
ジョブ運用情報ファイルに未サポートのユニット種別が含まれています。

ジョブ運用情報ファイルに，現在のバージョンではサポートしていないユニット種別があります。

(S)

処理を続行します。

(O)

サポートしていないユニット種別を確認してください。

サポートしていないユニット種別は，書式定義で列項目の表示形式に日本語を選択していても，記号が表示されます。

## KAVR5000-E

An error occurred during communication.
通信処理でエラーが発生しました。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが使用するポート番号が登録されていない

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが使用するポート番号が重複している
- ジョブ運用情報の収集処理で通信処理エラーが発生した
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが起動していない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- Services ファイルに，JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが使用するポート番号が正しく登録されているか確認してください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが使用するポート番号が重複していないか確認してください。
- ネットワークの設定およびファイアウォールの設定を確認してください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスを起動してください。

## KAVR5001-E

An attempt to access to file has failed.
ファイル処理でエラーが発生しました。

- ファイル入出力処理でエラーが発生した

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

ファイルシステムの状態を確認してください。

## KAVR5002-I

Cancel button was pushed.
キャンセルボタンが押されました。

- ジョブ運用情報ファイルの転送中にキャンセルボタンが押された

(S)

ジョブ運用情報ファイルの転送を中止します。

(O)

特にありません。

## KAVR5003-E

Memory could not be allocated.

メモリが確保できません。

- メモリ不足が発生した

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

使用していないプログラムを停止して再度実行してください。

## KAVR5004-E

JP1/AJS2 - Print Option installation location is unobtainable.
JP1/AJS2 - Print Option のインストール先を取得できませんでした。

- JP1/AJS3 - Print Option が正しく組み込まれていない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Print Option を再度組み込み直してください。

## KAVR5005-I

Job operation information was collected.
ジョブ運用情報の収集が正常に終了しました。

- ジョブ運用情報の収集が正常に終了した

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5006-E

The arguments are invalid.
引数が不正です。

- コマンドの引数の指定が誤っている

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

コマンドの引数を確認して再度実行してください。

## KAVR5007-I

Job operation information is being collected.
ジョブ運用情報を収集中です。

- ジョブ運用情報を収集中

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5008-I

It is transferring the file now.
ファイルを転送中です。

- ジョブ運用情報ファイルを転送中

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5009-E

An attempt to start JP1/AJS2 - Print Option has failed.
JP1/AJS2 - Print Option が起動できませんでした。

- ジョブ運用ドキュメント出力画面が起動できなかった

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Print Option が正しく組み込まれているか確認して再度実行してください。

## KAVR5010-E

An attempt to collect the job operation information has failed.
ジョブ運用情報が作成できませんでした。

- ［ジョブ運用情報の収集］画面のユニット名または［ジョブ運用情報の収集］画面のジョブ運用情報ファイルの出力先ファイル名に誤りがある
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービス起動時に LANG 環境変数が正しく設定されていなかった
- JP1/AJS3 - Print Option が正しく組み込まれていないため，ジョブ運用情報ファイルの出力に失敗した
- JP1/AJS3 - POM サービス（jp1ajs2poml）に設定されたポート番号が他製品と重複している
- JP1/AJS3 の環境設定パラメーター ADMACLIMIT を「yes」に設定している

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

- ［ジョブ運用情報の収集］画面のユニット名またはジョブ運用情報ファイルの出力先ファイル名が正しいか確認してください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスの自動開始のスクリプトの LANG 環境変数，または jprpomlstart コマンドを起動する際の LANG 環境変数が正しく設定されているか確認してください。
- OS に対応した JP1/AJS3 - Print Option をインストールしてください。
- services ファイルの JP1/AJS3 - POM サービス（jp1ajs2poml）に設定されたポート番号を，他製品と重複しないように設定してください。
- 次のどれかの対処をしてください。

(Windows の場合)

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスをローカルシステムアカウントで運用する場合，「system」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスをユーザーアカウントで運用する場合，ユーザーアカウントと同じ名称の JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

(UNIX の場合)

- 「root」という JP1 ユーザーを作成し，ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの対象ユニットの JP1 資源グループに対して，JP1 権限レベルを設定してください。

## KAVR5011-E

An attempt to start the service has failed.
サービスが起動できませんでした。

- サービスが起動できなかった

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

障害発生時に必要なファイルを取得して保守員に連絡してください。

## KAVR5012-E

An attempt to start the thread has failed.
スレッドが起動できませんでした。

- スレッドが起動できなかった

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

障害発生時に必要なファイルを取得して保守員に連絡してください。

## KAVR5013-E

An error occurred in JP1/AJS2 - Print Option Manager License.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License プログラムでエラーが発生しました。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager プログラムでエラーが発生した

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

障害発生時に必要なファイルを取得して保守員に連絡してください。

## KAVR5014-E

An error occurred in JP1/AJS2 - Print Option Manager License service.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスでエラーが発生しました。

- サービスでエラーが発生した

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

障害発生時に必要なファイルを取得して保守員に連絡してください。

## KAVR5015-I

JP1/AJS2 - Print Option Manager License service was started.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスが起動しました。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが起動した

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5016-I

JP1/AJS2 - Print Option Manager License service was stopped.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスが停止しました。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスが停止した

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5017-I

JP1/AJS2 - Print Option Manager License service has already been started.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスはすでに起動しています。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスはすでに起動している

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5018-I

JP1/AJS2 - Print Option Manager License service has already been stopped.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスはすでに停止しています。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスはすでに停止している

(S)

特にありません。

(O)

特にありません。

## KAVR5019-E

An attempt to start JP1/AJS2 - Print Option Manager License service has failed.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License サービスの起動に失敗しました。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager サービスの起動に失敗した

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

障害発生時に必要なファイルを取得して保守員に連絡してください。

## KAVR5020-I

The service is stopped by receiving a signal.
シグナル受信によってサービスは停止処理を実行します。

- 強制終了のシグナルを受信したため，サービスを停止する

(S)

サービスを停止します。

(O)

特にありません。

## KAVR5021-E

JP1/AJS2 - Print Option Manager License installation location is unobtainable.
JP1/AJS2 - Print Option Manager License のインストール先を取得できませんでした。

- JP1/AJS3 - Print Option Manager が正しく組み込まれていない

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/AJS3 - Print Option Manager を再度組み込み直してください。

## KAVR5022-E

The process is stopping now. Wait for the process to end, and then retry.
停止要求の処理中です。しばらく待ってから再実行してください。

停止要求の処理中です。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

しばらく待ってから再実行してください。

## KAVR5024-E

An attempt to collect the job operation information has failed, because the version of JP1/Automatic Job Management System 2 - Print Option Manager License is old.
JP1/Automatic Job Management System 2 - Print Option Manager License のバージョンが古いためジョブ運用情報を収集できません。

JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager のバージョンが古いため，ジョブ運用情報を収集できません。

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager をバージョンアップしてください。

## KAVR5027-E

An attempt to read the product information failed. (Detailed information: **関数名, 戻り値**)
製品情報の読み込みに失敗しました。 (詳細情報: **関数名, 戻り値**)

製品情報の読み込みに失敗しました。 (詳細情報: **関数名, 戻り値**)

(S)

処理を打ち切ります。

(O)

システムの時刻がインストールした時刻以前に設定されている場合は，時刻を戻してから再実行してください。

上記以外の場合は，上書きインストールし，再実行してください。上書きインストール後にこのメッセージが出力される場合には，アンインストールし再インストール後に，再実行してください。

# 10 トラブルシューティング

この章では，JP1/AJS3 - Print Option の運用中にトラブルが発生した場合の対処方法などを説明します。

## 10.1　対処の手順

JP1/AJS3 - Print Option でトラブルが起きた場合の対処の手順を次に示します。

1. 現象の確認

   トラブルが発生したときの現象を確認してください。メッセージが出力されている場合は，メッセージの内容を確認してください。各メッセージの要因と対処方法については，「9.　メッセージ」を参照してください。また，JP1/AJS3 - Print Option を運用しているときに出力されるログ情報については，「10.2　ログ情報の種類」を参照してください。

2. 資料の採取

   トラブルの要因を調べるために資料の採取が必要です。「10.3　トラブル発生時に採取が必要な資料」，「10.4　資料採取ツールでの資料採取方法」，および「10.5　ダンプファイルの出力設定と採取方法」を参照して，必要な資料を採取してください。

3. 問題の調査

   採取した資料を基に問題の要因を調査し，問題が発生している部分，または問題の範囲を切り分けてください。

## 10.2　ログ情報の種類

JP1/AJS3 - Print Option を運用しているときに出力されるログ情報は，次の 2 種類あります。

- 共通メッセージログ
- プロセス別ログ

この節では，2 種類のログ情報について説明します。

### 10.2.1　共通メッセージログ

共通メッセージログとは，システム側のトラブルを通知する，システム管理者向けのログ情報のことです。共通メッセージログは，必要最小限のトラブル情報を通知します。

共通メッセージログは，Windows の場合は Windows イベントログに，UNIX の場合は syslog ファイルに出力されます。

### 10.2.2　プロセス別ログ

プロセス別ログとは，JP1/AJS3 - Print Option の各機能が出力するログ情報のことです。各機能によって異なるログファイルに出力されます。出力されるログファイルについては，「10.3.2　JP1/AJS3 - Print Option に関する情報」を参照してください。

## 10.3　トラブル発生時に採取が必要な資料

JP1/AJS3 - Print Option でトラブルが発生したときに採取が必要な資料と，採取方法について説明します。

### 10.3.1　オペレーティングシステム（OS）のログ情報

次に示す OS のログ情報の採取が必要です。

#### (1)　Windows の場合

表 10–1　障害時に採取する OS のログ情報（Windows の場合）

| 障害時に採取する情報 | ツールでの採取 |
|---|---|
| Windows のイベントログ | ○ |
| hosts ファイル，services ファイル | ○ |
| ユーザーダンプファイル | ○※1 |
| メモリーダンプ | ○※2 |
| クラッシュダンプ | ○※2 |

（凡例）

○：資料採取ツールで採取できます。

注※1

資料採取ツールでユーザーダンプファイルを採取するには，あらかじめユーザーダンプファイルを出力しておく必要があります。

注※2

資料採取ツールでメモリーダンプやクラッシュダンプを取得できません。これらに相当する情報は，トラブルの発生時に手動で採取してください。採取方法については，「10.5.2　ダンプファイルの採取方法」を参照してください。

#### (2)　UNIX の場合

表 10–2　障害時に採取する OS のログ情報（UNIX の場合）

| 障害時に採取する情報 | ツールでの採取 |
|---|---|
| syslog ファイル | ○ |
| hosts ファイル，services ファイル | ○ |
| core ファイル | ○※ |

（凡例）

○：資料採取ツールで採取できます。

注※

コマンドを実行して core ファイルが出力された場合，カレントディレクトリの core ファイルは手動で採取する必要があります。

## 10.3.2　JP1/AJS3 - Print Option に関する情報

JP1/AJS3 - Print Option に関する次の情報の採取が必要です。

### (1)　Windows の場合

障害が発生したマシン上の次に示すファイルをすべて採取してください。

表 10–3　障害時に採取するファイル（Windows の場合）

| プログラム名 | ディレクトリ | ファイルの種類 | ツールでの採取 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option Manager※3 | コマンドの引数で指定した出力先※1※4 | ジョブ運用情報ファイル<br>（ファイル拡張子：aoi） | − |
| | コマンドの引数で指定した出力先※1※4 | ジョブ運用情報収集実行履歴<br>（ファイル拡張子：log） | − |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2POM¥Tmp※2 | ログファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2POM¥Log※2 | ログファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2POM¥ | 環境設定情報ファイル<br>（ファイル名：jprpoml.ini） | ○ |
| JP1/AJS3 - Print Option※3 | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Input※5 | ジョブ運用情報ファイル（ファイル拡張子：aoi） | − |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Format※5 | 書式定義ファイル（ファイル拡張子：jof） | ○ |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Map¥FlowFormat※5 | ジョブネットフロー書式定義ファイル（ファイル拡張子：fof） | ○ |

| プログラム名 | ディレクトリ | ファイルの種類 | ツールでの採取 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option※3 | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Log※6 | ログファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |
| | %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO¥Users | 複数ユーザー運用使用時の Users フォルダ以下のフォルダ，ファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |

（凡例）

○：資料採取ツールで採取できます。

－：資料採取ツールで採取できません。

注

%allusersprofile%は，デフォルトでは「（システムドライブ）:¥ProgramData」です。

注※1

特にパス名を指定していないとき，ファイルは実行ディレクトリに作成されます。

注※2

JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集操作を実行した場合に異常を検出すると生成されます。

注※3

隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない設定にしていると，「%allusersprofile%」フォルダは表示されません。この場合は，すべてのファイルを表示する設定に変更すれば表示されるようになります。すべてのファイルを表示する設定については，OS のヘルプを参照してください。

注※4

Windows Server 2016，Windows Server 2012 および Windows Server 2008 R2 で，ユーザーアカウント制御（UAC）が有効な環境で管理者（Administrator）以外のユーザーを使用している場合，出力先に，OS によって保護された「C:¥Program Files」などのフォルダを指定するとエラーになります。このときは，管理者（Administrator）でコマンドプロンプトを起動してからコマンドを実行してください。

注※5

別ディレクトリを指定している場合は，そのディレクトリ下のファイルを採取してください。

注※6

JP1/AJS3 - Print Option で操作中に異常を検出すると生成されます。

マップ出力機能，またはジョブネットフロー出力機能で異常を検出すると，すでにログファイルが存在する場合は，ファイルを削除したあと，再作成します。マップ出力，またはジョブネットフロー出力で障害が発生した場合は，マップ出力機能，またはジョブネットフロー出力機能を次回に利用する前にこのディレクトリ内の log ファイルを退避してください。

## (2) UNIX の場合

障害が発生したマシン上の次に示すファイルをすべて採取してください。

表 10-4 障害時に採取するファイル（UNIX の場合）

| プログラム名 | ディレクトリ | ファイルの種類 | ツールでの採取 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS3 - Print Option Manager | コマンドの引数で指定した出力先※1 | ジョブ運用情報ファイル<br>（ファイル拡張子：aoi） | − |
| | コマンドの引数で指定した出力先※1 | ジョブ運用情報収集実行履歴<br>（ファイル拡張子：log） | − |
| | /opt/jp1ajs2pom/tmp※2 | ログファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |
| | /opt/jp1ajs2pom/log※2 | ログファイル<br>すべてのファイル拡張子 | ○ |
| | /opt/jp1ajs2pom | core ファイル※3 | ○ |
| | /opt/jp1ajs2pom | 環境設定情報ファイル<br>（ファイル名：jprpoml.ini） | ○ |

（凡例）

○：資料採取ツールで採取できます。

−：資料採取ツールで採取できません。

注※1

特にパス名を指定していないとき，ファイルは実行ディレクトリに作成されます。

注※2

JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集操作を実行した場合に異常を検出すると生成されます。

注※3

コマンドを実行して core ファイルが出力された場合，カレントディレクトリの core ファイルは手動で採取する必要があります。

## 10.3.3 JP1/AJS3 - Print Option のプロセスの状態

JP1/AJS3 - Print Option のプロセスの動作状態を確認してください。

## (1) Windows の場合

Windows のタスクマネージャを使って，プロセスの動作状態を確認します。

プロセスについては，「付録 E プロセス一覧」を参照してください。

### (2) UNIX の場合

UNIX の ps コマンドを使ってプロセスの動作状態を確認します。

プロセスについては，「付録 E　プロセス一覧」を参照してください。

## 10.3.4 オペレーション内容

障害時のオペレーション内容について次に示す情報が必要です。

- オペレーション内容の詳細
- 発生時刻
- マシン構成（各 OS のバージョン，ホスト名，構成，インストールソフトウェア一覧）
  Windows の場合，システム情報から詳細な情報を得ることができます。
- 再現性

## 10.3.5 画面上のエラー情報

コマンドのエラーメッセージ，または画面のエラーダイアログボックスのハードコピーを採取してください。

## 10.4　資料採取ツールでの資料採取方法

JP1 では採取が必要な資料を一括採取するための「資料採取ツール」を提供しています。

ここでは，資料採取ツールを使用するための準備，および実行手順を説明します。

### 10.4.1　資料採取ツールを使用するための準備

資料採取ツールは，JP1/AJS3 - Print Option および JP1/AJS3 - Print Option Manager をインストールしたあと，別のフォルダにコピーしてから使用してください。

インストール時の資料採取ツールのパスを次に示します。

JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツール

```
（インストール先フォルダ）¥PO_ras.bat
```

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツール（Windows の場合）

```
（インストール先フォルダ）¥POM_ras.bat
```

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツール（UNIX の場合）

```
/opt/jp1ajs2pom/POM_ras.sh
```

注

- JP1/AJS3 - Print Option の場合，（インストール先フォルダ）は，デフォルトでは「(システムドライブ）:¥Program Files¥Hitachi¥JP1AJS2PO」です。

  64 ビット版の Windows の場合は，「Program Files」を「Program Files (x86)」と読み替えてください。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager の場合，（インストール先フォルダ）は，デフォルトでは「(システムドライブ）:¥Program Files (x86)¥Hitachi¥JP1AJS2POM」です。

注意事項

資料採取ツールのコピー先に，インストールフォルダの下（「C:¥Program Files」の下など）を指定しないでください。

### 10.4.2　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの実行

JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールは，バッチファイルです。バッチファイルを実行すると，資料が一括で出力されます。

ここでは，資料採取ツールの実行手順，資料採取ツールの文法（オプション，戻り値，メッセージ一覧，実行時の注意事項など），および採取される資料の一覧について説明します。

## (1)　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの実行手順

JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの実行例を次に示します。この例では，資料採取ツールを「C:¥usertools」フォルダに格納しています。

```
c:¥>c:¥usertools¥PO_ras.bat
```

資料採取ツールの実行結果は，「(資料採取ツールを格納したフォルダ) ¥jp1ajs2po¥backlog」下の次のフォルダに出力されます。

¥PO_1st

第一報用資料が出力されます。

¥PO_2nd

第二報用資料が出力されます。

> **メモ**
>
> - 採取する資料を限定するオプションを指定できます。資料採取ツールの文法については，「(2)　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの文法」を参照してください。
> - 第一報用資料および第二報用資料の種類については「(3)　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールで採取される資料」を参照してください。

## (2)　JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールの文法

**形式**

```
PO_ras.bat
     [-t]
     [-u]
```

**機能**

JP1/AJS3 - Print Option の各種ログ，OS 情報などの保守情報を取得します。

**実行権限**

Administrators 権限

**引数**

-t

hosts ファイルおよび services ファイルを採取しないときに指定します。

-u

ユーザーダンプを採取しないときに指定します。

**出力先**

（資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2po¥backlog

### 戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 0 以外の値 | 異常終了 |

### メッセージ

| メッセージ | 説明 | 動作 |
|---|---|---|
| Finished. Press any key. | 処理が正常に終了しました。何かキーを押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Failed. Press any key. | 処理が正常に終了しませんでした。何かキーを押してください。<br>出力された OS のメッセージなどを参照し，エラー要因を取り除いたあとに再度実行してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| File **ファイル名** is exist. Delete to continue? (y/n) | 前回実行したときに作成されたファイルが存在します。削除して処理を継続する場合は「y」を，中止する場合は「n」を押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Directory **フォルダ名** is exist. Delete to continue? (y/n) | 前回実行したときに作成されたフォルダが存在します。削除して処理を継続する場合は「y」を，中止する場合は「n」を押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Error exists in option. | オプションの指定に誤りがあります。正しいオプションを指定して再度実行してください。 | 処理を終了します。 |

### 注意事項

- 採取した資料は，このツールでは圧縮されません。別途圧縮ツールなどで圧縮してください。
- バッチファイルの実行結果を出力したファイルが作成済みの場合，情報の上書きを確認するメッセージが出力されるので，上書きする場合は「y」を，中止する場合は「n」を応答してください。
- 資料採取ツールの実行が終了した直後に，採取した資料の移動，削除などの操作を行うと「プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」とメッセージが出力される場合があります。これは，資料採取ツールの実行が終了しても，内部的に OS の情報を採取するためのプロセスが実行中のために出力されます。このメッセージが出力された場合は，しばらく待ってから採取した資料を操作してください。
- 資料採取ツールを実行する場合，コマンドプロンプトを管理者として起動する必要があります。コマンドプロンプトを起動する際は，Windows の［スタート］メニューの［コマンドプロンプト］を右クリックし，ショートカットメニューから［管理者として実行］を選択してください。

  Administrators 権限がない状態で資料採取ツールを実行した場合，資料採取ツール実行中に UAC 機能による確認ダイアログボックスが何度も表示されます。

  UAC 機能が無効の場合は，コマンドプロンプトを管理者として起動する必要はありません。
- 資料採取ツールは多重実行しないでください。

## (3) JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールで採取される資料

JP1/AJS3 - Print Option の資料採取ツールは，第一報用資料および第二報用資料の二つに分けて資料を採取します。それぞれで採取される資料のフォルダ名・ファイル名と内容を次に示します。

**第一報用資料**（(資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2po¥backlog¥PO_1st）

表 10-5 JP1/AJS3 - Print Option の第一報用資料

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| ¥FILELIST.txt | JP1/AJS3 - Print Option のインストール先フォルダ以下のファイルリスト |
| ¥GETERROR.log | 資料採取ツール（PO_ras.bat）が出力するログ |
| ¥HOSTS | hosts ファイル |
| ¥services | services ファイル |
| 1. ¥ProductInfo.txt<br>2. ¥Version.txt | 製品情報ファイル |
| ¥jprpo.ini | 管理用運用設定ファイル |
| 1. ¥JP1AJS2PO.DAT<br>2. ¥NETFRAMEWORK.DAT<br>3. ¥OFFICE.DAT | 各製品のレジストリ情報 |
| ¥WIN.DAT | Windows レジストリ情報 |
| ¥OSINFO.txt | OS バージョン，Windows の環境変数情報，IP コンフィギュレーション情報，Network 構成情報，統計情報 |
| ¥PERMISSIONINFO.TXT | JP1/AJS3 - Print Option のフォルダ，ログファイル格納フォルダ，ログファイルのアクセス権限情報，複数ユーザー運用機能使用時の Users フォルダ以下のアクセス権限情報 |
| ¥SECEDIT.txt | secedit コマンドで採取されるローカルセキュリティポリシーの設定情報（アカウントポリシー，監査ポリシー，イベントログ設定，セキュリティ・オプション） |
| ¥WINMSD.TXT | msinfo32 コマンドで採取されるシステムの概要，実行中のタスク，サービスの情報などの情報<br>msinfo32 コマンドで採取されるすべてのシステム情報 |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥INI | 環境設定ファイル格納フォルダ |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Format | 書式定義ファイル格納フォルダ |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥FlowFormat | ジョブネットフロー書式定義ファイル格納フォルダ |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Map | マップ出力・フロー出力の中間ファイル |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Log | ログファイル格納フォルダ |

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| 1.¥HITACHI_JP1_INST_LOG<br>2.¥HCDINST | 統合インストーラのログファイル |
| ¥LicLog | インストーラのライセンスチェックログファイル |
| ¥common | ライセンス登録情報ファイル |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Users | 複数ユーザー運用使用時の Users フォルダ以下のフォルダ，ファイル |

**第二報用資料**（(資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2po¥backlog¥PO_2nd)）

表 10-6　JP1/AJS3 - Print Option の第二報用資料

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| ¥eventlog¥AppEvent.txt | アプリケーションイベントログ |
| ¥eventlog¥SysEvent.txt | システムイベントログ |
| ¥eventlog¥UACVirtualEvent.txt | UAC ファイル仮想化に関するイベントログ |
| 1.¥USERDUMP¥*.dmp<br>2.¥WTSNDUMP¥*.dmp | ユーザーダンプ※ |

注※

資料採取ツールでユーザーダンプファイルを採取するには，あらかじめユーザーダンプファイルを出力しておく必要があります。

## 10.4.3　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取手順（Windows の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールは，バッチファイルです。バッチファイルを実行すると，資料が一括で出力されます。

ここでは，資料採取ツールの実行手順，資料採取ツールの文法（オプション，戻り値，メッセージ一覧，実行時の注意事項など），および採取される資料の一覧について説明します。

### (1)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの実行手順（Windows の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの実行例を次に示します。この例では，資料採取ツールを「C:¥usertools」フォルダに格納しています。

```
c:¥>c:¥usertools¥POM_ras.bat
```

資料採取ツールの実行結果は，「(資料採取ツールを格納したフォルダ)¥jp1ajs2pom¥backlog」下の次のフォルダに出力されます。

¥POM_1st

第一報用資料が出力されます。

¥POM_2nd

第二報用資料が出力されます。

> **メモ**
>
> - 採取する資料を限定するオプションを指定できます。資料採取ツールの文法については，「(2)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの文法（Windows の場合)」を参照してください。
> - 第一報用資料および第二報用資料の種類については「(3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（Windows の場合)」を参照してください。

## (2)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの文法（Windows の場合)

### 形式

```
POM_ras.bat
     [-t]
     [-u]
```

### 機能

JP1/AJS3 - Print Option Manager の各種ログ，OS 情報などの保守情報を取得します。

### 実行権限

Administrators 権限

### 引数

-t

hosts ファイルおよび services ファイルを採取しないときに指定します。

-u

ユーザーダンプを採取しないときに指定します。

### 出力先

```
（資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2pom¥backlog
```

### 戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 0 以外の値 | 異常終了 |

### メッセージ

| メッセージ | 説明 | 動作 |
|---|---|---|
| Finished. Press any key. | 処理が正常に終了しました。何かキーを押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Failed. Press any key. | 処理が正常に終了しませんでした。何かキーを押してください。<br>出力された OS のメッセージなどを参照し，エラー要因を取り除いたあとに再度実行してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| File **ファイル名** is exist. Delete to continue? (y/n) | 前回実行したときに作成されたファイルが存在します。削除して処理を継続する場合は「y」を，中止する場合は「n」を押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Directory **フォルダ名** is exist. Delete to continue? (y/n) | 前回実行したときに作成されたディレクトリが存在します。削除して処理を継続する場合は「y」を，中止する場合は「n」を押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Error exists in option. | オプションの指定に誤りがあります。正しいオプションを指定して再度実行してください。 | 処理を終了します。 |

### 注意事項

- 採取した資料はこのツールでは圧縮しません。別途圧縮ツールなどで圧縮してください。
- バッチファイルの実行結果を出力したファイルが作成済みの場合，情報の上書きを確認するメッセージが出力されるので，上書きする場合は「y」を，中止する場合は「n」を応答してください。
- 資料採取ツールの実行が終了した直後に，採取した資料の移動，削除などの操作を行うと「プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」とメッセージが出力される場合があります。これは，資料採取ツールの実行が終了しても，内部的に OS の情報を採取するためのプロセスが実行中のために出力されます。このメッセージが出力された場合は，しばらく待ってから採取した資料を操作してください。
- 資料採取ツールを実行する場合，コマンドプロンプトを管理者として起動する必要があります。コマンドプロンプトを起動する際は，Windows の［スタート］メニューの［コマンドプロンプト］を右クリックし，ショートカットメニューから［管理者として実行］を選択してください。

  Administrators 権限がない状態で資料採取ツールを実行した場合，資料採取ツール実行中に UAC 機能による確認ダイアログボックスが何度も表示されます。

  UAC 機能が無効の場合は，コマンドプロンプトを管理者として起動する必要はありません。
- 資料採取ツールは多重実行しないでください。

## (3) JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（Windows の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールは，第一報用資料および第二報用資料の二つに分けて資料を採取します。それぞれで採取される資料のフォルダ名・ファイル名と内容を次に示します。

**第一報用資料**（(資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2pom¥backlog¥POM_1st）

表 10–7　JP1/AJS3 - Print Option Manager の第一報用資料（Windows の場合）

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| ¥FILELIST.txt | JP1/AJS3 - Print Option Manager のインストール先フォルダ以下のファイルリスト |
| ¥GETERROR.log | 資料採取ツール（POM_ras.bat）が出力するログ |
| ¥HOSTS | hosts ファイル |
| ¥services | services ファイル |
| ¥JP1AJS2POM.DAT | 製品のレジストリ情報 |
| ¥WIN.DAT | Windows レジストリ情報 |
| ¥JP1AJS2POMLSV.DAT | JP1/AJS3 - POM サービスのレジストリ情報 |
| ¥OSINFO.txt | OS バージョン，Windows の環境変数情報，IP コンフィギュレーション情報，Network 構成情報，統計情報 |
| ¥PERMISSIONINFO.TXT | JP1/AJS3 - Print Option Manager のフォルダ，ログファイル格納フォルダ，ログファイルのアクセス権限情報 |
| ¥SECEDIT.txt | secedit コマンドで採取するローカルセキュリティポリシーの設定情報（アカウントポリシー，監査ポリシー，イベントログ設定，セキュリティ・オプション） |
| ¥WINMSD.TXT | msinfo32 コマンドで採取されるシステムの概要，実行中のタスク，サービスの情報などの情報<br>msinfo32 コマンドで採取されるすべてのシステム情報 |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Tmp | ジョブ運用情報ファイルの一時ファイル |
| ¥ALLUSERSPROFILE¥Log | ログファイル格納フォルダ |
| 1. ¥HITACHI_JP1_INST_LOG<br>2. ¥HCDINST | 統合インストーラのログファイル |
| ¥LicLog | インストーラのライセンスチェックログファイル |
| ¥common | ライセンス登録情報ファイル |
| ¥jprpoml.ini | 環境設定情報ファイル |
| 1. ¥ProductInfo.txt | 製品情報ファイル |

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| 2.¥Version.txt | 製品情報ファイル |

**第二報用資料**（(資料採取ツールを格納したフォルダ）¥jp1ajs2pom¥backlog¥POM_2nd）

表 10–8　JP1/AJS3 - Print Option Manager の第二報用資料（Windows の場合）

| 採取された資料のフォルダ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| ¥eventlog¥AppEvent.txt | アプリケーションイベントログ |
| ¥eventlog¥SysEvent.txt | システムイベントログ |
| ¥eventlog¥UACVirtualEvent.txt | UAC ファイル仮想化に関するイベントログ |
| 1.¥USERDUMP¥*.dmp<br>2.¥WTSNDUMP¥*.dmp | ユーザーダンプ※ |

注※

資料採取ツールでユーザーダンプファイルを採取するには，あらかじめユーザーダンプファイルを出力しておく必要があります。

## 10.4.4　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取手順（UNIX の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールは，バッチファイルです。バッチファイルを実行すると，資料が一括で出力されます。

ここでは，資料採取ツールの実行手順，資料採取ツールの文法（オプション，戻り値，メッセージ一覧，実行時の注意事項など），および採取される資料の一覧について説明します。

### (1)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの実行（UNIX の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの実行例を次に示します。この例では，資料採取ツールを「/user/tmp/」ディレクトリに格納しています。

```
# /user/tmp/POM_ras.sh
```

資料採取ツールの実行結果は，「(資料採取ツールを格納したディレクトリ）/jp1ajs2pom/backlog」下に，次のファイルとして出力されます。

POM_1st.tar.Z

第一報用資料が出力されます。

POM_2nd.tar.Z

第二報用資料が出力されます。

**メモ**

- 採取する資料を限定するオプションを指定できます。資料採取ツールの文法については，「(2)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの文法（UNIX の場合）」を参照してください。
- 第一報用資料および第二報用資料の種類については「(3)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（UNIX の場合）」を参照してください。

## (2)　JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールの文法（UNIX の場合）

### 形式

```
POM_ras.sh
     [-t]
     [-u]
```

### 機能

JP1/AJS3 - Print Option Manager の各種ログ，OS 情報などの保守情報を採取します。

### 実行権限

スーパーユーザー権限

### 引数

-t

hosts ファイル，services ファイル，および password ファイルを採取しないときに指定します。

-u

コアを採取しないときに指定します。

このオプションを指定しても，バックトレース情報は採取されます。

### 出力先

（資料採取ツールのあるディレクトリ）/jp1ajs2pom/backlog

### 戻り値

| | |
|---|---|
| 0 | 正常終了 |
| 0 以外の値 | 異常終了 |

### メッセージ

| メッセージ | 説明 | 動作 |
|---|---|---|
| Directory **ディレクトリ名** is created | ディレクトリを作成しました。 | 処理を継続します。 |
| Overwrite file (**ファイル名**) ok? | (**ファイル名**)を上書きしてよろしいですか？ | ユーザーの応答を待ちます。 |

| メッセージ | 説明 | 動作 |
|---|---|---|
| Overwrite file (**ファイル名**) ok? | 処理を継続する場合は「y」を，中止する場合は「n」を押してください。 | ユーザーの応答を待ちます。 |
| Output file name :(**ファイル名**) | (**ファイル名**)を作成しました。 | 処理を終了します。 |
| Write permission error (**ディレクトリ名**) | 書き込み権限がありません。次の要因が考えられます。<br>• ディレクトリを作成する権限がない<br>• 他プロセスが使用中である<br>要因を排除したあと，再度実行してください。 | 処理を終了します。 |
| Make directory (**ディレクトリ名**) is unsuccessful | ディレクトリが作成できませんでした。次の要因が考えられます。<br>• ディレクトリを作成する権限がない<br>• 他プロセスが使用中である<br>要因を排除したあと，再度実行してください。 | 処理を終了します。 |
| [ -t ] [ -u ] | オプションの設定が誤っています。正しく設定し，再度実行してください。 | 処理を終了します。 |

### 注意事項

- 採取した資料は，資料採取ツールで圧縮します。OS ごとの圧縮方法を次に示します。

  #### Linux の場合

  zip コマンドを使用して圧縮します。資料採取ツールを実行する環境に gzip コマンドがインストールされていなかった場合，tar コマンドで資料をまとめ出力します。compress コマンドは使用しません。tar コマンドがインストールされていない場合，資料採取ツールは異常終了し，処理を終了します。

  #### Linux 以外の UNIX の場合

  compress コマンドを使用して圧縮します。資料採取ツールを実行する環境に compress コマンドがインストールされていなかった場合，gzip コマンドを使用して採取した資料を圧縮します。compress コマンドおよび gzip コマンドがない場合，tar コマンドで採取した資料をまとめて出力します。tar コマンドがインストールされていない場合，資料採取ツールは異常終了し，処理を終了します。

- スクリプトを実行するユーザーが参照権限を持たないファイルが含まれている場合を考慮し，スーパーユーザーでスクリプトを実行してください。
- スクリプトの実行結果を出力したファイルが作成済みの場合，情報の上書きを確認するメッセージが出力されるので，上書きする場合は「y」で，中止する場合は「n」で応答してください。
- 資料採取ツールは多重実行しないでください。
- 圧縮された資料を展開する場合は，Windows 上で実行してください。採取した資料を使用している OS 上で展開すると，採取した資料で環境ファイルを上書きします。

## (3) JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールで採取される資料（UNIX の場合）

JP1/AJS3 - Print Option Manager の資料採取ツールは，第一報用資料および第二報用資料の二つに分けて資料を採取します。それぞれで採取される資料のディレクトリ名・ファイル名と内容を次に示します。

**第一報用資料**（（資料採取ツールを格納したディレクトリ）/jp1ajs2pom/backlog/POM_1st.tar.Z）

表 10–9　JP1/AJS3 - Print Option Manager の第一報用資料（UNIX の場合）

| 採取された資料のディレクトリ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| /etc/hosts | hosts ファイル |
| /etc/passwd | passwd ファイル |
| /etc/services | services ファイル |
| /etc/environment（AIX の場合） | environment ファイル |
| /etc/inittab | inittab ファイル |
| /etc/.hitachi/pplistd/pplistd | インストール済みの日立製品情報 |
| /etc/opt/jp1ajs2pom | JP1/AJS3 - POM サービス起動停止スクリプト格納ディレクトリ |
| /opt/jp1ajs2pom/log | ログファイル格納ディレクトリ |
| /opt/jp1ajs2pom/tmp | ジョブ運用情報ファイルの一時ディレクトリ |
| /opt/jp1ajs2pom/tmp/POM.filelist | JP1/AJS3 - Print Option Manager のインストール先ディレクトリ以下のファイルリスト |
| /opt/jp1ajs2pom/tmp/POM.osinfo | OS バージョン，環境変数情報 |
| /opt/jp1ajs2pom/tmp/POM.processlist | プロセスリスト |
| /opt/jp1ajs2pom/jprpoml.ini | 環境設定情報ファイル |

**第二報用資料**（（資料採取ツールのあるディレクトリ）/jp1ajs2pom/backlog/POM_2nd.tar.Z）

表 10–10　JP1/AJS3 - Print Option Manager の第二報用資料（UNIX の場合）

| 採取された資料のディレクトリ名・ファイル名 | 内容 |
|---|---|
| 1. /var/adm/syslog/syslog.log（HP-UX の場合）<br>2. /var/adm/messages（Solaris の場合）<br>3. /var/adm/syslog（AIX の場合）<br>4. /var/log/messages*（Linux の場合） | syslog および syslog 格納ディレクトリ |
| 「/opt/jp1ajs2pom」下の core※ | core ファイル |

注※

コマンドを実行して core ファイルが出力された場合，カレントディレクトリの core ファイルは手動で採取する必要があります。

## 10.5　ダンプファイルの出力設定と採取方法

トラブルが発生した場合にメモリーダンプまたはクラッシュダンプが必要となることがあります。

ここでは，メモリーダンプまたはクラッシュダンプを出力するための設定，および採取方法を説明します。

### 10.5.1　ダンプファイルの出力設定

トラブル発生時にこれらのダンプファイルを採取する場合は，あらかじめメモリーダンプまたはクラッシュダンプが出力されるように設定しておいてください。

#### (1)　メモリーダンプの出力設定

1. コントロールパネルの［システム］をダブルクリックする。
2. ［詳細設定］タブの［起動と回復］の［設定］ボタンをクリックする。
3. ［デバッグ情報の書き込み］で，［完全メモリ ダンプ］を選択し，［ダンプ ファイル］に出力先のファイルを指定する。

注意事項

メモリーダンプのサイズは，実メモリーのサイズによって異なります。搭載している物理メモリーが大きいと，メモリーダンプのサイズも大きくなります。メモリーダンプを採取できるだけのディスク領域を確保してください。詳細については，Windows のヘルプを参照してください。

#### (2)　クラッシュダンプの出力設定

クラッシュダンプに相当する情報の採取方法については，「10.5.2　ダンプファイルの採取方法」を参照してください。

### 10.5.2　ダンプファイルの採取方法

メモリーダンプ，およびクラッシュダンプに相当する情報※を採取する方法について説明します。

注※

クラッシュダンプは資料採取ツールでは採取できません。そのため，クラッシュダンプに相当する情報として，次の情報を採取してください。

- ユーザーダンプ
- 問題レポート

## (1) メモリーダンプの採取方法

Windows で STOP エラーが発生すると，メモリーダンプが出力されます。このダンプファイルを採取してください。ただし，トラブル発生時にメモリーダンプが出力されるには設定が必要です。出力設定については，「10.5.1(1) メモリーダンプの出力設定」を参照してください。設定することによって，指定したパスにメモリーダンプが出力されます。

## (2) ユーザーダンプの採取方法

ユーザーダンプを採取する JP1/AJS3 - Print Option のプロセスがアプリケーションエラーで停止した場合は，エラーダイアログボックスが表示されている状態で次の操作を行ってください。

注意事項

エラーダイアログボックスを消すとダンプを正しく取得できないため，ユーザーダンプを採取できなくなります。ダンプの取得前に誤ってエラーダイアログボックスを消した（[OK] ボタンをクリックするなど）場合は，現象を再現させてエラーダイアログボックスが表示されている状態で操作してください。

1. タスクマネージャを起動する。

   タスクマネージャは次のどちらかの手順で起動できます。

   - タスクバーの空いている場所を右クリックして［タスクマネージャ］を選択する。
   - ［CTRL］＋［SHIFT］＋［ESC］キーを押してタスクマネージャを起動する。

2. ［タスクマネージャ］ダイアログボックスの［プロセス］タブをクリックする。

3. アプリケーションエラーで停止した JP1/AJS3 - Print Option のプロセス名を右クリックし，［ダンプファイルの作成］を選択する。

4. ユーザーダンプの出力先パスを示すダイアログボックスが表示されるので，そこから採取する。

## (3) 問題レポートの採取方法

ホスト上の問題点を検出し，それぞれの問題に対する解決策を調査できます。JP1/AJS3 - Print Option のプロセスがアプリケーションエラーで停止した場合，次の手順で問題レポートを採取してください。

1. Windows の［ファイル名を指定して実行］でテキストボックスに「wercon」を入力し，［OK］ボタンをクリックする。

   [問題のレポートと解決策] ダイアログボックスが表示されます。

2. 左側の領域で，［問題の履歴の表示］をクリックする。

   問題の履歴が一覧で表示されます。

3. 該当する問題をダブルクリックする。

   問題レポートの詳細が表示されます。

4. ［クリップボードにコピー］を選択する。

5. テキストエディターなどにコピーし，保存する。

テキストファイルに保存した問題レポートを，障害調査用の資料として利用してください。

# 付録

# 付録 A　サポート帳票列項目一覧

［書式定義］画面の基本形式がリストのときと［ジョブネットフロー書式定義］画面で指定できる項目を示します。

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | unit※1 | （基本）ユニット名 | ○ | ○ ※2 | － |
| 2 | unit※1 | （基本）許可モード | ○ | ○ ※3 | － |
| 3 | unit※1 | （基本）JP1 ユーザー名 | ○ | ○ ※3 | － |
| 4 | unit※1 | （基本）JP1 資源グループ名 | ○ | ○ ※3 | － |
| 5 | ud※4 | （基本）更新日時 | ○ | ○ ※3 | － |
| 6 | Ed※4 | （基本）作成日時 | ○ | ○ ※3 | － |
| 7 | － | （基本）備考 | ○ | ○ ※3 | － |
| 8 | ty※5 | （属性）ユニット種別 | ○ | ○ ※3 | 記号・日本語 |
| 9 | cm※5 | （属性）コメント | ○ | ○ ※3 | － |
| 10 | scty※5 | （属性）シナリオ専用ユニット定義 | ○ | ○ ※3 | － |
| 11 | op※5 | （ジョブグループ）カレンダー運用日 | ○ ※6 | － | 記号・日本語 |
| 12 | cl※5 | （ジョブグループ）カレンダー休業日 | ○ ※6 | － | 記号・日本語 |
| 13 | sdd※5 | （ジョブグループ）カレンダー基準日 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 14 | md※5 | （ジョブグループ）カレンダー月区分 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 15 | stt※5 | （ジョブグループ）カレンダー基準時刻 | ○ | － | － |
| 16 | gty※5 | （ジョブグループ）グループ種別 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 17 | ncl※5 | （ジョブグループ）実行順序制御 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 18 | ncn※5 | （ジョブグループ）ジョブネットコネクタ名 | ○ ※6 | － | － |
| 19 | ncs※5 | （ジョブグループ）実行順序制御方式 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 20 | ncex※5 | （ジョブグループ）接続範囲 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 21 | nchn※5 | （ジョブグループ）接続ホスト名 | ○ | － | － |
| 22 | ncsv※5 | （ジョブグループ）接続スケジューラーサービス名 | ○ | － | － |
| 23 | sd※5 | （ジョブネット）実行開始日 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | 記号・日本語 |
| 24 | st※5 | （ジョブネット）実行開始時刻 | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 25 | sy※5 | （ジョブネット）開始遅延時刻 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | 記号・日本語 |
| 26 | ey※5 | （ジョブネット）終了遅延時刻 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | 記号・日本語 |
| 27 | ln※5 | （ジョブネット）スケジュールのルール番号 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | － |
| 28 | cy※5 | （ジョブネット）処理サイクル | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |
| 29 | sh※5 | （ジョブネット）実行日の振り替え方法 | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |
| 30 | shd※5 | （ジョブネット）実行振り替えの猶予日数 | ○ | ○ ※8 | － |
| 31 | wt※5 | （ジョブネット）イベント待ちを解除する時刻 | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |
| 32 | wc※5 | （ジョブネット）イベント待ち回数 | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |
| 33 | cftd※5 | （ジョブネット）起算スケジュール | ○※7 | ○ ※7 ※8 | 記号・日本語 |
| 34 | ed※5 | （ジョブネット）定義したスケジュールの有効期日 | ○ | ○ | － |
| 35 | rg※5 | （ジョブネット）保存世代数 | ○ | ○ | － |
| 36 | pr※5 | （ジョブネット）実行優先順位の仮定値<pr> | ○ | ○ | － |
| 37 | ni※5 | （ジョブネット）実行優先順位の仮定値<ni> | ○ | ○ | － |
| 38 | ha※5 | （ジョブネット）保留属性 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 39 | ejn※5 | （ジョブネット）排他ジョブ名 | ○ | ○ | － |
| 40 | cd※5 | （ジョブネット）待ち状態を打ち切る日数 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 41 | de※5 | （ジョブネット）上位ジョブネットのスケジュールとの依存関係 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 42 | ms※5 | （ジョブネット）スケジューリング方式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 43 | mp※5 | （ジョブネット）実行の多重起動の許可 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 44 | jc※5 | （ジョブネット）ジョブネット単位のカレンダー情報ジョブグループ | ○ | ○ ※8 | － |
| 45 | rh※5 | （ジョブネット）実行マネージャー名 | ○ | ○ | － |
| 46 | ex※5 | （ジョブネット）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 47 | ar※5 | （ジョブネット）実行順序関係 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 48 | fd※5 | （ジョブネット）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 49 | schn※5 | （ジョブネット）シナリオマネージャホスト名 | ○ | ○ | － |
| 50 | scnm※5 | （ジョブネット）シナリオ名称 | ○ | ○ ※8 | － |
| 51 | scid※5 | （ジョブネット）シナリオ ID | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 52 | ncl※5 | （ジョブネット）実行順序制御 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 53 | ncn※5 | （ジョブネット）ジョブネットコネクタ名 | ○ ※6 | ○ ※6 | － |
| 54 | ncs※5 | （ジョブネット）実行順序制御方式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 55 | ncex※5 | （ジョブネット）接続範囲 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 56 | nchn※5 | （ジョブネット）接続ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 57 | ncsv※5 | （ジョブネット）接続スケジューラーサービス名 | ○ | ○ | － |
| 58 | mm※5 | （ジョブネット）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 59 | nmg※5 | （ジョブネット）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 60 | eun※5 | （ジョブネット）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 61 | ega※5 | （ジョブネット）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 62 | uem※5 | （ジョブネット）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 63 | － | （ジョブネット）ジョブネット内ジョブ数※9 | ○ | ○ | － |
| 64 | mh※5 | （マネージャーユニット）マネージャーホスト名 | ○ | － | － |
| 65 | mu※5 | （マネージャーユニット）マネージャーユニット名 | ○ | － | － |
| 66 | te※5 | （UNIX/PC ジョブ）コマンドテキスト | ○ | ○ ※8 | － |
| 67 | sc※5 | （UNIX/PC ジョブ）スクリプトファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 68 | prm※5 | （UNIX/PC ジョブ）パラメーター | ○ | ○ ※8 | － |
| 69 | wkp※5 | （UNIX/PC ジョブ）作業パス名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 70 | ev※5 | （UNIX/PC ジョブ）環境変数ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 71 | env※5 | （UNIX/PC ジョブ）環境変数 | ○ ※7 | ○ ※7 ※8 | － |
| 72 | si※5 | （UNIX/PC ジョブ）標準入力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 73 | so※5 | （UNIX/PC ジョブ）標準出力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 74 | se※5 | （UNIX/PC ジョブ）標準エラー出力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 75 | soa※5 | （UNIX/PC ジョブ）標準出力ファイル名の追加書きオプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 76 | sea※5 | （UNIX/PC ジョブ）標準エラー出力ファイル名の追加書きオプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 77 | etm※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 78 | pr※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行優先順位 | ○ | ○ | － |
| 79 | ex※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 80 | un※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行ユーザー名 | ○ | ○ | － |
| 81 | jd※5 | （UNIX/PC ジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 82 | wth※5 | （UNIX/PC ジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 83 | tho※5 | （UNIX/PC ジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 84 | jdf※5 | （UNIX/PC ジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 85 | ts1※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送元ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | － |
| 86 | td1※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送先ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | － |
| 87 | top1※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動削除オプション 1 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 88 | ts2※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送元ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | － |
| 89 | td2※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送先ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | － |
| 90 | top2※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動削除オプション 2 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 91 | ts3※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送元ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | － |
| 92 | td3※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送先ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | － |
| 93 | top3※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動削除オプション 3 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 94 | ts4※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送元ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | － |
| 95 | td4※5 | （UNIX/PC ジョブ）転送先ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | － |
| 96 | top4※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動削除オプション 4 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 97 | ha※5 | （UNIX/PC ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 98 | eu※5 | （UNIX/PC ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 99 | jty※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 100 | fd※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 101 | mm※5 | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 102 | nmg※5 | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 103 | eun※5 | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 104 | ega※5 | （UNIX/PC ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 105 | uem※5 | （UNIX/PC ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 106 | abr※5 | （UNIX/PC ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 107 | rjs※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ | － |
| 108 | rje※5 | （UNIX/PC ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ | － |
| 109 | rec※5 | （UNIX/PC ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ | － |
| 110 | rei※5 | （UNIX/PC ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ | － |
| 111 | qu※5 | （QUEUE ジョブ）キュー名 | ○ | ○ | － |
| 112 | qm※5 | （QUEUE ジョブ）ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 113 | req※5 | （QUEUE ジョブ）ジョブ名 | ○ | ○ | － |
| 114 | sc※5 | （QUEUE ジョブ）スクリプトファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 115 | prm※5 | （QUEUE ジョブ）パラメーター | ○ | ○ ※8 | － |
| 116 | jd※5 | （QUEUE ジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 117 | wth※5 | （QUEUE ジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 118 | tho※5 | （QUEUE ジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 119 | ts1※5 | （QUEUE ジョブ）転送元ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | － |
| 120 | td1※5 | （QUEUE ジョブ）転送先ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | － |
| 121 | ts2※5 | （QUEUE ジョブ）転送元ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | － |
| 122 | td2※5 | （QUEUE ジョブ）転送先ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | － |
| 123 | ts3※5 | （QUEUE ジョブ）転送元ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | － |
| 124 | td3※5 | （QUEUE ジョブ）転送先ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | － |
| 125 | ts4※5 | （QUEUE ジョブ）転送元ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | － |
| 126 | td4※5 | （QUEUE ジョブ）転送先ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | － |
| 127 | ha※5 | （QUEUE ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 128 | eu※5 | （QUEUE ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 129 | pr※5 | （QUEUE ジョブ）実行優先順位 | ○ | ○ | － |
| 130 | fd※5 | （QUEUE ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 131 | mm※5 | （QUEUE ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 132 | nmg※5 | （QUEUE ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 133 | eun※5 | （QUEUE ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 134 | ega※5 | （QUEUE ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 135 | uem※5 | （QUEUE ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 136 | abr※5 | （QUEUE ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 137 | rjs※5 | （QUEUE ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ | － |
| 138 | rje※5 | （QUEUE ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ | － |
| 139 | rec※5 | （QUEUE ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ | － |
| 140 | rei※5 | （QUEUE ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ | － |
| 141 | ej※5 | （判定ジョブ）判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 142 | ejc※5 | （判定ジョブ）判定終了コード | ○ | ○ | － |
| 143 | ejf※5 | （判定ジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 144 | ha※5 | （判定ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 145 | ejv※5 | （判定ジョブ）変数名 | ○ | ○ | － |
| 146 | ejt※5 | （判定ジョブ）判定値（文字列） | ○ | ○ ※8 | － |
| 147 | eji※5 | （判定ジョブ）判定値（数値） | ○ | ○ | － |
| 148 | ejl※5 | （判定ジョブ）下限の判定終了コード | ○ | ○ | － |
| 149 | ejh※5 | （判定ジョブ）上限の判定終了コード | ○ | ○ | － |
| 150 | ejs※5 | （判定ジョブ）変数（数値）の下限の判定値 | ○ | ○ | － |
| 151 | ejg※5 | （判定ジョブ）変数（数値）の上限の判定値 | ○ | ○ | － |
| 152 | ejm※5 | （判定ジョブ）下限の判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 153 | eju※5 | （判定ジョブ）上限の判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 154 | evwid※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント ID | ○ | ○ | － |
| 155 | evusr※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元ユーザー名 | ○ | ○ | － |
| 156 | evgrp※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元グループ名 | ○ | ○ | － |
| 157 | evhst※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 158 | evipa※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元 IP アドレス | ○ | ○ | － |
| 159 | evwms※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）メッセージ | ○ | ○ ※8 | － |
| 160 | evdet※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント詳細情報 | ○ | ○ ※8 | － |
| 161 | evwsv※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）重大度 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 162 | evwfr※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）任意の拡張属性名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 163 | evtmc※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）終了判定条件 | ○ | ○ ※8 | 記号・日本語 |
| 164 | evuid※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元ユーザー ID | ○ | ○ | － |
| 165 | evgid※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元グループ ID | ○ | ○ | － |
| 166 | evpid※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベント発行元プロセス ID | ○ | ○ | － |
| 167 | jpoif※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 168 | etm※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 169 | ex※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 170 | ha※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 171 | eu※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 172 | evesc※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行前のイベント検索 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 173 | ets※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 174 | fd※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 175 | mm※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 176 | nmg※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 177 | eun※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 178 | ega※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 179 | uem※5 | （JP1 イベント受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 180 | flwf※5 | （ファイル監視ジョブ）監視対象ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 181 | flwc※5 | （ファイル監視ジョブ）監視条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 182 | flwi※5 | （ファイル監視ジョブ）監視間隔 | ○ | ○ | － |
| 183 | jpoif※5 | （ファイル監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 184 | flco※5 | （ファイル監視ジョブ）監視開始オプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 185 | etm※5 | （ファイル監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 186 | ex※5 | （ファイル監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 187 | ha※5 | （ファイル監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 188 | eu※5 | （ファイル監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 189 | ets※5 | （ファイル監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 190 | fd※5 | （ファイル監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 191 | mm※5 | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 192 | nmg※5 | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 193 | eun※5 | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 194 | ega※5 | （ファイル監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 195 | uem※5 | （ファイル監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 196 | pfm※5 | （メール受信監視ジョブ）メール受信定義 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 197 | mlprf※5 | （メール受信監視ジョブ）プロファイル名 | ○ | ○ | － |
| 198 | mladr※5 | （メール受信監視ジョブ）差出人 | ○ | ○ | － |
| 199 | mlsbj※5 | （メール受信監視ジョブ）件名 | ○ | ○ | － |
| 200 | mltxt※5 | （メール受信監視ジョブ）本文 | ○ | ○ ※8 | － |
| 201 | mlsav※5 | （メール受信監視ジョブ）メールの保存 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 202 | mllst※5 | （メール受信監視ジョブ）メール受信リスト名 | ○ | ○ | － |
| 203 | mlstx※5 | （メール受信監視ジョブ）本文保存先ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 204 | mlsfd※5 | （メール受信監視ジョブ）添付ファイル保存先フォルダ名 | ○ | ○ | － |
| 205 | mlafl※5 | （メール受信監視ジョブ）リストファイル名 | ○ | ○ | － |
| 206 | jpoif※5 | （メール受信監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 207 | etm※5 | （メール受信監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 208 | ex※5 | （メール受信監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 209 | ha※5 | （メール受信監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 210 | eu※5 | （メール受信監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 211 | ets※5 | （メール受信監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 212 | fd※5 | （メール受信監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 213 | mm※5 | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 214 | nmg※5 | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 215 | eun※5 | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 216 | ega※5 | （メール受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 217 | uem※5 | （メール受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 218 | mqcor※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）相関識別子 | ○ | ○ | － |
| 219 | mqque※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）メッセージ受信キュー名 | ○ | ○ | － |
| 220 | mqdsc※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）メッセージ識別子 | ○ | ○ | － |
| 221 | mqmdl※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）モデルキュー名 | ○ | ○ | － |
| 222 | mqsfn※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）メッセージ格納ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 223 | jpoif※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 224 | etm※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 225 | ex※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 226 | ha※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 227 | eu※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 228 | ets※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 229 | fd※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 230 | mm※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 231 | nmg※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 232 | eun※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 233 | ega※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 234 | uem※5 | （メッセージキュー受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 235 | msqpt※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）キューパス名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 236 | msrer※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）相関関係 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 237 | mslbl※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）メッセージラベル | ○ | ○ | － |
| 238 | msapl※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）アプリケーション情報 | ○ | ○ | － |
| 239 | mssvf※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）メッセージ格納ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 240 | jpoif※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 241 | etm※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 242 | ex※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 243 | ha※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 244 | eu※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 245 | ets※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 246 | fd※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 247 | mm※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 248 | nmg※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 249 | eun※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 250 | ega※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 251 | uem※5 | （MSMQ 受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 252 | lftpd※5 | （ログファイル監視ジョブ）トラップデータ | ○ | ○ ※8 | － |
| 253 | lffnm※5 | （ログファイル監視ジョブ）ログファイル名 | ○ | ○ | － |
| 254 | lfdft※5 | （ログファイル監視ジョブ）出力形式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 255 | lfrft※5 | （ログファイル監視ジョブ）レコード形式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 256 | lfhds※5 | （ログファイル監視ジョブ）ヘッダー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 257 | lfmks※5 | （ログファイル監視ジョブ）ログ情報以外のデータ | ○ | ○ ※8 | － |
| 258 | lfsiv※5 | （ログファイル監視ジョブ）ファイル監視間隔 | ○ | ○ | － |
| 259 | lfmxl※5 | （ログファイル監視ジョブ）イベントデータ最大長 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 260 | lfsrc※5 | （ログファイル監視ジョブ）検索開始オプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 261 | lfcre※5 | （ログファイル監視ジョブ）ファイル作成待ちオプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 262 | jpoif※5 | （ログファイル監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 263 | etm※5 | （ログファイル監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 264 | ex※5 | （ログファイル監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 265 | ha※5 | （ログファイル監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 266 | eu※5 | （ログファイル監視ジョブ）ジョブ実行時のJP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 267 | ets※5 | （ログファイル監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 268 | fd※5 | （ログファイル監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 269 | mm※5 | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 270 | nmg※5 | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 271 | eun※5 | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 272 | ega※5 | （ログファイル監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 273 | uem※5 | （ログファイル監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 274 | ntlgt※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）ログ種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 275 | ntevt※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）イベント種類 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 276 | ntnsr※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）ソースの判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 277 | ntsrc※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）ソース | ○ | ○ | － |
| 278 | ntncl※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）イベント分類の判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 279 | ntcls※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）分類 | ○ | ○ | － |
| 280 | ntnei※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）イベントID の判定条件 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 281 | nteid※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）イベント ID | ○ | ○ | － |
| 282 | ntdis※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）説明 | ○ | ○ ※8 | － |
| 283 | jpoif※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 284 | etm※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 285 | ex※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 286 | ha※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 287 | eu※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 288 | ets※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 289 | fd※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 290 | mm※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 291 | nmg※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 292 | eun※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 293 | ega※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 294 | uem※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 295 | ntolg※5 | （Windows イベントログ監視ジョブ）任意のログ種別 | ○ | ○ | － |
| 296 | tmitv※5 | （実行間隔制御ジョブ）待ち時間 | ○ | ○ | － |
| 297 | jpoif※5 | （実行間隔制御ジョブ）マクロ変数名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 298 | etm※5 | （実行間隔制御ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 299 | ex※5 | （実行間隔制御ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 300 | ha※5 | （実行間隔制御ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 301 | eu※5 | （実行間隔制御ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 302 | ets※5 | （実行間隔制御ジョブ）イベントジョブの打ち切り状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 303 | fd※5 | （実行間隔制御ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 304 | mm※5 | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 305 | nmg※5 | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 306 | eun※5 | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 307 | ega※5 | （実行間隔制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 308 | uem※5 | （実行間隔制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 309 | etn※5 | （実行間隔制御ジョブ）開始直後に満了 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 310 | evsid※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）イベント ID | ○ | ○ | － |
| 311 | evhst※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）イベント送信先ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 312 | evsms※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）メッセージ | ○ | ○ ※8 | － |
| 313 | evssv※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）重大度 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 314 | evsfr※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）拡張属性名 | ○ | ○ | － |
| 315 | pfm※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 316 | etm※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 317 | ex※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 318 | ha※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 319 | eu※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 320 | evsrt※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）イベントの到達確認 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 321 | evspl※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）確認間隔 | ○ | ○ | － |
| 322 | evsrc※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）確認回数 | ○ | ○ | － |
| 323 | jty※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 324 | fd※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 325 | mm※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 326 | nmg※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 327 | eun※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 328 | ega※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 329 | uem※5 | （JP1 イベント送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 330 | mladr※5 | （メール送信ジョブ）送信先のメールアドレス | ○※7 | ○ ※7 ※8 | 記号・日本語 |
| 331 | mlprf※5 | （メール送信ジョブ）プロファイル名 | ○ | ○ | － |
| 332 | mlsbj※5 | （メール送信ジョブ）件名 | ○ | ○ | － |
| 333 | mltxt※5 | （メール送信ジョブ）本文 | ○ | ○ ※8 | － |
| 334 | mlftx※5 | （メール送信ジョブ）本文ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 335 | mlatf※5 | （メール送信ジョブ）添付ファイル名 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | － |
| 336 | mlafl※5 | （メール送信ジョブ）添付ファイルリスト名 | ○ | ○ | － |
| 337 | pfm※5 | （メール送信ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 338 | etm※5 | （メール送信ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 339 | ex※5 | （メール送信ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 340 | ha※5 | （メール送信ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 341 | eu※5 | （メール送信ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 342 | jty※5 | （メール送信ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 343 | fd※5 | （メール送信ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 344 | mm※5 | （メール送信ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 345 | nmg※5 | （メール送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 346 | eun※5 | （メール送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 347 | ega※5 | （メール送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 348 | uem※5 | （メール送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 349 | mqque※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）キュー名 | ○ | ○ | － |
| 350 | mqcor※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）相関識別子 | ○ | ○ | － |
| 351 | mqdsc※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）メッセージ識別子 | ○ | ○ | － |
| 352 | mqprm※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）永続性 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 353 | mqmgr※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）キューマネージャー名 | ○ | ○ | － |
| 354 | mqmdl※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）モデルキュー名 | ○ | ○ | － |
| 355 | mqpgm※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）接続キュー管理プログラム名 | ○ | ○ | － |
| 356 | mqmfn※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）フォーマット名 | ○ | ○ | － |
| 357 | mqmdn※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）メッセージデータファイル名 | ○ | ○ | － |
| 358 | mqhld※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）保持時間 | ○ | ○ | － |
| 359 | mqpri※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）優先度 | ○ | ○ | － |
| 360 | mqeqn※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）デッドレターキュー名 | ○ | ○ | － |
| 361 | pfm※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 362 | etm※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 363 | ex※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 364 | ha※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 365 | eu※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 366 | jty※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 367 | fd※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 368 | mm※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 369 | nmg※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 370 | eun※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 371 | ega※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 372 | uem※5 | （メッセージキュー送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 373 | msqpt※5 | （MSMQ 送信ジョブ）送信先キューパス名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 374 | msqlb※5 | （MSMQ 送信ジョブ）送信先キューラベル名 | ○ | ○ | － |
| 375 | msrer※5 | （MSMQ 送信ジョブ）相互関係 | ○ | ○ | － |
| 376 | mslmt※5 | （MSMQ 送信ジョブ）配信制限時間 | ○ | ○ | － |
| 377 | mshld※5 | （MSMQ 送信ジョブ）送信メッセージ保持時間 | ○ | ○ | － |
| 378 | msmod※5 | （MSMQ 送信ジョブ）配信モード | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 379 | mspri※5 | （MSMQ 送信ジョブ）優先順位 | ○ | ○ | － |
| 380 | msjnl※5 | （MSMQ 送信ジョブ）メッセージのジャーナルキューへの格納 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 381 | msunr※5 | （MSMQ 送信ジョブ）メッセージの配信不能キューへの格納指定 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 382 | mstfn※5 | （MSMQ 送信ジョブ）本文ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 383 | msttp※5 | （MSMQ 送信ジョブ）本文タイプ | ○ | ○ | － |
| 384 | mslbl※5 | （MSMQ 送信ジョブ）メッセージラベル | ○ | ○ | － |
| 385 | msapl※5 | （MSMQ 送信ジョブ）アプリケーション情報 | ○ | ○ | － |
| 386 | etm※5 | （MSMQ 送信ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 387 | ex※5 | （MSMQ 送信ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 388 | ha※5 | （MSMQ 送信ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 389 | eu※5 | （MSMQ 送信ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 390 | jty※5 | （MSMQ 送信ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 391 | fd※5 | （MSMQ 送信ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 392 | mm※5 | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 393 | nmg※5 | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 394 | eun※5 | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 395 | ega※5 | （MSMQ 送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 396 | uem※5 | （MSMQ 送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 397 | cmsts※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）通知する状態 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 398 | cmaif※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）付加情報 | ○ | ○ | － |
| 399 | pfm※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 400 | etm※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 401 | ex※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 402 | ha※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 403 | eu※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）ジョブ実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 404 | jty※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 405 | fd※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 406 | mm※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 407 | nmg※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 408 | eun※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 409 | ega※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 410 | uem※5 | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 411 | pwlt※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 412 | pwlf※5 | （ローカル電源制御ジョブ）終了要求種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 413 | pfm※5 | （ローカル電源制御ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 414 | etm※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 415 | ex※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 416 | ha※5 | （ローカル電源制御ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 417 | eu※5 | （ローカル電源制御ジョブ）ジョブ実行時のJP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 418 | jty※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 419 | fd※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 420 | mm※5 | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 421 | nmg※5 | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 422 | eun※5 | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 423 | ega※5 | （ローカル電源制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 424 | uem※5 | （ローカル電源制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 425 | pwrh※5 | （リモート電源制御ジョブ）対象ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 426 | pwrf※5 | （リモート電源制御ジョブ）要求種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 427 | pwrn※5 | （リモート電源制御ジョブ）次回電源投入時刻 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 428 | pwrr※5 | （リモート電源制御ジョブ）再起動可否 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 429 | pwrw※5 | （リモート電源制御ジョブ）シャットダウン可否 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 430 | pwrp※5 | （リモート電源制御ジョブ）対象ホストのプラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 431 | pfm※5 | （リモート電源制御ジョブ）プラットホーム種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 432 | etm※5 | （リモート電源制御ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 433 | ex※5 | （リモート電源制御ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 434 | ha※5 | （リモート電源制御ジョブ）ジョブ実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 435 | eu※5 | （リモート電源制御ジョブ）ジョブ実行時のJP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 436 | jty※5 | （リモート電源制御ジョブ）実行先サービス | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 437 | fd※5 | （リモート電源制御ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 438 | mm※5 | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 439 | nmg※5 | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 440 | eun※5 | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 441 | ega※5 | （リモート電源制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 442 | uem※5 | （リモート電源制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 443 | cty※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）カスタムジョブクラス名 | ○ | ○ | － |
| 444 | te※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）コマンドテキスト | ○ | ○ ※8 | － |
| 445 | sc※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）スクリプトファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 446 | prm※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）パラメーター | ○ | ○ ※8 | － |
| 447 | env※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）環境変数 | ○※7 | ○ ※7 ※8 | － |
| 448 | si※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）標準入力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 449 | so※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）標準出力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 450 | se※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）標準エラー出力ファイル名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 451 | etm※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 452 | pr※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行優先順位 | ○ | ○ | － |
| 453 | ex※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 454 | un※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行ユーザー名 | ○ | ○ | － |
| 455 | jd※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 456 | wth※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 警告終了のしきい値 | ○ | ○ | − |
| 457 | tho※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 異常終了のしきい値 | ○ | ○ | − |
| 458 | jdf※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 終了判定ファイル名 | ○ | ○ ※8 | − |
| 459 | ha※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 460 | eu※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 461 | wkp※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 作業用パス名 | ○ | ○ ※8 | − |
| 462 | ev※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 環境変数ファイル名 | ○ | ○ ※8 | − |
| 463 | soa※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 標準出力ファイル名の追加書きオプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 464 | sea※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 標準エラー出力ファイル名の追加書きオプション | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 465 | ts1※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送元ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | − |
| 466 | td1※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送先ファイル名 1 | ○ | ○ ※8 | − |
| 467 | top1※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 自動削除オプション 1 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 468 | ts2※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送元ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | − |
| 469 | td2※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送先ファイル名 2 | ○ | ○ ※8 | − |
| 470 | top2※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 自動削除オプション 2 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 471 | ts3※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送元ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | − |
| 472 | td3※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送先ファイル名 3 | ○ | ○ ※8 | − |
| 473 | top3※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 自動削除オプション 3 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 474 | ts4※5 | (UNIX/PC カスタムジョブ) 転送元ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | − |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 475 | td4※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）転送先ファイル名 4 | ○ | ○ ※8 | － |
| 476 | top4※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）自動削除オプション 4 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 477 | fd※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 478 | mm※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 479 | nmg※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 480 | eun※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 481 | ega※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 482 | uem※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 483 | abr※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 484 | rjs※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ | － |
| 485 | rje※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ | － |
| 486 | rec※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ | － |
| 487 | rei※5 | （UNIX/PC カスタムジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ | － |
| 488 | cond※5 | （起動条件）起動条件の接続種別 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 489 | ab※5 | （起動条件）起動条件付きジョブネット異常終了後の動作 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 490 | mcs※5 | （起動条件）監視世代の多重起動 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 491 | cgs※5 | （起動条件）起動条件成立した実行世代の滞留 | ○ | － | 記号・日本語 |
| 492 | hlln※5 | （ホストリンクジョブネット）リンク先ネットグループ名 | ○ | ○ | － |
| 493 | hlsp※5 | （ホストリンクジョブネット）開始点 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 494 | hlsh※5 | （ホストリンクジョブネット）開始点のメインフレームジョブネット名 | ○ | ○ | － |
| 495 | hlep※5 | （ホストリンクジョブネット）終了点 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 496 | hleh※5 | （ホストリンクジョブネット）終了点のメインフレームジョブネット名 | ○ | ○ | － |
| 497 | ncr※5 | （ジョブネットコネクタ）接続先のジョブネット名 | ○ ※6 | ○ ※6 | － |
| 498 | ncex※5 | （ジョブネットコネクタ）接続範囲 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 499 | nchn※5 | （ジョブネットコネクタ）接続ホスト名 | ○ | ○ | － |
| 500 | ncsv※5 | （ジョブネットコネクタ）接続スケジューラーサービス名 | ○ | ○ | － |
| 501 | mm※5 | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 502 | nmg※5 | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 503 | eun※5 | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ ※8 | － |
| 504 | ega※5 | （ジョブネットコネクタ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 505 | uem※5 | （ジョブネットコネクタ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 506 | da※5 | （フレキシブルジョブ）宛先または一斉配信エージェント | ○ | ○ | － |
| 507 | sc※5 | （フレキシブルジョブ）実行ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 508 | prm※5 | （フレキシブルジョブ）パラメーター | ○ | ○ | － |
| 509 | env※5 | （フレキシブルジョブ）環境変数 | ○ | ○ | － |
| 510 | ex※5 | （フレキシブルジョブ）中継エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 511 | jd※5 | （フレキシブルジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 512 | wth※5 | （フレキシブルジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 513 | tho※5 | （フレキシブルジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 514 | jdf※5 | （フレキシブルジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 515 | ha※5 | （フレキシブルジョブ）実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 516 | eu※5 | （フレキシブルジョブ）実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 517 | mm※5 | （フレキシブルジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 518 | nmg※5 | （フレキシブルジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 519 | eun※5 | （フレキシブルジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ | － |
| 520 | ega※5 | （フレキシブルジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 521 | uem※5 | （フレキシブルジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 522 | abr※5 | （フレキシブルジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 523 | rjs※5 | （フレキシブルジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ | － |
| 524 | rje※5 | （フレキシブルジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ | － |
| 525 | rec※5 | （フレキシブルジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ | － |
| 526 | rei※5 | （フレキシブルジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ | － |
| 527 | fxg※5 | （フレキシブルジョブ）一斉実行方式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 528 | htcfl※5 | （HTTP 接続ジョブ）接続設定ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 529 | htknd※5 | （HTTP 接続ジョブ）リクエスト種別 | ○ | ○ | － |
| 530 | htrqf※5 | （HTTP 接続ジョブ）送信情報ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 531 | htstf※5 | （HTTP 接続ジョブ）ステータス格納ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 532 | htspt※5 | （HTTP 接続ジョブ）受信データ格納方式 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 533 | htrhf※5 | （HTTP 接続ジョブ）受信ヘッダ格納ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 534 | htrbf※5 | （HTTP 接続ジョブ）受信ボディ格納ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 535 | so※5 | （HTTP 接続ジョブ）標準出力ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 536 | se※5 | （HTTP 接続ジョブ）標準エラー出力ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 537 | etm※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ | － |
| 538 | pr※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行優先順位 | ○ | ○ | － |
| 539 | ex※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ | － |
| 540 | un※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行ユーザー名 | ○ | ○ | － |
| 541 | jd※5 | （HTTP 接続ジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 542 | wth※5 | （HTTP 接続ジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 543 | tho※5 | （HTTP 接続ジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ | － |
| 544 | jdf※5 | （HTTP 接続ジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ | － |
| 545 | ha※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行保留 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 546 | eu※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 547 | fd※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ | － |
| 548 | mm※5 | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 549 | nmg※5 | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 550 | eun※5 | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ | － |
| 551 | ega※5 | （HTTP 接続ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 552 | uem※5 | （HTTP 接続ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 553 | abr※5 | （HTTP 接続ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ | 記号・日本語 |
| 554 | rjs※5 | （HTTP 接続ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ | － |
| 555 | rje※5 | （HTTP 接続ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ | － |
| 556 | rec※5 | （HTTP 接続ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ | － |
| 557 | rei※5 | （HTTP 接続ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ | － |
| 558 | J※10 | （ajsshow）ジョブネット完全名，またはジョブ完全名 | ○ ※6 | ○※3 | － |
| 559 | j※10 | （ajsshow）ジョブネット名，またはジョブ名 | ○ | ○※3 | － |
| 560 | A※10 | （ajsshow）AJSPATH | ○ ※6 | ○※3 | － |
| 561 | T※10 | （ajsshow）ジョブネットワーク要素種別 | ○※6 ※7 | ○※3 | 記号・日本語 |
| 562 | C※10 | （ajsshow）ジョブネット，またはジョブの状態 | ○※7 | ○※3 | － |
| 563 | U※10 | （ajsshow）ジョブネットの登録ユーザー名 | ○※7 | ○※3 | － |
| 564 | D※10 | （ajsshow）ジョブネットの登録日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 565 | L※10 | （ajsshow）最上位ジョブネットを 0 としたネスト数 | ○ | ○※3 | － |
| 566 | p※10 | （ajsshow）次回実行予定の有無 | ○※7 | ○※3 | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 567 | P※10 | （ajsshow）次回実行予定日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 568 | M※10 | （ajsshow）次回実行方法 | ○※7 | ○※3 | － |
| 569 | R※10 | （ajsshow）戻り値，またはシグナルコード | ○ | ○※3 | － |
| 570 | S※10 | （ajsshow）実行開始日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 571 | s※10 | （ajsshow）実行開始日時（秒） | ○※7 | ○※3 | － |
| 572 | K※10 | （ajsshow）再実行開始日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 573 | k※10 | （ajsshow）再実行開始日時（秒） | ○※7 | ○※3 | － |
| 574 | E※10 | （ajsshow）実行終了日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 575 | e※10 | （ajsshow）実行終了日時（秒） | ○※7 | ○※3 | － |
| 576 | V※10 | （ajsshow）他のホストでのジョブの実行開始日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 577 | Q※10 | （ajsshow）他のホストでのジョブの実行終了日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 578 | W※10 | （ajsshow）$LANG 値 | ○※7 | ○※3 | － |
| 579 | Z※10 | （ajsshow）$TZ 値 | ○ ※6 ※7 | ○※3 | － |
| 580 | G※10 | （ajsshow）世代番号 | ○ | ○※3 | － |
| 581 | N※10 | （ajsshow）実行優先順位 | ○※7 | ○※3 | － |
| 582 | H※10 | （ajsshow）実行エージェント名 | ○ ※6 ※7 | ○※3 | － |
| 583 | I※10 | （ajsshow）ジョブ番号 | ○※7 | ○※3 | － |
| 584 | Y※10 | （ajsshow）正常終了したジョブネット，またはジョブの回数 | ○※7 | ○※3 | － |
| 585 | B※10 | （ajsshow）処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 586 | b※10 | （ajsshow）処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時（秒） | ○※7 | ○※3 | － |
| 587 | a※10 | （ajsshow）実行所要時間の推定値 | ○※7 | ○※3 | － |
| 588 | O※10 | （ajsshow）処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 589 | o※10 | （ajsshow）処理サイクルの計算から求めた実行終了予定日時（秒） | ○※7 | ○※3 | － |
| 590 | v※10 | （ajsshow）予実績情報の出力対象期間の開始日時 | ○※7 | ○※3 | － |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 591 | w※10 | （ajsshow）予実績情報の出力対象期間の終了日時 | ○※7 | ○※3 | − |
| 592 | F※10 | （ajsshow）次回実行予定の保留属性 | ○※7 | ○※3 | − |
| 593 | i※10 | （ajsshow）実行登録方法の種別 | ○※7 | ○※3 | − |
| 594 | l※10 | （ajsshow）登録番号 | ○※7 | ○※3 | − |
| 595 | r※10 | （ajsshow）標準エラー出力ファイル名 | ○ ※6 ※7 | ○※3 | − |
| 596 | d※10 | （ajsshow）遅延状態 | ○※7 | ○※3 | − |
| 597 | #※10 | （ajsshow）実行 ID | ○※7 | ○※3 | − |
| 598 | x※10 | （ajsshow）現在日 | ○※7 | ○※3 | − |
| 599 | X※10 | （ajsshow）現在時刻 | ○※7 | ○※3 | − |
| 600 | m※10 | （ajsshow）起動条件の有効実行時刻 | ○※7 | ○※3 | − |
| 601 | q※10 | （ajsshow）起動条件の有効実行回数 | ○※7 | ○※3 | − |
| 602 | SP※10 | （ajsshow）サスペンド状態の有無 | ○※7 | ○※3 | − |
| 603 | OP※10 | （ajsshow）ジョブネットの実行日 | ○※7 | ○※3 | − |
| 604 | St※10 | （ajsshow）ジョブネットまたはジョブの，実際の実行開始日時 | ○※7 | ○※3 | − |
| 605 | st※10 | （ajsshow）ジョブネットまたはジョブの，実際の実行開始日時（秒） | ○※7 | ○※3 | − |
| 606 | Pt※10 | （ajsshow）ジョブネットの実行開始日時 | ○※7 | ○※3 | − |
| 607 | Jm※10 | （ajsshow）ジョブネット完全名，またはジョブ完全名（プランニンググループの場合，ルートジョブネットを省略） | ○ ※6 ※7 | ○※3 | − |
| 608 | Am※10 | （ajsshow）AJSPATH（プランニンググループの場合，ルートジョブネットを省略） | ○ ※6 ※7 | ○※3 | − |
| 609 | Ed※10 | （ajsshow）スケジューラーサービスの起動時に予定時刻が超過した場合の実行抑止 | ○※7 | ○※3 | − |
| 610 | ab※10 | （ajsshow）異常終了したジョブを開始してから，ルートジョブネットが終了するまでの実行所要時間の推定値 | ○※7 | ○※3 | − |
| 611 | an※10 | （ajsshow）異常終了したジョブの次のユニットを開始してから，ルートジョブネットが終了するまでの実行所要時間の推定値 | ○※7 | ○※3 | − |
| 612 | FG※10 | （ajsshow）未来世代数 | ○※7 | ○※3 | − |

| 項番 | 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー | 項目詳細 |
|---|---|---|---|---|---|
| 613 | ds※10 | （ajsshow）開始遅延の監視日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 614 | de※10 | （ajsshow）終了遅延の監視日時 | ○※7 | ○※3 | － |
| 615 | Ft※10 | （ajsshow）保留属性 | ○※7 | ○※3 | － |
| 616 | MV※10 | （ajsshow）マクロ変数と引継ぎ情報 | ○ ※6 ※7 | ○※3 | － |
| 617 | CI※10 | （ajsshow）接続相手の実行 ID | ○ | ○※3 | － |
| 618 | RI※10 | （ajsshow）リリース ID | ○ | ○※3 | － |
| 619 | PW※10 | （ajsshow）待ち合わせ条件の不成立の有無 | ○ | ○※3 | 記号・日本語※11 |
| 620 | RY※10 | （ajsshow）リトライ実行回数 | ○ | ○※3 | － |
| 621 | RC※10 | （ajsshow）リトライ状態 | ○ | ○※3 | － |
| 622 | RS※10 | （ajsshow）リトライ登録日時 | ○ | ○※3 | － |
| 623 | Rs※10 | （ajsshow）リトライ登録日時（秒） | ○ | ○※3 | － |
| 624 | RT※10 | （ajsshow）リトライ開始日時 | ○ | ○※3 | － |
| 625 | Rt※10 | （ajsshow）リトライ開始日時（秒） | ○ | ○※3 | － |

（凡例）

○：サポートあり

×：サポートなし

－：該当しない

注※1

JP1/AJS のユニット属性パラメーターと同一です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」のユニット定義ファイルの記述形式の説明を参照してください。

注※2

［ジョブネットフロー書式定義］画面での選択肢はなく，デフォルトの表示項目です。非表示にはできません。

注※3

［ジョブネットフロー書式定義］画面では，ユニット種別ごとの選択項目となります。

注※4

JP1/AJS の ajsprint コマンドの-f オプションで指定するフォーマット指示子と同一です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsprint コマンドの説明を参照してください。

注※5

JP1/AJS の ajsprint コマンドの-a オプションで出力されるユニット定義情報のパラメーターと同一です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsprint コマンドの説明を参照してください。

注※6

リスト形式での帳票出力時に，表示できる最大文字列長（～32,000 バイト）を超える場合があります。

注※7

リスト形式での帳票出力時，およびジョブネットフロー出力時に，表示できる 1 データの最大文字列長（～4,000 バイト）を超える場合があります。その場合，該当データは「×（文字が多すぎるため表示できません。)」と出力されます。

注※8

ジョブネットフロー出力時に，Microsoft Excel のセルに表示できる最大文字列長（～255 バイト）を超える場合があります。その場合，エクセルのセル上ではデータが「#####」と表示されます。

注※9

ジョブネットの直下にあるジョブの個数を表示します。ジョブグループ，ジョブネット，起動条件，ホストリンクジョブネット，およびジョブネットコネクタの個数は含まれません。

マネージャジョブネットの場合は，ほかの JP1/AJS3 - Manager ホストの情報を収集できないため，直下にあるジョブの個数を表示できません。

注※10

JP1/AJS の ajsshow コマンドの-i オプションで指定するフォーマット指示子（「%」を省く）と同一です。詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsshow コマンドの説明を参照してください。

注※11

日本語環境の場合，［書式定義］画面で列項目詳細を「記号」「日本語」のどちらを設定しても，同じ値が表示されます。

＜備考＞

- 「(ジョブネット）スケジュールのルール番号」は，ルール番号とリンク番号が同一の場合は設定内容を出力しません。
- 「(基本）作成日時」では，JP1/AJS をインストールした時に自動的に作成されたルートジョブグループ（AJSROOT1）の作成日は，インストールイメージに含まれている DB が作成された日付となるのでご注意ください。
- 表中の「項目詳細」の「記号・日本語」とは，JP1/AJS の ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドで出力される情報のコード（記号)，およびその意味（日本語）を表します。ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドで出力される情報の詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の定義情報の形式およびパラメーターの説明を参照してください。
- このバージョンでサポートしていないユニット種別は，書式定義で列項目の表示形式に日本語を選択していても，記号が表示されます。
- 該当データがない場合，または列項目の出力対象になっていないユニット種別の場合は，空白，「-」(ハイフン)，「***」（アスタリスク）などが表示されます。列項目の出力対象のユニット種別については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス」の ajsprint コマンドおよび ajsshow コマンドの説明を参照してください。

# 付録 B　月次／日次帳票の列項目一覧

［書式定義］画面の基本形式が月次，日次のときに指定できる列項目を示します。

| 項番 | 列項目名 | 列項目詳細 |
|---|---|---|
| 1 | （月次）予定 | 記号・記号（時刻）・記号（日付 時刻） |
| 2 | （月次）結果 | 記号・記号（時刻）・（時刻）詳細・記号（日付 時刻）・（日付 時刻）詳細 |
| 3 | （日次）予定 | 記号・記号（時刻） |
| 4 | （日次）結果 | 記号・記号（時刻）・（時刻）詳細 |

注意事項

ジョブ運用情報の収集期間に含まれる実行済みジョブの情報については，月次／日次予定帳票ではジョブの実績が予定と表示されます。

# 付録 C　月次／日次帳票の表記記号一覧

基本形式が月次予定および日次予定で，列項目詳細を「記号」または「記号（時刻)」にした場合，［環境設定］画面での設定によって次に示す表記記号を表示します。

- 予定記号の詳細化をしない場合

| 状態名 | 表記記号 |
|---|---|
| 予定 | ■ |

注意事項

ジョブ運用情報の収集期間に含まれる実行済みジョブの情報については，月次／日次予定帳票ではジョブの実績が■（予定）と表示されます。

- 予定記号の詳細化をする場合

| 状態名 | 表記記号 |
|---|---|
| 予定 | ■ |
| 実行中 | □ |
| 正常終了 | ● |
| 異常終了 | × |
| 警告終了 | ▲ |
| その他 | ◇ |

注意事項

- ジョブ運用情報の収集期間に含まれるジョブの状態に対して，予定と実行中の記号は次に示す規則に従って，月次／日次予定帳票で記号を表示します。

| 状態名の詳細（日本語） | 状態名の詳細（英語） | 状態名 | 表記記号 |
|---|---|---|---|
| 開始時刻待ち | time-wait | 予定 | ■ |
| 開始時刻待ち-R | time-wait-R | 予定 | ■ |
| 先行終了待ち | term-wait | 予定 | ■ |
| 実行待ち | exec-wait | 予定 | ■ |
| キューイング | queuing | 予定 | ■ |
| キューイング-R | queuing-R | 予定 | ■ |
| 起動条件待ち | condition-wait | 予定 | ■ |
| 開始遅延 | start-delay | 予定 | ■ |
| ネスト開始遅延 | nest-start-delay | 予定 | ■ |
| 実行中 | running | 実行中 | □ |
| 実行中-R | running-R | 実行中 | □ |

| 状態名の詳細（日本語） | 状態名の詳細（英語） | 状態名 | 表記記号 |
|---|---|---|---|
| 異常検出実行中 | AB-cont | 実行中 | □ |
| 異常検出実行中-R | AB-cont-R | 実行中 | □ |
| 警告検出実行中 | WA-cont | 実行中 | □ |
| 警告検出実行中-R | WA-cont-R | 実行中 | □ |
| 監視中 | monitoring | 実行中 | □ |

正常終了，異常終了，警告終了，その他の記号は，月次結果および日次結果で使用する表記記号の規則に従って，月次／日次予定帳票で記号を表示します。

- 予定については，上記の状態名の詳細以外の場合にも予定の記号で表示する場合があります。
- その他の状態の詳細については，マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド」の「ジョブネット・ジョブ・ジョブネットコネクタの状態」を説明している個所を参照することで，該当する状態を確認できます。また，マニュアルに記載されていない状態が出力されている場合は，その他に分類されます。
- ジョブの状態を確認するには，「付録 A サポート帳票列項目一覧」の「(ajsshow) ジョブネット，またはジョブの状態」と「(ajsshow) 処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時」または「(ajsshow) 処理サイクルの計算から求めた実行開始予定日時（秒）」を表示する書式定義を作成することで確認できます。

基本形式が月次結果および日次結果で，列項目詳細を「記号」または「記号（時刻）」にした場合，次の表記記号を表示します。また，「(時刻) 詳細」にした場合は，表中の状態名（日本語）を表示します。

| 状態名（日本語） | 状態名（英語） | 状態 | 表記記号 |
|---|---|---|---|
| 正常終了 | normal | 正常終了 | ● |
| 正常終了-R | normal-R | 正常終了 | ● |
| 正常終了-偽 | normal-false | 正常終了 | ● |
| 監視正常終了 | monitor-normal | 正常終了 | ● |
| 異常検出終了 | abnormal | 異常終了 | × |
| 異常検出終了-R | abnormal-R | 異常終了 | × |
| 異常検出終了-WR | abnormal-WR | 異常終了 | × |
| 中断 | interrupt | 異常終了 | × |
| 中断-R | interrupt-R | 異常終了 | × |
| 強制終了 | kill | 異常終了 | × |
| 強制終了-R | kill-R | 異常終了 | × |
| 強制終了-WR | kill-WR | 異常終了 | × |
| 起動失敗 | fail | 異常終了 | × |
| 起動失敗-R | fail-R | 異常終了 | × |
| 起動失敗-WR | fail-WR | 異常終了 | × |
| 警告検出終了 | warning | 警告終了 | ▲ |

| 状態名（日本語） | 状態名（英語） | 状態 | 表記記号 |
|---|---|---|---|
| 警告検出終了-R | warning-R | 警告終了 | ▲ |
| 上記以外 | | その他 | ◇ |

# 付録 D　製品ファイル情報

ファイルおよびディレクトリ一覧について示します。

## 付録 D.1　JP1/AJS3 - Print Option の製品ファイル情報

JP1/AJS3 - Print Option のファイルおよびディレクトリ一覧について，次に示します。

### 表 D-1　JP1/AJS3 - Print Option のファイルおよびディレクトリ一覧

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| (インストール先フォルダ) | インストール先フォルダ | ○ | |
| ├ AJS2POaoi.ico | ジョブ運用情報ファイル用アイコン | ○ | |
| ├ AJS2POfof.ico | 書式定義ファイル用アイコン | ○ | |
| ├ AJS2POjof.ico | ジョブネットフロー書式定義ファイル用アイコン | ○ | |
| ├ apomapdl.dll | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ JOP001.exe | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ JOPTRS00.dll | | ○ | |
| ├ jprcltms.dll | | ○ | |
| ├ jprcollect_cl.exe | | ○ | |
| ├ jprprint.exe | | ○ | |
| ├ Readme_en.txt | | ○ | |
| ├ Readme_ja.txt | | ○ | |
| ├ hlic*.dll | | ○ | |
| ├ xsd ファイル | | ○ | |
| ├ ProductInfo.txt | | ○ | |
| ├ Version.txt | | ○ | |
| ├ jprpo.ini | 管理用運用設定ファイル | ○※2 | |
| ├ jprpo.ini.model | 管理用運用設定ファイルのサンプル | ○ | |
| ├ PO_ras.bat | 資料採取ツール | ○ | |
| ├ doc | オンラインヘルプ | ○ | |
| │　└ ja | | ○ | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| │　　├ GRAPHICS | オンラインヘルプ | ○ | |
| │　　│　└ gif ファイル | | ○ | |
| │　　└ htm ファイル | | ○ | |
| ├ Flow | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| │　├ JPRFLWPR.exe | | ○ | |
| │　├ JPRPDFPR.dll | | ○ | |
| │　├ Interop.Scripting.dll | | ○ | |
| │　├ Microsoft.Office.Interop.Excel.dll | | ○ | |
| │　├ Office.dll | | ○ | |
| │　└ ja-JP | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| │　　└ JPRFLWPR.resources.dll | | ○ | |
| └ Map | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ JPRMAPPR.exe | | ○ | |
| ├ JPRPDFPR.dll | | ○ | |
| ├ Interop.Scripting.dll | | ○ | |
| ├ Microsoft.Office.Interop.Excel.dll | | ○ | |
| ├ Office.dll | | ○ | |
| ├ Image | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| │　├ AJSView | | ○ | |
| │　│　└ gif ファイル | | ○ | |
| │　└ Custom | | ○ | |
| │　　└ gif ファイル | | ○ | |
| └ ja-JP | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| └ JPRMAPPR.resources.dll | | ○ | |
| %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO※5 | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ JOP000dft00.ini | 環境設定情報ファイル | ―※1 | |
| ├ JOP000dft01.ini | 用紙設定ファイル | ―※1 | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| ├ japanese_sample_set.exe | 日本語版の書式定義ファイルのサンプルおよびジョブ運用情報ファイルのサンプル | ○ | |
| ├ english_sample_set.exe | 英語版の書式定義ファイルのサンプルおよびジョブ運用情報ファイルのサンプル | ○ | |
| ├ Format | 英語版の書式定義ファイルのサンプルおよび英語版の書式定義ファイルの標準ファイル | ○ | |
| │ ├ job.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ job.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ jobnet.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ jobnet.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ unit.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ unit.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ schedule_result.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ schedule_result.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ full_path.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ full_path.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ daily_schedule.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ daily_schedule.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ daily_result.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ daily_result.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ monthly_schedule.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ monthly_schedule.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ monthly_result.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ monthly_result.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ exec_order.jof | | ○※2※3※6 | |
| │ ├ exec_order.jof.model | | ○※8※10 | |
| │ ├ ジョブ.jof | 日本語版の書式定義ファイルのサンプルおよび日本語版の書式定義ファイルの標準ファイル | ○※9 | |
| │ ├ ジョブ.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ ネット.jof | | ○※9 | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| │ ├ ネット.jof.model | 日本語版の書式定義ファイルのサンプルおよび日本語版の書式定義ファイルの標準ファイル | ○※8※11 | |
| │ ├ ユニット.jof | | ○※9 | |
| │ ├ ユニット.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 完全パス.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 完全パス.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 月次結果.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 月次結果.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 月次予定.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 月次予定.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 順序関係.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 順序関係.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 日次結果.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 日次結果.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 日次予定.jof | | ○※9 | |
| │ ├ 日次予定.jof.model | | ○※8※11 | |
| │ ├ 予実比較.jof | | ○※9 | |
| │ └ 予実比較.jof.model | | ○※8※11 | |
| ├ Input | ジョブ運用情報ファイルのサンプル | ○ | |
| │ ├ SAMP-S.aoi | | ○※6 | |
| │ ├ SAMP.aoi | | ○※6 | |
| │ ├ SAMP-JA.aoi | | ○※12 | |
| │ └ SAMP-S-JA.aoi | | ○※12 | |
| ├ Log | ログファイル | ○ | |
| │ ├ ajs2po.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2po.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlcl.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlcl.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ apomapdl.log | | − | 計算式(1) |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| │ ├ apomapdl.log.1 | ログファイル | − | 計算式(1) |
| │ ├ hliclib*.conf | | − | |
| │ ├ hliclib*.log | | − | 計算式(8) |
| │ ├ JPRFLWPR.log | | − | 計算式(1) |
| │ └ JPRMAPPR.log | | − | 計算式(1) |
| ├ Map | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| │ ├ ajs2_flow.txt | | −※4 | 計算式(2) |
| │ ├ ajs2_map.txt | | −※4 | 計算式(3) |
| │ ├ ajs2_rel.txt | | −※4 | 計算式(4) |
| │ └ FlowFormat | ジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプル | ○ | |
| │ ├ JobFlow.fof | | ○ | |
| │ └ JobFlow.fof.model | | ○※13 | |
| └ Users | 複数ユーザー運用使用時の各ユーザーのデフォルトフォルダ | ○ | |
| └ （OS ユーザー名）※7 | | −※14 | |
| ├ Format | 英語版の書式定義ファイル（複数ユーザー運用使用時） | −※14 | |
| │ ├ job.jof | | −※15 | |
| │ ├ jobnet.jof | | −※15 | |
| │ ├ unit.jof | | −※15 | |
| │ ├ schedule_result.jof | | −※15 | |
| │ ├ full_path.jof | | −※15 | |
| │ ├ daily_schedule.jof | | −※15 | |
| │ ├ daily_result.jof | | −※15 | |
| │ ├ monthly_schedule.jof | | −※15 | |
| │ ├ monthly_result.jof | | −※15 | |
| │ └ exec_order.jof | | −※15 | |
| │ ├ ジョブ.jof | 日本語版の書式定義ファイル（複数ユーザー運用使用時） | −※15 | |
| │ ├ ネット.jof | | −※15 | |
| │ ├ ユニット.jof | | −※15 | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| │ ├完全パス.jof | 日本語版の書式定義ファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※15 | |
| │ ├月次結果.jof | | ―※15 | |
| │ ├月次予定.jof | | ―※15 | |
| │ ├順序関係.jof | | ―※15 | |
| │ ├日次結果.jof | | ―※15 | |
| │ ├日次予定.jof | | ―※15 | |
| │ └予実比較.jof | | ―※15 | |
| ├Input | ジョブ運用情報ファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| ├Log | ログファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| │ ├ajs2po.log | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├ajs2po.log.1 | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├ajs2pomlcl.log | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├ajs2pomlcl.log.1 | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├apomapdl.log | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├apomapdl.log.1 | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ ├JPRFLWPR.log | | ―※14 | 計算式(1) |
| │ └JPRMAPPR.log | | ―※14 | 計算式(1) |
| ├Map | 製品プログラム・ライブラリなど（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| │ ├ajs2_flow.txt | | ―※4※14 | 計算式(2) |
| │ ├ajs2_map.txt | | ―※4※14 | 計算式(3) |
| │ ├ajs2_rel.txt | | ―※4※14 | 計算式(4) |
| │ └FlowFormat | ジョブネットフロー書式定義ファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| │ └JobFlow.fof | | ―※16 | |
| ├JOP000dft00.ini | 環境設定情報ファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| └JOP000dft01.ini | 用紙設定ファイル（複数ユーザー運用使用時） | ―※14 | |
| 保管 CSV ファイル | | － | 計算式(5) |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| ジョブ運用情報ファイル | | － | 計算式(6) |
| ジョブ運用情報ファイルの実行履歴情報ファイル | | － | 計算式(7) |

（凡例）

○：インストール時に作成されるファイルまたはディレクトリ

－：インストール時に作成されないファイルまたはディレクトリ

注

- （インストール先フォルダ）は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥Program Files¥Hitachi¥JP1AJS2PO」です。64 ビット版の Windows の場合は，「Program Files」を「Program Files(x86)」と読み替えてください。
- %SystemRoot%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥Windows」です。
- %allusersprofile%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥ProgramData」です。

注※1

製品を使用した際に作成および更新されます。

注※2

同一ファイルがある場合にはインストールされません。

注※3

書式定義を変更し，同一ファイル名で保管した場合にはファイルが更新されます。

注※4

1 度の操作単位でファイルが作成されます（旧情報はクリアされるため，単調増加はしません）。

注※5

隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない設定にしていると，「%allusersprofile%」フォルダは表示されません。この場合は，すべてのファイルを表示する設定に変更すれば表示されるようになります。すべてのファイルを表示する設定については，OS のヘルプを参照してください。

注※6

OS の言語が日本語以外の環境に新規インストールした場合や，バージョンアップインストールした場合に，英語版の書式定義ファイルのサンプルおよびジョブ運用情報ファイルのサンプルがインストールされます。［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で日本語の書式定義に変更して使用できます。

日本語の書式定義に変更する手順を次に示します。

(1) 「%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO」フォルダにある japanese_sample_set.exe ファイルを開きます。

(2) ファイルを任意の場所に展開します。

(3) 展開したフォルダに含まれる書式定義ファイル（Format フォルダ下のファイル）を［環境設定］画面の［書式定義］で設定しているパスに配置します。または，［環境設定］画面の［書式定義］のフォルダに，展開した書式定義ファイルが存在するフォルダ（Format フォルダ）を指定します。

(4) ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で［表示］－［最新の状態に更新］メニューを選択すると，書式コンボボックスの表示項目は，変更した書式定義フォルダに格納されている書式定義内容に変更されます。

**補足事項**

japanese_sample_set.exe ファイルと含まれているファイルは，OS の言語が日本語の環境で動作することが前提です。OS の言語が日本語以外の環境で動作させる場合，文字化けやエラーが発生する場合があります。

注※7

ドメイン名の情報は含まれません。

注※8

書式定義ファイルの標準ファイルです。このファイルを元に，複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルを作成します。複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルは，複数ユーザー運用を開始後，初めて複数ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を起動したときに作成されます。このファイルを削除した場合は，複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルを作成しないため，初めて複数ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を起動したときにエラー（KAVR2000-E）になります。二回目以降の起動では標準ファイルからの作成は行わないため，作成された複数ユーザー書式定義フォルダに任意の書式定義ファイルを手動で配置して，JP1/AJS3 - Print Option を再起動してください。

注※9

OS の言語が日本語の環境にインストールした場合に，インストールされます。

［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で英語の書式定義に変更し使用することができます。

英語の書式定義に変更する手順を次に示します。

(1)「%allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2PO」フォルダにある english_sample_set.exe ファイルを開きます。

(2) ファイルを任意の場所に展開します。

(3) 展開したフォルダに含まれる書式定義ファイル（Format フォルダ下のファイル）を［環境設定］画面の［書式定義］で設定しているパスに配置します。または，［環境設定］画面の［書式定義］のフォルダに，展開した書式定義ファイルが存在するフォルダ（Format フォルダ）を指定します。

(4) ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面で［表示］－［最新の状態に更新］メニューを選択すると，書式コンボボックスの表示項目は，変更した書式定義フォルダに格納されている書式定義内容に変更されます。

注※10

OS の言語が日本語以外の環境に新規インストールした場合や，バージョンアップインストールした場合に，インストールされます。

注※11

OS の言語が日本語の環境に新規インストールした場合や，日本語版の書式定義ファイルのサンプルを配置している環境からバージョンアップインストールした場合に，インストールされます。

注※12

日本語版のジョブ運用情報ファイルのサンプルがインストールされます。

注※13

ジョブネットフロー書式定義ファイルの標準ファイルです。このファイルを元に，複数ユーザーのジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプルを作成します。複数ユーザーのジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプルは，複数ユーザー運用を開始後，初めて複数ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を起動したときに作成されます。このファイルを削除した場合は，複数ユーザーのジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプルを作成しないため，初めて複数ユーザーでジョブネットフロー出力およびジョブネットフロー PDF 出力をしたときにエラー（KAVR3010-E）になります。二回目以降の起動では標準ファイルからの作成は行わないため，作成された複数ユーザージョブネットフロー書式定義フォルダに任意のジョブネットフロー書式定義ファイルを手動で配置して，JP1/AJS3 - Print Option を再起動してください。

注※14

複数ユーザー運用を使用した際に作成および更新されます。

注※15

複数ユーザーの書式定義ファイルのサンプルです。複数ユーザー運用を開始後，初めて複数ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を起動した際に，デフォルトの書式定義フォルダに格納されている書式定義の標準ファイルを元に作成します。

注※16

複数ユーザーのジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプルです。複数ユーザー運用を開始後，初めて複数ユーザーで JP1/AJS3 - Print Option を起動した際に，デフォルトのジョブネットフロー書式定義フォルダに格納されているジョブネットフロー書式定義の標準ファイルを元に作成します。

各計算式の内容について，次に示します。

計算式(1)：最大 1 メガバイト

計算式(2)：ユニット数×8 ＋ジョブネット数 （単位：キロバイト）

計算式(3)：ユニット数×0.08 ＋ジョブネット数 （単位：キロバイト）

計算式(4)：関連線の本数×0.06 ＋ジョブネット数 （単位：キロバイト）

計算式(5)：帳票領域に表示する行数×列数×4 （単位：キロバイト）

計算式(6)：

（指定したユニット以下の）定義ユニット数×4.5 ＋

（指定した期間にある）世代数×3.5 （単位：キロバイト）

計算式(7)：

最大 1 キロバイト

計算式(8)：4 ファイル×最大 5 面×最大 1 メガバイト

注意事項

書式定義ファイルのサンプル，ジョブネットフロー書式定義ファイルのサンプル，環境設定情報ファイルおよび用紙設定ファイルは，必要に応じてバックアップを取ってください。

## 付録 D.2　JP1/AJS3 - Print Option Manager の製品ファイル情報

JP1/AJS3 - Print Option Manager のファイルおよびディレクトリ一覧について，OS ごとに示します。

### (1)　Windows の場合

表 D–2　JP1/AJS3 - Print Option Manager のファイルおよびディレクトリ一覧（Windows の場合）

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| （インストール先フォルダ） | インストール先フォルダ | ○ | |
| ├ AJS2POMaoi.ico | ジョブ運用情報ファイルアイコン | ○ | |
| ├ jprcltms.dll | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ jprcollect.exe | | ○ | |
| ├ jprcollect_gui.exe | | ○ | |
| ├ jprpomlstart.exe | | ○ | |
| ├ jprpomlstop.exe | | ○ | |
| ├ jprpomlsv.exe | | ○ | |
| ├ Readme_en.txt | | ○ | |
| ├ Readme_ja.txt | | ○ | |
| ├ hlic*.dll | | ○ | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| ├ xsd ファイル | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ ProductInfo.txt | | ○ | |
| ├ Version.txt | | ○ | |
| ├ POM_ras.bat | 資料採取ツール | ○ | |
| %allusersprofile%¥Hitachi¥JP1¥JP1_DEFAULT¥JP1AJS2POM※ | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| ├ jprpoml.ini | 環境設定情報ファイル | ○ | |
| ├ jprpoml.ini.model | 環境設定情報サンプルファイル | ○ | |
| ├ Log | ログファイル | ○ | |
| │ ├ ajs2pomcollect.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomcollect.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlsv.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlsv.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ hliclib*.conf | | − | |
| │ └ hliclib*.log | | − | 計算式(4) |
| └ Tmp | 製品使用の一時領域 | ○ | |
| ├ ジョブ運用情報ファイル | | − | 計算式(2) |
| └ ジョブ運用情報ファイルの実行履歴情報ファイル | | − | 計算式(3) |
| ジョブ運用情報ファイル | | − | 計算式(2) |
| ジョブ運用情報ファイルの実行履歴情報ファイル | | − | 計算式(3) |

(凡例)

○：インストール時に作成されるファイルまたはディレクトリ

−：インストール時に作成されないファイルまたはディレクトリ

注 1

(インストール先フォルダ)は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥Hitachi¥JP1AJS2POM」です。

注 2

%SystemRoot%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥Windows」です。

%allusersprofile%は，デフォルトでは「(システムドライブ):¥ProgramData」です。

注※

隠しファイルおよび隠しフォルダを表示しない設定にしていると，「%allusersprofile%」フォルダは表示されません。このときは，すべてのファイルを表示する設定に変更することで表示できます。すべてのファイルを表示する設定については，OSのヘルプを参照してください。

各計算式の内容について，次に示します。

計算式(1)：最大 1 メガバイト

計算式(2)：

JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集を実行した場合，一時的にファイルが作成されます。

（指定したユニット以下の）定義ユニット数×4.5 ＋

（指定した期間にある）世代数×3.5 （単位：キロバイト）

計算式(3)：

最大 1 キロバイト

計算式(4)：4 ファイル×最大 5 面×最大 1 メガバイト

## (2) UNIX の場合

### 表 D–3 JP1/AJS3 - Print Option Manager のファイルおよびディレクトリ一覧（UNIX の場合）

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| /opt/jp1ajs2pom | インストール先フォルダ | ○ | |
| ├ bin | 製品プログラム・ライブラリなど | ○ | |
| │ ├ jprcollect | | ○ | |
| │ ├ jprpomlstart | | ○ | |
| │ ├ jprpomlstop | | ○ | |
| │ └ jprpomlsv | | ○ | |
| ├ lib | | ○ | |
| │ └ nls | | ○ | |
| │ ├ リンク | | ○※1 | |
| │ └ 言語種別 | | ○※2 | |
| │ └ jprcollectmsg.cat | | ○ | |
| ├ log | ログファイル | ○ | |
| │ ├ ajs2pomcollect.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomcollect.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomcollect.lck※5 | | − | |
| │ ├ ajs2pomlsv.log | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlsv.log.1 | | − | 計算式(1) |
| │ ├ ajs2pomlsv.lck※5 | | − | |
| │ ├ hliclib*.conf※3 | | − | |

| ディレクトリ名またはファイル名 | 用途 | インストール時に作成されるファイル | 計算式 |
|---|---|---|---|
| │ ├ hliclib*.log※3 | ログファイル | － | 計算式(4) |
| │ └ ユーザー名※3※4 | | － | |
| │ ├ hliclib*.conf※3 | | － | |
| │ └ hliclib*.log※3 | | － | 計算式(4) |
| ├ tmp | 製品使用の一時領域 | ○ | |
| │ ├ ジョブ運用情報ファイル | | － | 計算式(2) |
| │ └ ジョブ運用情報ファイルの<br>│ 実行履歴情報ファイル | | － | 計算式(3) |
| ├ jprpoml.ini | 環境設定情報ファイル | ○ | |
| ├ jprpoml.ini.model | 環境設定情報サンプルファイル | ○ | |
| └ POM_ras.sh | 資料採取ツール | ○ | |
| /etc/opt/jp1ajs2pom | 自動起動・<br>停止スクリプト | － | |
| ├ jprpoml_start | | － | |
| └ jprpoml_stop | | － | |
| ジョブ運用情報ファイル | | － | 計算式(2) |
| ジョブ運用情報ファイルの実行履歴情報ファイル | | － | 計算式(3) |

（凡例）

○：インストール時に作成されるファイルまたはディレクトリ

－：インストール時に作成されないファイルまたはディレクトリ

注※1：各 OS でのリンク名，リンク先は次に示すとおりです。

【HP-UX】

・japanese -> ja_JP.SJIS

・japanese.euc -> ja_JP.eucJP

【Solaris】

・japanese -> ja

・ja_JP.eucJP -> ja

【AIX】

・Ja_JP.IBM-932 -> Ja_JP

・ja_JP.IBM-eucJP -> ja_JP

・JA_JP.UTF-8 -> JA_JP

【Linux】

・ja_JP.SJIS -> ja_JP.sjis

・ja -> ja_JP.eucJP

・ja_JP -> ja_JP.eucJP

・ja_JP.EUCJP -> ja_JP.eucJP
・ja_JP.ujis -> ja_JP.eucJP
・ja_JP.utf8 -> ja_JP.UTF-8

注※2：各 OS でのディレクトリ名は次に示すとおりです。

【HP-UX】
・ja_JP.SJIS
・ja_JP.eucJP
・ja_JP.utf8
・zh_CN.gb18030

【Solaris】
・ja_JP.PCK
・ja
・ja_JP.UTF-8
・zh_CN.GB18030

【AIX】
・Ja_JP
・ja_JP
・JA_JP
・Zh_CN.GB18030

【Linux】
・ja_JP.sjis
・ja_JP.eucJP
・ja_JP.UTF-8
・zh_CN.gb18030

注※3：Linux の場合だけ作成されます。

注※4：jprcollect コマンドをスーパーユーザー権限のユーザー以外のユーザーで実行した場合に，ユーザーごとに作成されます。

注※5：これは JP1/AJS3 - Print Option Manager が内部で使用しているファイルです。変更および削除はしないでください。

各計算式の内容について，次に示します。

計算式(1)：最大 1 メガバイト

計算式(2)：

JP1/AJS3 - View からジョブ運用情報の収集を実行した場合，一時的にファイルが作成されます。

（指定したユニット以下の）定義ユニット数×4.5 ＋

（指定した期間にある）世代数×3.5 （単位：キロバイト）

計算式(3)：最大 1 キロバイト

計算式(4)：4 ファイル×最大 5 面×最大 1 メガバイト

# 付録 E　プロセス一覧

ここでは，JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセス一覧，および JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスを JP1/Cm2/SSO で監視する場合の注意事項について説明します。

## 付録 E.1　JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセス一覧

JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスは，JP1/AJS3 - POM サービスを起動すると起動されます。

JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスの一覧を次に示します。

### (1)　Windows の場合

JP1/AJS3 -Print Option Manager のプロセスは，［タスクマネージャ］ウィンドウの［プロセス］タブで確認できます。

| プロセス名 | 機能 |
|---|---|
| jprpomlsv.exe | JP1/AJS3 - POM サービスの実体 |

### (2)　UNIX の場合

JP1/AJS3 -Print Option Manager のプロセスは，ps コマンドで確認できます。

| プロセス名 | 機能 |
|---|---|
| jprpomlsv | JP1/AJS3 - POM サービスの実体 |

## 付録 E.2　JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスを JP1/Cm2/SSO で監視する場合の注意事項

JP1/AJS3 - Print Option Manager のプロセスおよびサービスを JP1/Cm2/SSO のプロセス監視機能を使用して監視する場合は，次の監視プロセス情報に従って JP1/Cm2/SSO のプロセス監視条件を設定してください。設定方法の詳細については，マニュアル「JP1/Cm2/SNMP System Observer」を参照してください。

- 監視 AP 名
  JP1/AJS3 - Print Option Manager
- 付加情報
  JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager
- 監視プロセス数：1

## (1) 監視プロセス情報（Windows および UNIX）

次の表に示します。

| 親プロセス情報 | | | | | 子プロセス情報 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| プロセス数 | 種別※1 | プロセス名※2 | しきい値 | | プロセス数 | 種別※1 | プロセス名※2 | しきい値 | |
| | | | 下限 | 上限 | | | | 下限 | 上限 |
| 1 | 2 | jprpomlsv | 1 | 9999 | 0 | － | － | － | － |

（凡例）

－：該当しません。

注※1

プロセス名の種別（1：コマンドライン名，2：実行ファイル名）を示します。

注※2

JP1/AJS3 - View 連携機能を使用しない場合は，監視不要です。

## (2) 監視サービス情報（Windows）

次の表に示します。

| 製品名（正規名称） | 製品名（正規略称） | サービス名※ |
|---|---|---|
| JP1/Automatic Job Management 3 - Print Option Manager | JP1/AJS3 - Print Option Manager | JP1_AJS2_POML |

注※

JP1/AJS3 - View 連携機能を使用しない場合は，監視不要です。

# 付録 F　各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更点を次に示します。

## 付録 F.1　11-50 の変更内容

11-50 での変更点を次に示します。

- OS の言語が日本語の環境の場合，日本語の書式定義ファイルを配置できるようにした。
- ［ジョブネットフロー書式定義］画面の［項目候補］リストと［項目］リストに ajsprint コマンドの出力項目と ajsshow コマンドの出力項目を区別するアイコンを追加した。
- ジョブネットフロー出力された Excel の 1 ページ目に，ジョブネットフロー書式定義で指定した項目名をユニット種別ごとに凡例として出力できるようにした。
- ［書式定義］画面の「対象ユニット種別」の選択で，一括で全選択および全選択解除する機能を追加した。

## 付録 F.2　11-10 の変更内容

11-10 での変更点を次に示します。

- 中国語に対応した。
- 複数ユーザー運用機能を追加した。
- 実行日による収集機能を追加した。
- マップ出力でコメントを表示する機能を追加した。
- ［環境設定］画面の［マップ／ジョブネットフロー］タブを，［マップ］タブと［ジョブネットフロー］タブに分割した。
- リスト出力およびジョブネットフロー出力で選択できるユニット属性を追加した（追加した項目は次表を参照してください）。

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| fxg | （フレキシブルジョブ）一斉実行方式 | ○ | ○ |

（凡例）
○：サポートあり

- 次のメッセージを追加した。
KAVR0003-E，KAVR0004-E
- Windows Server 2016 に対応した。
- 前提プログラムに次のプログラムを追加した。

- Microsoft Office 2016 32 ビット版（Microsoft Excel 2016 32 ビット版）
- Microsoft Office 2016 64 ビット版（Microsoft Excel 2016 64 ビット版）
- Microsoft .NET Framework 4.6

- 前提 OS から次の OS を削除した。
  - Red Hat Enterprise Linux(R) Server 6 (32-bit x86)
- 前提プログラムから次のプログラムを削除した。
  - Microsoft Office 2003（Microsoft Excel 2003）
- jprcollect コマンドに実行日による収集機能（-w オプション）を追加した。

## 付録 F.3　11-00 の変更内容

11-00 での変更点を次に示します。

- 月次帳票と日次帳票の 48 時間制表示に対応した。
- JP1/AJS3 - Print Option Manager License の名称を JP1/AJS3 - Print Option Manager に変更した。
- 次のメッセージを追加した。
  KAVR2016-W，KAVR4011-W
- リスト出力およびジョブネットフロー出力で選択できるユニット属性を追加した（追加した項目は次表を参照してください）。

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| da | （フレキシブルジョブ）宛先 | ○ | ○ |
| sc | （フレキシブルジョブ）実行ファイル名 | ○ | ○ |
| prm | （フレキシブルジョブ）パラメーター | ○ | ○ |
| env | （フレキシブルジョブ）環境変数 | ○ | ○ |
| ex | （フレキシブルジョブ）中継エージェント名 | ○ | ○ |
| jd | （フレキシブルジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ |
| wth | （フレキシブルジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ |
| tho | （フレキシブルジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ |
| jdf | （フレキシブルジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ |
| ha | （フレキシブルジョブ）実行保留 | ○ | ○ |
| eu | （フレキシブルジョブ）実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ |
| mm | （フレキシブルジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ |
| nmg | （フレキシブルジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ |

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| eun | （フレキシブルジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ |
| ega | （フレキシブルジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （フレキシブルジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| abr | （フレキシブルジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ |
| rjs | （フレキシブルジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ |
| rje | （フレキシブルジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ |
| rec | （フレキシブルジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ |
| rei | （フレキシブルジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ |
| htcfl | （HTTP 接続ジョブ）接続設定ファイル名 | ○ | ○ |
| htknd | （HTTP 接続ジョブ）リクエスト種別 | ○ | ○ |
| htrqf | （HTTP 接続ジョブ）送信情報ファイル名 | ○ | ○ |
| htstf | （HTTP 接続ジョブ）ステータス格納ファイル名 | ○ | ○ |
| htspt | （HTTP 接続ジョブ）受信データ格納方式 | ○ | ○ |
| htrhf | （HTTP 接続ジョブ）受信ヘッダ格納ファイル名 | ○ | ○ |
| htrbf | （HTTP 接続ジョブ）受信ボディ格納ファイル名 | ○ | ○ |
| so | （HTTP 接続ジョブ）標準出力ファイル名 | ○ | ○ |
| se | （HTTP 接続ジョブ）標準エラー出力ファイル名 | ○ | ○ |
| etm | （HTTP 接続ジョブ）実行打ち切り時間 | ○ | ○ |
| pr | （HTTP 接続ジョブ）実行優先順位 | ○ | ○ |
| ex | （HTTP 接続ジョブ）実行エージェント名 | ○ | ○ |
| un | （HTTP 接続ジョブ）実行ユーザー名 | ○ | ○ |
| jd | （HTTP 接続ジョブ）終了判定種別 | ○ | ○ |
| wth | （HTTP 接続ジョブ）警告終了のしきい値 | ○ | ○ |
| tho | （HTTP 接続ジョブ）異常終了のしきい値 | ○ | ○ |
| jdf | （HTTP 接続ジョブ）終了判定ファイル名 | ○ | ○ |
| ha | （HTTP 接続ジョブ）実行保留 | ○ | ○ |
| eu | （HTTP 接続ジョブ）実行時の JP1 ユーザー | ○ | ○ |
| fd | （HTTP 接続ジョブ）実行所要時間 | ○ | ○ |
| mm | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせ方法 | ○ | ○ |

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| nmg | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 | ○ | ○ |
| eun | （HTTP 接続ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 | ○ | ○ |
| ega | （HTTP 接続ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （HTTP 接続ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| abr | （HTTP 接続ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ |
| rjs | （HTTP 接続ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ |
| rje | （HTTP 接続ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ |
| rec | （HTTP 接続ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ |
| rei | （HTTP 接続ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ |

（凡例）

○：サポートあり

- Windows 10，Linux 7 および SUSE Linux 12 に対応した。
- 前提プログラムに Microsoft .NET Framework 4.0 および Microsoft .NET Framework 4.5 を追加した。
- 前提 OS から次の OS を削除した。
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise (32bit)
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard (32bit)
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter (x64)
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise (x64)
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard (x64)
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Business
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Business (x64)
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise (x64)
  - Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate (x64)
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
  - Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition (x86 版)

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition (x86 版)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter (32bit)
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System
- Red Hat Enterprise Linux(R) 5 (AMD/Intel 64)
- Red Hat Enterprise Linux(R) 5 (x86)

- 前提プログラムから次のプログラムを削除した。
  - Microsoft .NET Framework 2.0 SP2 以降
  - Microsoft .NET Framework 3.0
  - Microsoft Office XP (Microsoft Excel 2002)

## 付録 F.4　10-50 の変更内容

10-50 での変更点を次に示します。

- マップ形式およびフロー形式の帳票を出力するための前提プログラムとして Microsoft Excel 2013 に対応した。
- ジョブネットフロー書式定義の項目に「表の形式」と「出力方向」を追加した。
- ジョブネットフロー書式定義の項目の最大値を 20 個に変更した。
- マップ出力，ジョブネットフロー出力，マップ PDF 出力，およびジョブネットフロー PDF 出力での印刷および印刷プレビューでユニット名またはデータが欠けて表示される場合に，ユニット名またはデータの表示領域のサイズを拡張することができるようにした。
- マップ出力およびマップ PDF 出力でユニット名の背景で矢印が隠れて表示されない場合に，ユニット名の背景を透明にすることができるようにした。
- ［書式定義］画面の［列項目］タブのデザインを変更した。
- 次のメッセージを追加した。
  KAVR2112-E，KAVR3006-E，KAVR3023-E
- サポート帳票列項目一覧の ajsshow コマンドの項目を［ジョブネットフロー書式定義］画面で指定できる項目に変更した。
- リスト出力およびジョブネットフロー出力で選択できるユニット属性を追加した（追加した項目は次表を参照してください）。

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| − | （ジョブネット）ジョブネット内ジョブ数 | ○ | ○ |

（凡例）

○：サポートあり

－：該当しない

## 付録 F.5　10-00 の変更内容

10-00 での変更点を次に示します。

- Windows 8.1，Windows Server 2012，および Windows 8 に対応した。
- マップ形式およびフロー形式の帳票を出力するための前提プログラムとして Microsoft Excel 2010 に対応した。
- マップ形式およびフロー形式の帳票を PDF ファイルとして出力できるようにした。
- IPv6 アドレスに対応した。
- トラブル時に採取が必要な資料を，資料採取ツールで一括採取できるようにした。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面のデザインを変更した。
- 次のメッセージを追加した。

  KAVR2253-E，KAVR2254-E，KAVR2255-E，KAVR2260-E，KAVR3013-E，KAVR3014-E，KAVR3015-E，KAVR3016-E，KAVR3020-I，KAVR3021-E，KAVR3022-E
- 次のメッセージを変更した。

  KAVR3000-I，KAVR3001-E，KAVR3002-I，KAVR3003-I，KAVR3004-E，KAVR3005-E，KAVR3030-E，KAVR5010-E
- リスト出力およびジョブネットフロー出力で選択できるユニット属性を追加した（追加した項目は次表を参照してください）。

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| ega | （ジョブネット）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （ジョブネット）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （UNIX/PC ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （UNIX/PC ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| abr | （UNIX/PC ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ |
| rjs | （UNIX/PC ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ |
| rje | （UNIX/PC ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ |
| rec | （UNIX/PC ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ |
| rei | （UNIX/PC ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ |
| ega | （QUEUE ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| uem | （QUEUE ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| abr | （QUEUE ジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ |
| rjs | （QUEUE ジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ |
| rje | （QUEUE ジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ |
| rec | （QUEUE ジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ |
| rei | （QUEUE ジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ |
| ejl | （判定ジョブ）下限の判定終了コード | ○ | ○ |
| ejh | （判定ジョブ）上限の判定終了コード | ○ | ○ |
| ejs | （判定ジョブ）変数（数値）の下限の判定値 | ○ | ○ |
| ejg | （判定ジョブ）変数（数値）の上限の判定値 | ○ | ○ |
| ejm | （判定ジョブ）下限の判定条件 | ○ | ○ |
| eju | （判定ジョブ）上限の判定条件 | ○ | ○ |
| ega | （JP1 イベント受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （JP1 イベント受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （ファイル監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （ファイル監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （メール受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （メール受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （メッセージキュー受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （メッセージキュー受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （MSMQ 受信監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （MSMQ 受信監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （ログファイル監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| uem | （ログファイル監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （Windows イベントログ監視ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （Windows イベントログ監視ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ntolg | （Windows イベントログ監視ジョブ）任意のログ種別 | ○ | ○ |
| ega | （実行間隔制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （実行間隔制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| etn | （実行間隔制御ジョブ）開始直後に満了 | ○ | ○ |
| ega | （JP1 イベント送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （JP1 イベント送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （メール送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （メール送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （メッセージキュー送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （メッセージキュー送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （MSMQ 送信ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （MSMQ 送信ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （ローカル電源制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （ローカル電源制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （リモート電源制御ジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |

| 指示子 | 項目名 | リスト | ジョブネットフロー |
|---|---|---|---|
| uem | （リモート電源制御ジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| ega | （UNIX/PC カスタムジョブ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （UNIX/PC カスタムジョブ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| abr | （UNIX/PC カスタムジョブ）異常終了時リトライ | ○ | ○ |
| rjs | （UNIX/PC カスタムジョブ）自動リトライする終了コードの下限 | ○ | ○ |
| rje | （UNIX/PC カスタムジョブ）自動リトライする終了コードの上限 | ○ | ○ |
| rec | （UNIX/PC カスタムジョブ）最大リトライ回数 | ○ | ○ |
| rei | （UNIX/PC カスタムジョブ）リトライ間隔 | ○ | ○ |
| ega | （ジョブネットコネクタ）実行世代に異常終了がある場合の動作 | ○ | ○ |
| uem | （ジョブネットコネクタ）監視世代が監視未起動終了の場合の動作 | ○ | ○ |
| RY | （ajsshow）リトライ実行回数 | ○ | － |
| RC | （ajsshow）リトライ状態 | ○ | － |
| RS | （ajsshow）リトライ登録日時 | ○ | － |
| Rs | （ajsshow）リトライ登録日時（秒） | ○ | － |
| RT | （ajsshow）リトライ開始日時 | ○ | － |
| Rt | （ajsshow）リトライ開始日時（秒） | ○ | － |

（凡例）

○：サポートあり

－：該当しない

- Solaris 11 に対応した。
- Linux 5(x86)，Linux 5(AMD/Intel 64)に対応した。

## 付録 F.6　09-50 の変更内容

09-50 での変更点を次に示します。

- JP1/AJS3 - Manager 09-50 で新規サポートされた待ち合わせ条件によるユニット待ち合わせ機能に対応し，定義情報を出力できるようにした。

- 次に示すサポート帳票列項目（61 項目）を追加した。

| サポート基本形式 | | | 指示子（%除く） | 列項目名 |
|---|---|---|---|---|
| 月次 | 日次 | リスト | | |
| × | × | ○ | mm | （ジョブネット）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （ジョブネット）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （ジョブネット）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （UNIX/PC ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （QUEUE ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （QUEUE ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （QUEUE ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （JP1 イベント受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （ファイル監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （メール受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （メッセージキュー受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （MSMQ 受信監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （ログファイル監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |

| サポート基本形式 | | | 指示子（%除く） | 列項目名 |
|---|---|---|---|---|
| 月次 | 日次 | リスト | | |
| × | × | ○ | eun | （Windows イベントログ監視ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （実行間隔制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （JP1 イベント送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （メール送信ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （メール送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （メール送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （メッセージキュー送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （MSMQ 送信ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （JP1/Cm2 状態通知ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （ローカル電源制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （リモート電源制御ジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |
| × | × | ○ | eun | （UNIX/PC カスタムジョブ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | mm | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせ方法 |
| × | × | ○ | nmg | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせる世代がない場合の動作 |

| サポート基本形式 | | | 指示子（%除く） | 列項目名 |
|---|---|---|---|---|
| 月次 | 日次 | リスト | | |
| × | × | ○ | eun | （ジョブネットコネクタ）待ち合わせ対象ユニット名 |
| × | × | ○ | PW | （ajsshow）待ち合わせ条件の不成立の有無 |

（凡例）

○：サポートあり

×：サポートなし

- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面に表示範囲変更ボタンを追加し，［表示範囲の変更］画面を表示しなくても，翌日・前日，翌月・前月に表示範囲を変更できるようにした。
- ［環境設定］画面の［既定値の設定］タブに，JP1/AJS3 - View 連携時に出力するジョブ運用情報ファイルの出力先フォルダを指定する項目を追加し，［ジョブ運用情報の収集］画面でジョブ運用情報ファイルのデフォルトファイル名を表示するようにした。
- カスタムジョブとして引き継ぎ情報設定ジョブのアイコンを追加した。

## 付録 F.7　09-00 の変更内容

09-00 での変更点を説明します。

- Windows Server 2008 R2，Windows 7(x86)，および Windows 7(x64)に対応した。
- アイコンを変更した。
- JP1/AJS3 - Manager 09-00 で追加された起動条件の情報を出力できるようにした。
- ジョブネットおよびジョブの列項目「実行ホスト名」および「エージェントホスト名」を「実行エージェント名」に変更した。
- 次に示すサポート帳票列項目を追加した。

| サポート基本形式 | | | 指示子（%除く） | 列項目名 |
|---|---|---|---|---|
| 月次 | 日次 | リスト | | |
| × | × | ○ | mcs | （起動条件）監視世代の多重起動 |
| × | × | ○ | cgs | （起動条件）起動条件成立した実行世代の滞留 |
| × | × | ○ | RI | （ajsshow）リリース ID |

（凡例）

○：サポートあり

×：サポートなし

- JP1/AJS3 - Manager 09-00-04 でサポートされたジョブネットリリース機能に対応し，リリース ID ごとのジョブネット定義情報および結果情報を収集および出力できるようにした。

- jprcollect コマンドで，リリース ID ごとに情報収集するかどうかを指定できるようにした。
- jprprint コマンドで，リリース ID を指定して情報を出力できるようにしました。
- メッセージ KAVR2007-E を追加した。
- 月次予定・日次予定で表示される記号を状態によって変更できるようにした。
- ［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の「書式コンボボックス」の一度に表示する件数を増やした。

# 付録 G　このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

## 付録 G.1　関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

JP1/AJS3 関連

- JP1 Version 11 ジョブ管理　基本ガイド　ジョブスケジューラー編（3021-3-B11）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 導入ガイド（3021-3-B12）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド（システム構築編）（3021-3-B13）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 設計ガイド（業務設計編）（3021-3-B14）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 構築ガイド（3021-3-B15）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 運用ガイド（3021-3-B16）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 トラブルシューティング（3021-3-B17）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 操作ガイド（3021-3-B18）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 コマンドリファレンス（3021-3-B19）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 連携ガイド（3021-3-B20）
- JP1 Version 11 JP1/Automatic Job Management System 3 メッセージ（3021-3-B21）

JP1 関連

- JP1 Version 11 JP1/Script（Windows(R)用）（3021-3-B30）
- JP1 Version 11 JP1/Cm2/SNMP System Observer（3021-3-A77）

## 付録 G.2　このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，日立製品，およびそのほかの製品の名称を省略して表記しています。このマニュアルでの表記と製品の正式名称を次の表に示します。

| このマニュアルでの表記 | | | 正式名称 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS | JP1/AJS3 | JP1/AJS3 - Manager | JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager |

| このマニュアルでの表記 | | | 正式名称 |
|---|---|---|---|
| JP1/AJS | JP1/AJS3 | JP1/AJS3 - View | JP1/Automatic Job Management System 3 - View |
| JP1/AJS2 - Print Option Manager License | | | JP1/Automatic Job Management System 2 - Print Option Manager License |
| JP1/AJS3 - Print Option | | JP1/AJS3 - Print Option | JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option |
| | | JP1/AJS3 - Print Option Manager License | JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager |
| | | JP1/AJS3 - Print Option Manager | |
| JP1/Cm2/SSO | | | JP1/Cm2/SNMP System Observer |
| JP1/PFM/SSO | | | JP1/Performance Management/SNMP System Observer |
| JP1/SSO | | | JP1/Server System Observer |
| AIX | | | AIX V6.1 |
| | | | AIX V7.1 |
| HP-UX | | HP-UX(IPF) | HP-UX 11i V3 (IPF) |
| Linux | CentOS 6(x64) | | CentOS 6 (x64) |
| | CentOS 7 | | CentOS 7 |
| | Linux 6 | Linux 6(x64) | Red Hat Enterprise Linux(R) Server 6 (64-bit x86_64) |
| | Linux 7 | | Red Hat Enterprise Linux(R) Server 7 |
| | Oracle Linux 6(x64) | | Oracle Linux(R) Operating System 6 (x64) |
| | Oracle Linux 7 | | Oracle Linux(R) Operating System 7 |
| | SUSE Linux 12 | | SUSE Linux(R) Enterprise Server 12 |
| Solaris | | Solaris 10 | Solaris 10(SPARC) |
| | | Solaris 11 | Solaris 11(SPARC) |

HP-UX，Solaris，AIX，および Linux を総称して，UNIX と表記することがあります。

## 付録 G.3　このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

| 英略語 | 正式名称 |
|---|---|
| CSV | Comma Separated Value |
| EUC | Extended UNIX Code |
| FTP | File Transfer Protocol |
| GUI | Graphical User Interface |
| IPF | Itanium(R) Processor Family |
| JIS | Japanese Industrial Standard code |
| LAN | Local Area Network |
| PDF | Portable Document Format |
| RDP | Remote Desktop Protocol |
| SNMP | Simple Network Management Protocol |
| TCP/IP | Transmission Control Protocol/Internet Protocol |
| UAC | User Account Control |
| UTF | UCS Transformation Format |
| WAN | Wide Area Network |

## 付録 G.4　KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）は，それぞれ 1,024 バイト，$1{,}024^2$ バイト，$1{,}024^3$ バイト，$1{,}024^4$ バイトです。

# 付録 H　用語解説

## (英字)

### JP1/AJS

JP1/Automatic Job Management System 2 および JP1/Automatic Job Management System 3 の総称です。

JP1/AJS は，業務を自動的に運用するためのプログラムです。

処理を順序付けて定期的に実行したり，特定の事象が発生したときに処理を開始したりできます。

### JP1/AJS2

JP1/Automatic Job Management System 2 の略称です。

### JP1/AJS3

JP1/Automatic Job Management System 3 の略称です。

### JP1/AJS3 - Manager

JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager の略称です。

### JP1/AJS3 - Print Option

JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option の略称です。

ジョブ運用ドキュメントを出力します。

なお，JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - Print Option Manager を総称して，JP1/AJS3 - Print Option と呼ぶこともあります。

### JP1/AJS3 - Print Option Manager

JP1/Automatic Job Management System 3 - Print Option Manager の略称です。

ジョブ運用情報を収集します。

### JP1/AJS3 - View

JP1/Automatic Job Management System 3 - View の略称です。

## （カ行）

### カスタムジョブ

ある特定の機能を持つジョブを実行するように，あらかじめ定義されたジョブです。ファイル転送やメインフレームへのジョブ依頼など，標準カスタムジョブとして提供しているもののほかに，業務の中でよく使うジョブをカスタムジョブとして登録しておくこともできます。

### 基準時刻

JP1/AJS を運用するときの，1 日の始まり（日付の境）となる時刻です。例えば，基準時刻を「8 時」と設定すると，7 時 59 分までは前日扱いとなります。

### 構成定義ファイル

JP1/AJS の運用に必要な情報を定義したファイルです。例えば，ジョブネットワーク要素を作成するディレクトリを指定したり，syslog メッセージの出力の要否を指定したりします。

## （サ行）

### 書式定義ファイル

書式を定義したファイル（拡張子：.jof）です。［書式定義］画面で作成し，［環境設定］画面で指定するフォルダに格納します。

### ジョブ

コマンド，シェルスクリプト，Windows 実行ファイルなどの集まりです。

### ジョブ運用情報の収集

JP1/AJS3 - Print Option Manager の機能です。JP1/AJS3 - Manager からジョブの運用情報を収集します。

### ジョブ運用情報ファイル

JP1/AJS から収集したジョブ運用情報を格納するファイル（拡張子：.aoi）です。このファイルは，JP1/AJS3 - Print Option Manager で生成し，JP1/AJS3 - Print Option の入力となります。

### ジョブ運用ドキュメント管理

JP1/AJS3 - Print Option と JP1/AJS3 - Print Option Manager の総称名です。

### ジョブ運用ドキュメントの出力

JP1/AJS3 - Print Option の機能です。JP1/AJS3 - Print Option Manager で収集したジョブの運用情報をドキュメントとして出力します。

### ジョブグループ

複数の業務を分類して管理するためのフォルダです。

### ジョブネット

実行順序を関連づけたジョブの集まりです。ジョブネットを実行すると，ジョブネット中のジョブが実行順序に従って自動的に実行されます。

### ジョブネットコネクタ

ルートジョブネットの実行順序を制御するためのジョブネットワーク要素です。

対象のルートジョブネットと接続関係を持ち，その終了や開始を待ち合わせます。

### ジョブネットフロー出力

ジョブネットの定義内容をジョブネットフロー書式で，Microsoft Excel または PDF ファイルに出力します。

### ジョブネットフロー書式定義ファイル

ジョブネットフロー書式を定義したファイル（拡張子：.fof）です。[ジョブネットフロー書式定義］画面にて設定したジョブネットフロー出力の書式定義を保存するファイルです。

### ジョブネットリリース機能

ジョブネットの定義を自動的に切り替える機能です。

切り替え予定のジョブネットの定義および切り替え日時をあらかじめ指定しておくことで，指定した日時にジョブネットの定義を切り替えられます。

## （タ行）

### 帳票領域

ユニット名ツリービューで指定されたユニットの帳票を表示するための［ジョブ運用ドキュメント出力］画面内の領域です。初期状態では，画面の右側に配置されます。

## （ナ行）

### ネストジョブネット

ジョブネット中に定義したジョブネットです。

## （ハ行）

### プランニンググループ

複数のルートジョブネットを計画的に切り替えて実行するためのユニットです。プランニンググループの直下に異なる定義内容のルートジョブネットを複数作成し，それぞれに異なったスケジュールを定義することで，指定したスケジュールに従って自動的にジョブネットを切り替えて実行できます。

## （マ行）

### マップ出力

ジョブネットの定義内容をマップ形式で，Microsoft Excel または PDF ファイルに出力します。

### マネージャージョブグループ

JP1/AJS3 - Manager から，別の JP1/AJS3 - Manager の業務を監視するためのジョブグループです。

### マネージャージョブネット

JP1/AJS3 - Manager から，別の JP1/AJS3 - Manager の業務を監視するためのジョブネットです。

## （ヤ行）

### ユニット

ジョブネットワーク要素の総称です。

### ユニット属性

JP1/AJS のジョブネットワーク要素の各種定義項目。JP1/AJS のコマンド「ajsprint」，「ajsshow」のフォーマット指示子に該当します。

### ユニット名ツリービュー

収集したユニットを階層表示するための領域です。初期状態では，［ジョブ運用ドキュメント出力］画面の左側に配置されます。

## （ラ行）

### リカバリージョブ

先行するジョブ，またはジョブネットが異常終了したときに実行されるジョブです。

リカバリージョブネット

先行するジョブ，またはジョブネットが異常終了したときに実行されるジョブネットです。

リリース ID

ジョブネットリリース機能で使用されている，切り替えるジョブネットの定義を区別する ID です。

# 索引


## C

CSV 形式　130
CSV 出力時に改行コードを付加する　161
［CSV ファイルの保存］画面　130

## H

Hitachi PP Installer　26

## J

JP1/AJS3 - Print Option　19
JP1/AJS3 - Print Option Manager　19
JP1/AJS3 - View の設定　32
jprcollect　173
jprpomlstart　182
jprpomlstop　183
jprprint　184

## あ

アンインストール　29

## い

［印刷］画面　134
［印刷プレビュー］画面　133

## う

ウイルス対策ソフト実行時の注意事項　45

## か

［環境設定］画面　160
完全パス　139

## き

基本形式　72
共通メッセージログ　236

## け

月次　72
月次指定　94

## こ

コメントを表示する　140

## さ

サービス　33
サポート帳票列項目一覧　258

## し

実行履歴ファイル　97
［書式定義］画面　138
ジョブ　49
ジョブ運用情報の収集　48
［ジョブ運用情報の収集］画面　91
ジョブ運用情報の転送　58
ジョブ運用情報ファイル　48
［ジョブ運用情報ファイルの選択］画面　108
［ジョブ運用ドキュメント出力］画面　102
ジョブグループ　49
ジョブネット　49
［ジョブネット（リリース ID）名一覧］画面　109
［ジョブネットフロー PDF 出力］画面　125
ジョブネットフロー出力　81
［ジョブネットフロー出力］画面　115
ジョブネットフロー書式定義　81
［ジョブネットフロー書式定義］画面　157

## せ

セットアップ　31

## そ

相対月指定　94
［その他］タブ　148

## ち

帳票領域　64

## と

トラブル発生時に採取が必要な資料　237

## に

日次　72

## ね

ネストジョブグループ　49
ネストジョブネット　49
年月日指定　93

## は

バックアップ対象ファイル　42

## ひ

[表示範囲の変更] 画面　156

## ふ

ファイアウォール　32
フォント　153
フッター　154
プランニンググループ　49
プロセス一覧　304
プロセス別ログ　236

## へ

ヘッダー　154

## ほ

ポート番号　31

## ま

[マップ PDF 出力] 画面　120
[マップ出力] 画面　110
マネージャージョブグループ　49
マネージャージョブネット　49
マネージャーユニット　49

## め

名称　139
名称+階層　139
名称自動変換規則　131

## ゆ

ユニット　49
[ユニット] タブ　139
ユニット名ツリービュー　64

## よ

[用紙設定] 画面　153
用紙を設定する　75

## り

リスト　72
リモートジョブネット　49

## る

ルートジョブグループ　49
ルートジョブネット　49

## れ

[列項目] タブ　140

## ろ

ログ情報の種類　236

株式会社 日立製作所

〒 100-8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号